

第8次芦屋すこやか長寿プラン21
見直しのためのアンケート調査

【報告書】

平成29年3月
芦屋市

目 次

I	調査の実施概要	1
1	調査の目的	1
2	調査方法	1
3	回収結果	1
4	調査結果の留意点	2
II	調査結果の概要	3
1	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3
	(1)外出の頻度	3
	(2)日常生活の中での楽しみ	4
	(3)就労について	5
	(4)高齢者向け催し物やサービス提供に関する情報の入手先	7
	(5)地域活動について	8
	(6)現在の健康状態	16
	(7)かかりつけ医師・歯科医師・薬剤師の有無	18
	(8)将来、介護を受ける場所への意向	19
	(9)介護の経験について	21
2	在宅介護実態調査	24
	A票（要支援・要介護認定者）	24
	(1)世帯類型	24
	(2)訪問診療の利用状況	24
	(3)施設等への入所・入居の検討状況	25
	(4)介護保険サービスの利用状況	25
	(5)在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス	25
	(6)今後のサービス利用意向	27
	B票（介護者）	28
	(1)介護者の続柄	28
	(2)介護の内容	28
	(3)介護を理由とした離職状況（過去1年間）	29
	(4)不安を感じる介護等	29
	(5)必要と感じる地域での支援	31
	(6)今後の介護離職の可能性	32
3	各調査における共通設問	33
	(1)認知症施策として、市が力を入れるべきこと	33
	(2)現在治療中、または後遺症のある病気	34

(3) 災害時や緊急時の対応.....	35
(4) 権利擁護の取り組みについて.....	37
(5) 高齢者の権利擁護について知りたいこと.....	39
(6) 高齢化施策として、市が力を入れるべきこと.....	40
Ⅲ 調査の集計結果（単純集計）.....	42
1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（一般高齢者）.....	42
基礎情報について.....	42
問1 あなた（あて名のご本人）のご家族や生活状況について.....	43
問2 からだを動かすことについて.....	44
問3 食べることについて.....	48
問4 毎日の生活について.....	50
問5 地域での活動について.....	56
問6 たすけあいについて.....	59
問7 健康について.....	62
問8 災害時や緊急時の対応などについて.....	65
問9 権利擁護の取り組みについて.....	66
問10 あなたの今後のサービスの利用について.....	68
問11 介護の経験について.....	70
2 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（要支援認定者）.....	71
基礎情報について.....	71
問1 あなた（あて名のご本人）のご家族や生活状況について.....	72
問2 からだを動かすことについて.....	73
問3 食べることについて.....	77
問4 毎日の生活について.....	79
問5 地域での活動について.....	85
問6 たすけあいについて.....	88
問7 健康について.....	91
問8 災害時や緊急時の対応などについて.....	94
問9 権利擁護の取り組みについて.....	96
問10 あなたの今後のサービスの利用について.....	97
問11 介護の経験について.....	100
3 在宅介護実態調査.....	101
要介護認定データ.....	101
(1) 年齢.....	102
(2) 性別.....	102
(3) 住んでいる所.....	102
(4) 二次判定結果（要介護度）.....	103
(5) サービス利用の組み合わせ.....	103
(6) 訪問系サービスの合計利用回数.....	104
(7) 通所系サービスの合計利用回数.....	104
(8) 短期系サービスの合計利用回数.....	105

(9) 障害高齢者の日常生活自立度	105
(10) 認知症高齢者の日常生活自立度	106
A票 あて名のご本人について、お伺いします	106
記入者	106
問1 世帯類型について、ご回答ください	106
問2 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか	107
問3 ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか	108
問4 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください	108
問5 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか	108
問6 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか	109
問7 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答 ください	109
問8 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さら なる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください	110
問9 自分の身の回りのことができなくなったときに、どのようなサービスがあれば在宅 生活を続けていくことができると思いますか	111
問10 ご本人は、災害時(台風や地震など)や火災などの緊急時に、一人で避難すること ができますか	112
問10-1 避難できない理由は何ですか。	112
問10-2 災害時や火災など緊急時に避難する際、手助けを頼める人(同居の方を含む)は いますか	112
問11 万が一の災害や急病に備え、医療情報を記入した用紙を筒状の容器に入れ、ご家庭 にある冷蔵庫に収納する救急医療情報キットを知っていますか	113
問12 ご本人は成年後見制度を知っていますか	113
問12-1 今後、ご本人は成年後見制度を利用したいですか	113
問12-2 後見人は誰になってもらいたいですか	114
問13 ご本人は、虐待をはじめ、高齢者の権利擁護について、どのようなことを知りたいですか 	114
問14 高齢社会への対応として、市が力を入れるべきことは何ですか	115
問15 今後、認知症施策を進めていくうえで、市が力を入れるべきことは何ですか	116
問16 外出する際の移動手段は何ですか	117
問17 ご本人が路線バスを利用する主な理由は何ですか	117
問18 ご本人の路線バスの利用回数は、どのくらいですか	118
問19 ご本人が路線バスを利用する主な目的は何ですか	118
問20 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか	119
B票 主な介護者の方について、お伺いします	119
記入者	119
問1 主な介護者の方は、どなたですか	119
問2 主な介護者の方の性別について、ご回答ください	120
問3 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください	120
問4 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください	121
問5 ご家族やご親族の中で、あて名のご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事 を辞めた方はいますか	121
問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等につ いて、ご回答ください	122

問 7 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が必要と感じる地域での支援について、ご回答ください	123
問 8 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください	123
問 9 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行いますか	124
問 10 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか	124
問 11 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか	125

IV 資料編（調査票）

126

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	126
在宅介護実態調査	136

I 調査の実施概要

1 調査の目的

芦屋市では、平成 30 年度を初年度とする「第 8 次芦屋すこやか長寿プラン 21」（第 8 次芦屋市高齢者福祉計画及び第 7 期介護保険事業計画）を策定するにあたり、今後の計画策定に必要な基本的な資料を収集するため、2 種類のアンケート調査を実施しました。

2 調査方法

	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査		在宅介護実態調査
	一般高齢者	要支援認定者	要支援・要介護認定者
調査対象	平成 29 年 1 月 1 日現在の市内在住 65 歳以上高齢者 2,200 人 (要支援・要介護認定者を除く)	平成 29 年 1 月 1 日現在の市内在住 65 歳以上要支援認定者 800 人	平成 29 年 1 月 1 日現在の要支援・要介護認定者 2,000 人 (施設入所者を除く)
主たる調査目的	・高齢者福祉計画のための実態把握 ・要介護状態になるリスクの発生状況、各種リスクに影響を与える日常生活の状況を把握し、地域の抱える課題分析を行う		・介護保険事業計画のための実態把握 ・介護保険サービスの利用状況と、「在宅の継続」や「介護者の就労継続」の関係等に着目した分析を行う
抽出方法	住民基本台帳等より無作為抽出	要支援認定者より無作為抽出	要支援・要介護認定者より無作為抽出
配布・回収	郵送による調査票の配布・回収 ※督促状の送付(1 回)		
調査期間	平成 29 年 2 月 14 日～2 月 28 日		

3 回収結果

	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査			在宅介護実態調査
	一般高齢者【A】	要支援認定者【B】	【A】+【B】	要支援・要介護認定者
調査票配布数(C)	2,200	800	3,000	2,000
回収票数	1,779	628	2,407	1,449
有効票数(D)	1,760	609	2,369	1,281
無効票数	19	19	38	168
有効回収率(D/C)	80.0%	76.1%	79.0% (前回 66.7%, 60 歳以上調査)	64.1% (前回 58.5%, 要支援・要介護認定者調査)

※「無効票数」は、白票(調査対象者、調査対象外者を含む)、及び市外在住など調査対象外の方の件数

4 調査結果の留意点

- 1 回答は、各質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示してあります。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
- 2 複数回答を求めた質問では、回答者数の合計は全体を超え、合計回答比率の合計も100.0%を超えます。
- 3 回答者数が少ない場合は、比率の数字に偏りが生じやすく、厳密な比較をすることは難しいので、おおよその回答の傾向をみることになります。
- 4 クロス集計は、「不明・無回答」が含まれるため合計値が全体と一致しません。

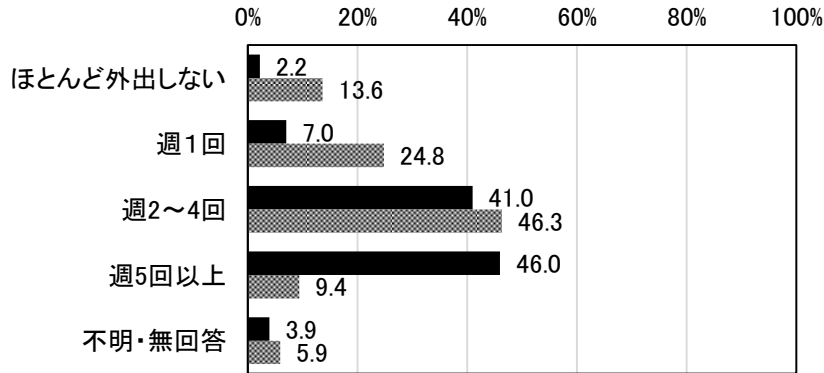
Ⅱ 調査結果の概要

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(1) 外出の頻度

一般高齢者は、「週5回以上」が46.0%で最も多くなっています。

要支援認定者は、「週2～4回」が最も多くなっています。

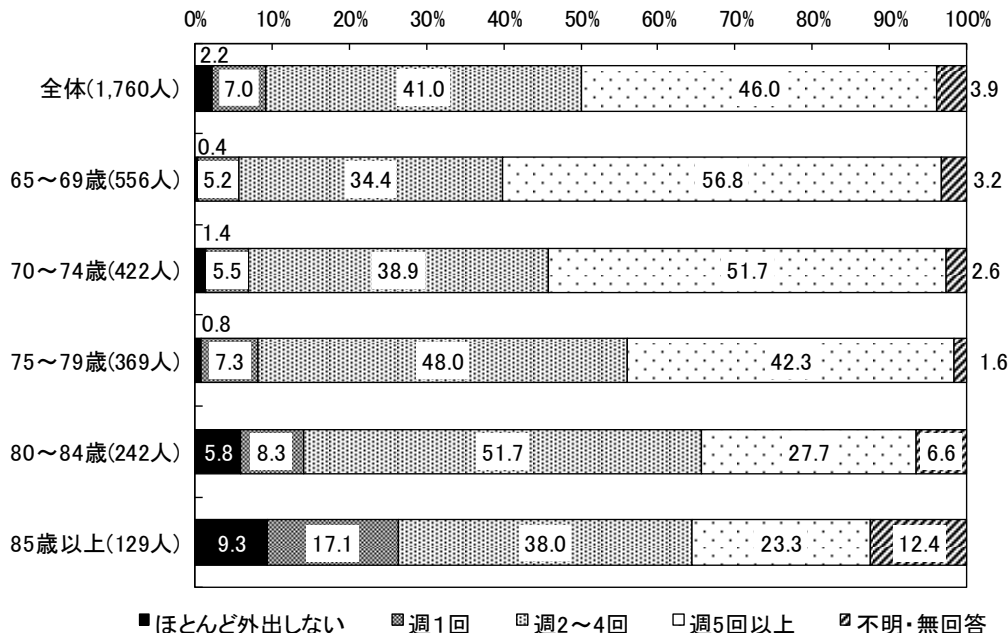


■ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,760)

※ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=609)

一般高齢者について、年齢別にみると、年齢が高くなるほど「週5回以上」と回答した人が減少しています。ほぼ毎日（「週5回以上」）、外出する人は、75歳以上で50%未満となっています。

■ 年齢別（一般高齢者）



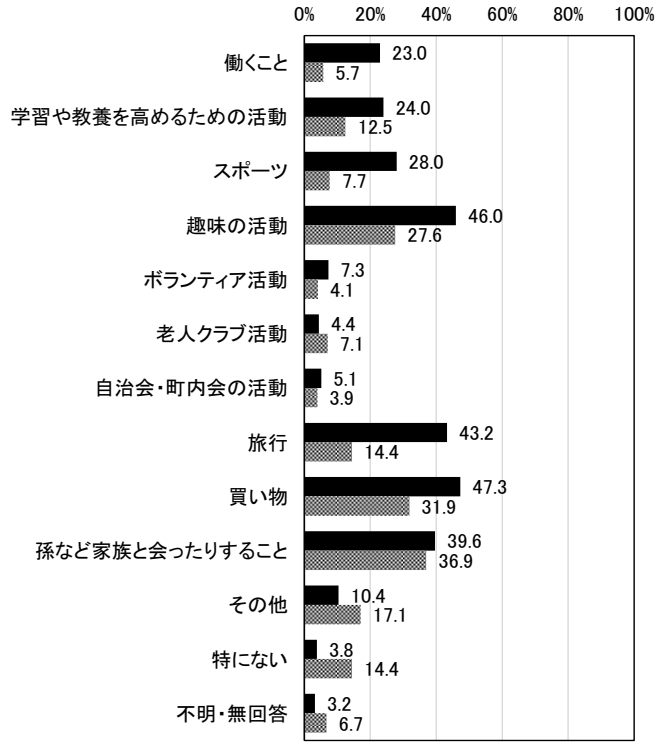
(2) 日常生活の中での楽しみ

一般高齢者は、「買い物」が47.3%で最も多く、次いで「趣味の活動」が46.0%、「旅行」が43.2%となっています。

要支援認定者は、「孫など家族と会ったりすること」が36.9%で最も多く、次いで「買い物」が31.9%、「趣味の活動」が27.6%となっています。

一般高齢者について、年齢別にみると、どの年齢区分も「趣味の活動」「旅行」「買い物」「孫などと会ったりすること」が上位を占めています。

また、年齢が上がるほど、「働くこと」と回答した人が少なくなっています。



■介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,760)
 ※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=609)

■年齢別（一般高齢者）

単位：%

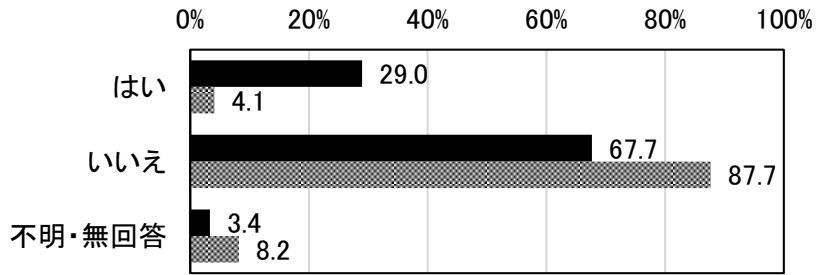
	合計	働くこと	学習や教養を高めるための活動	スポーツ	趣味の活動	ボランティア活動	老人クラブ活動	自治会・町内会の活動	旅行	買い物	孫など家族と会ったりすること	その他	特にない	不明・無回答
全体	1,760	23.0	24.0	28.0	46.0	7.3	4.4	5.1	43.2	47.3	39.6	10.4	3.8	3.2
65～69歳	556	28.1	21.8	28.1	47.1	6.8	1.6	3.6	47.7	48.0	40.3	9.5	3.8	2.7
70～74歳	422	24.2	28.2	31.3	48.1	7.1	4.3	5.5	47.4	45.5	41.9	8.5	3.3	2.8
75～79歳	369	22.5	26.8	31.2	49.9	10.8	4.3	6.5	44.4	46.1	37.9	11.4	2.4	1.1
80～84歳	242	12.8	21.9	23.1	43.8	5.8	8.7	3.7	37.2	55.4	38.4	11.6	3.3	5.8
85歳以上	129	15.5	18.6	17.8	32.6	4.7	10.9	10.1	22.5	40.3	39.5	13.2	9.3	7.8

(3) 就労について

① 就労状況

一般高齢者は、「はい」(「就労している」)が29.0%となっています。

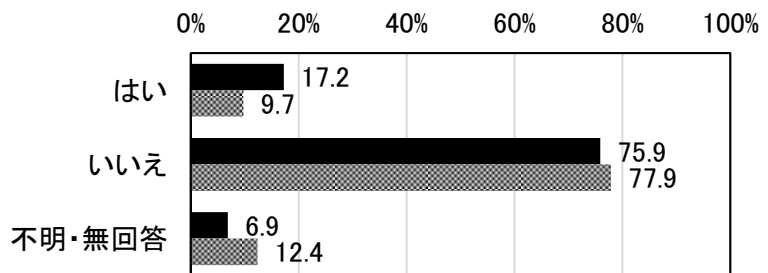
前回調査では、調査対象年齢が60歳以上と異なるため単純比較できませんが、就労状況は大きくは変わっていません(前回調査、一般高齢者29.8%)。



■ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,760)
 ※ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=609)

② 今後の就労意向

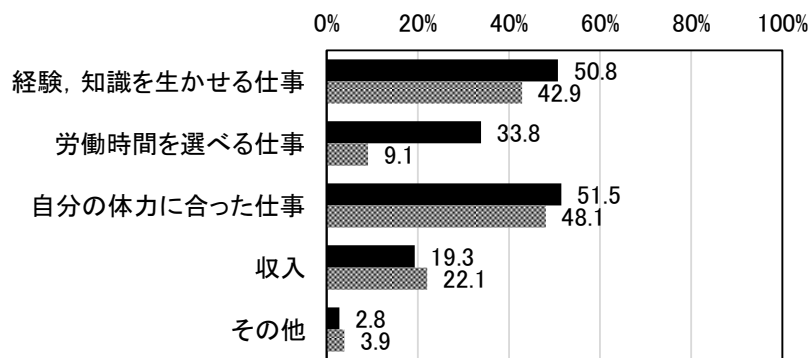
(仕事をしていない方)
 一般高齢者、要支援認定者ともに、「いいえ」(就労したくない)が約75%~80%となっています。



■ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,191)
 ※ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=534)

③ 働き方で重視する条件

(「現在、収入のある仕事をしている方」, 「今後、収入のある仕事をしたい方」)
 一般高齢者、要支援認定者ともに、「自分の体力に合った仕事」, 「経験, 知識を生かせる仕事」が約40%~50%いて、多くなっています。



■ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=715)
 ※ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=77)

一般高齢者について、性別にみると、男性では「経験，知識を生かせる仕事」，女性では「自分の体力に合った仕事」が最も多くなっています。

年齢別にみると、65～69歳では「経験，知識を生かせる仕事」，70～79歳では「自分の体力に合った仕事」が最も多くなっています。

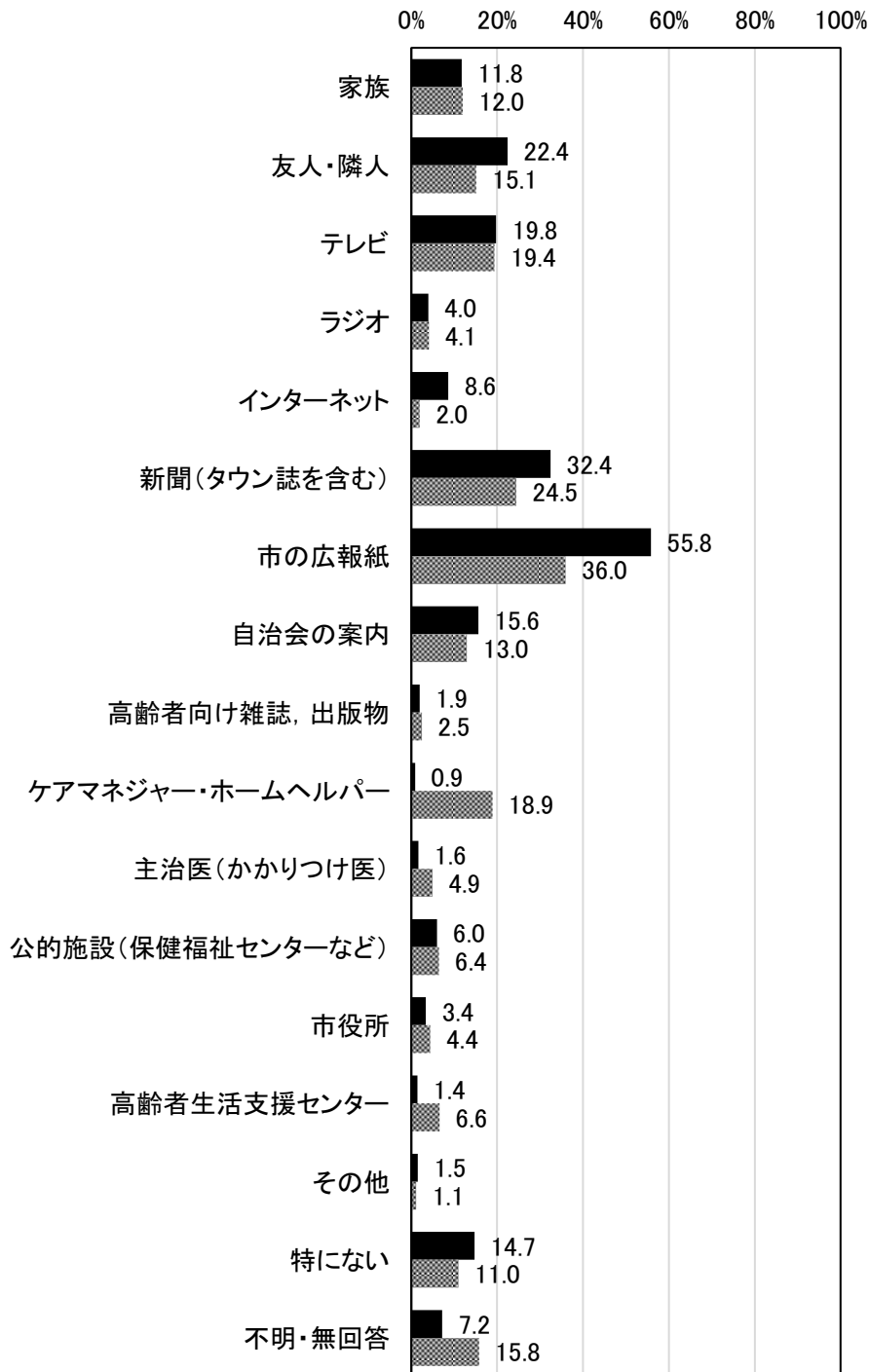
■性別，及び年齢別（一般高齢者）

単位：%

		合計	経験， 知識を生かせる仕事	労働時間 を選べる仕事	自分の 体力に 合った 仕事	収入	その他	わからない	不明・ 無回答
	全体	715	50.8	33.8	51.5	19.3	2.8	1.7	12.0
性別	男性	418	57.9	28.2	45.7	18.9	2.4	1.4	11.7
	女性	292	40.8	42.1	59.9	19.5	3.4	2.1	12.7
年齢	65～69歳	299	56.5	41.5	54.5	23.4	1.0	1.3	7.7
	70～74歳	181	45.9	36.5	55.2	21.5	1.1	1.7	9.4
	75～79歳	139	49.6	22.3	50.4	10.8	5.8	1.4	16.5
	80～84歳	52	36.5	19.2	36.5	9.6	5.8	3.8	28.8
	85歳以上	24	50.0	20.8	33.3	12.5	8.3	4.2	20.8

(4) 高齢者向け催し物やサービス提供に関する情報の入手先

一般高齢者，要支援認定者ともに，「市の広報紙」が最も多く，次いで「新聞（タウン誌を含む）」と続いています。



■介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,760)

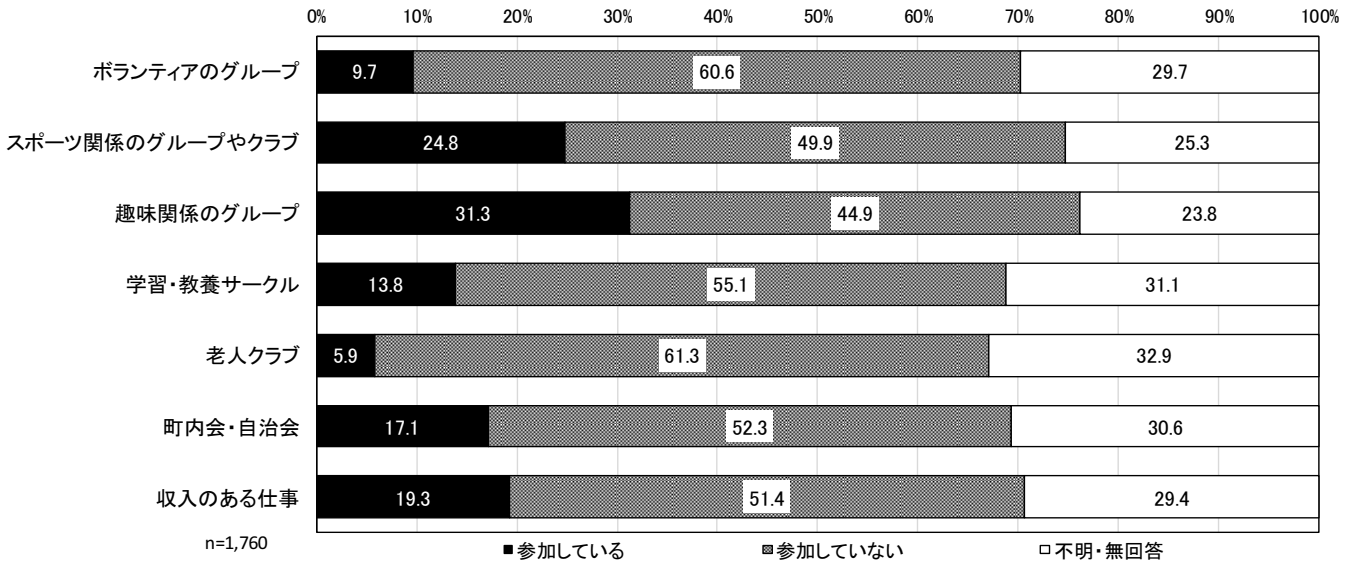
▨介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=609)

(5) 地域活動について

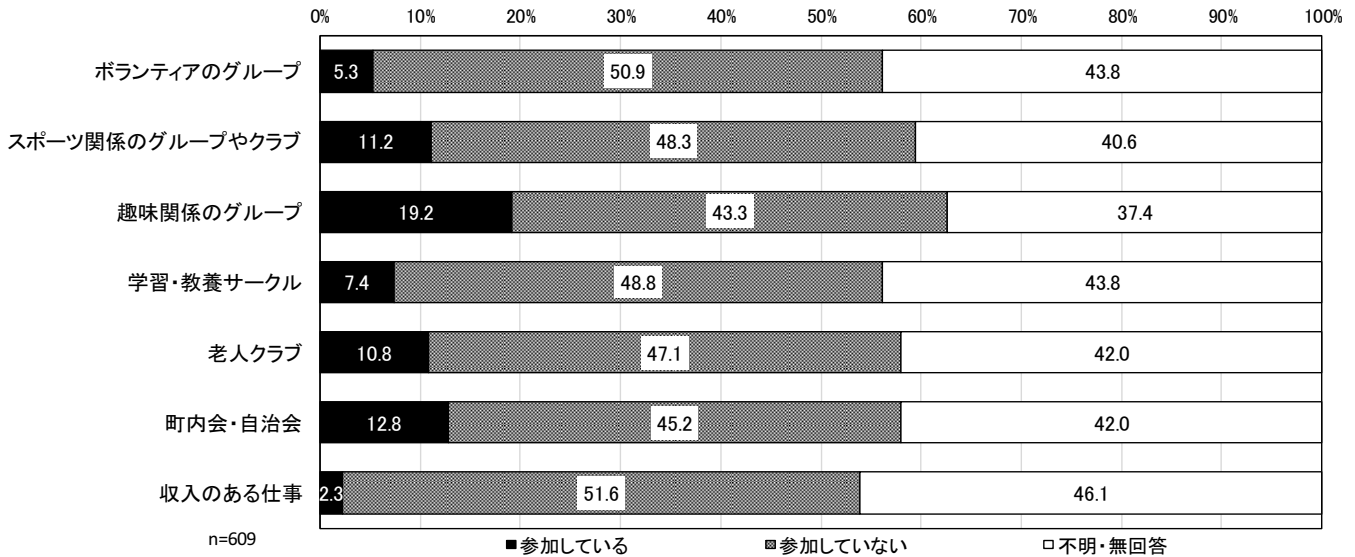
① 地域づくり活動への参加状況

一般高齢者，要支援認定者ともに，どの会・グループも「参加していない」が最も多く，約45%～60%を占めています。

〔一般高齢者〕



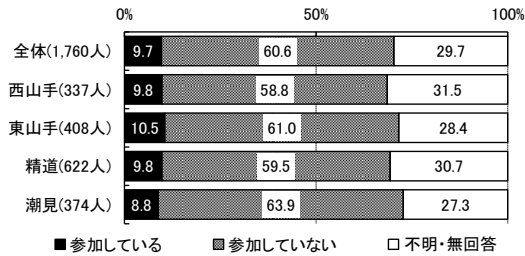
〔要支援認定者〕



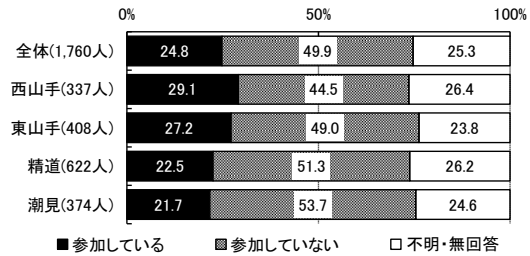
一般高齢者の地域活動について、地域別にみると、「スポーツ関係のグループ」「趣味関係のグループ」「学習・教養サークル」「町内会・自治会」「収入のある仕事」では「西山手」,「ボランティアのグループ」では「東山手」が最も多くなっています。「老人クラブ」では「精道」が最も多くなっています。

■地域別（一般高齢者）

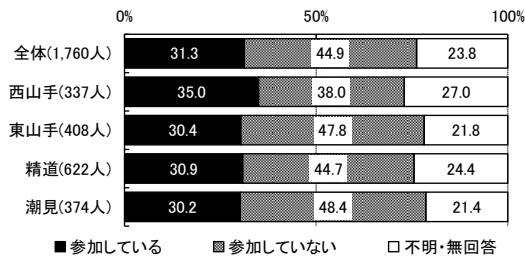
〔ボランティアのグループ〕



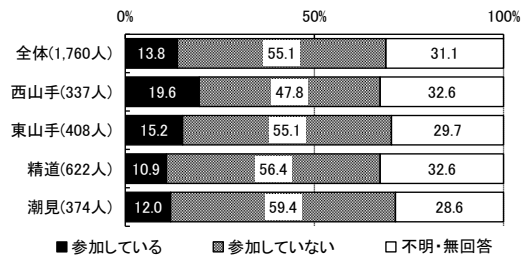
〔スポーツ関係のグループ〕



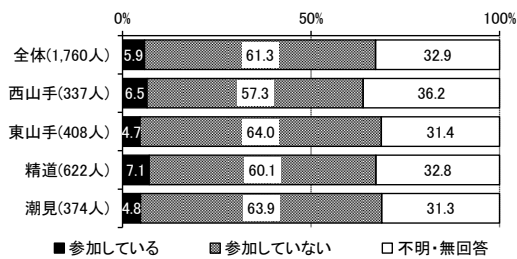
〔趣味関係のグループ〕



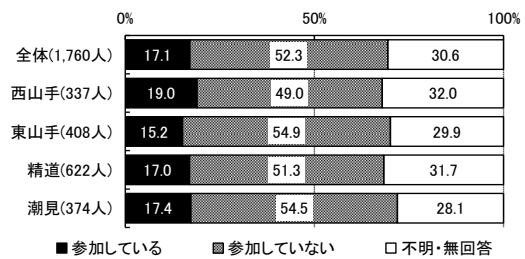
〔学習・教養サークル〕



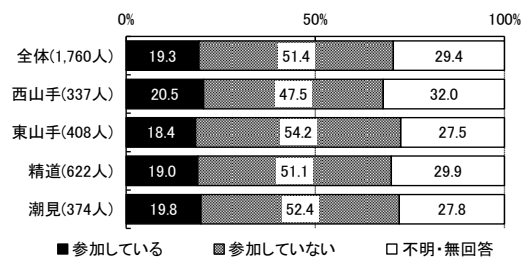
〔老人クラブ〕



〔町内会・自治会〕



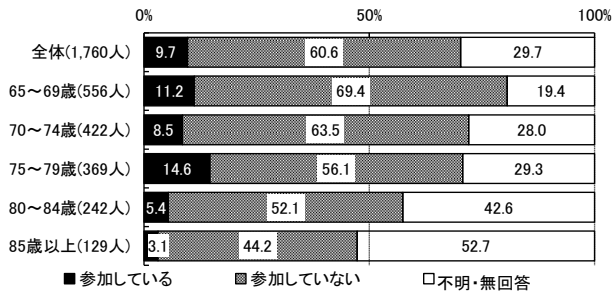
〔収入のある仕事〕



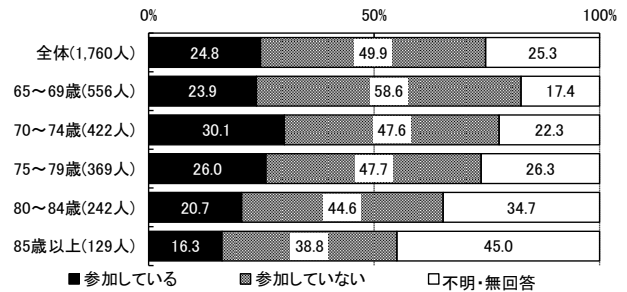
一般高齢者の地域活動について、年齢別にみると、「収入のある仕事」を除き、70～79歳を中心に「参加している」が多くなっています。

■ 年齢別（一般高齢者）

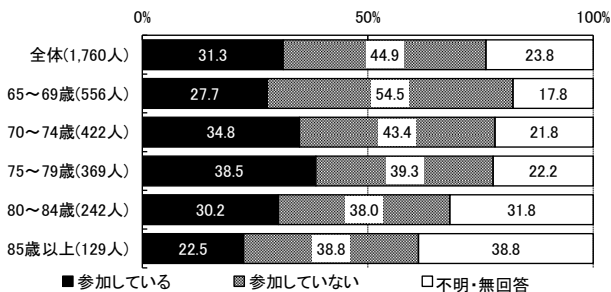
〔ボランティアのグループ〕



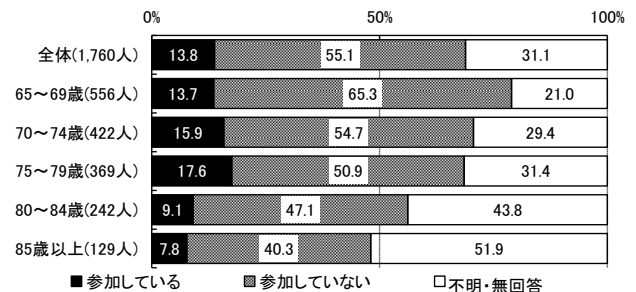
〔スポーツ関係のグループ〕



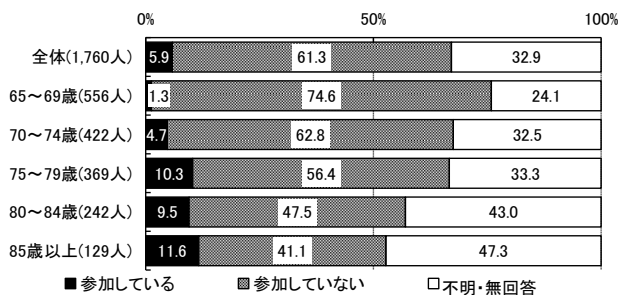
〔趣味関係のグループ〕



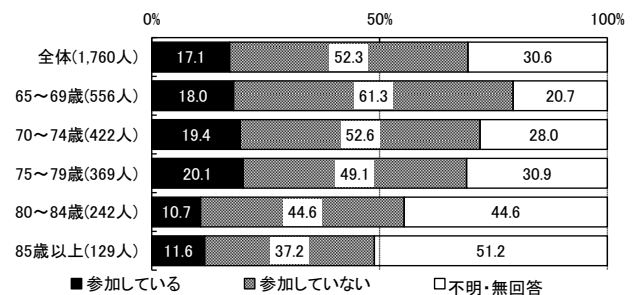
〔学習・教養サークル〕



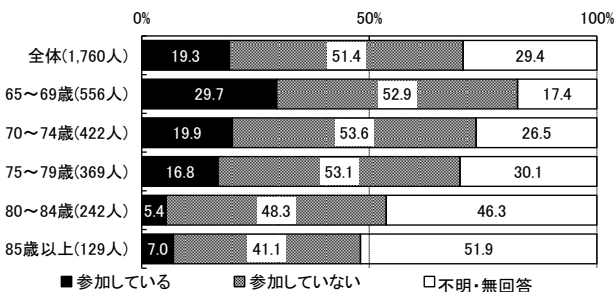
〔老人クラブ〕



〔町内会・自治会〕



〔収入のある仕事〕

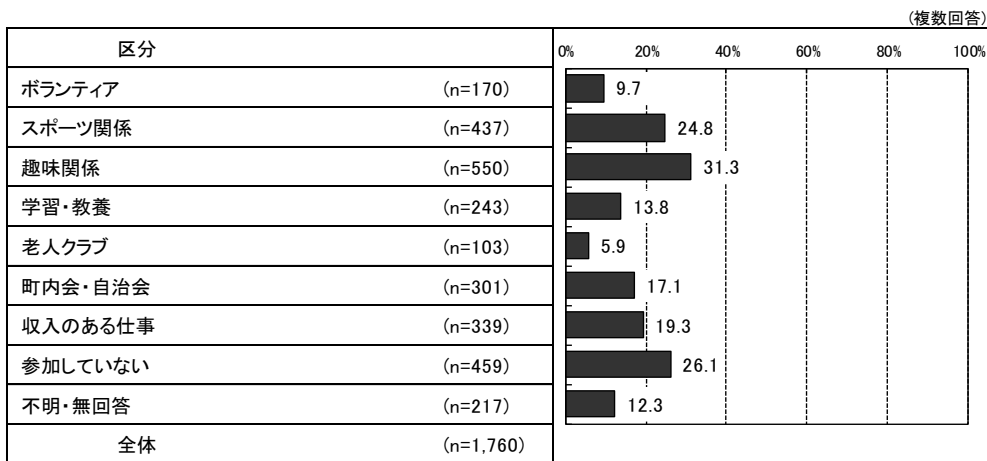


前回調査と比べて、本調査では「スポーツ関係」、「趣味関係」、「学習・教養」の回答割合が10ポイント以上、増加しています。

本調査では、前回調査にあった「健康づくり活動や介護予防活動」がなく、前回調査で「健康づくり活動や介護予防活動」を回答した層が本調査の「スポーツ関係」を回答したと仮定しても、10ポイント増加しています。

■経年変化

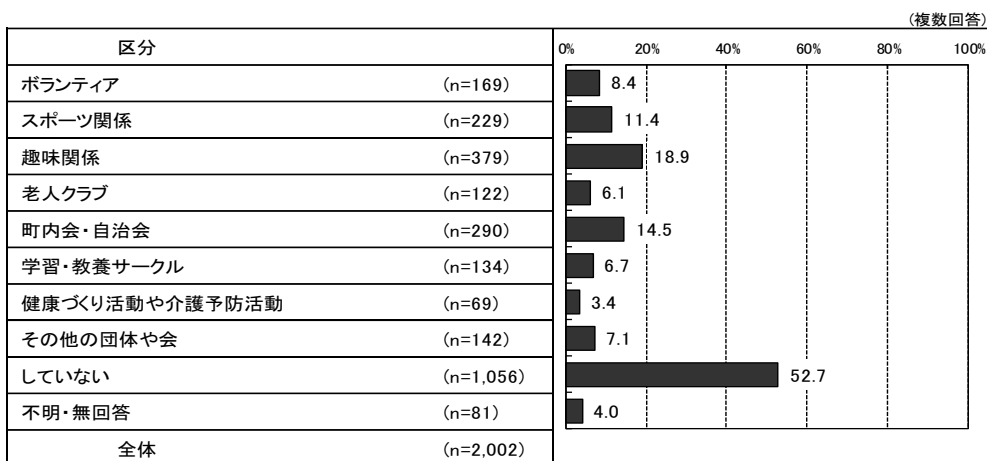
〔本調査〕



注1：本設問は元々、「区分」の項目ごとの単数回答であるが、前回調査と比較するため、複数回答として処理している。処理内容は、「区分」の項目ごとの活動に参加している人を合算し、母数に対する割合を算出した。

注2：「参加していない」の回答割合の経年変化の比較はできない。理由は、「参加していない」以外の選択肢が異なるため、「参加していない」の回答の意味内容が異なるため。

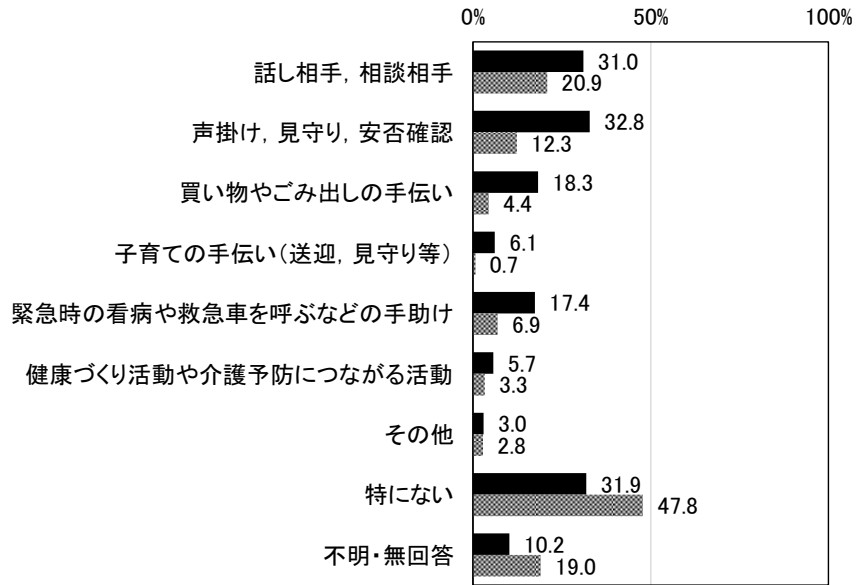
〔前回調査〕



②地域の人に対してできる支援

一般高齢者は、「声掛け、見守り、安否確認」が32.8%で最も多く、次いで「特にない」が31.9%、「話し相手、相談相手」が31.0%となっています。「声掛け、見守り、安否確認」や「話し相手、相談相手」について、高齢者の社会参加・支え合い体制づくりの社会資源となりうる人が約30%いることがうかがえます。

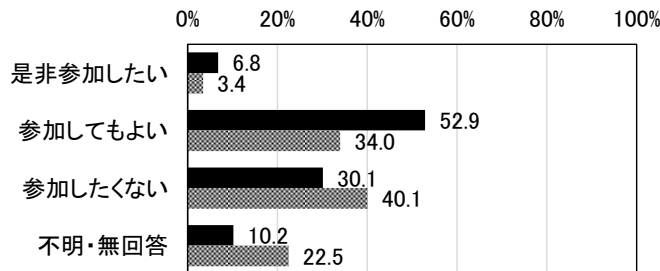
要支援認定者は、「特にない」が47.8%で最も多く、次いで「話し相手、相談相手」が20.9%、「声掛け、見守り、安否確認」が12.3%となっています。



■介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,760)
 ※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=609)

③地域づくり活動への参加意向

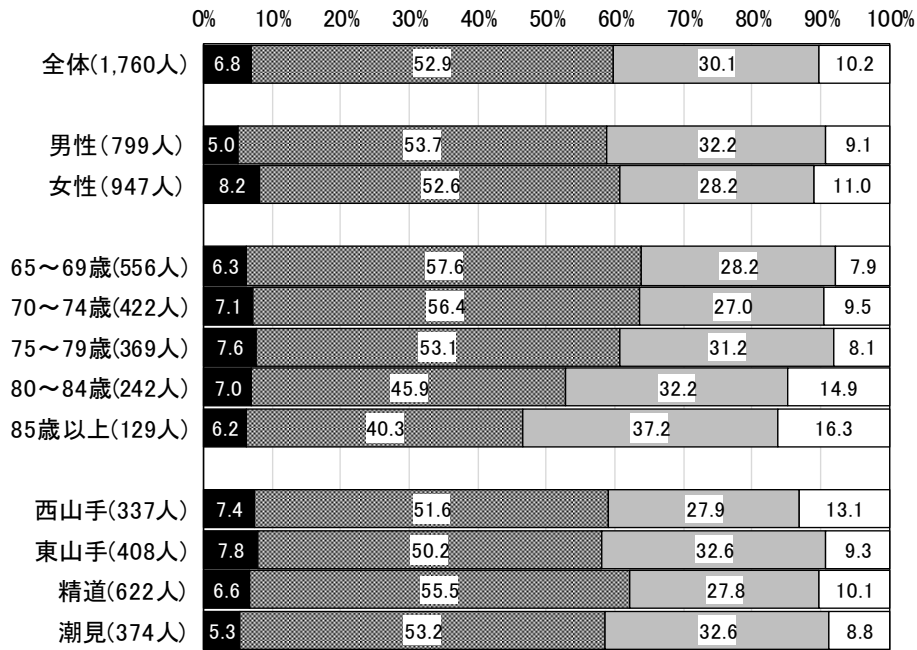
一般高齢者は、「是非参加したい」と「参加してもよい」と合わせて59.7%、要支援認定者は、「是非参加したい」と「参加してもよい」と合わせて37.4%となっています。



■介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,760)
 ※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=609)

一般高齢者において、性別にみると、男女ともに、「参加してもよい」が約50%となっています。年齢別にみると、いずれの年齢も「参加してもよい」が約40%~50%となっています。地域別にみると、いずれの地域も「参加してもよい」が約50%となっています。

■男女別、年齢別、及び地域別（一般高齢者）



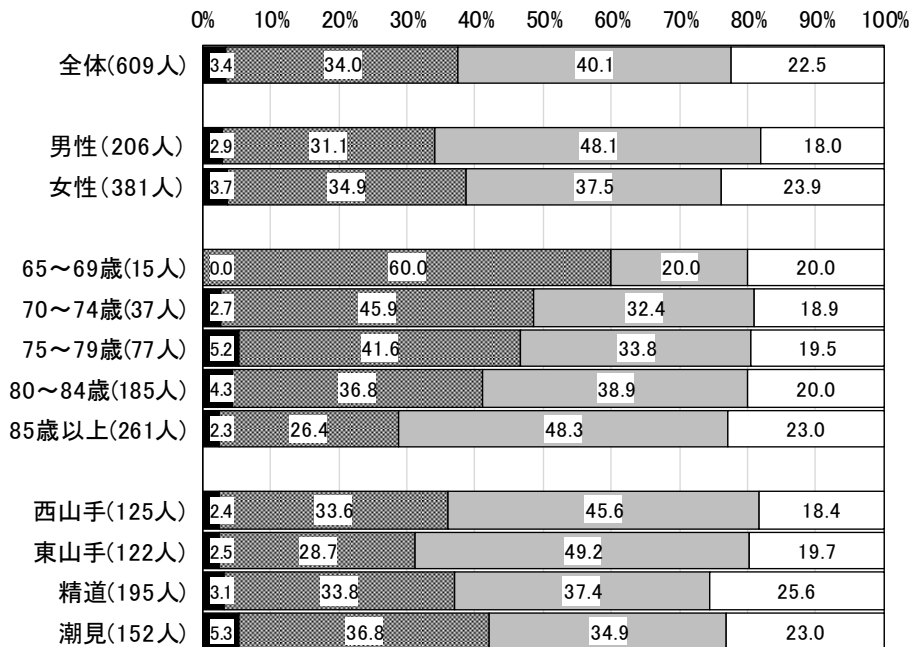
■是非参加したい ■参加してもよい □参加したくない □不明・無回答

要支援認定者において、性別にみると、男女ともに、「参加してもよい」が「参加したくない」を下回っています。

年齢別にみると、79歳以下は「参加してもよい」、80歳以上は「参加したくない」が多くなっています。

地域別にみると、潮見は「参加してもよい」が「参加したくない」を上回っています。

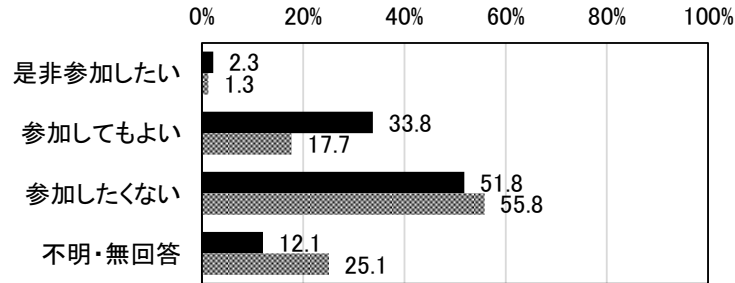
■男女別、年齢別、及び地域別（要支援認定者）



■是非参加したい ■参加してもよい □参加したくない □不明・無回答

④地域づくり活動の企画・運営への参加意向

一般高齢者は、「是非参加したい」と「参加してもよい」と合わせて36.1%、要支援認定者は、「是非参加したい」と「参加してもよい」と合わせて19.0%となっています。地域づくり活動の企画・運営（お世話役）として、社会参加・支え合い体制づくりの社会資源となりうる人が約20%～30%いることがうかがえます。



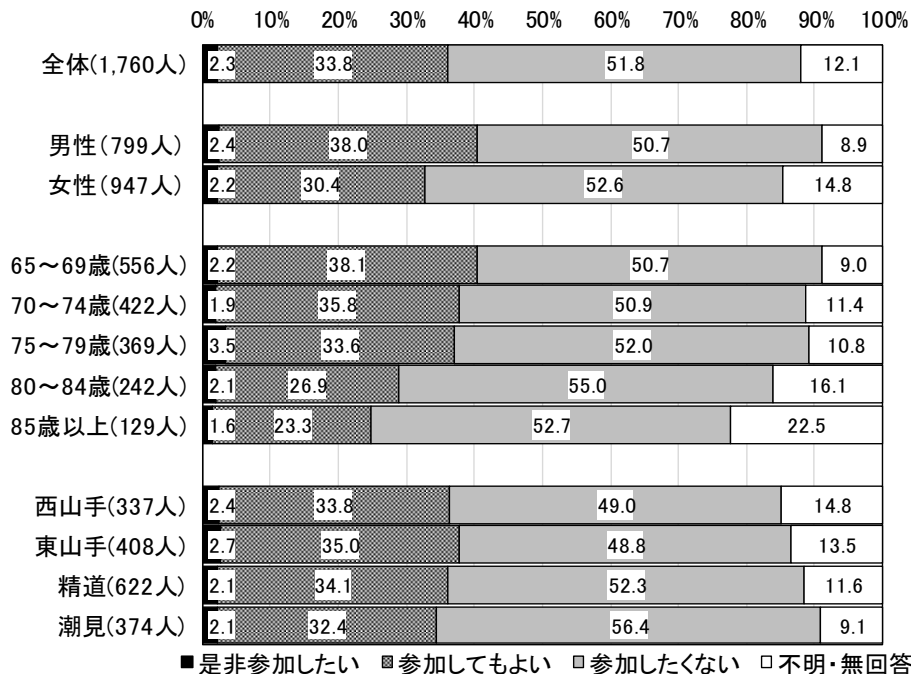
■介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,760)
 ※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=609)

一般高齢者において、性別にみると、男女ともに、「参加してもよい」が約30%～40%となっています。

年齢別にみると、いずれの年齢も「参加してもよい」が約20%～30%となっており、年齢が低いほど多くなっています。

地域別にみると、いずれの地域も「参加してもよい」が約30%となっています。

■男女別、年齢別、及び地域別（一般高齢者）

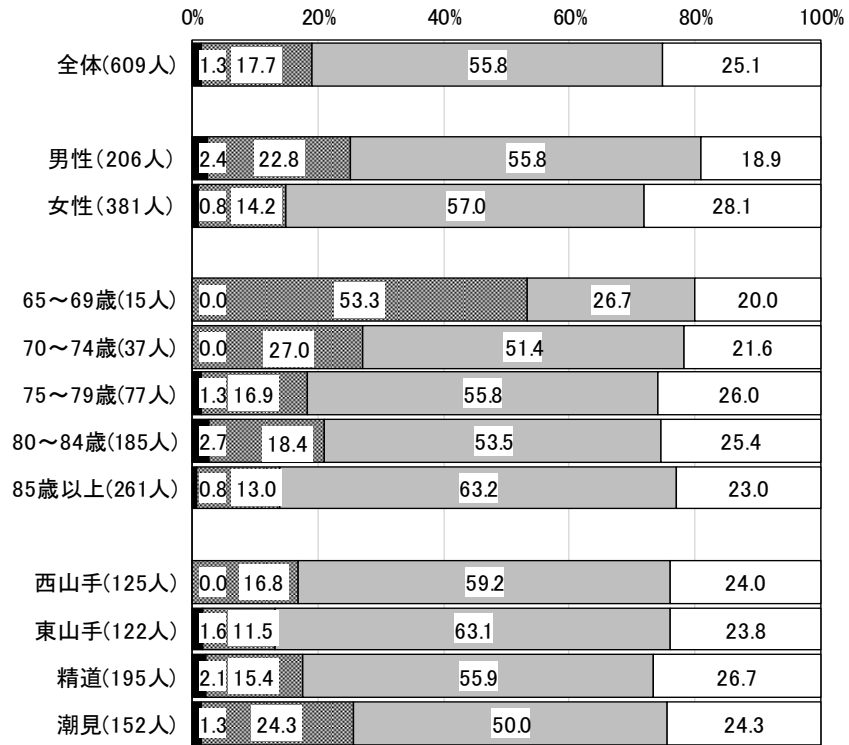


要支援認定者において、性別にみると、男女ともに、「参加してもよい」が約10%～20%となっています。

年齢別にみると、69歳以下は「参加してもよい」、70歳以上は「参加したくない」が多くなっています。

地域別にみると、いずれの地域も「参加してもよい」が約10%～20%となっています。

■男女別、年齢別、及び地域別（要支援認定者）



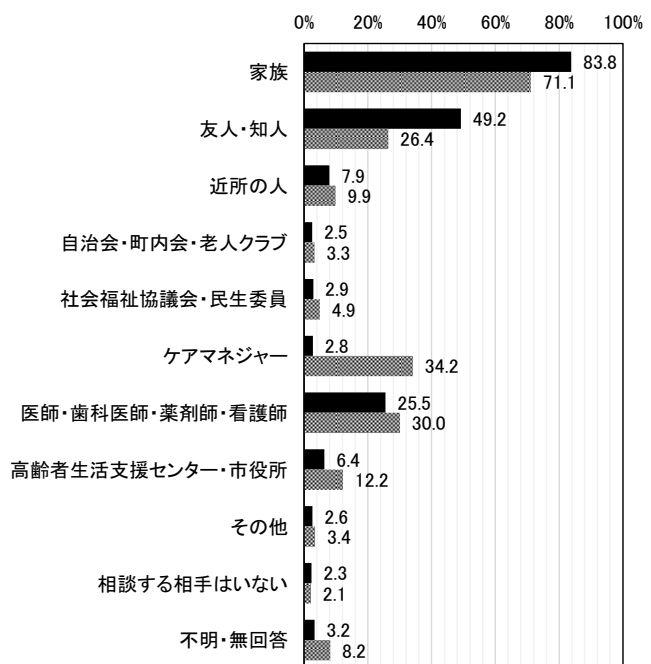
■是非参加したい ■参加してもよい □参加したくない □不明・無回答

⑤何かあったときに相談する相手

一般高齢者は、「家族」が83.8%で最も多く、次いで「友人・知人」が49.2%、「医師・歯科医師・薬剤師・看護師」が25.5%となっています。

要支援認定者は、「家族」が71.1%で最も多く、次いで「ケアマネジャー」が34.2%、「医師・歯科医師・薬剤師・看護師」が30.0%となっています。

一般高齢者において、構成別にみると、「1人暮らし」では「家族など同居」と比べて、「友人・知人」を相談相手としている人が多くなっています。「家族など同居」では「家族」が多くなっています。



■介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,760)
 ※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=609)

■家族構成別（一般高齢者）

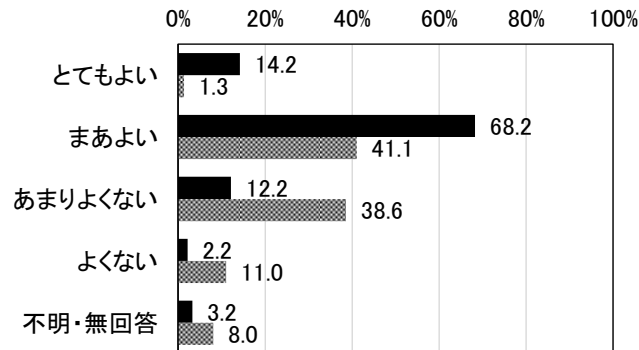
単位：%

	合計	家族	友人・知人	近所の人	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・薬剤師・看護師	高齢者生活支援センター・市役所	その他	相談する相手はいない	不明・無回答
全体	1,760	83.8	49.2	7.9	2.5	2.9	2.8	25.5	6.4	2.6	2.3	3.2
1人暮らし	327	54.1	57.8	12.5	2.8	4.3	2.1	23.9	8.3	6.4	6.1	4.0
家族など同居	1,398	90.7	47.5	6.9	2.5	2.6	2.9	25.8	6.1	1.8	1.4	3.1

(6) 現在の健康状態

一般高齢者は、「まあよい」が68.2%で最も多く、次いで「とてもよい」が14.2%、「あまりよくない」が12.2%となっています。

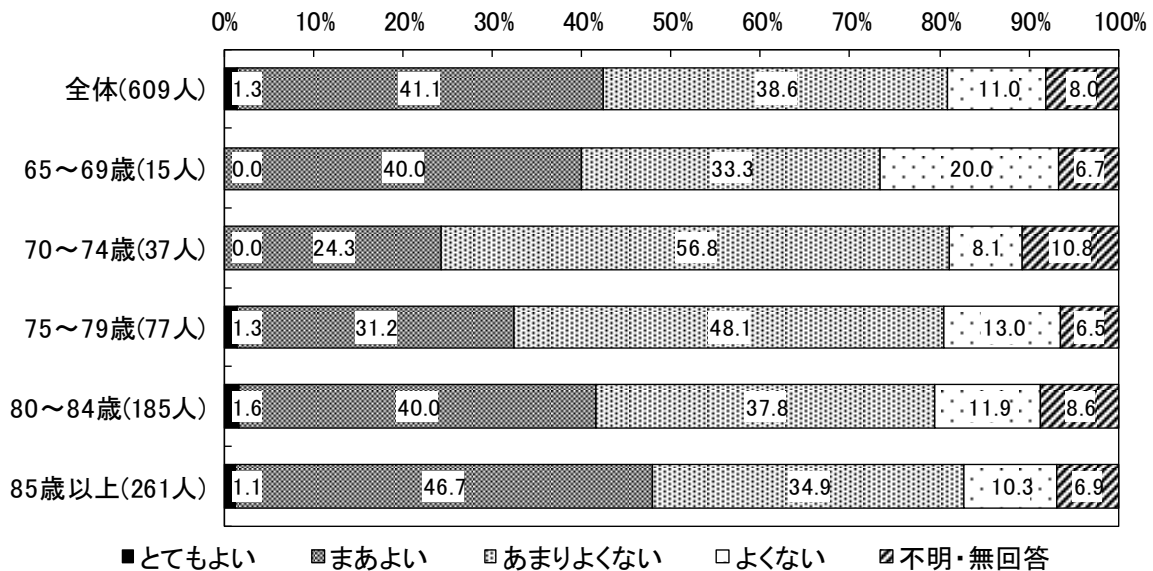
要支援認定者は、「まあよい」が41.1%で最も多く、次いで「あまりよくない」が38.6%、「よくない」が11.0%となっています。



■ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,760)
 ※ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=609)

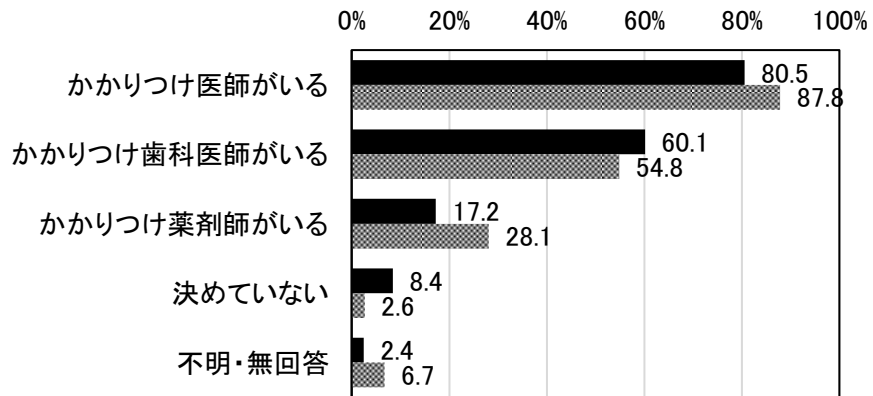
要支援認定者において、年齢別にみると、70歳以上ではよいと感じている人（「よい」と「まあよい」の合計）が増加する傾向にあります。

■ 年齢別（要支援認定者）



(7) かかりつけ医師・歯科医師・薬剤師の有無

一般高齢者，要支援認定者は，「かかりつけ医師がいる」は80%以上，「かかりつけ歯科医師がいる」は約55%～60%います。



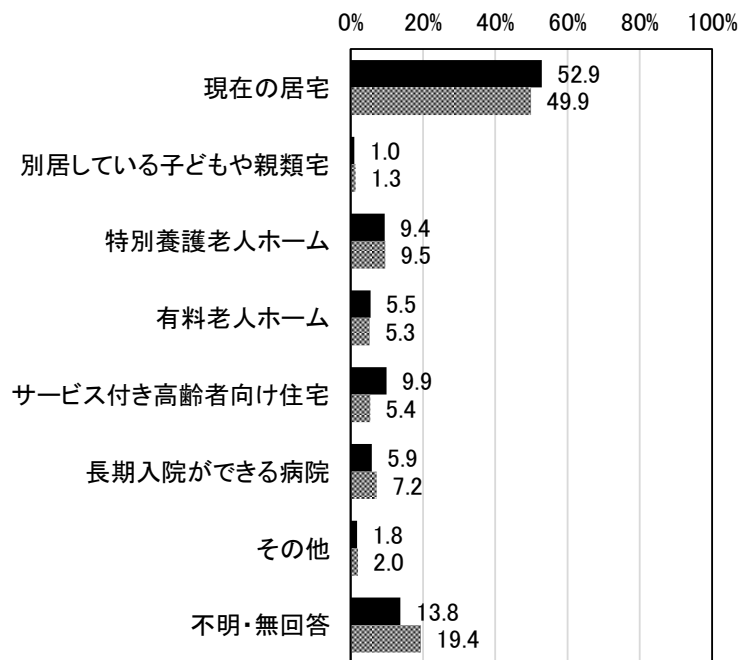
■ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,760)

▨ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=609)

(8) 将来、介護を受ける場所への意向

一般高齢者は、「現在の居宅」が52.9%で最も多く、次いで「サービス付き高齢者向け住宅」が9.9%、「特別養護老人ホーム」が9.4%となっています。

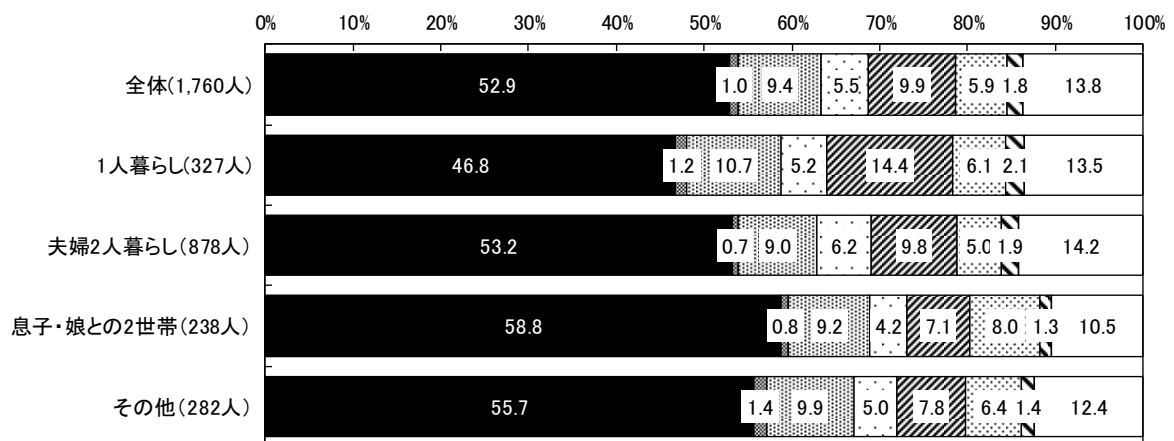
要支援認定者は、「現在の居宅」が49.9%で最も多く、次いで「特別養護老人ホーム」が9.5%、「長期入院ができる病院」が7.2%となっています。



■介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,760)
 ※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=609)

一般高齢者において、家族構成別にみると、いずれの家族構成においても、「現在の居宅」が40%~60%となっています。

■家族構成別（一般高齢者）

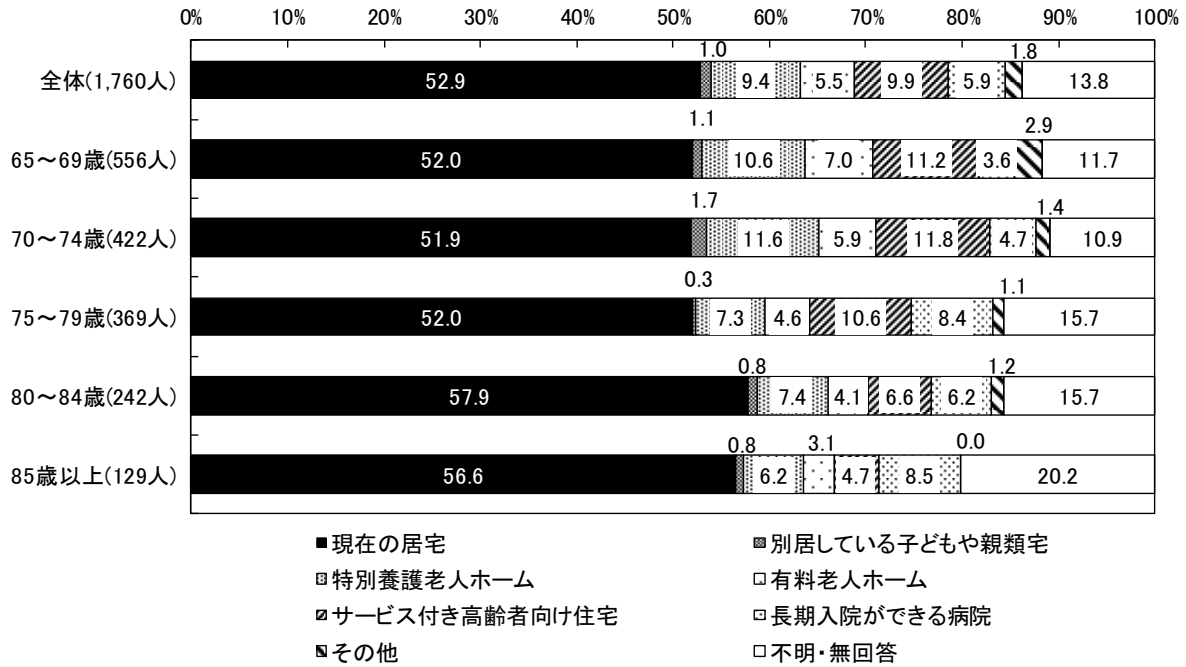


■現在の居宅
 ■別居している子どもや親類宅
 ■特別養護老人ホーム
 □有料老人ホーム
 ■サービス付き高齢者向け住宅
 □長期入院ができる病院
 □その他
 □不明・無回答

一般高齢者において、年齢別にみると、いずれの年齢も、「現在の居宅」が約 50%となっています。

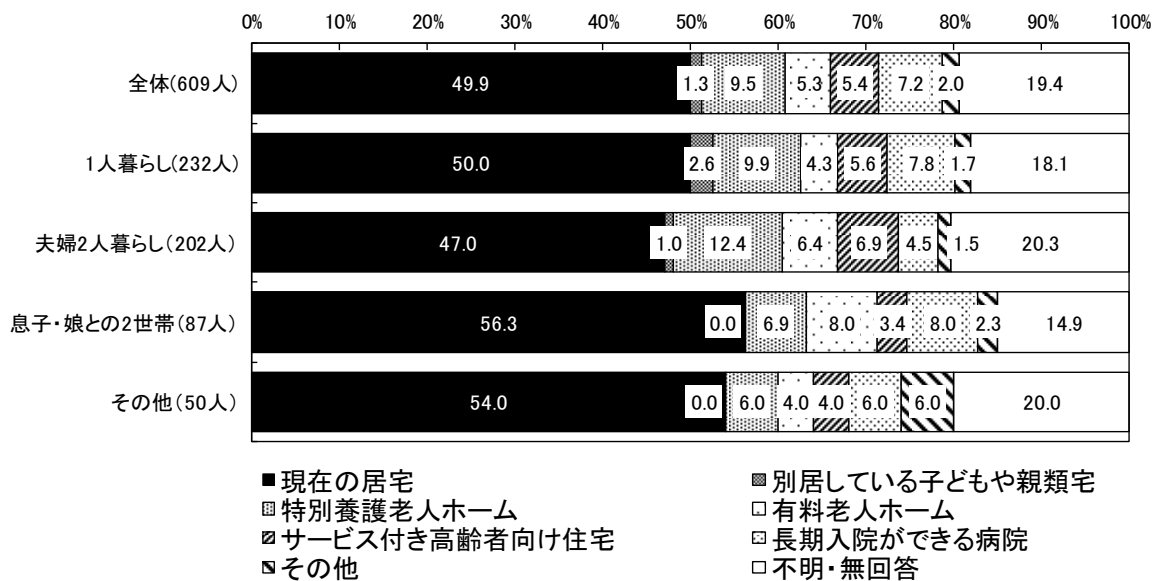
次いで、79 歳以下では「サービス付き高齢者向け住宅」、80～84 歳では「特別養護老人ホーム」、85 歳以上では「長期入院ができる病院」となっています。

■ 年齢別（一般高齢者）



要支援認定者において、家族構成別にみると、いずれの家族構成においても、「現在の居宅」が約 50%～60%となっています。

■ 家族構成別（要支援認定者）

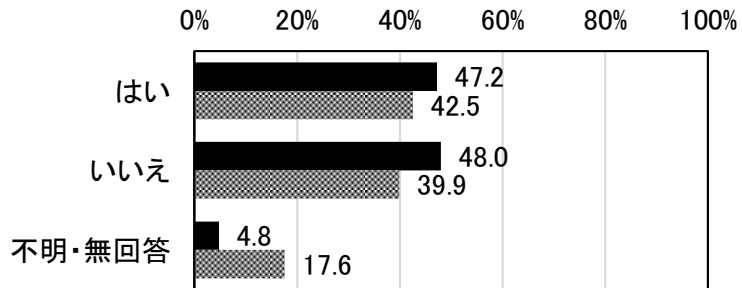


(9) 介護の経験について

① 介護経験の有無

一般高齢者、要支援認定者ともに、「はい」（介護をしたことがある）が約40%となっています。

一般高齢者について、年齢別にみると、いずれの年代においても、「はい」（介護をしたことがある）が約40%～50%となっています。

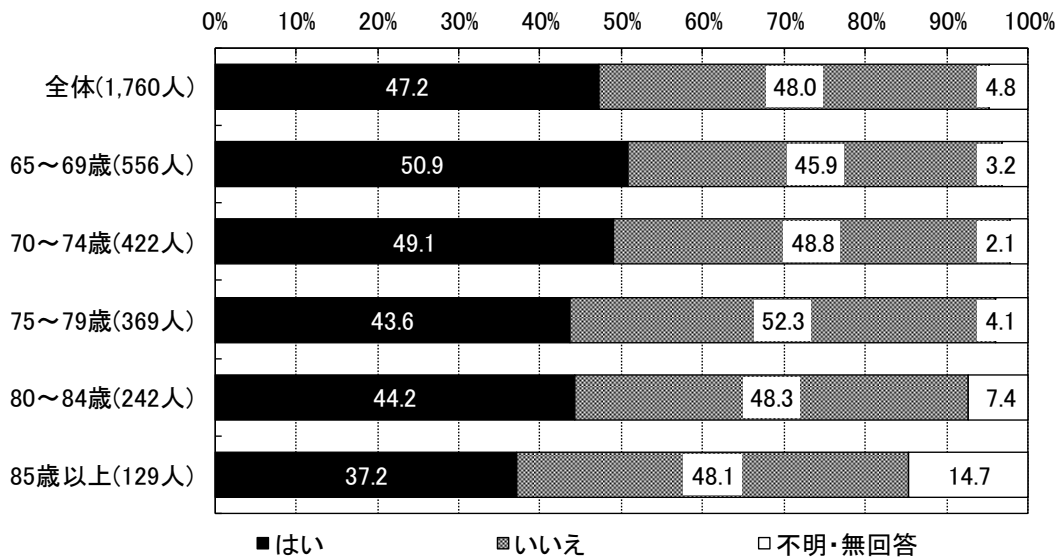


■ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,760)
 ■ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=609)

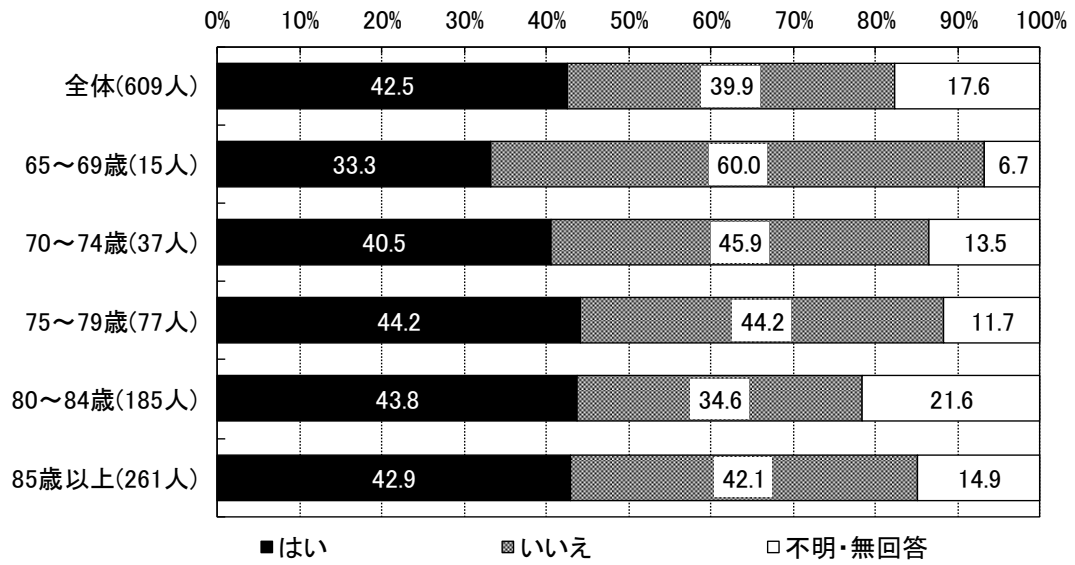
一般高齢者において、年齢別にみると、74歳以下では、「はい」が「いいえ」より上回っています。

要支援認定者において、年齢別にみると、65～79歳まで、「はい」が上昇する傾向にあります。

■ 年齢別（一般高齢者）



■年齢別（要支援認定者）

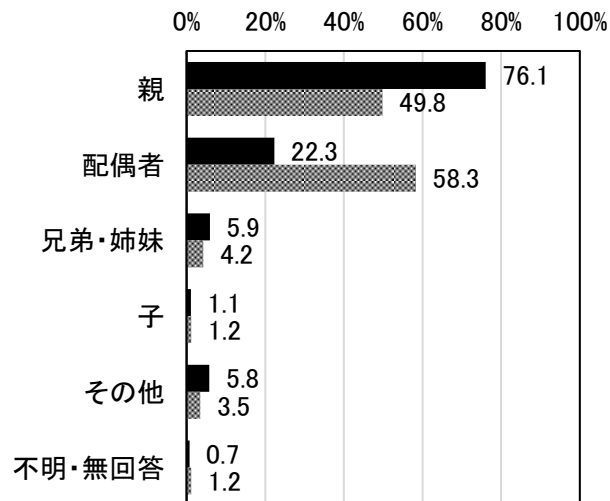


②誰の介護をしたか(現在している場合も含む)

(介護経験のある方)

一般高齢者は、「親」が76.1%で最も多く、次いで「配偶者」が22.3%、「兄弟・姉妹」が5.9%となっています。

要支援認定者は、「配偶者」が58.3%で最も多く、次いで「親」が49.8%、「兄弟・姉妹」が4.2%となっています。

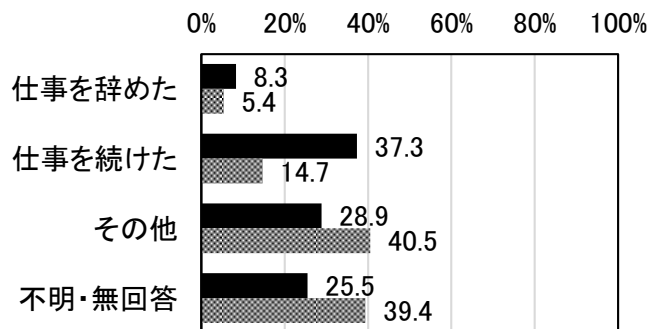


■介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=831)
 ※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=259)

③介護離職の状況

(介護経験のある方)

一般高齢者は、「仕事を続けた」が37.3%で最も多く、次いで「その他」が28.9%、「仕事を辞めた」が8.3%となっています。要支援認定者は、「その他」が40.5%で最も多く、次いで「仕事を続けた」が14.7%、「仕事を辞めた」が5.4%となっています。



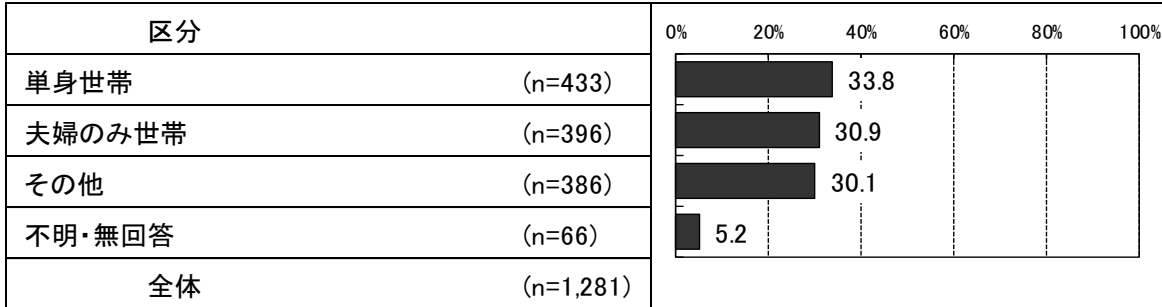
■介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=831)
 ※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=259)

2 在宅介護実態調査

A票（要支援・要介護認定者）

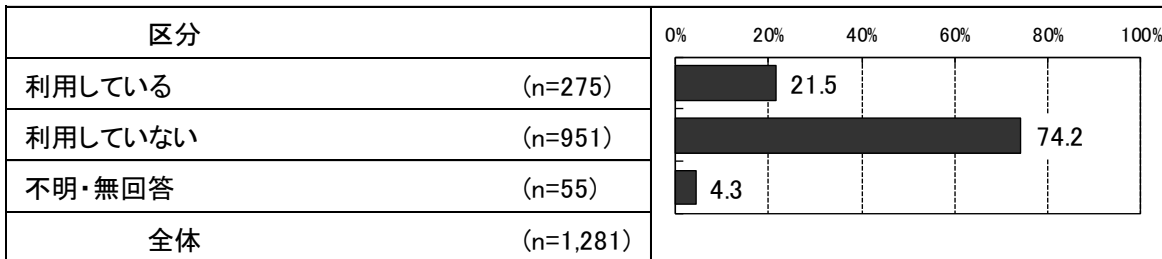
(1) 世帯類型

「単身世帯」が33.8%で最も多く、次いで「夫婦のみ世帯」が30.9%、「その他」が30.1%となっています。



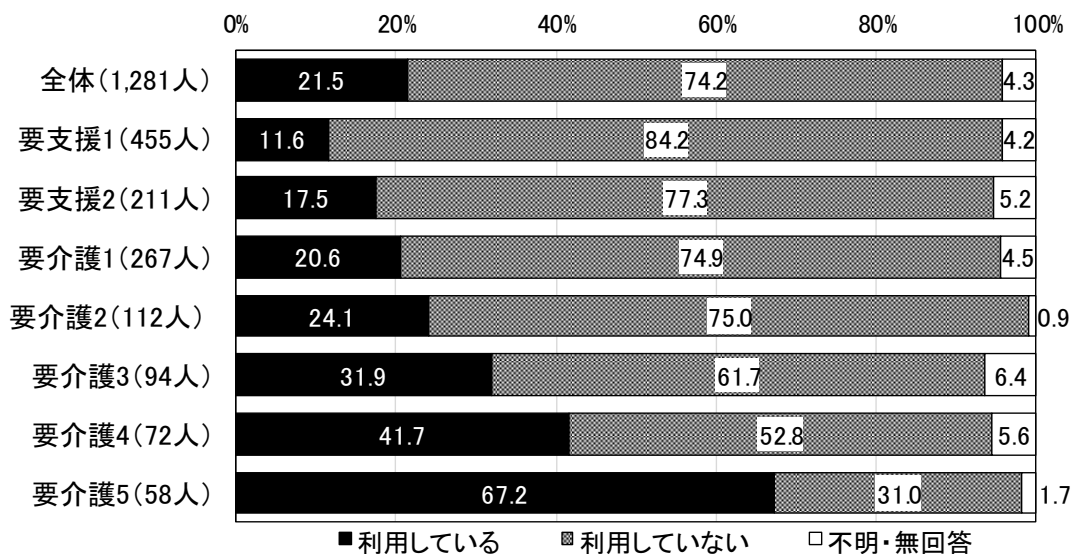
(2) 訪問診療の利用状況

「利用していない」が74.2%、「利用している」が21.5%となっています。



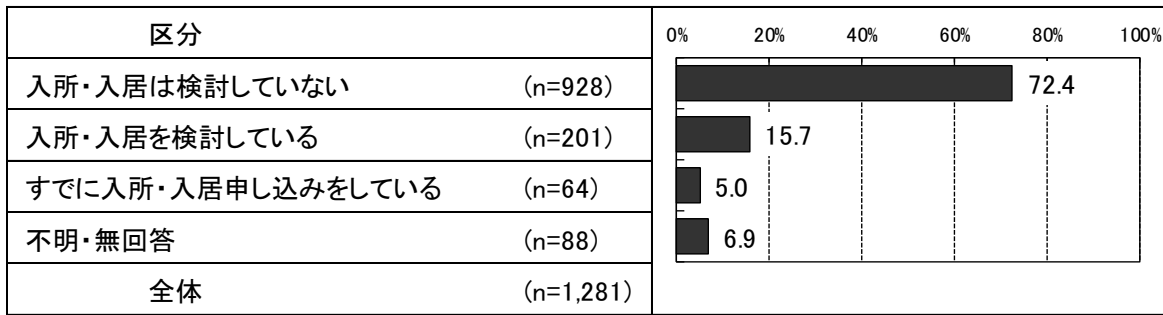
要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「利用している」が上昇する傾向にあります。

■年齢別（一般高齢者）



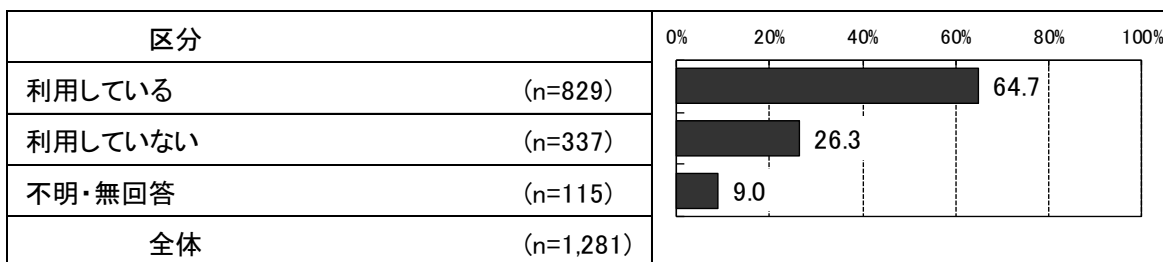
(3) 施設等への入所・入居の検討状況

「入所・入居は検討していない」が72.4%で最も多く、次いで「入所・入居を検討している」が15.7%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が5.0%となっています。



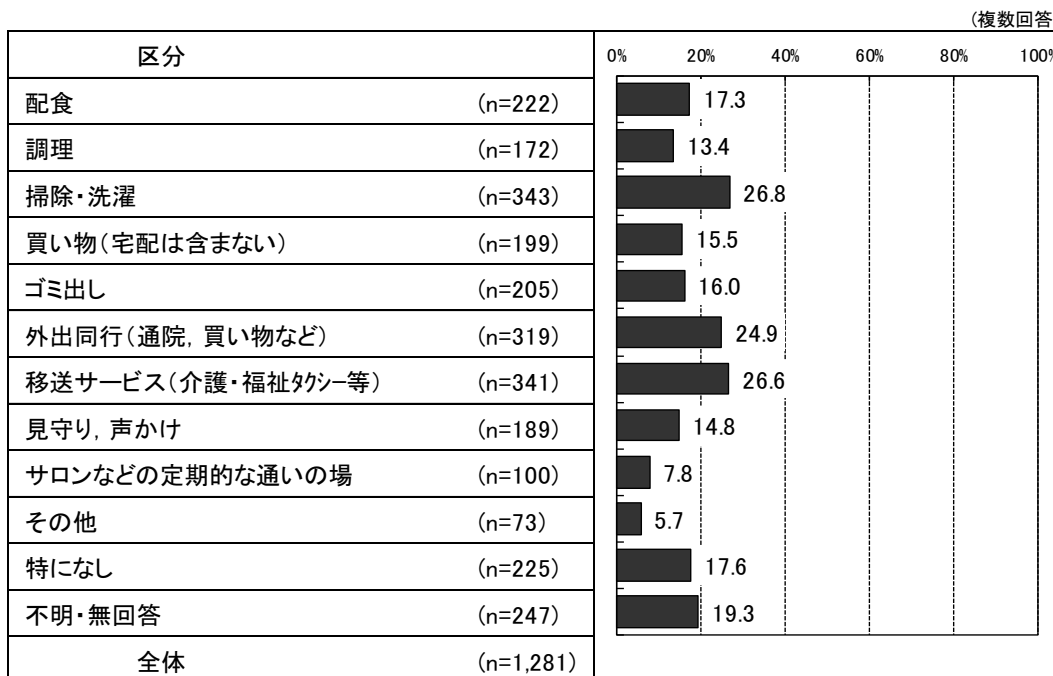
(4) 介護保険サービスの利用状況（住宅改修，福祉用具貸与・購入以外）

「利用している」が64.7%、「利用していない」が26.3%となっています。



(5) 在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス

「掃除・洗濯」が26.8%で最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が26.6%、「外出同行（通院，買い物など）」が24.9%となっています。



要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「掃除・洗濯」が低下し、「移送サービス」がおおむね上昇する傾向にあります。

■要介護度別

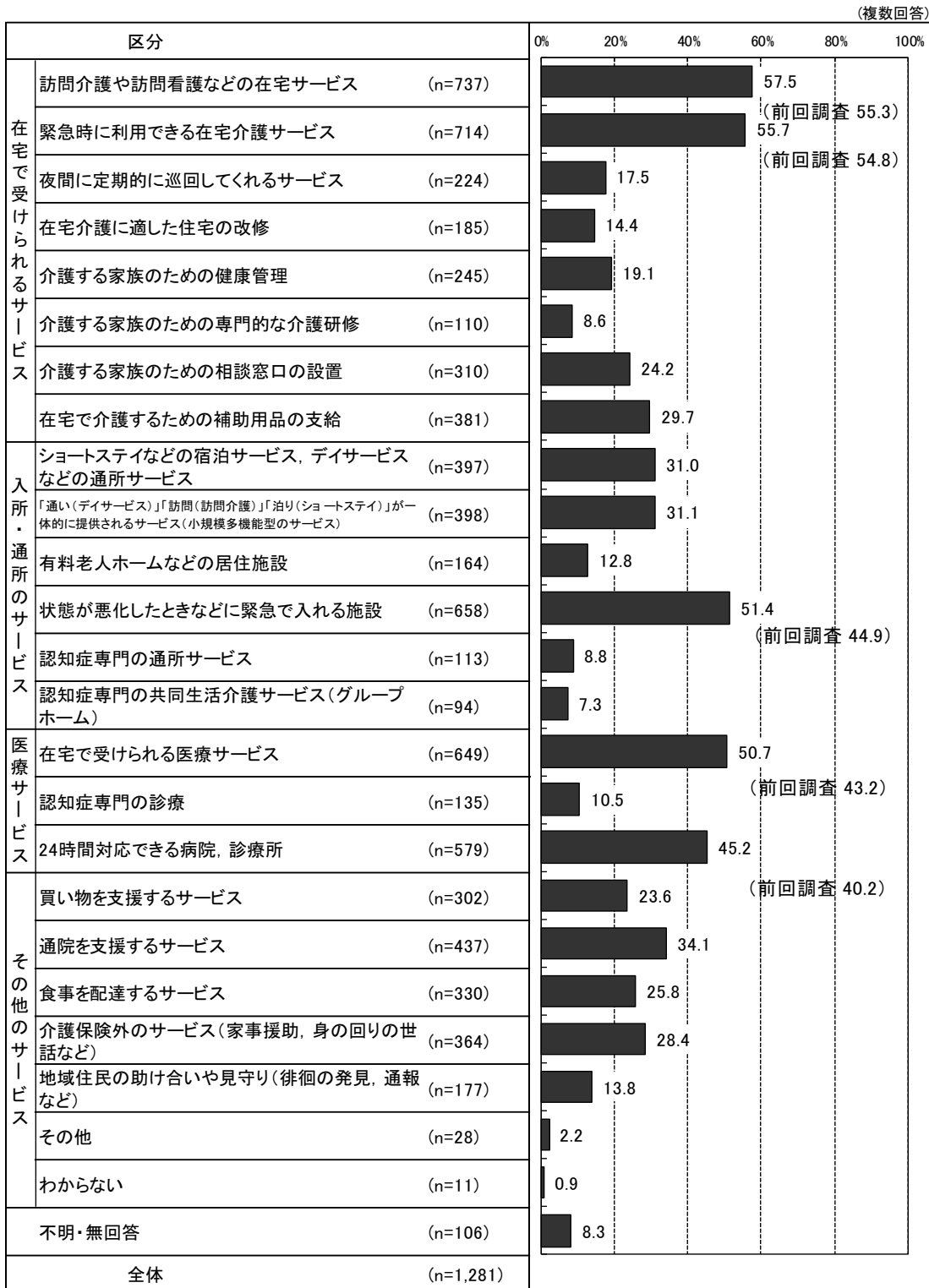
単位：%

	合計	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	不明・無回答
全体	1,281	17.3	13.4	26.8	15.5	16.0	24.9	26.6	14.8	7.8	5.7	17.6	19.3
要支援1	455	16.3	13.8	35.4	15.8	19.3	18.9	20.4	12.5	7.7	5.1	16.0	19.1
要支援2	211	16.1	16.6	28.0	18.5	20.4	29.4	24.2	9.5	8.1	4.3	17.1	22.7
要介護1	267	18.0	14.2	22.1	16.9	14.2	31.8	27.7	17.6	9.4	3.7	22.8	13.9
要介護2	112	28.6	14.3	22.3	16.1	15.2	33.0	29.5	18.8	6.3	12.5	13.4	21.4
要介護3	94	20.2	7.4	19.1	16.0	10.6	24.5	39.4	20.2	12.8	7.4	13.8	17.0
要介護4	72	8.3	9.7	13.9	5.6	6.9	19.4	40.3	18.1	1.4	4.2	20.8	26.4
要介護5	58	13.8	10.3	12.1	6.9	5.2	17.2	36.2	19.0	3.4	12.1	19.0	19.0

(6) 今後のサービス利用意向

「訪問介護や訪問看護などの在宅サービス」が57.5%で最も多く、次いで「緊急時に利用できる在宅介護サービス」が55.7%、「状態が悪化したときなどに緊急で入れる施設」が51.4%となっています。

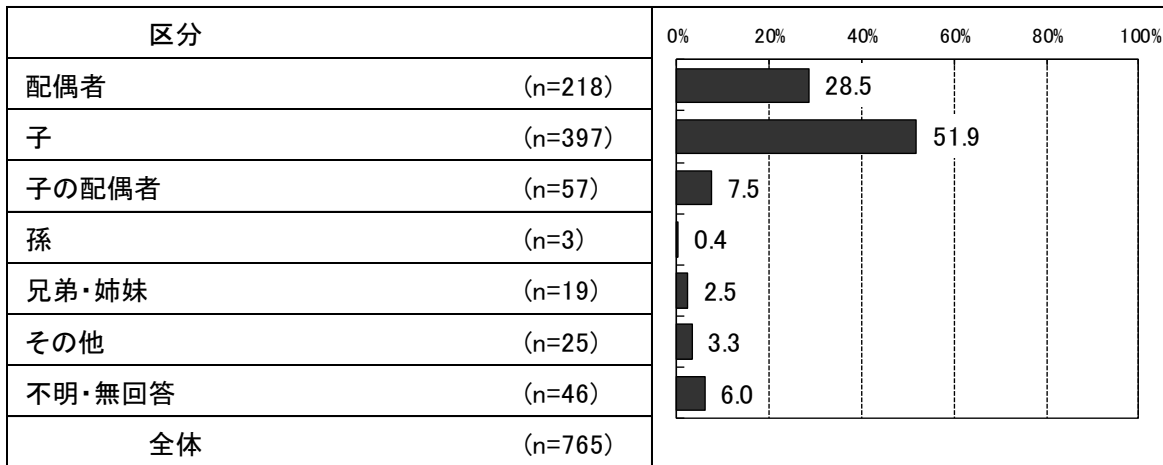
前回調査と上位5位を比較すると、サービス利用意向の状況は大きく変わっていません。



B票（介護者）

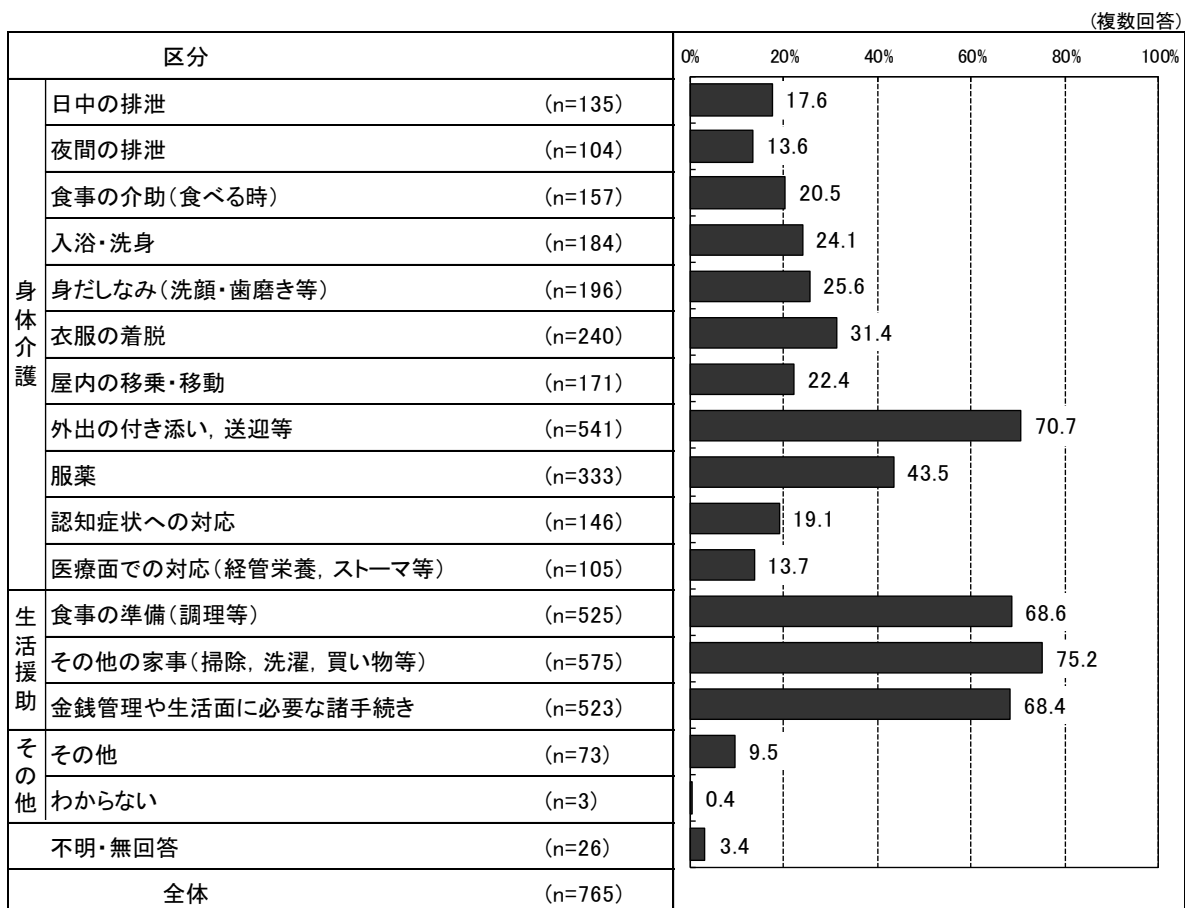
(1) 介護者の続柄

「子」が51.9%で最も多く、次いで「配偶者」が28.5%、「子の配偶者」が7.5%となっています。



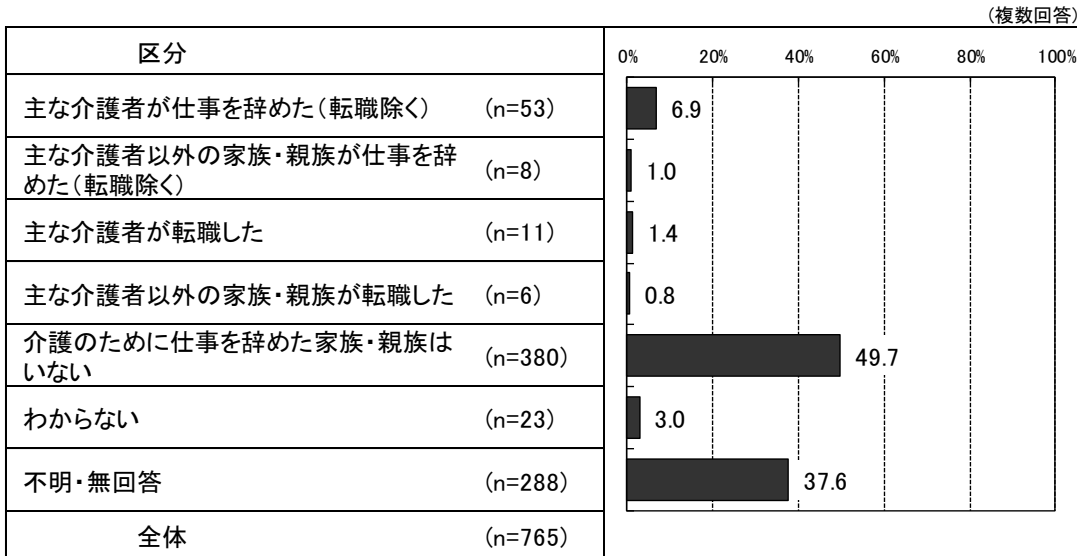
(2) 介護の内容

「その他の家事（掃除，洗濯，買い物等）」が75.2%で最も多く、次いで「外出の付き添い，送迎等」が70.7%、「食事の準備（調理等）」が68.6%となっています。



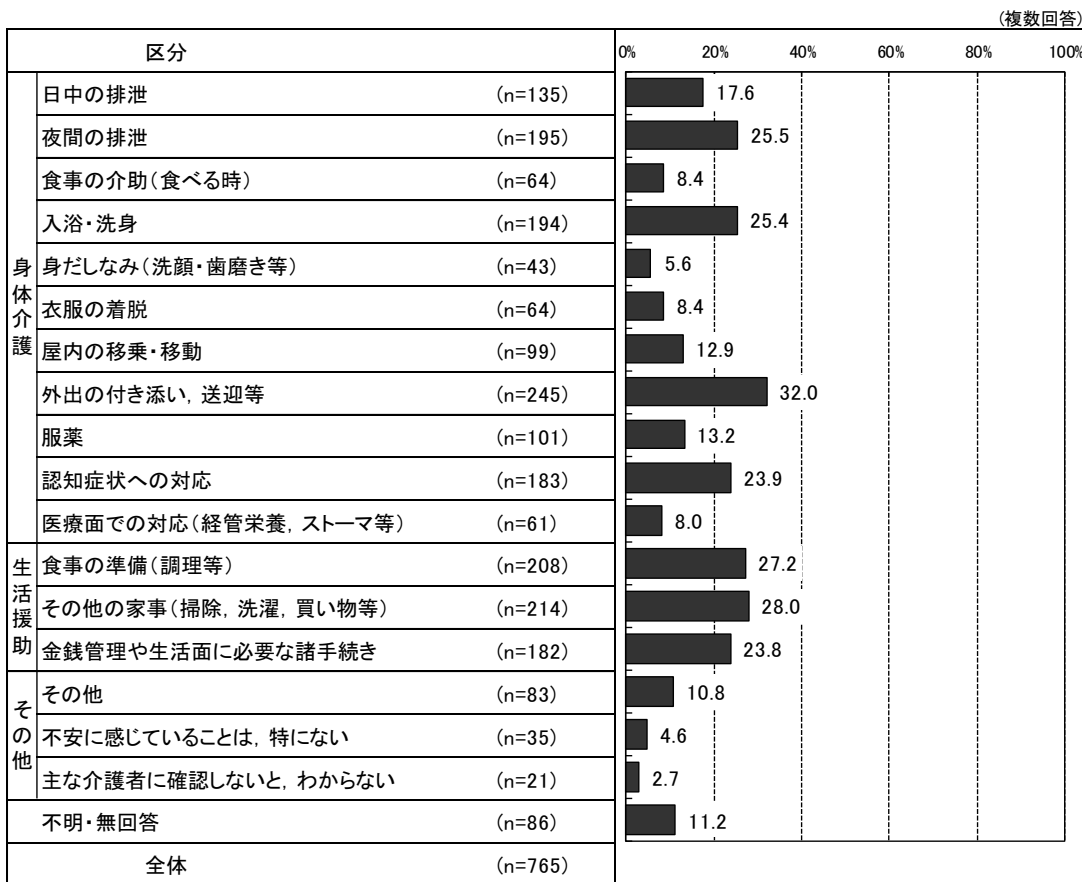
(3) 介護を理由とした離職状況（過去1年間）

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が49.7%で最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が6.9%、「わからない」が3.0%となっています。



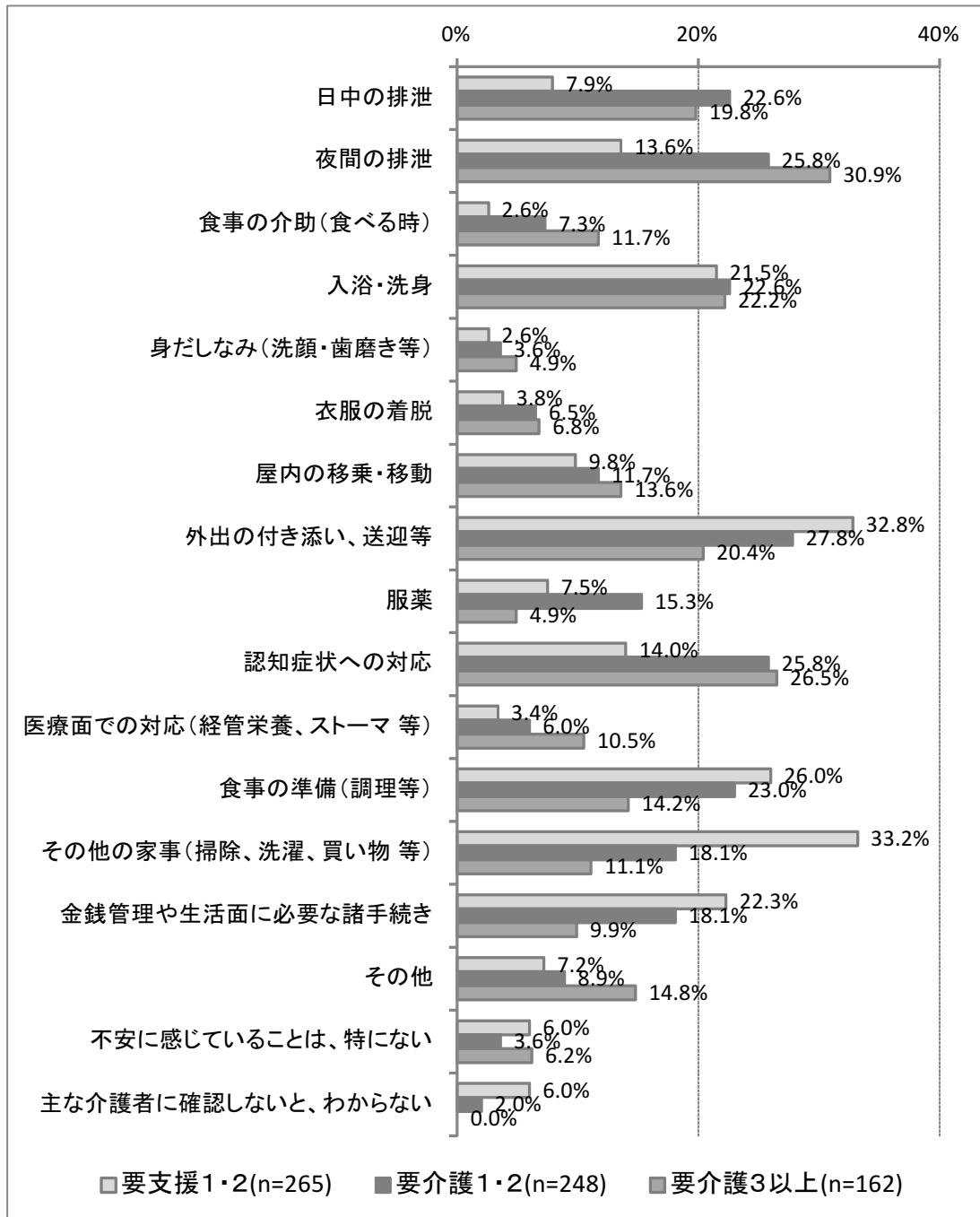
(4) 不安を感じる介護等

「外出の付き添い、送迎等」が32.0%で最も多く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が28.0%、「食事の準備（調理等）」が27.2%となっています。



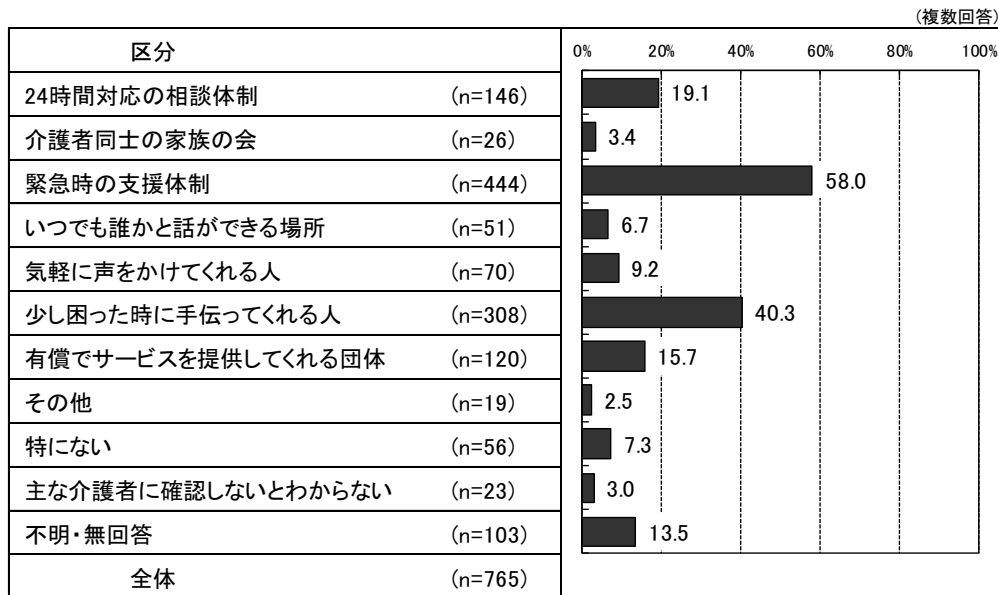
要支援1・2では「その他の家事（掃除，洗濯，買い物等）」（33.2%），要介護1・2では「外出の付き添い，送迎等」（27.8%），要介護3以上では「夜間の排泄」（30.9%）に係る介護者不安が大きくなっています。

■ 要介護度別



(5) 必要と感じる地域での支援

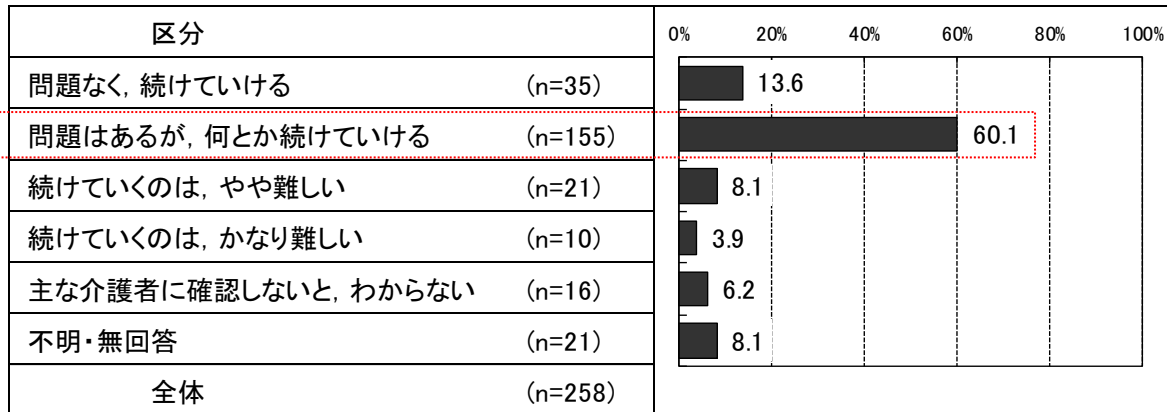
「フルタイム」または「パートタイム」で働いている方のうち「緊急時の支援体制」が 58.0%で最も多く、次いで「少し困った時に手伝ってくれる人」が 40.3%、「24 時間対応の相談体制」が 19.1%となっています。



(6) 今後の介護離職の可能性

（「フルタイム」または「パートタイム」で働いている方）

「問題はあるが、何とか続けていける」が60.1%で最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が13.6%、「続けていくのは、やや難しい」が8.1%となっています。



■ 詳細分析

「問題はあるが、何とか続けていける」を回答した人において、不安を感じる介護等をみると、「夜間の排泄」（36.1%）や「入浴・洗身」（31.6%）が多くなっています。「不安を感じる介護等」の全体の回答（P. 29, 下段）に比べ、「夜間の排泄」と「入浴・洗身」の回答割合が高まっています。

また、「問題はあるが、何とか続けていける」を回答した人において、必要と感じる地域での支援をみると、「緊急時の支援体制」（69.7%）、「少し困った時に手伝ってくれる人」（49.0%）、「24時間対応の相談体制」（27.1%）が多くなっています。「必要と感じる地域での支援」の全体の回答割合（P. 31, 上段）に比べ、上位3は変わりませんが、それぞれ回答割合が高まっています。

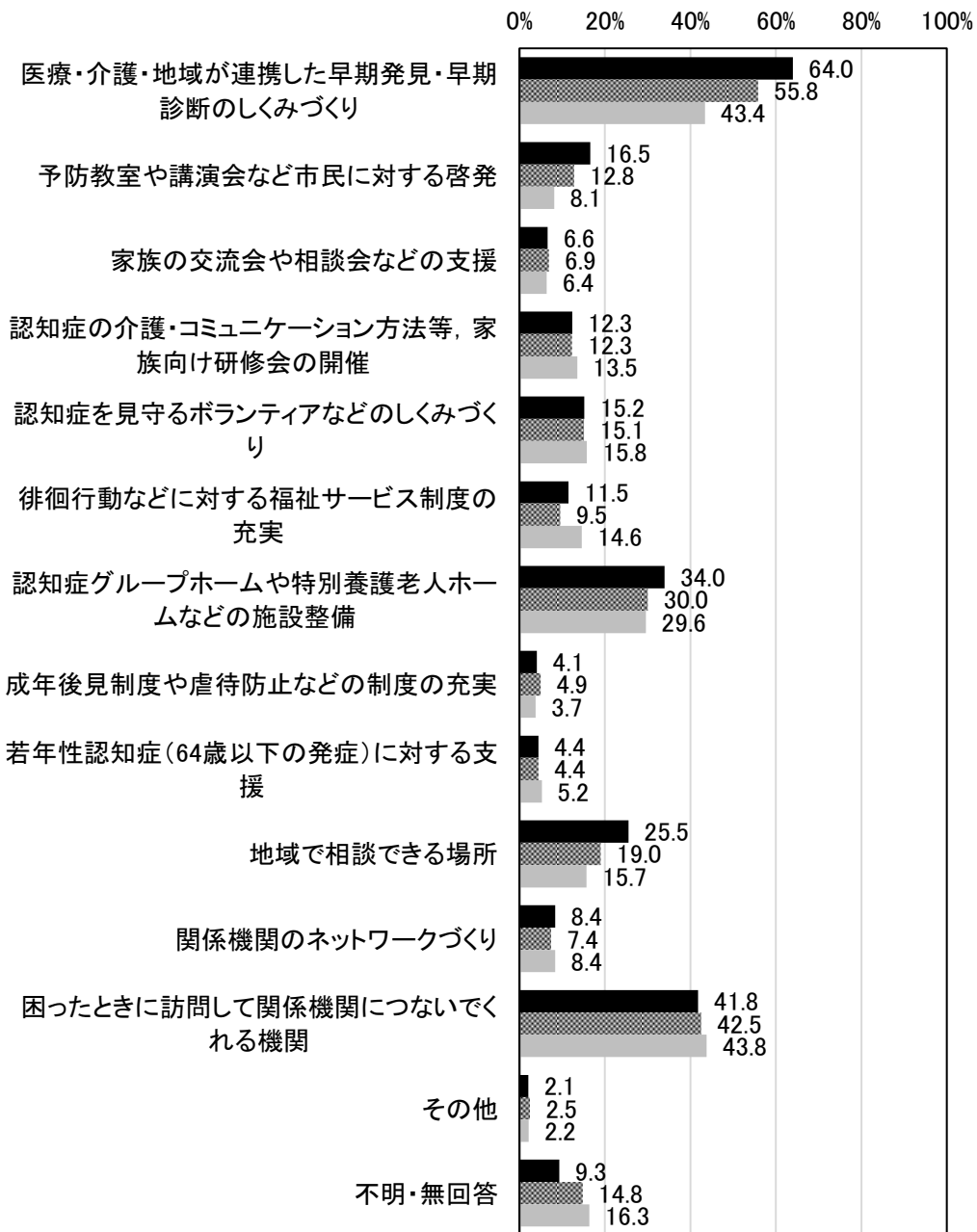
3 各調査における共通設問

(1) 認知症施策として、市が力を入れるべきこと

一般高齢者は、「医療・介護・地域が連携した早期発見・早期診断のしくみづくり」が 64.0%で最も多く、次いで「困ったときに訪問して関係機関につないでくれる機関」が 41.8%、「認知症グループホームや特別養護老人ホームなどの施設整備」が 34.0%となっています。

要支援認定者は、「医療・介護・地域が連携した早期発見・早期診断のしくみづくり」が 55.8%で最も多く、次いで「困ったときに訪問して関係機関につないでくれる機関」が 42.5%、「認知症グループホームや特別養護老人ホームなどの施設整備」が 30.0%となっています。

要支援・要介護認定者は、「困ったときに訪問して関係機関につないでくれる機関」が 43.8%で最も多く、次いで「医療・介護・地域が連携した早期発見・早期診断のしくみづくり」が 43.4%、「認知症グループホームや特別養護老人ホームなどの施設整備」が 29.6%となっています。



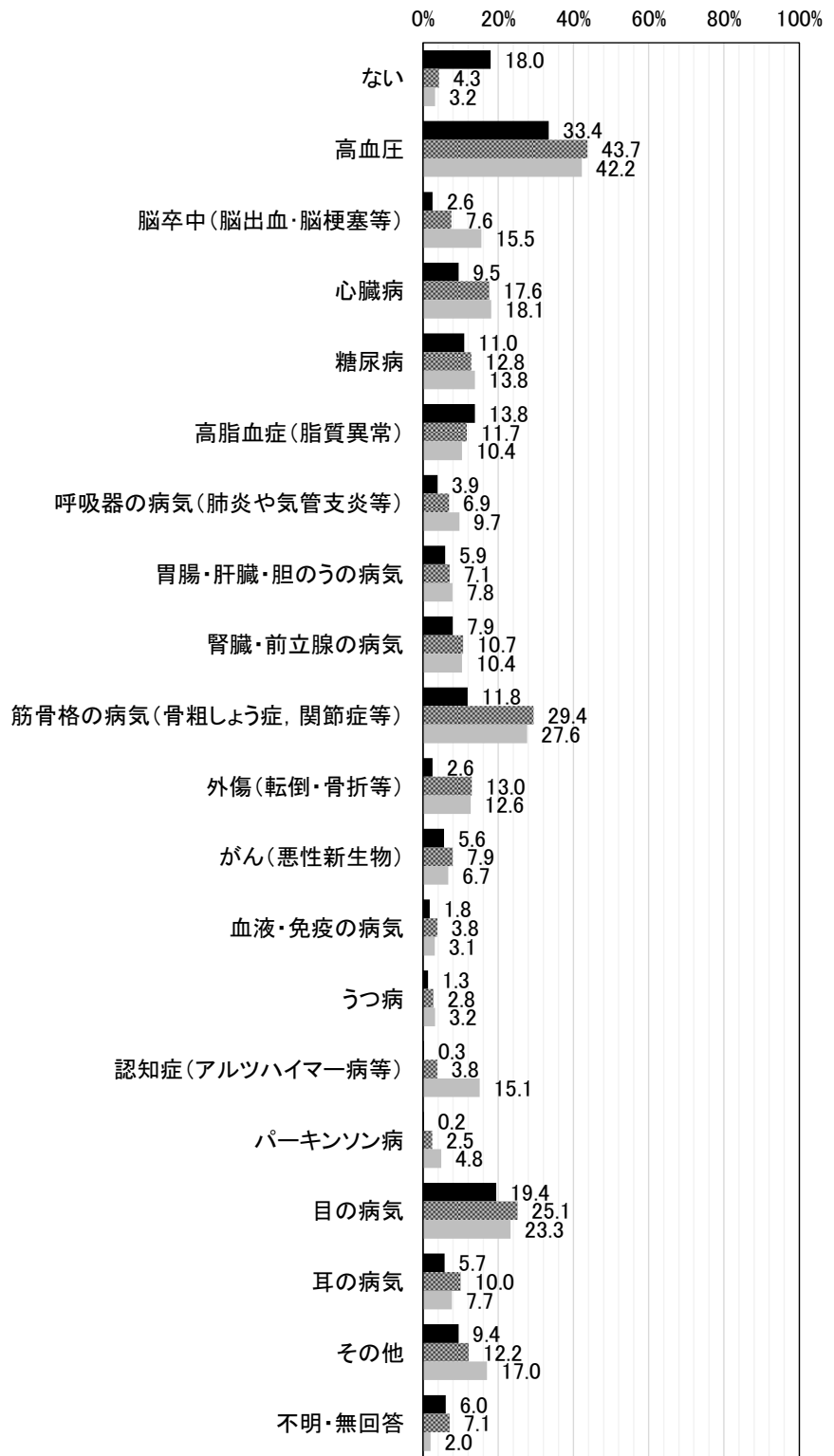
■ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,760)
 ■ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=609)
 ■ 在宅介護実態調査「要支援・要介護認定者」(n=1,281)

(2) 現在治療中、または後遺症のある病気

一般高齢者は、「高血圧」が33.4%で最も多く、次いで「目の病気」が19.4%、「ない」が18.0%となっています。

要支援認定者は、「高血圧」が43.7%で最も多く、次いで「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が29.4%、「目の病気」が25.1%となっています。

要支援・要介護認定者は、「高血圧」が42.2%で最も多く、次いで「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が27.6%、「目の病気」が23.3%となっています。



- 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,760)
- 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=609)
- 在宅介護実態調査「要支援・要介護認定者」(n=1,281)

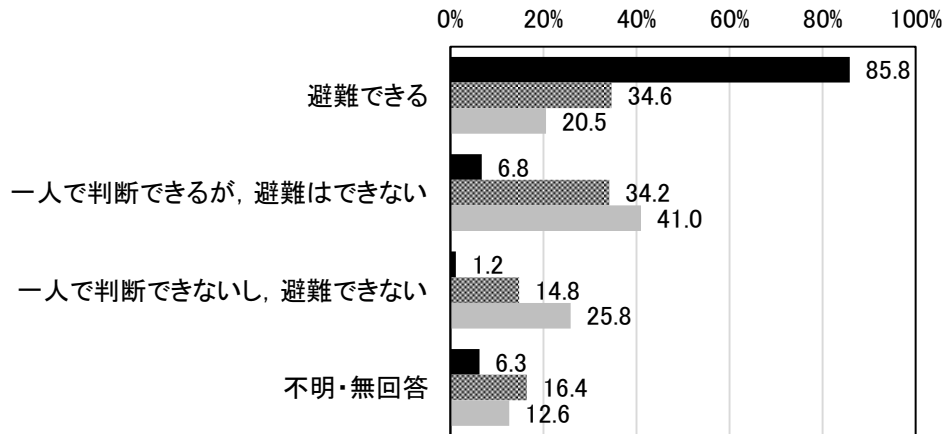
(3) 災害時や緊急時の対応

① 緊急時等の一人での避難

一般高齢者は、「避難できる」が85.8%で最も多く、次いで「一人で判断できるが、避難はできない」が6.8%、「一人で判断できないし、避難できない」が1.2%となっています。

要支援認定者は、「避難できる」が34.6%で最も多く、次いで「一人で判断できるが、避難はできない」が34.2%、「一人で判断できないし、避難できない」が14.8%となっています。

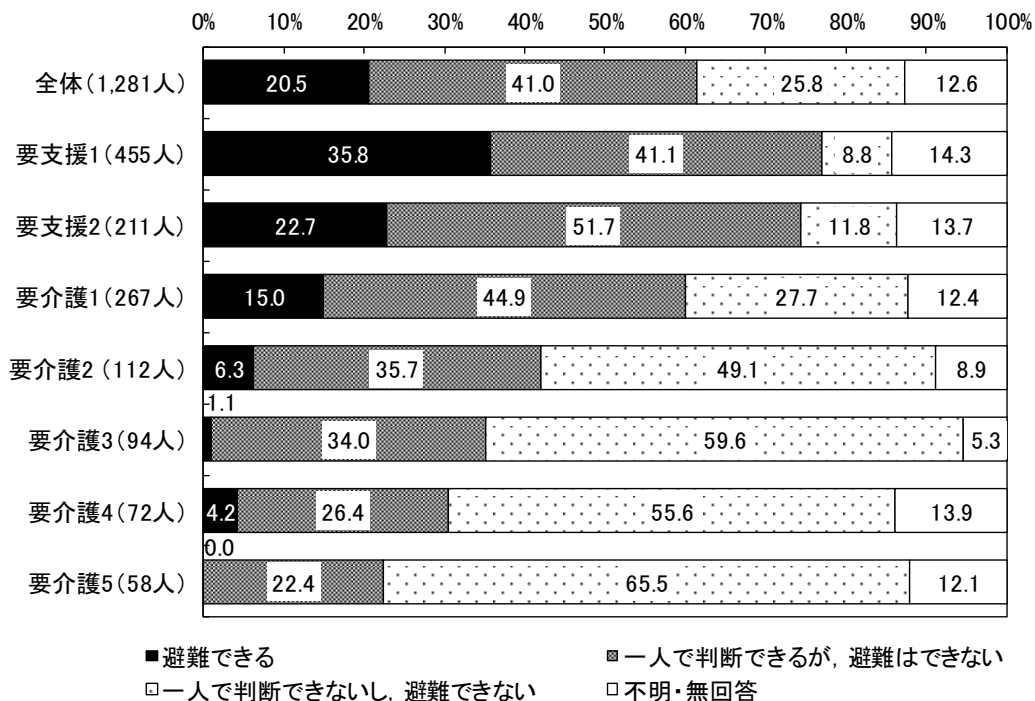
要支援・要介護認定者は、「一人で判断できるが、避難はできない」が41.0%で最も多く、次いで「一人で判断できないし、避難できない」が25.8%、「避難できる」が20.5%となっています。



- 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,760)
- ▨ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=609)
- ▩ 在宅介護実態調査「要支援・要介護認定者」(n=1,281)

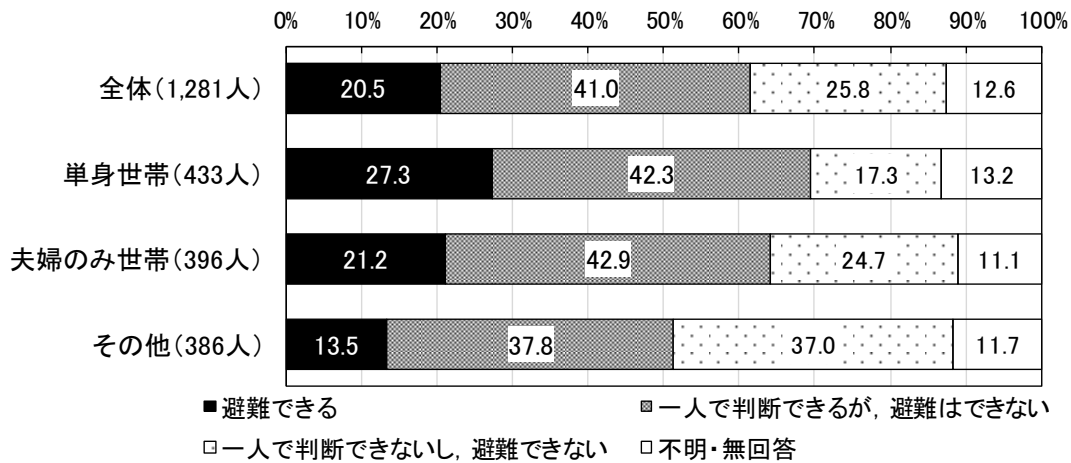
要支援・要介護認定者において、要介護度別にみると、要介護度が上がるほど避難できない人（「一人で判断できるが、避難はできない」と「一人で判断できないし、避難できない」との合計）は、おおむね増える傾向にあります。

■ 要介護度別（要支援・要介護認定者）



■家族構成別（要支援・要介護認定者）

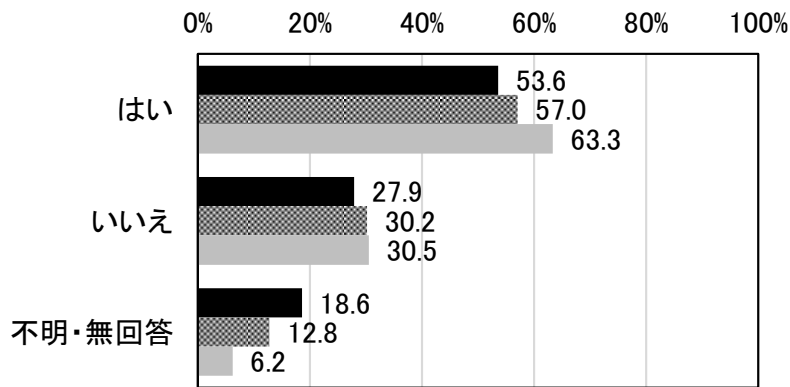
要支援・要介護認定者において、家族構成別にみると、単身世帯では、避難できない人（「一人で判断できるが、避難はできない」と「一人で判断できないし、避難できない」との合計）は59.6%、夫婦のみ世帯では67.7%となっています。



②緊急時等の手助けを頼める人の有無

（緊急時に一人で避難できない方）

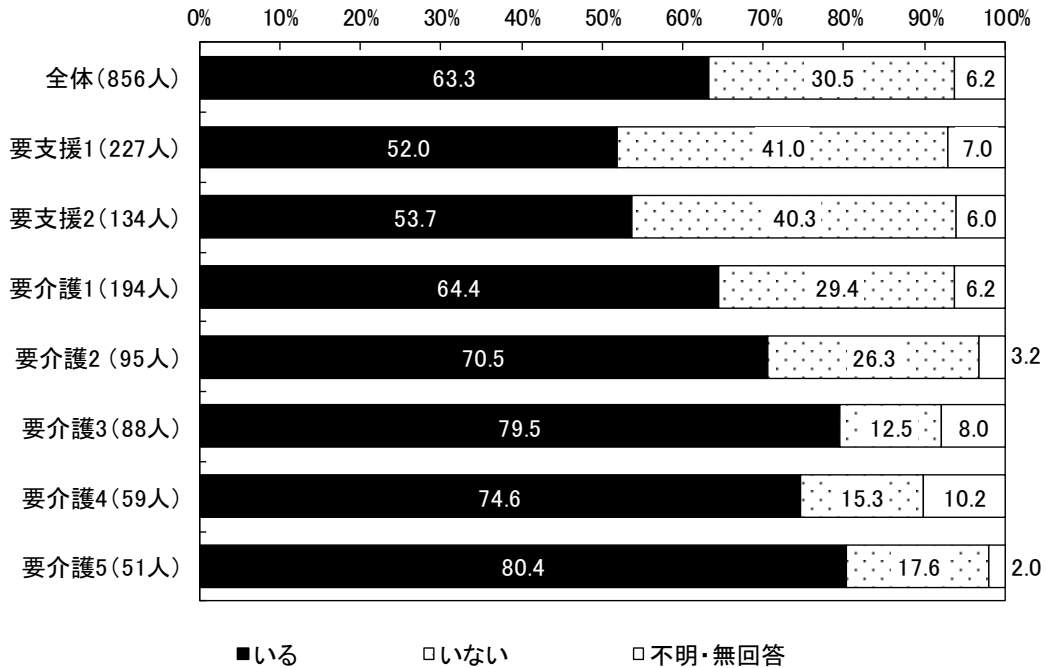
一般高齢者は、「はい」（いる）が53.6%、「いいえ」が27.9%となっています。
 要支援認定者は、「はい」（いる）が57.0%、「いいえ」が30.2%となっています。
 要支援・要介護認定者は、「いる」が63.3%、「いない」が30.5%となっています。



- 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=140)
- 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=298)
- 在宅介護実態調査「要支援・要介護認定者」(n=856)

要支援・要介護認定者において、要介護度別にみると、要介護度が上がるほど緊急時等の手助けを頼める人がいない人は、おおむね減る傾向にあります。

■要介護度別（要支援・要介護認定者）



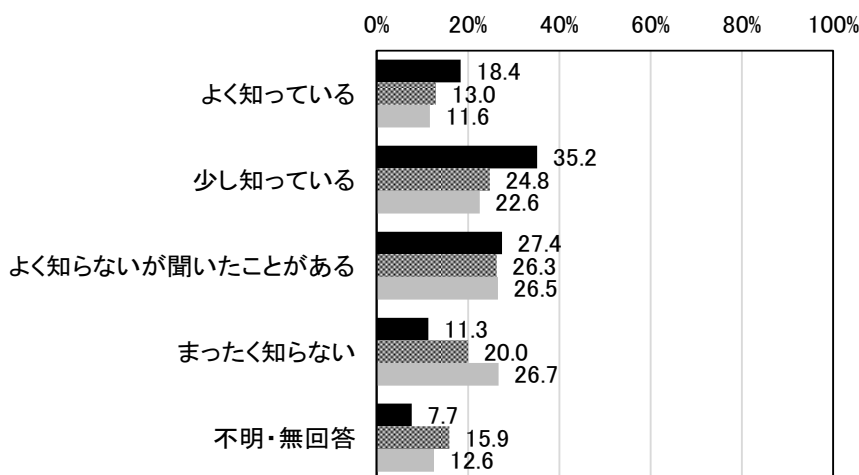
(4) 権利擁護の取り組みについて

① 成年後見人制度の認知状況

一般高齢者は、「少し知っている」が35.2%で最も多く、次いで「よく知らないが聞いたことがある」が27.4%、「よく知っている」が18.4%となっています。

要支援認定者は、「よく知らないが聞いたことがある」が26.3%で最も多く、次いで「少し知っている」が24.8%、「まったく知らない」が20.0%となっています。

要支援・要介護認定者は、「まったく知らない」が26.7%で最も多く、次いで「よく知らないが聞いたことがある」が26.5%、「少し知っている」が22.6%となっています。



- 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,760)
- ※ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=609)
- 在宅介護実態調査「要支援・要介護認定者」(n=1,281)

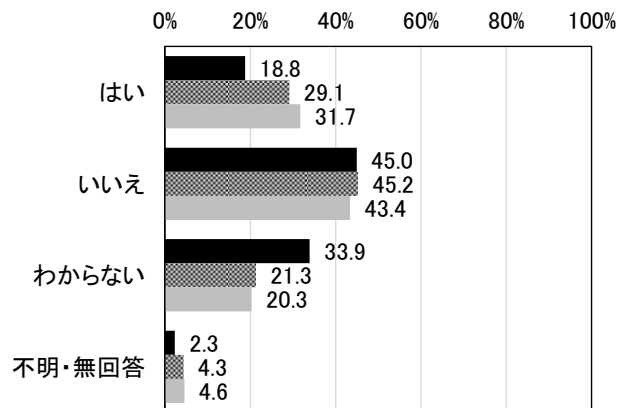
②成年後見人制度の利用意向

(成年後見制度を知っている方)

一般高齢者は、「いいえ」(したくない)が45.0%で最も多く、次いで「わからない」が33.9%、「はい」が18.8%となっています。

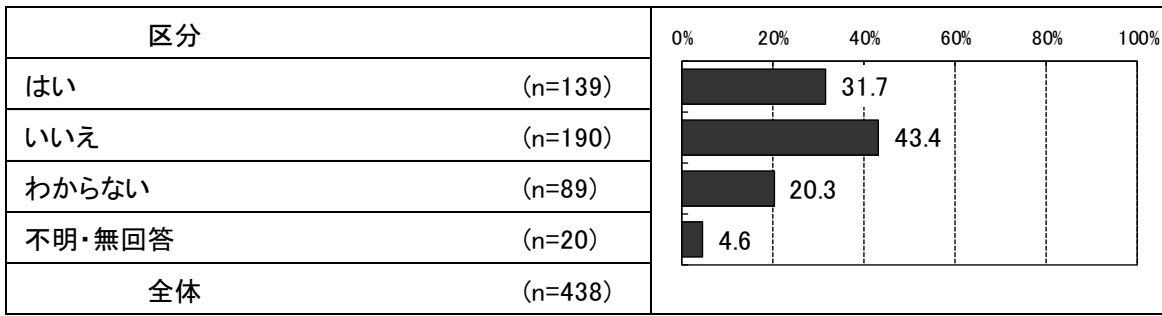
要支援認定者は、「いいえ」(したくない)が45.2%で最も多く、次いで「はい」が29.1%、「わからない」が21.3%となっています。

要支援・要介護認定者は、「いいえ」(したくない)が43.4%で最も多く、次いで「はい」が31.7%、「わからない」が20.3%となっています。

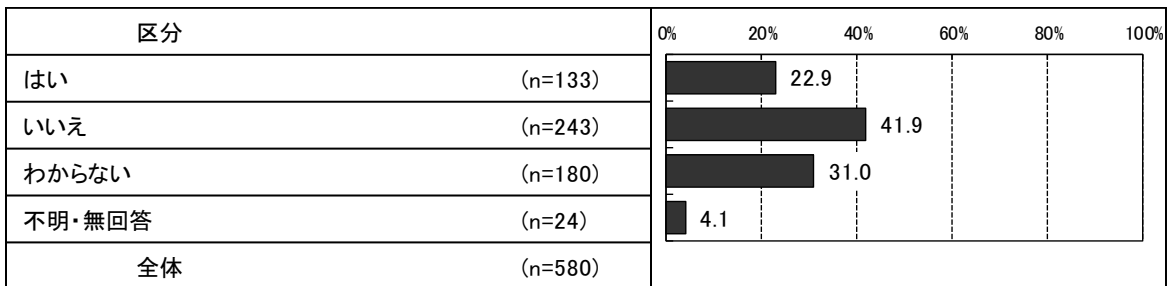


- 介護予防・日常生活圏ニーズ調査「一般高齢者」(n=943)
- ▣ 介護予防・日常生活圏ニーズ調査「要支援認定者」(n=230)
- ▨ 在宅介護実態調査「要支援・要介護認定者」(n=438)

要支援・要介護認定者について、前回調査（平成 26 年実施）と比較すると、前回調査では、「わからない」が「はい」を上回っていましたが、本調査では逆転し、「はい」が「わからない」を上回っています。成年後見制度の利用意向が増加したといえます。



■ 前回調査（平成 26 年実施）

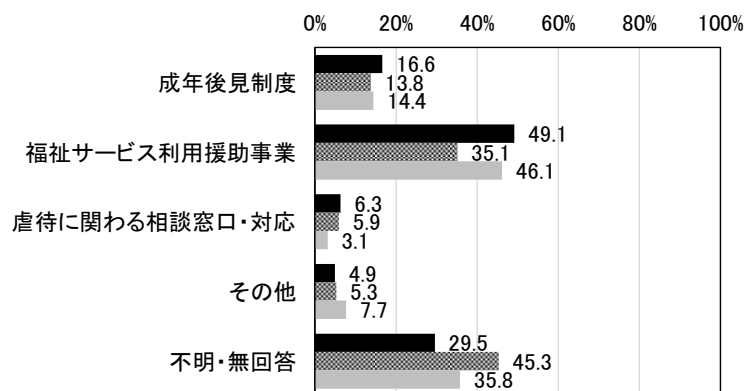


(5) 高齢者の権利擁護について知りたいこと

一般高齢者は、「福祉サービス利用援助事業」が 49.1%で最も多く、次いで「成年後見制度」が 16.6%、「虐待に関わる相談窓口・対応」が 6.3%となっています。

要支援認定者は、「福祉サービス利用援助事業」が 35.1%で最も多く、次いで「成年後見制度」が 13.8%、「虐待に関わる相談窓口・対応」が 5.9%となっています。

要支援・要介護認定者は、「福祉サービス利用援助事業」が 46.1%で最も多く、次いで「成年後見制度」が 14.4%、「その他」が 7.7%となっています。



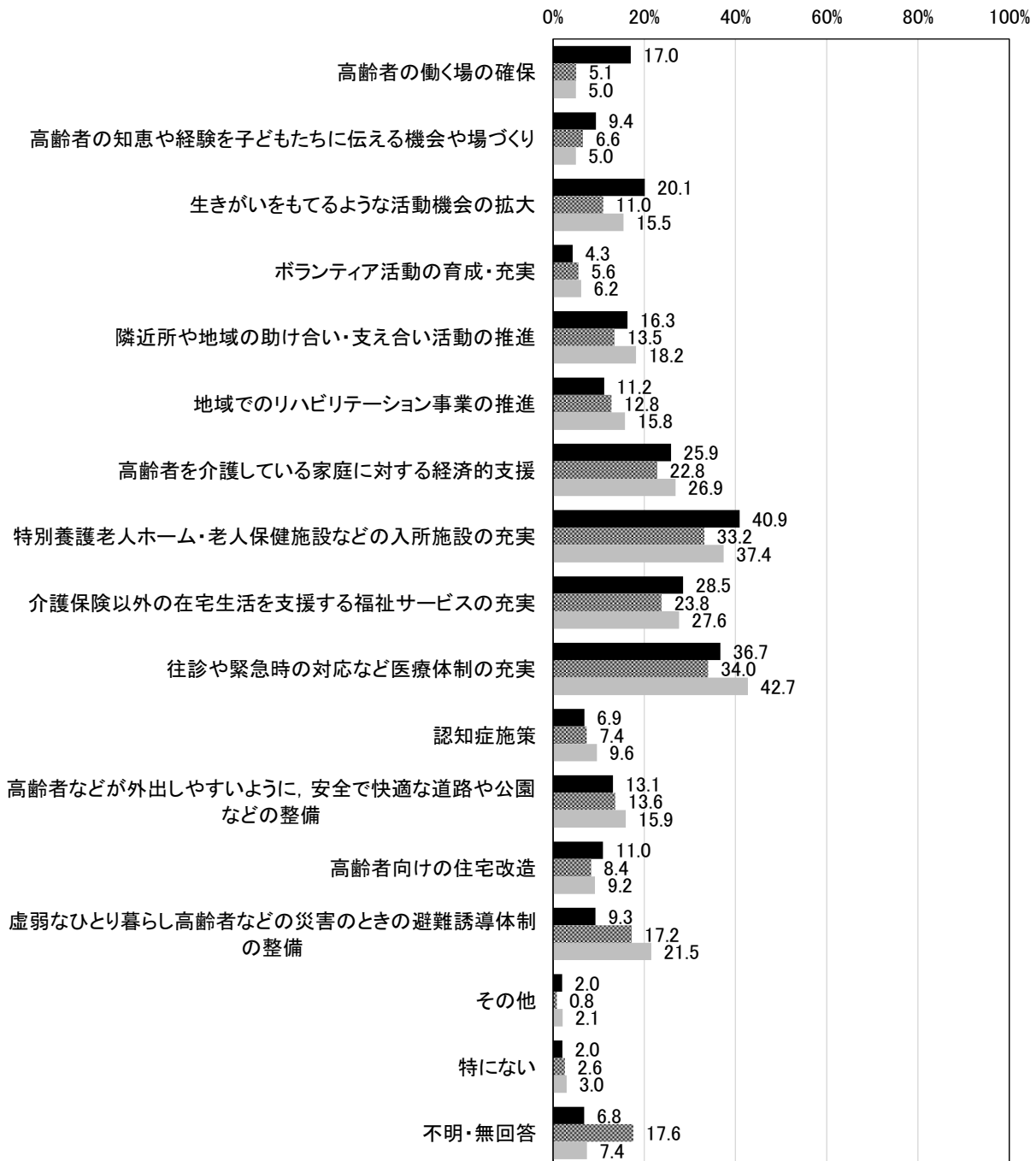
- 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,760)
- ※ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=609)
- 在宅介護実態調査「要支援・要介護認定者」(n=1,281)

(6) 高齢化施策として、市が力を入れるべきこと

一般高齢者は、「特別養護老人ホーム・老人保健施設などの入所施設の充実」が40.9%で最も多く、次いで「往診や緊急時の対応など医療体制の充実」が36.7%、「介護保険以外の在宅生活を支援する福祉サービスの充実」が28.5%となっています。

要支援認定者は、「往診や緊急時の対応など医療体制の充実」が34.0%で最も多く、次いで「特別養護老人ホーム・老人保健施設などの入所施設の充実」が33.2%、「介護保険以外の在宅生活を支援する福祉サービスの充実」が23.8%となっています。

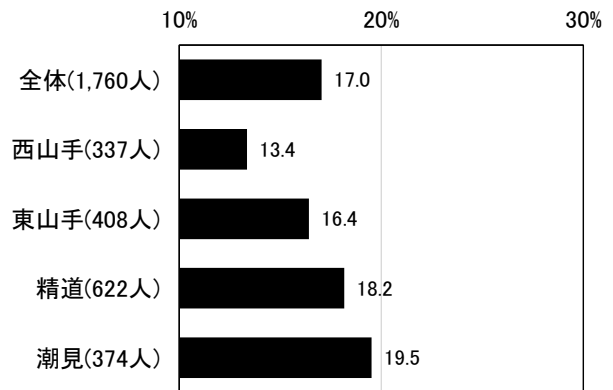
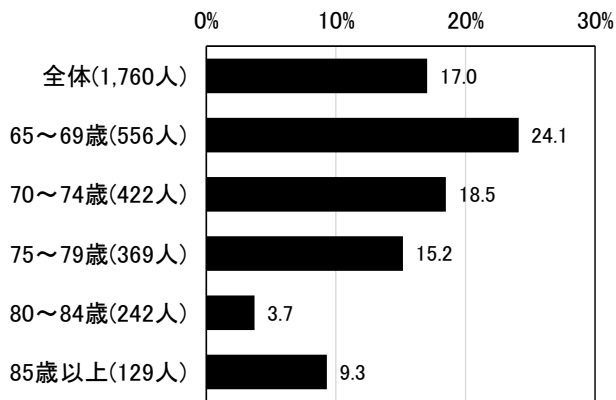
要支援・要介護認定者は、「往診や緊急時の対応など医療体制の充実」が42.7%で最も多く、次いで「特別養護老人ホーム・老人保健施設などの入所施設の充実」が37.4%、「介護保険以外の在宅生活を支援する福祉サービスの充実」が27.6%となっています。



■ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,760)
 ※ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=609)
 ■ 在宅介護実態調査「要支援・要介護認定者」(n=1,281)

高齢社会への対応として市が力を入れるべきこととして、「高齢者の働く場の確保」と回答した人を一般高齢者調査について年齢別にみると、65～69歳の割合が高く、労働意欲が高いことがうかがわれます。地域別にみると、潮見が最も多くなっています。

■ 年齢別，地域別（一般高齢者）

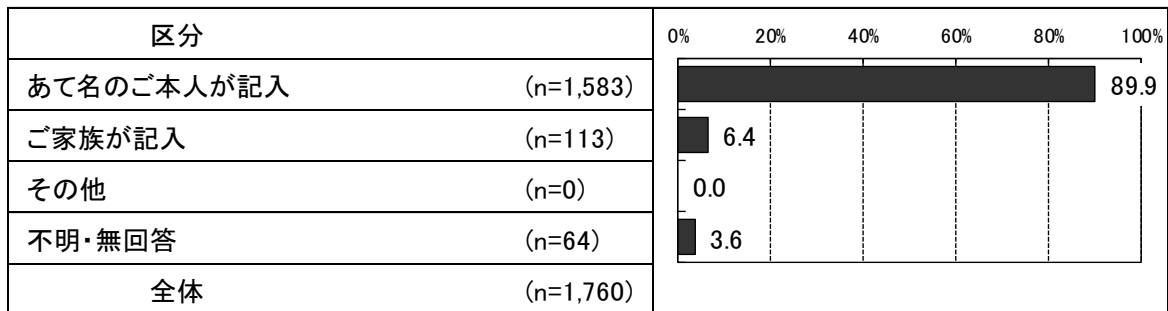


Ⅲ 調査の集計結果（単純集計）

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（一般高齢者）

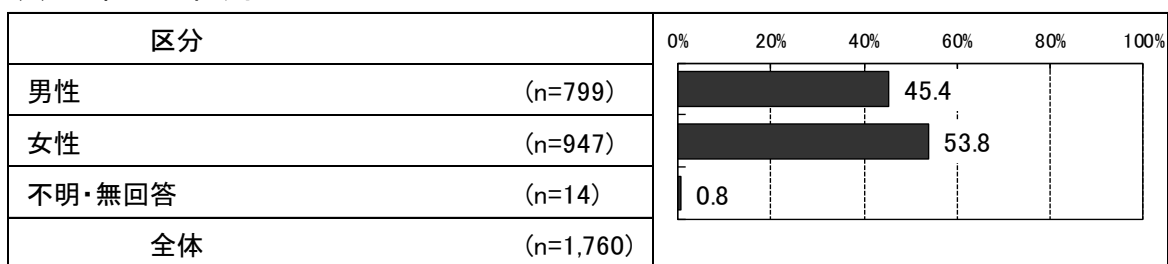
基礎情報について

(1) 記入者



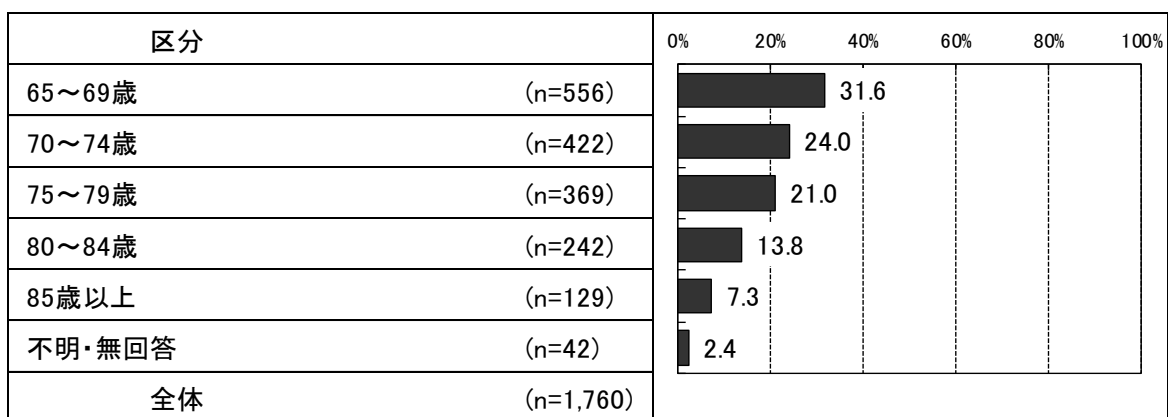
「あて名のご本人が記入」が 89.9%で最も多く、次いで「ご家族が記入」が 6.4%となっています。

(2) ご本人の性別



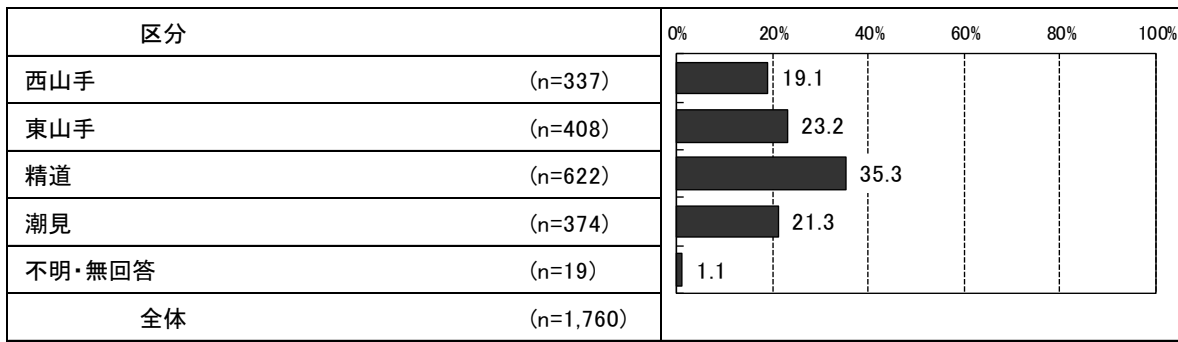
「女性」が 53.8%、「男性」が 45.4%となっています。

(3) ご本人の年齢



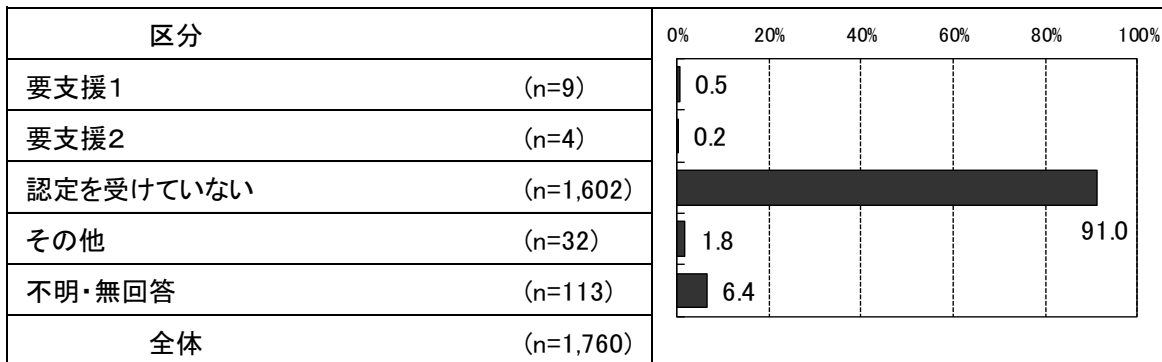
「65～69歳」が 31.6%で最も多く、次いで「70～74歳」が 24.0%、「75～79歳」が 21.0%となっています。平均は 74.1歳となっています。

(4) 住んでいる所



「精道」が 35.3%で最も多く、次いで「東山手」が 23.2%、「潮見」が 21.3%となっています。

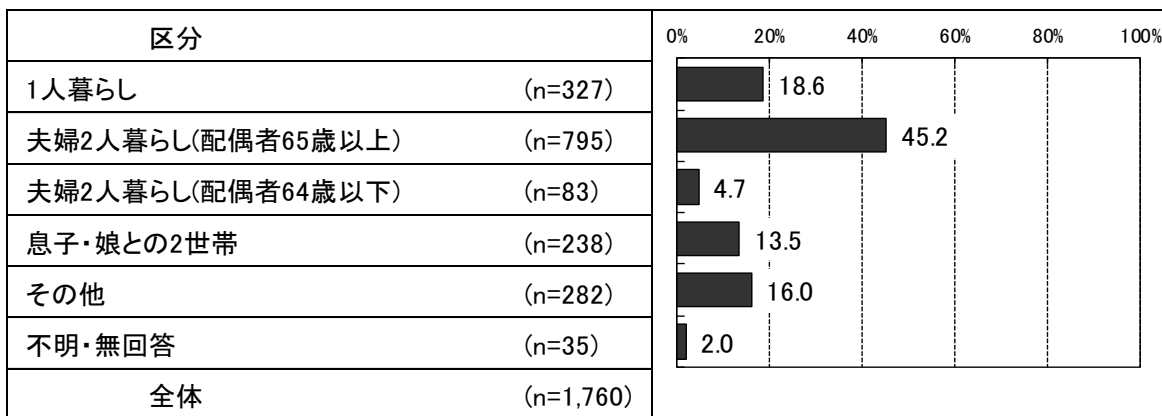
(5) 要介護認定状況



「認定を受けていない」が 91.0%で最も多く、次いで「その他」が 1.8%、「要支援1」が 0.5%となっています。

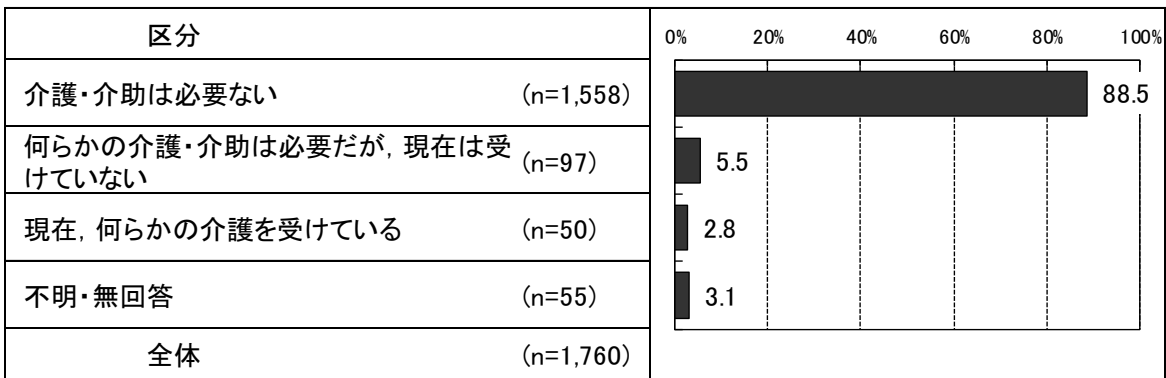
問1 あなた（あて名のご本人）のご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください



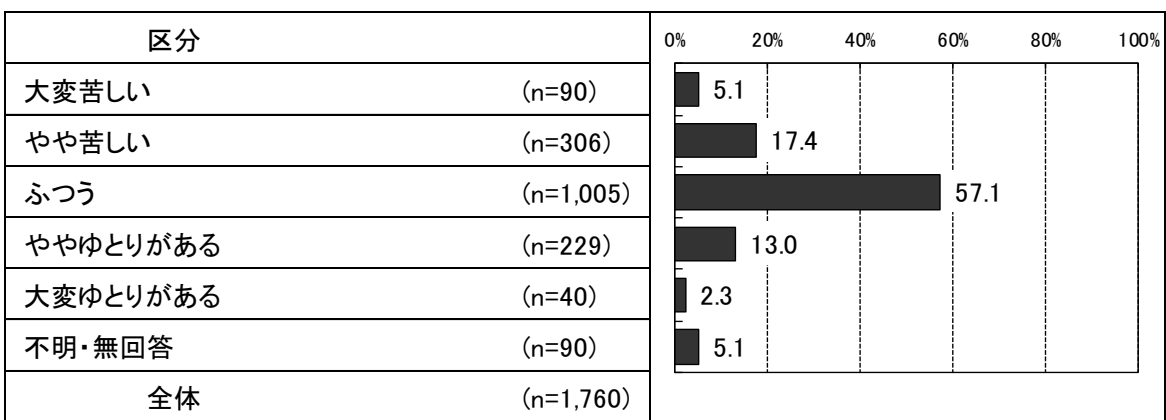
「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が 45.2%で最も多く、次いで「1人暮らし」が 18.6%、「その他」が 16.0%となっています。

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか



「介護・介助は必要ない」が88.5%で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が5.5%、「現在、何らかの介護を受けている」が2.8%となっています。

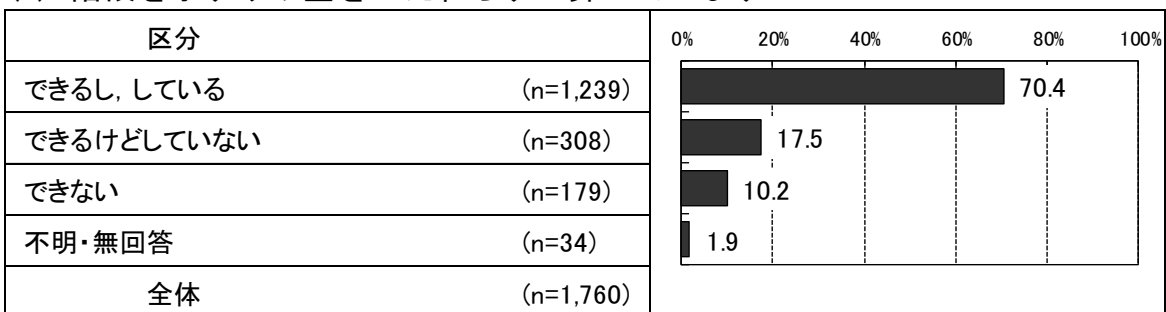
(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか



「ふつう」が57.1%で最も多く、次いで「やや苦しい」が17.4%、「ややゆとりがある」が13.0%となっています。

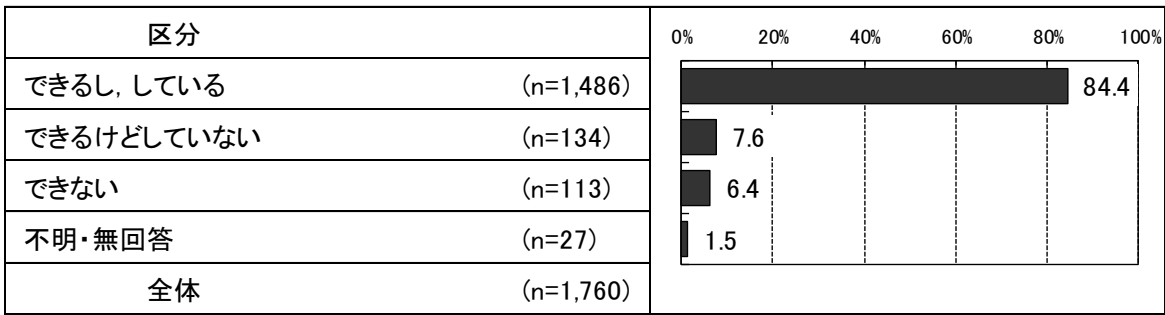
問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか



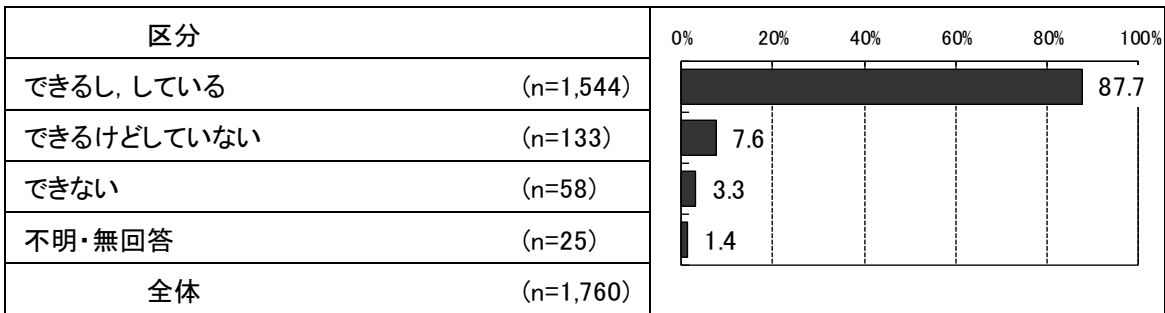
「できるし、している」が70.4%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が17.5%、「できない」が10.2%となっています。

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか



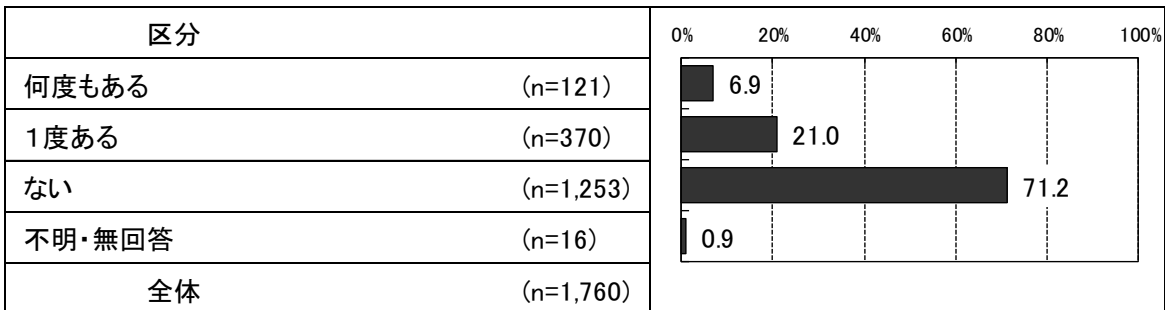
「できるし、している」が84.4%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が7.6%、「できない」が6.4%となっています。

(3) 15分位続けて歩いていますか



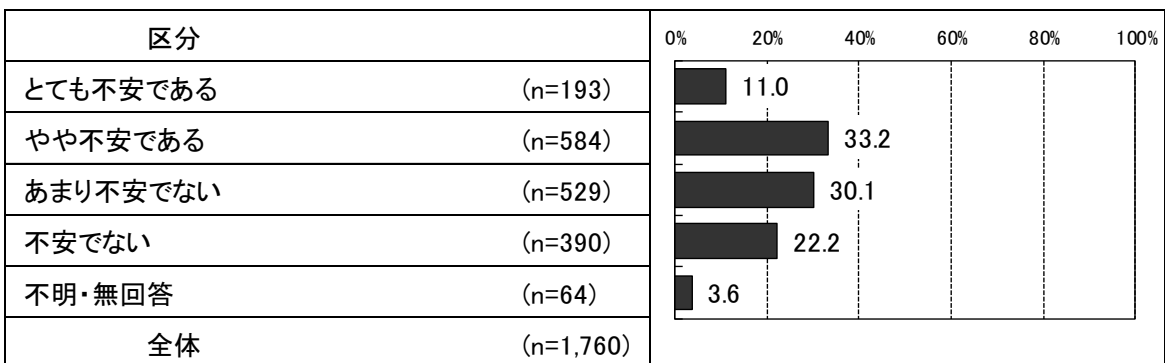
「できるし、している」が87.7%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が7.6%、「できない」が3.3%となっています。

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか



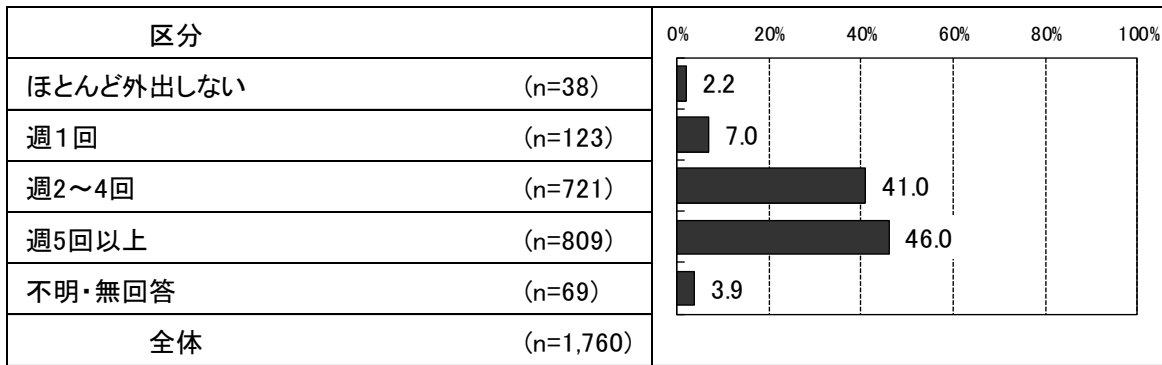
「ない」が71.2%で最も多く、次いで「1度ある」が21.0%、「何度もある」が6.9%となっています。

(5) 転倒に対する不安は大きいですか



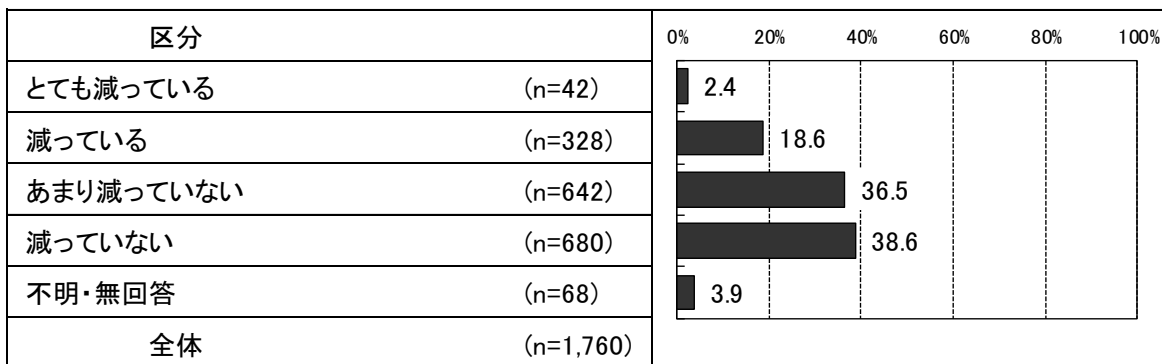
「やや不安である」が33.2%で最も多く、次いで「あまり不安でない」が30.1%、「不安でない」が22.2%となっています。

(6) 週に1回以上は外出していますか



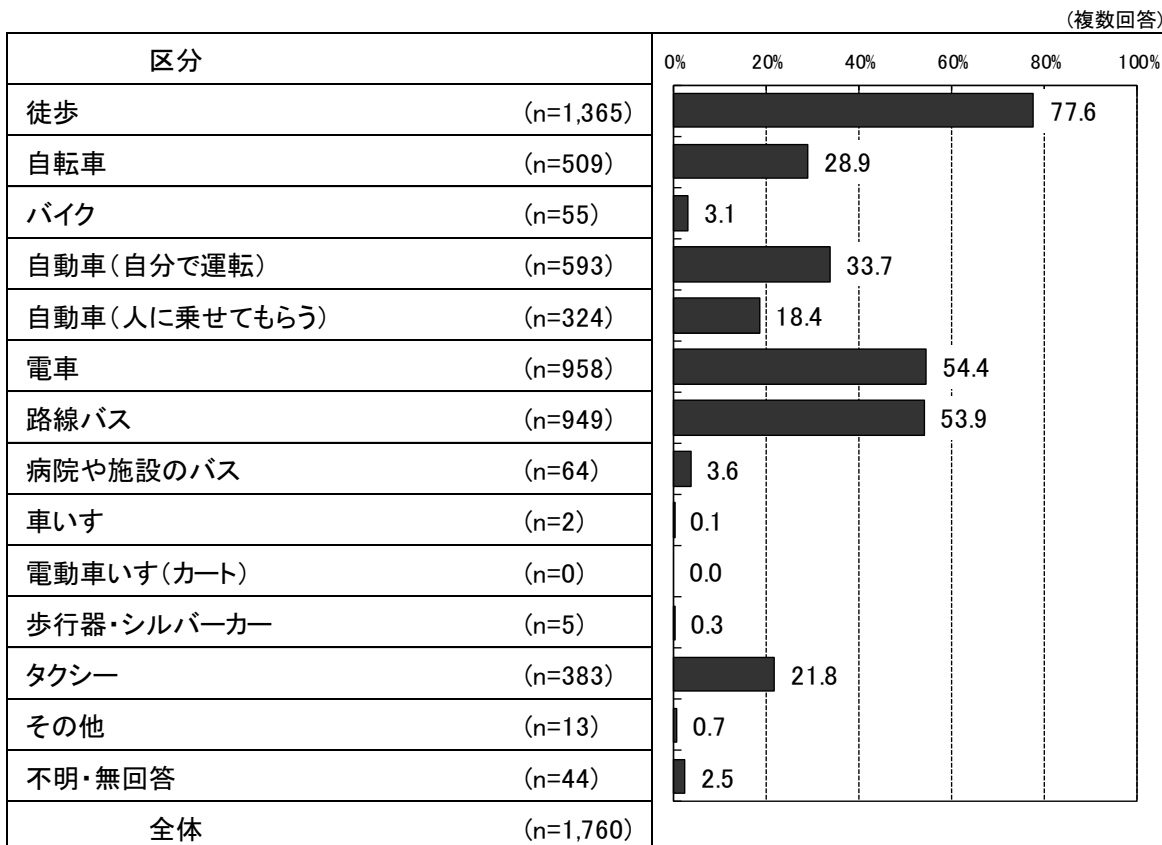
「週5回以上」が46.0%で最も多く、次いで「週2~4回」が41.0%、「週1回」が7.0%となっています。

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか



「減っていない」が38.6%で最も多く、次いで「あまり減っていない」が36.5%、「減っている」が18.6%となっています。

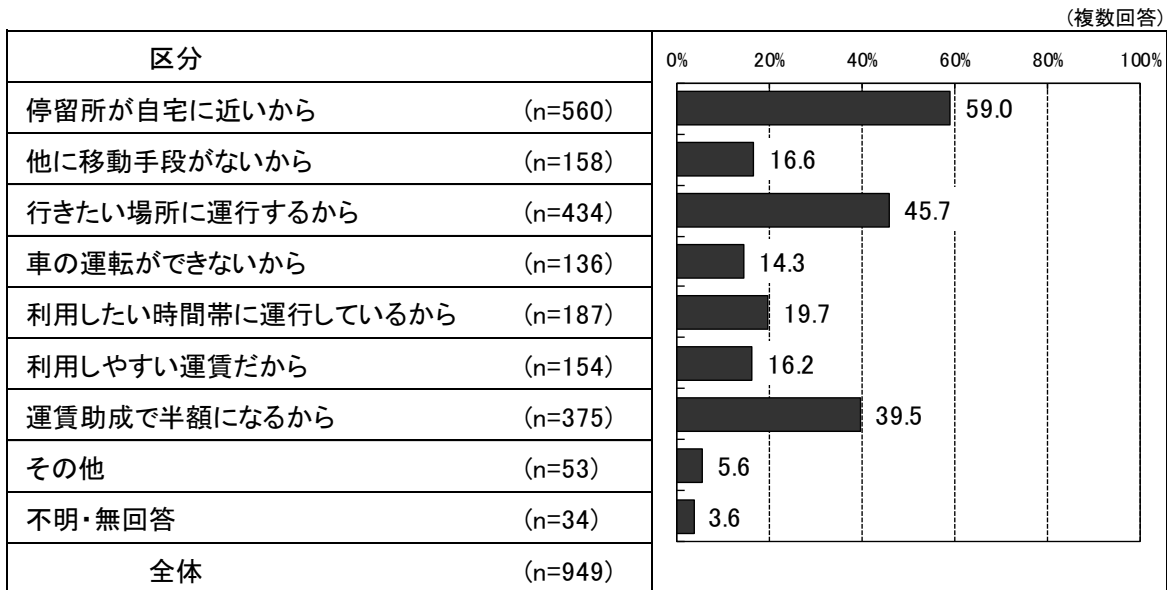
(8) 外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）



「徒歩」が77.6%で最も多く、次いで「電車」が54.4%、「路線バス」が53.9%となっています。

(9) ((8) で「7. 路線バス」とお答えいただいた方)

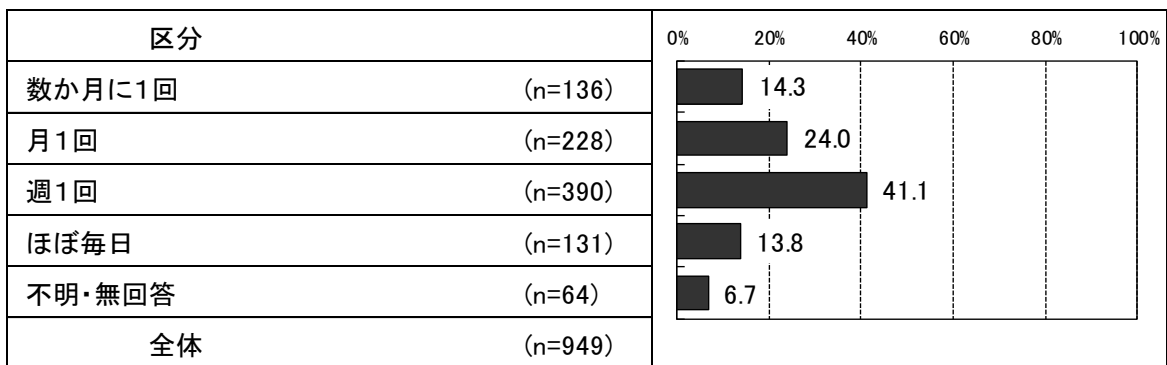
あなたが路線バスを利用する主な理由は何ですか（いくつでも）



「停留所が自宅に近いから」が 59.0%で最も多く、次いで「行きたい場所に運行するから」が 45.7%、「運賃助成で半額になるから」が 39.5%となっています。

(10) ((8) で「7. 路線バス」とお答えいただいた方)

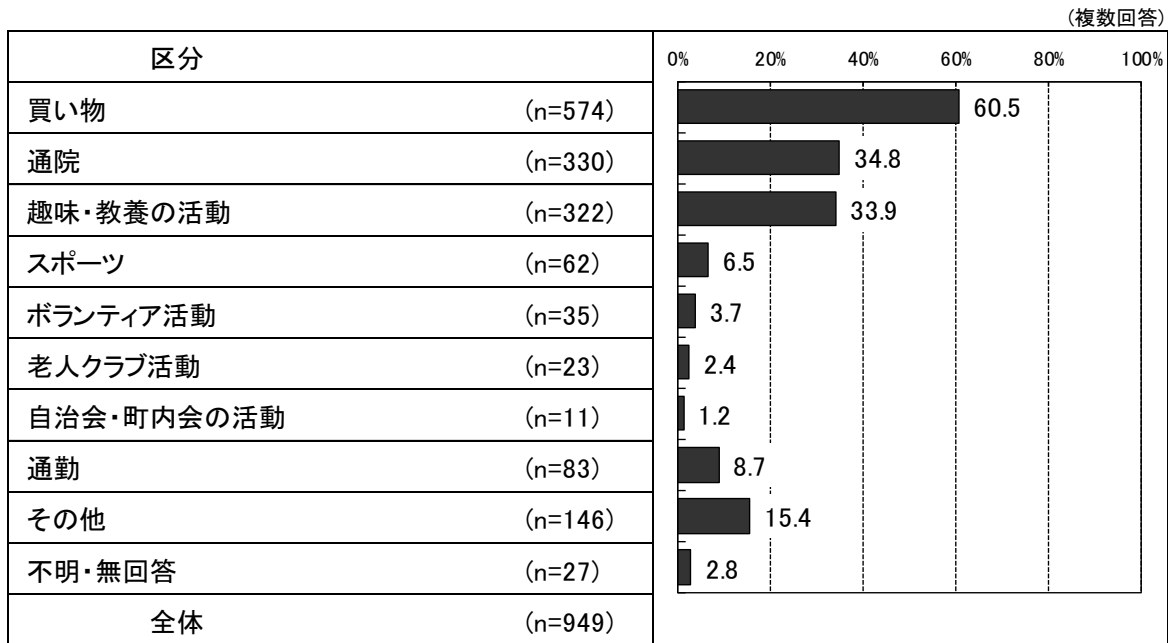
あなたの路線バスの利用回数は、どのくらいですか



「週1回」が 41.1%で最も多く、次いで「月1回」が 24.0%、「数か月に1回」が 14.3%となっています。

(11) ((8) で「7. 路線バス」とお答えいただいた方)

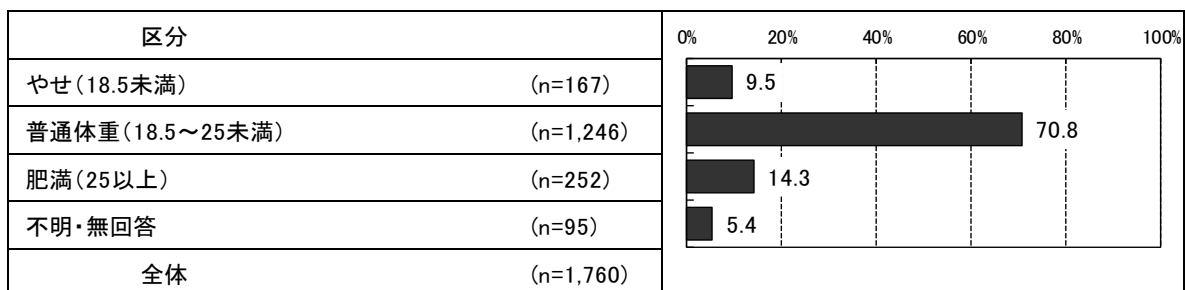
あなたが路線バスを利用する主な目的は何ですか（いくつでも）



「買い物」が60.5%で最も多く、次いで「通院」が34.8%、「趣味・教養の活動」が33.9%となっています。

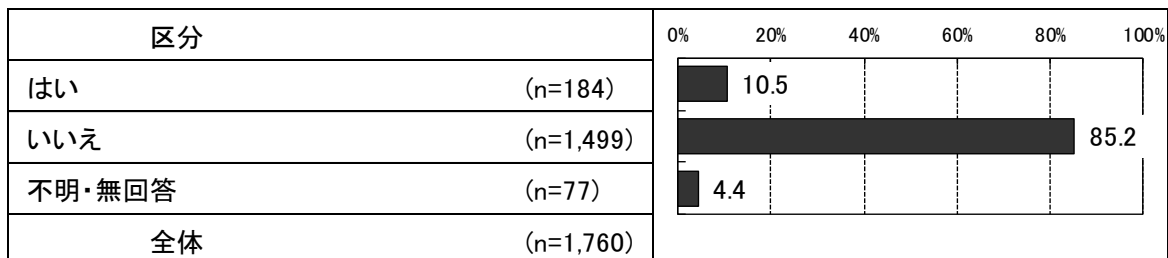
問3 食べることについて

(1) 身長・体重（BMI判定）



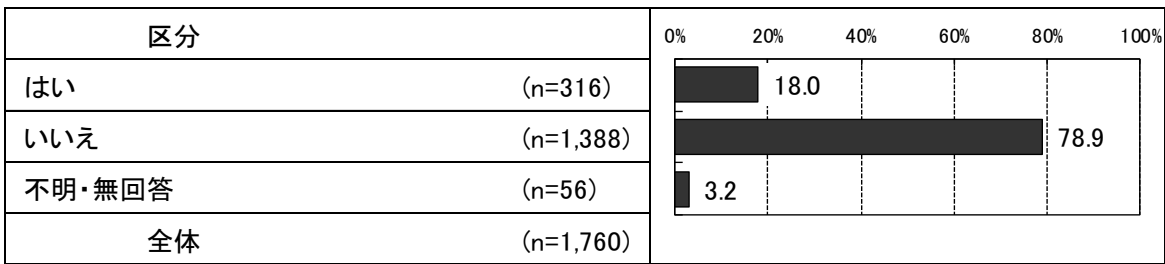
「普通体重 (18.5～25 未満)」が70.8%で最も多く、次いで「肥満 (25 以上)」が14.3%、「やせ (18.5 未満)」が9.5%となっています。平均は22.16 となっています。

(2) 6 か月間で2～3 kg以上の体重減少がありましたか



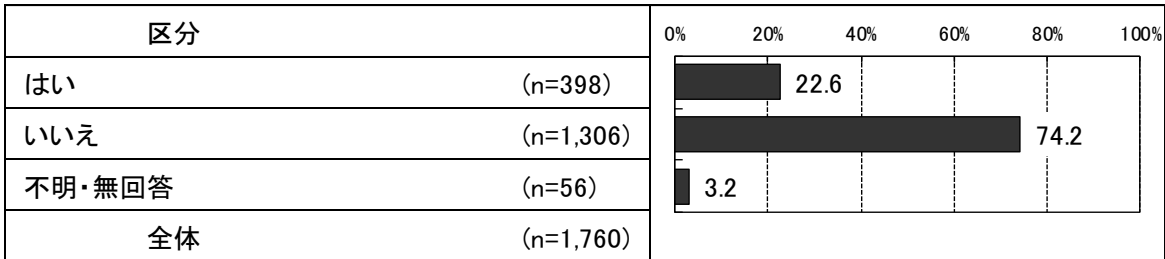
「いいえ」が85.2%、「はい」が10.5%となっています。

(3) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか



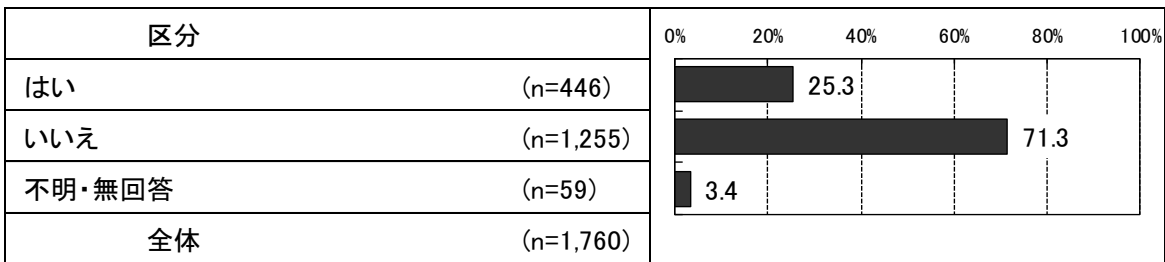
「いいえ」が78.9%、「はい」が18.0%となっています。

(4) お茶や汁物等でむせることがありますか



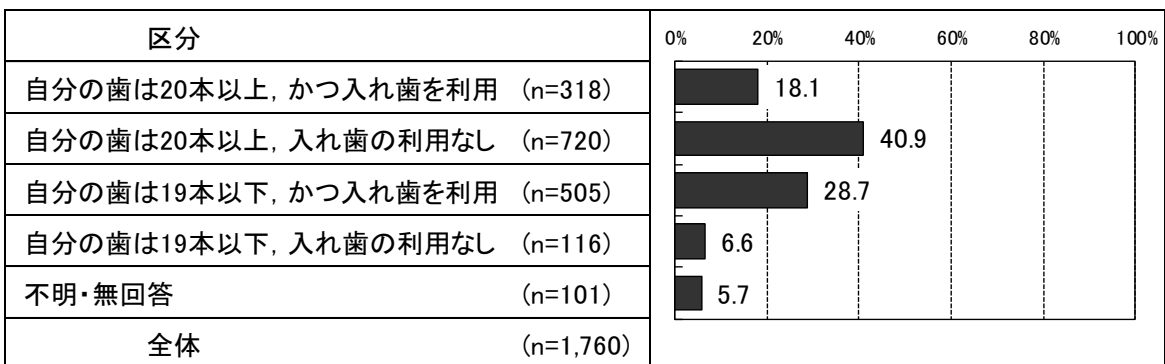
「いいえ」が74.2%、「はい」が22.6%となっています。

(5) 口の渇きが気になりますか



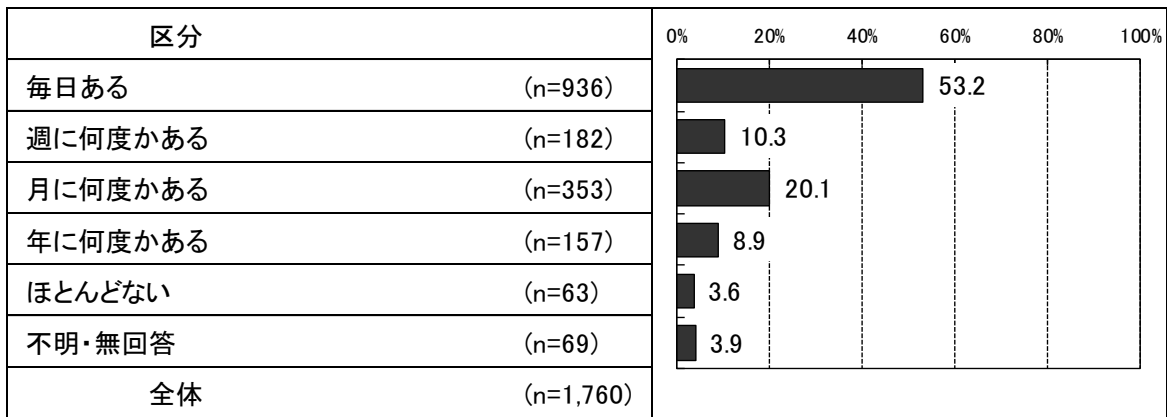
「いいえ」が71.3%、「はい」が25.3%となっています。

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)



「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が40.9%で最も多く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が28.7%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が18.1%となっています。

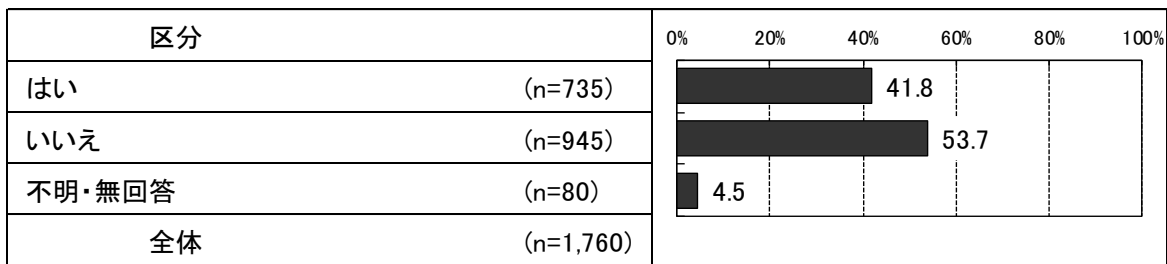
(7) どなたかと食事をとにもする機会がありますか



「毎日ある」が 53.2%で最も多く、次いで「月に何度かある」が 20.1%、「週に何度かある」が 10.3%となっています。

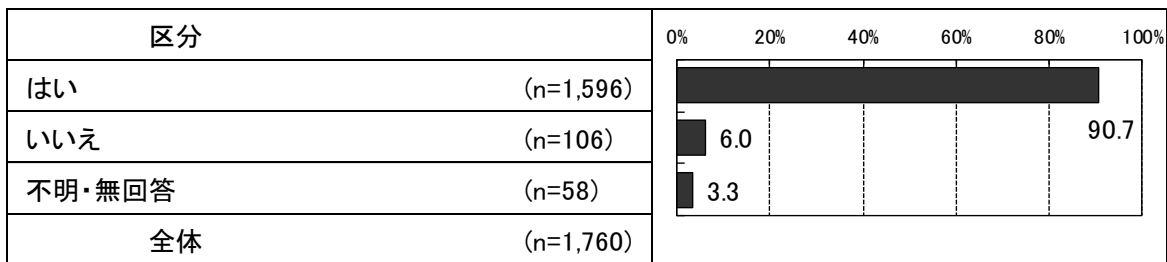
問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか



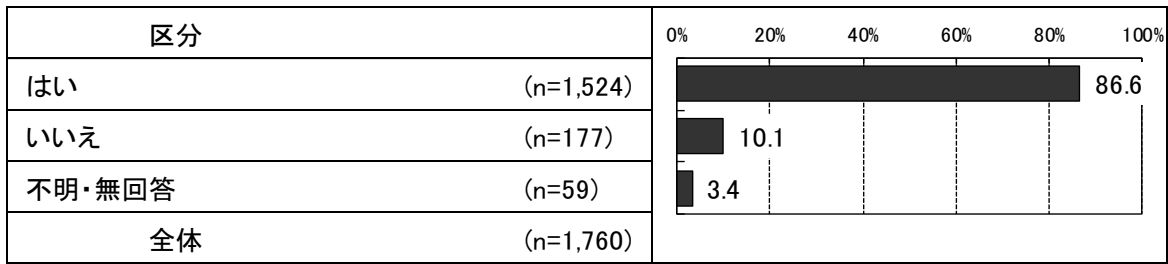
「いいえ」が 53.7%、「はい」が 41.8%となっています。

(2) 認知症は“加齢に伴う物忘れ”とは違うことを知っていますか



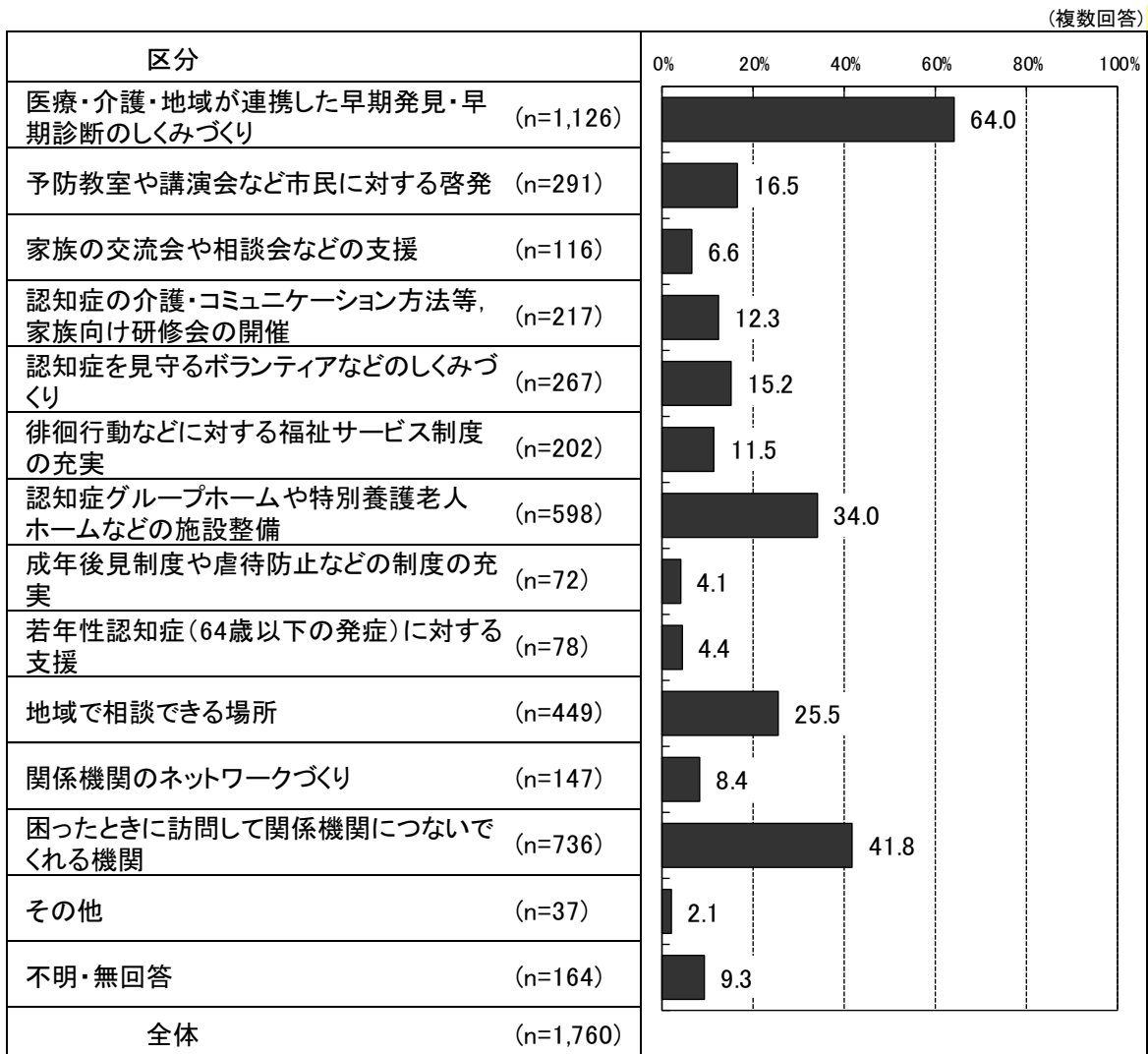
「はい」が 90.7%、「いいえ」が 6.0%となっています。

(3) 認知症は、早期に発見し早期に治療を開始すると、症状の進行が緩やかになると言われていることを知っていますか



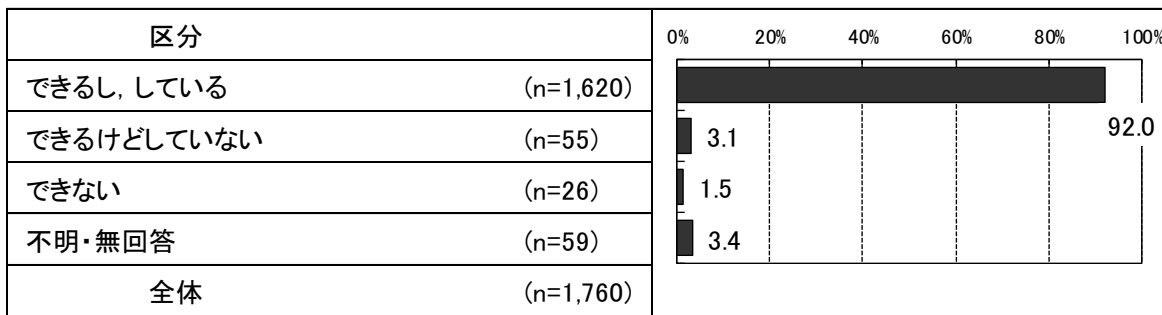
「はい」が86.6%、「いいえ」が10.1%となっています。

(4) 今後、認知症施策を進めていくうえで、市が力を入れるべきことは何ですか
(主なもの3つまで)



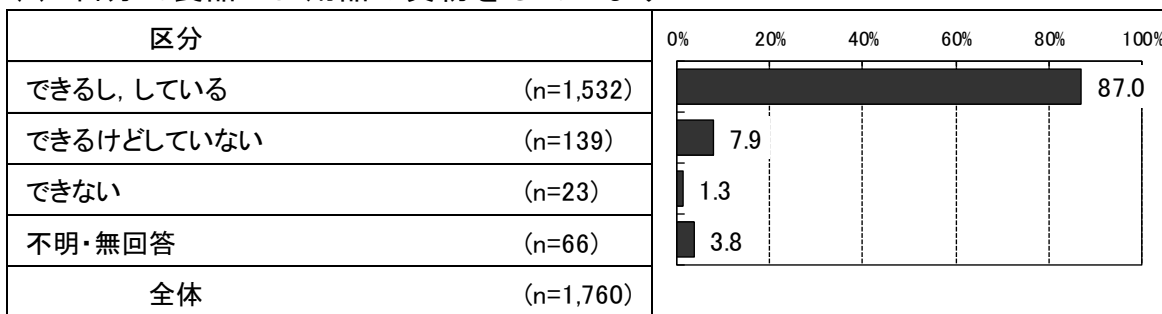
「医療・介護・地域が連携した早期発見・早期診断のしくみづくり」が64.0%で最も多く、次いで「困ったときに訪問して関係機関につないでくれる機関」が41.8%、「認知症グループホームや特別養護老人ホームなどの施設整備」が34.0%となっています。

(5) バスや電車を使って1人で外出していますか（タクシーや自家用車でも可）



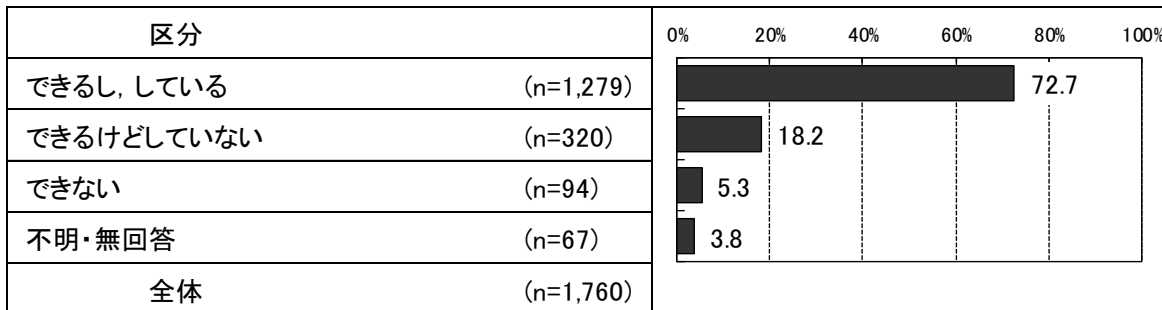
「できるし、している」が92.0%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が3.1%、「できない」が1.5%となっています。

(6) 自分で食品・日用品の買物をしていますか



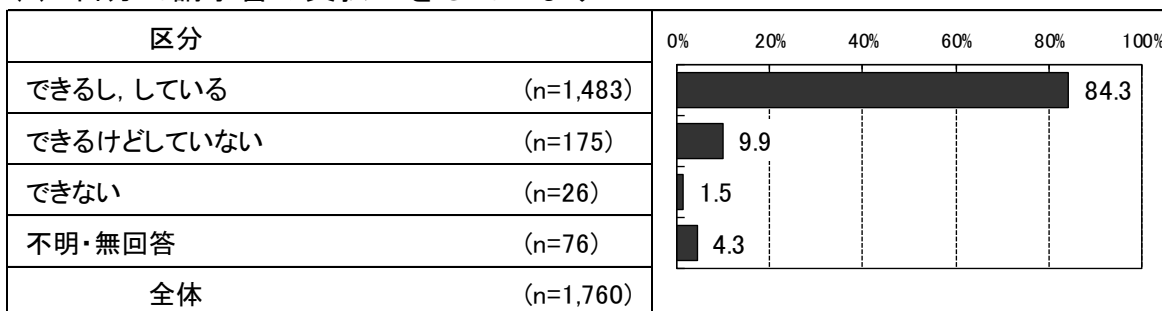
「できるし、している」が87.0%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が7.9%、「できない」が1.3%となっています。

(7) 自分で食事の用意をしていますか



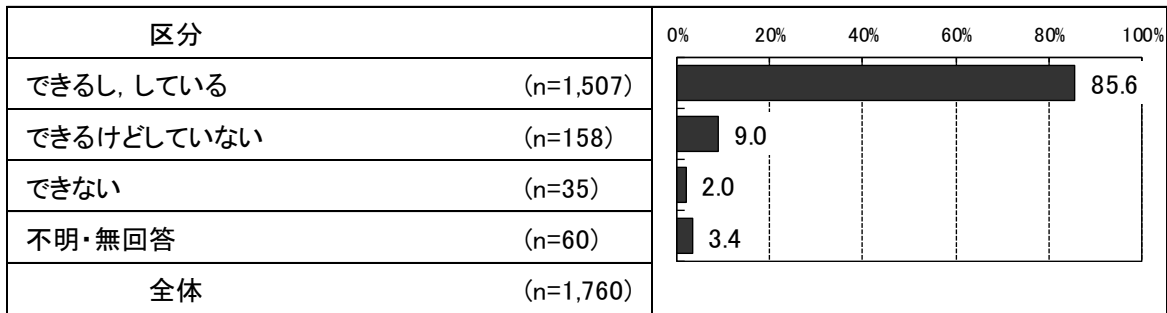
「できるし、している」が72.7%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が18.2%、「できない」が5.3%となっています。

(8) 自分で請求書の支払いをしていますか



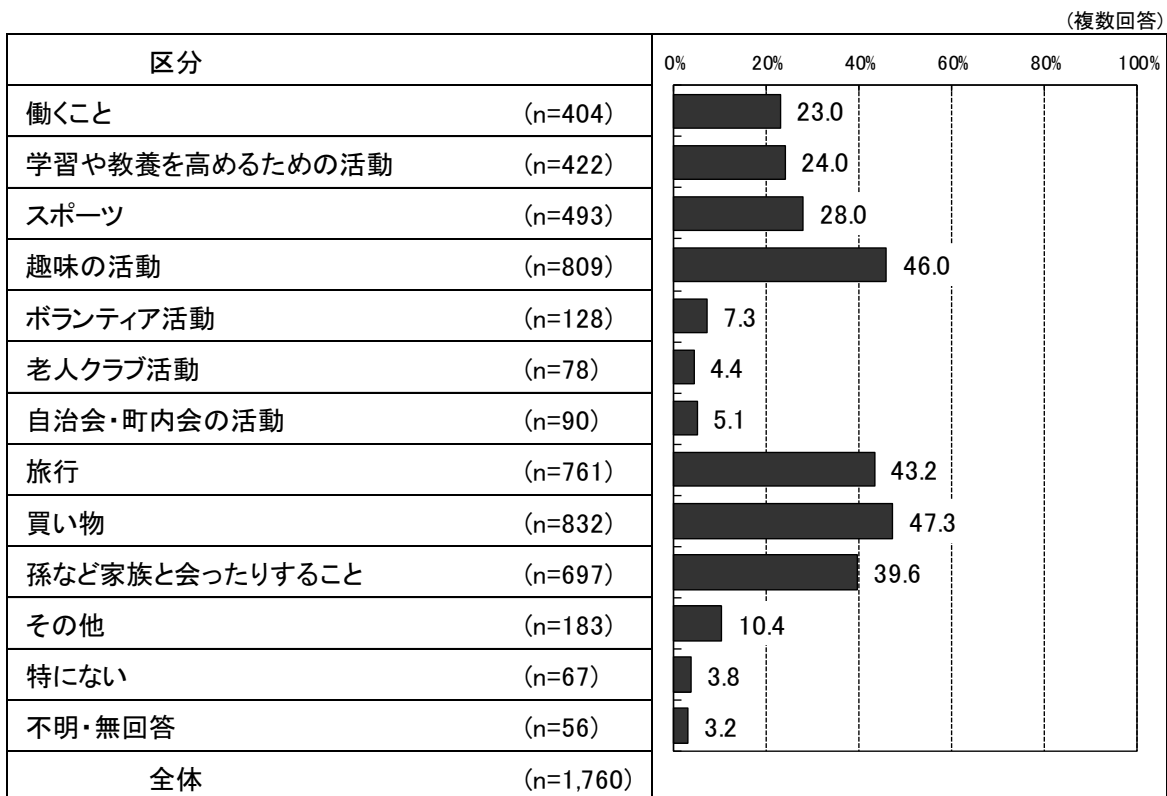
「できるし、している」が84.3%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が9.9%、「できない」が1.5%となっています。

(9) 自分で預貯金の出し入れをしていますか



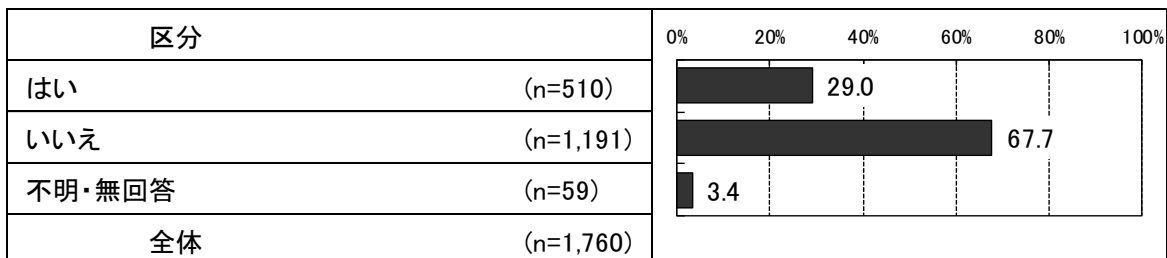
「できるし、している」が85.6%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が9.0%、「できない」が2.0%となっています。

(10) あなたの日常生活の中での楽しみは何ですか（いくつでも）



「買い物」が47.3%で最も多く、次いで「趣味の活動」が46.0%、「旅行」が43.2%となっています。

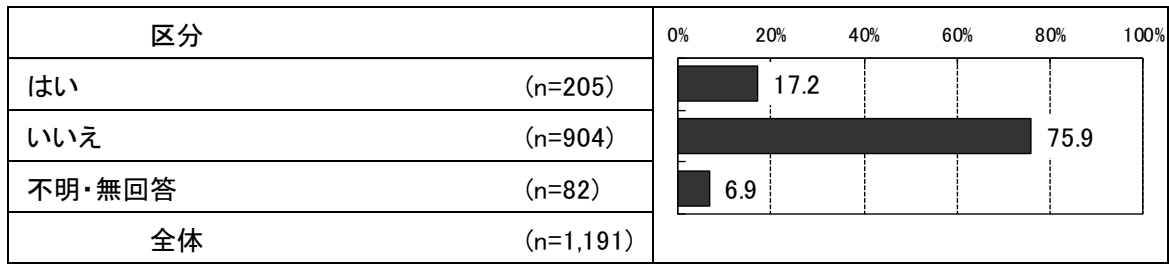
(11) 現在、収入のある仕事をしていますか



「いいえ」が67.7%、「はい」が29.0%となっています。

(11) - 1 (仕事をしていない方)【(11)で「いいえ」と回答した方】

今後、収入のある仕事をしたいですか

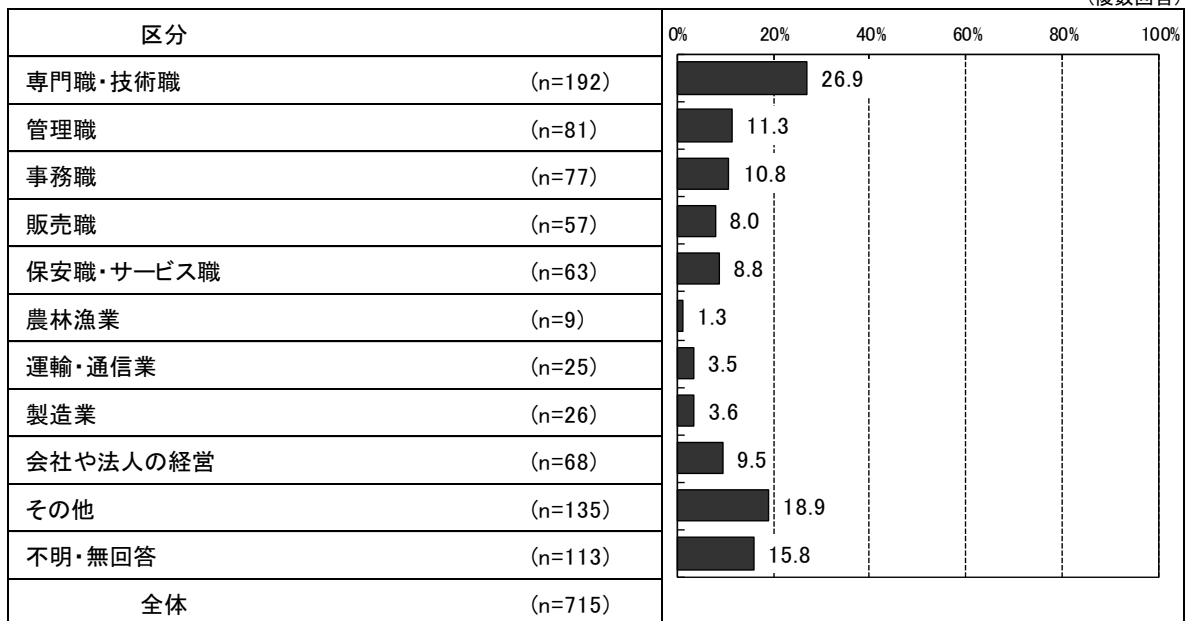


「いいえ」が75.9%、「はい」が17.2%となっています。

(11) - 2 現在の職業又は希望する職業は何ですか（いくつでも）

※ (11) 及び (11) - 1 で「はい」と回答した方が回答

(複数回答)

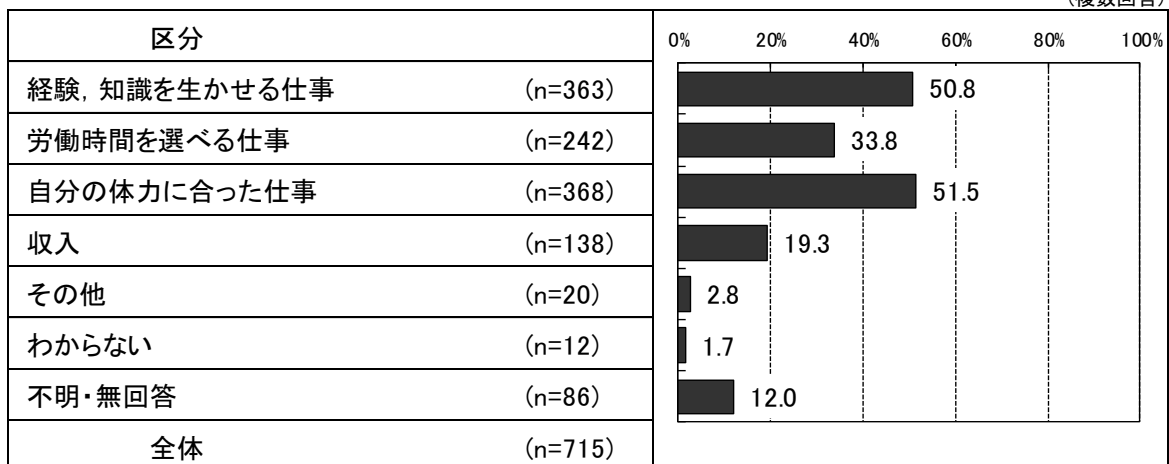


「専門職・技術職」が26.9%で最も多く、次いで「その他」が18.9%、「管理職」が11.3%となっています。

(11) - 3 働き方で重視する条件はどれですか（いくつでも）

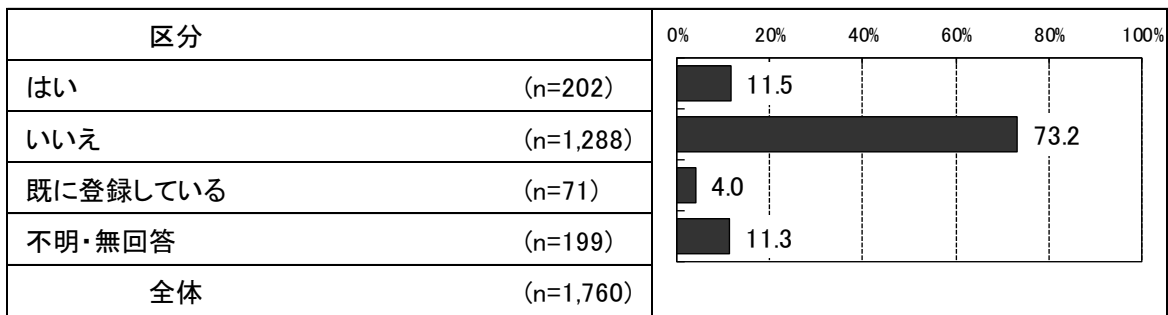
※ (11) 及び (11) - 1 で「はい」と回答した方が回答

(複数回答)



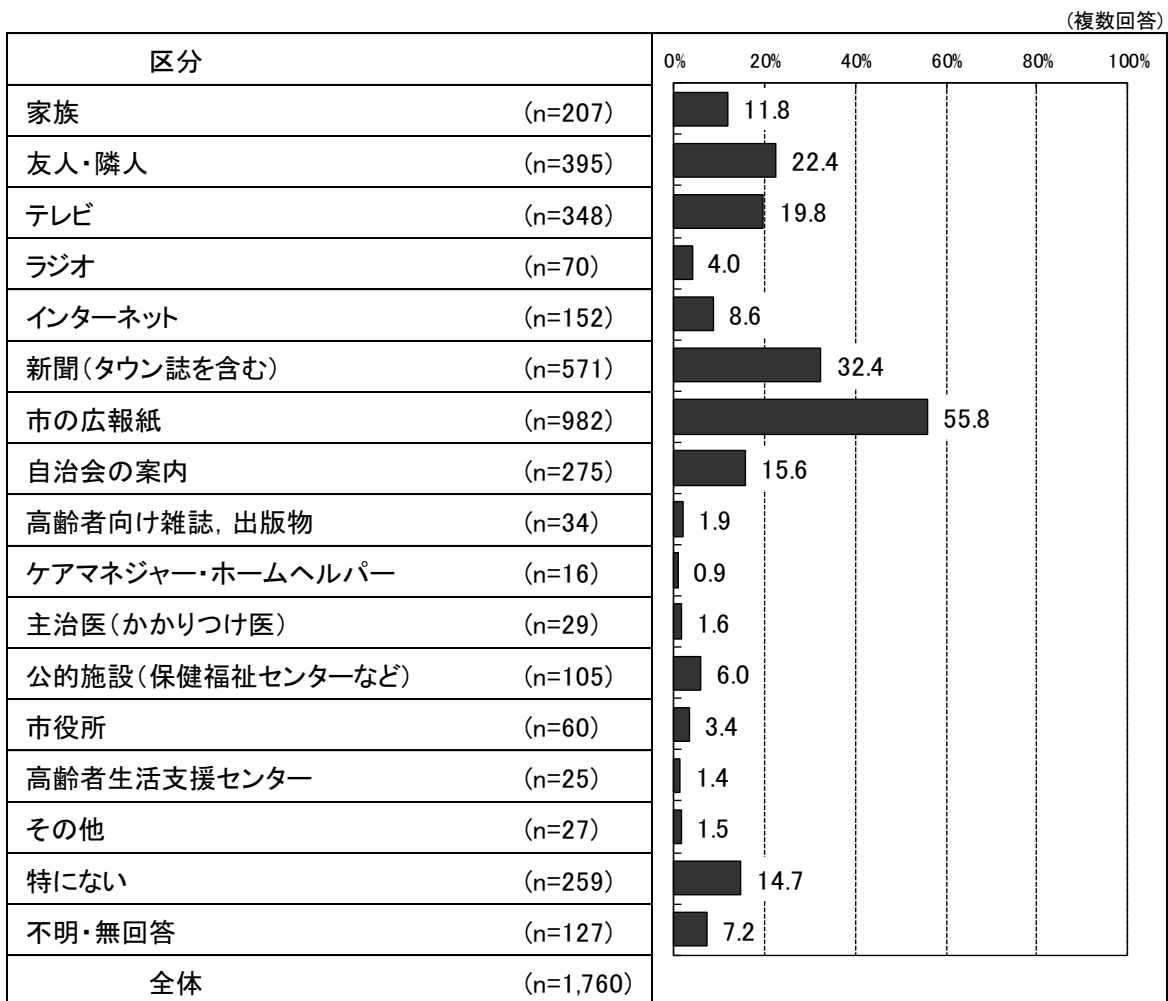
「自分の体力に合った仕事」が51.5%で最も多く、次いで「経験、知識を生かせる仕事」が50.8%、「労働時間を選べる仕事」が33.8%となっています。

(12) 今後、シルバー人材センターに登録して、活動する希望はありますか



「いいえ」が73.2%で最も多く、次いで「はい」が11.5%、「既に登録している」が4.0%となっています。

(13) 高齢者向けに様々な催し物やサービスの提供が行われていますが、あなたはどのような情報を主にどこから得ていますか（いくつでも）

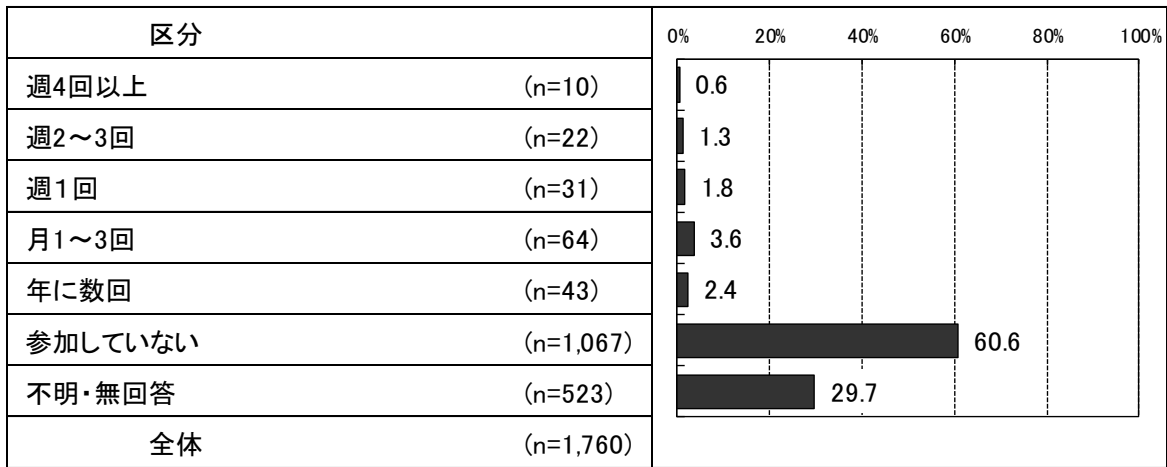


「市の広報紙」が55.8%で最も多く、次いで「新聞（タウン誌を含む）」が32.4%、「友人・隣人」が22.4%となっています。

問5 地域での活動について

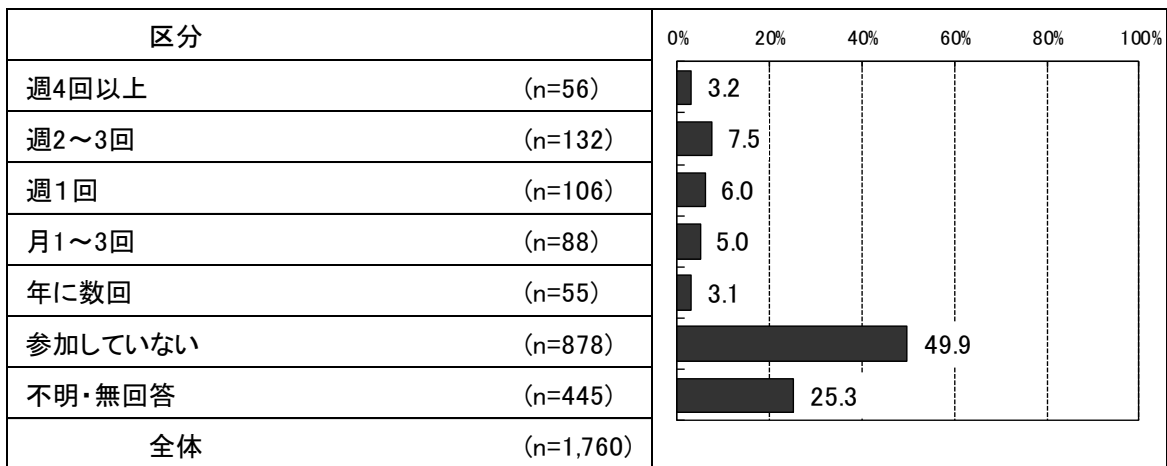
(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

① ボランティアのグループ



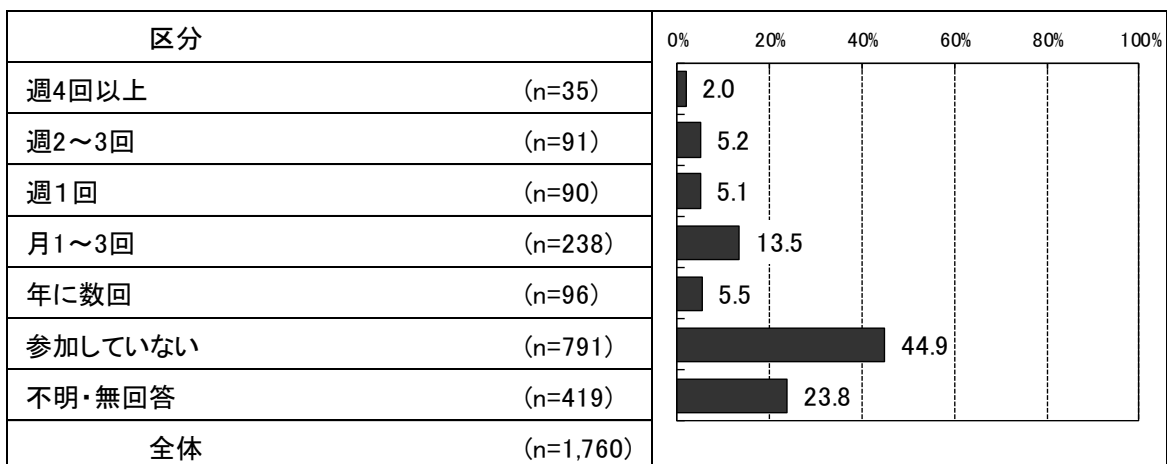
「参加していない」が60.6%で最も多く、次いで「月1~3回」が3.6%、「年に数回」が2.4%となっています。

② スポーツ関係のグループやクラブ



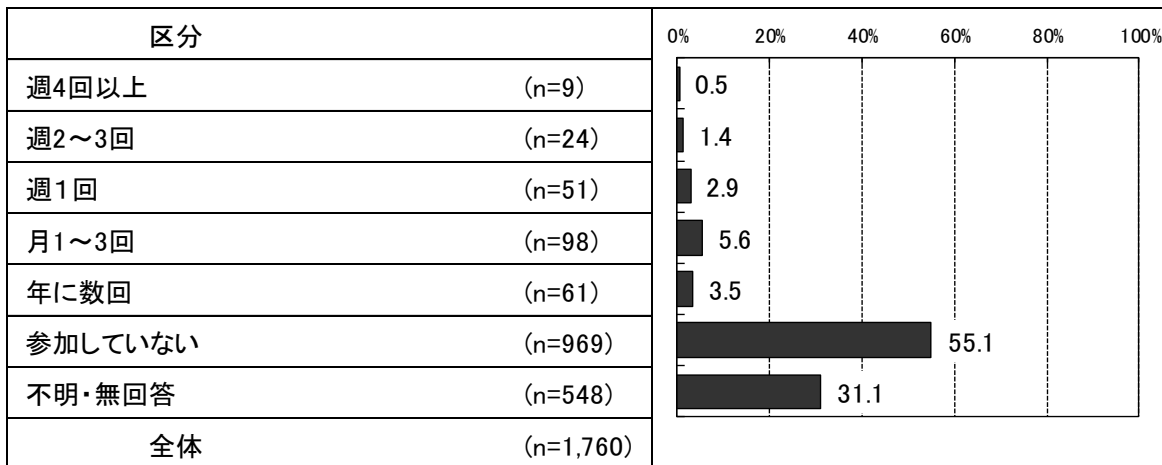
「参加していない」が49.9%で最も多く、次いで「週2~3回」が7.5%、「週1回」が6.0%となっています。

③ 趣味関係のグループ



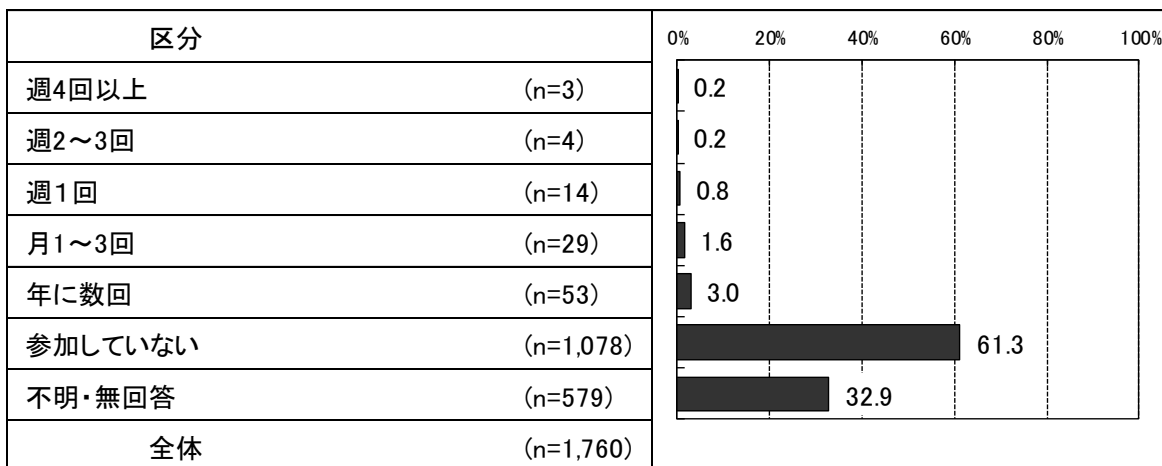
「参加していない」が44.9%で最も多く、次いで「月1~3回」が13.5%、「年に数回」が5.5%となっています。

④学習・教養サークル



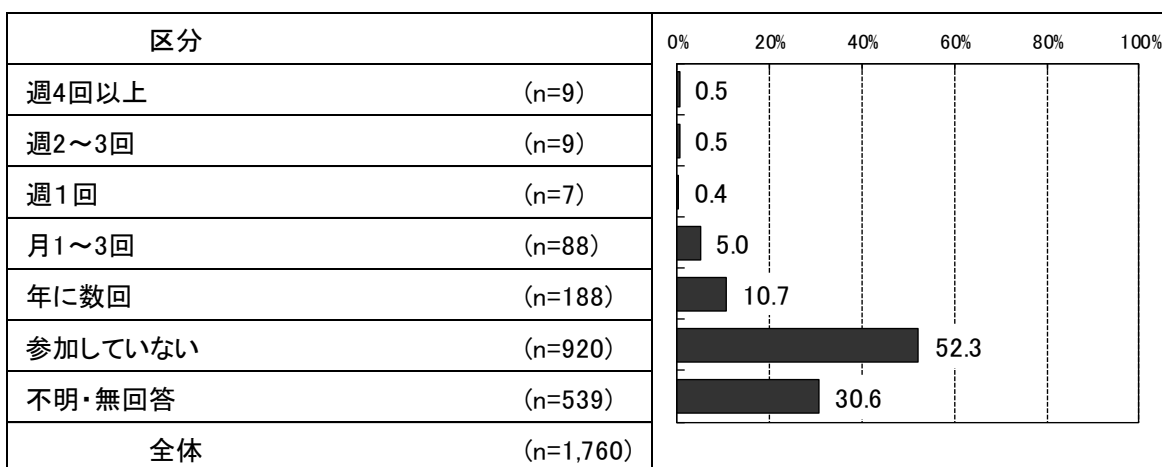
「参加していない」が55.1%で最も多く、次いで「月1～3回」が5.6%、「年に数回」が3.5%となっています。

⑤老人クラブ



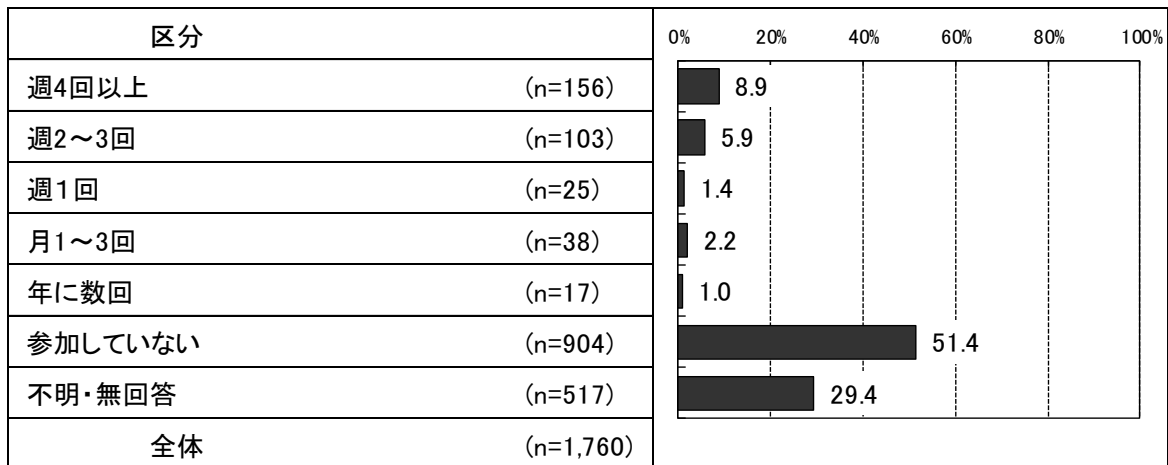
「参加していない」が61.3%で最も多く、次いで「年に数回」が3.0%、「月1～3回」が1.6%となっています。

⑥町内会・自治会



「参加していない」が52.3%で最も多く、次いで「年に数回」が10.7%、「月1～3回」が5.0%となっています。

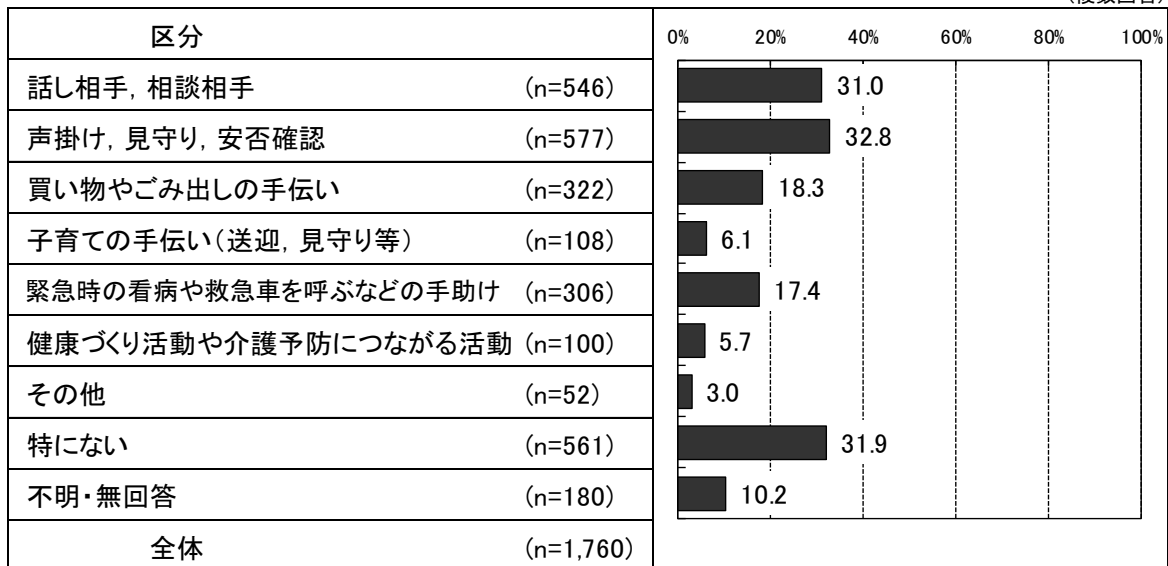
⑦収入のある仕事



「参加していない」が51.4%で最も多く、次いで「週4回以上」が8.9%、「週2～3回」が5.9%となっています。

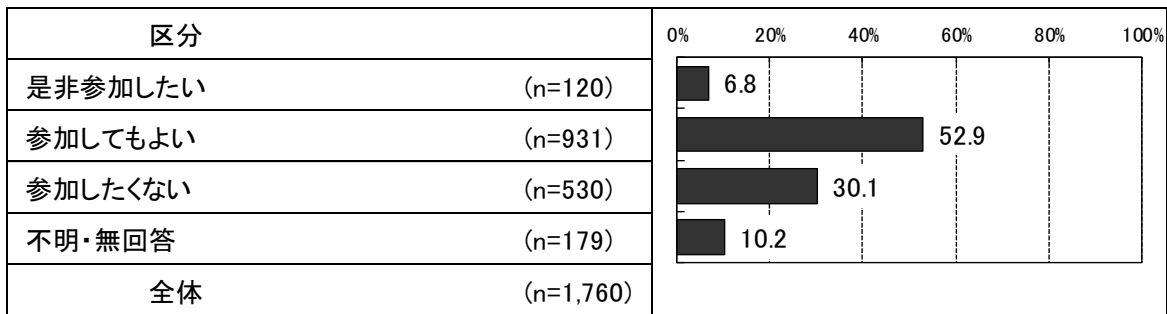
(2) 地域の人にあなたができることは何ですか（いくつでも）

(複数回答)



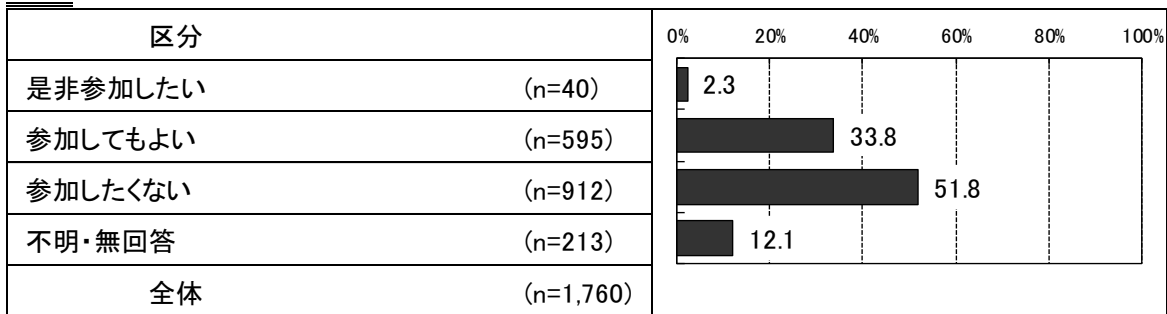
「声掛け, 見守り, 安否確認」が32.8%で最も多く、次いで「特にない」が31.9%、「話し相手, 相談相手」が31.0%となっています。

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか



「参加してもよい」が52.9%で最も多く、次いで「参加したくない」が30.1%、「是非参加したい」が6.8%となっています。

(4) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

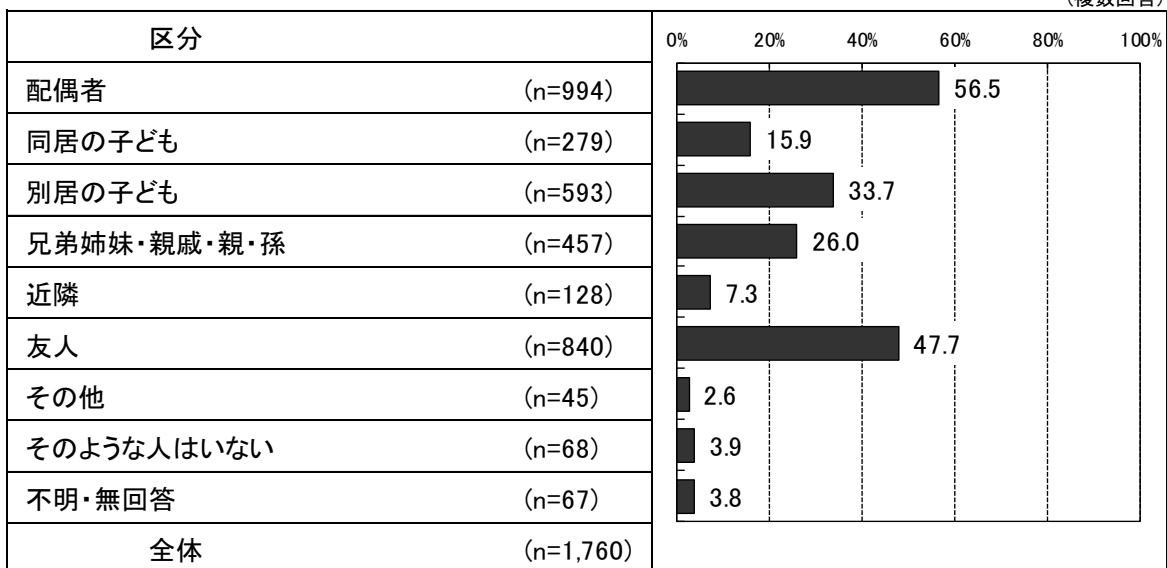


「参加したくない」が51.8%で最も多く、次いで「参加してもよい」が33.8%、「是非参加したい」が2.3%となっています。

問6 たすけあいについて

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

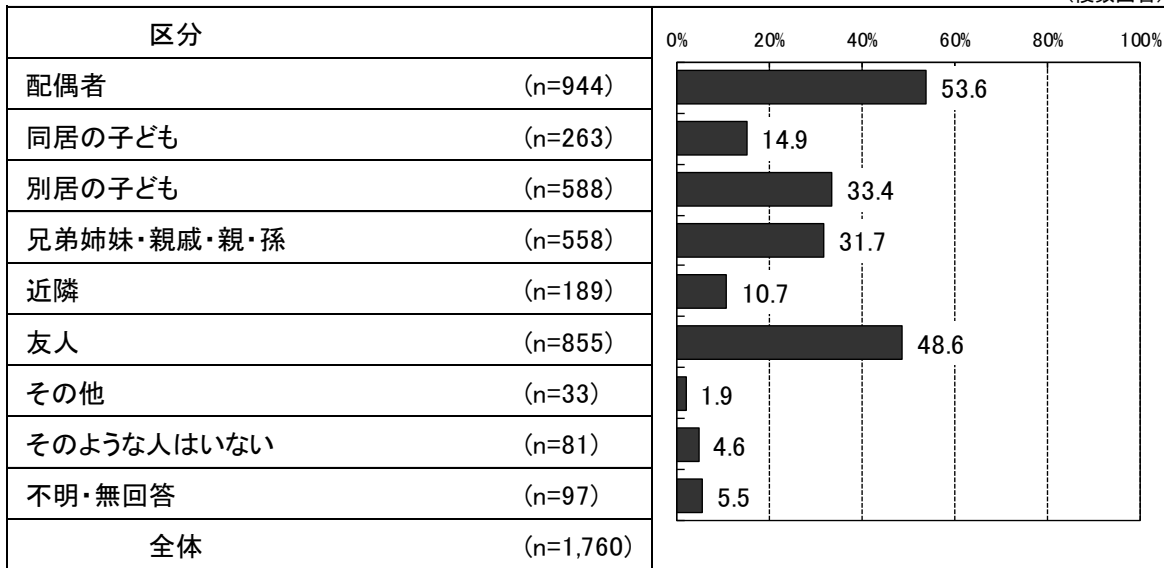
(複数回答)



「配偶者」が56.5%で最も多く、次いで「友人」が47.7%、「別居の子ども」が33.7%となっています。

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

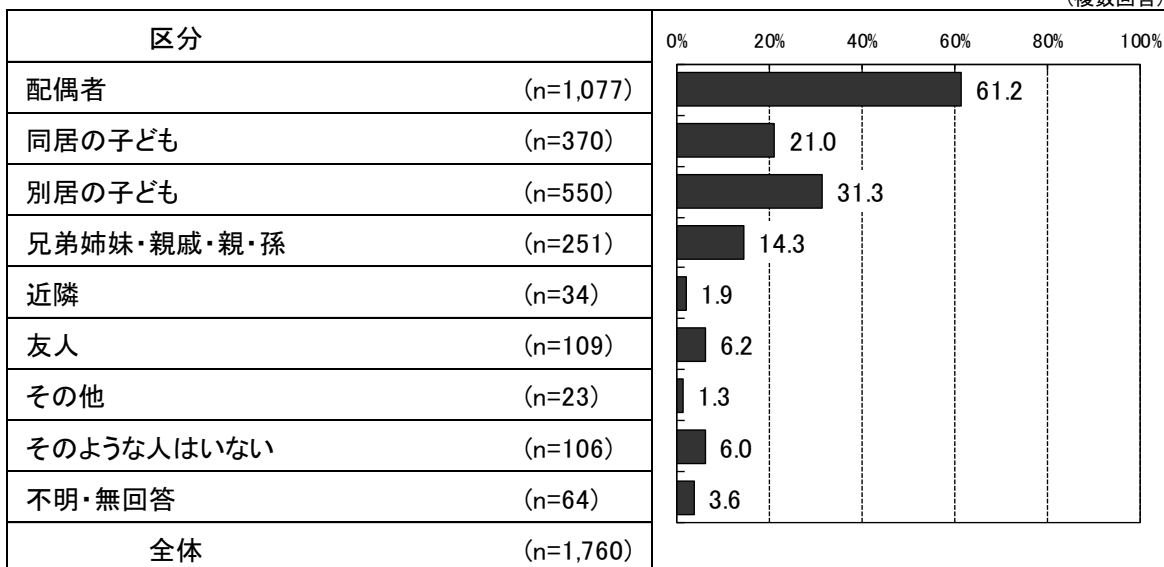
(複数回答)



「配偶者」が 53.6%で最も多く、次いで「友人」が 48.6%、「別居の子ども」が 33.4%となっています。

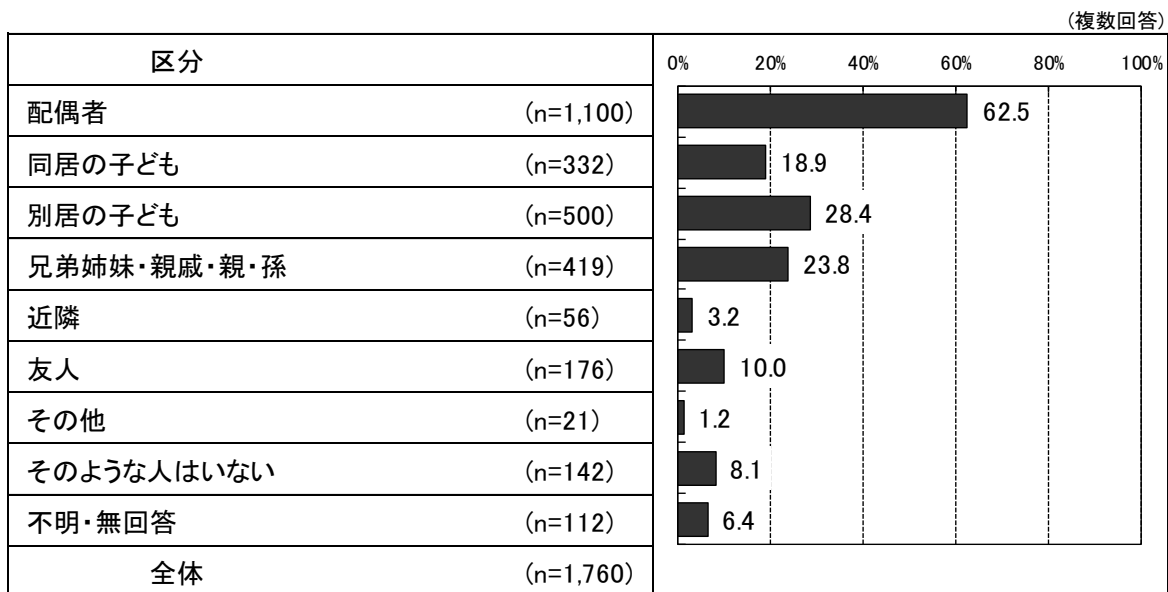
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

(複数回答)



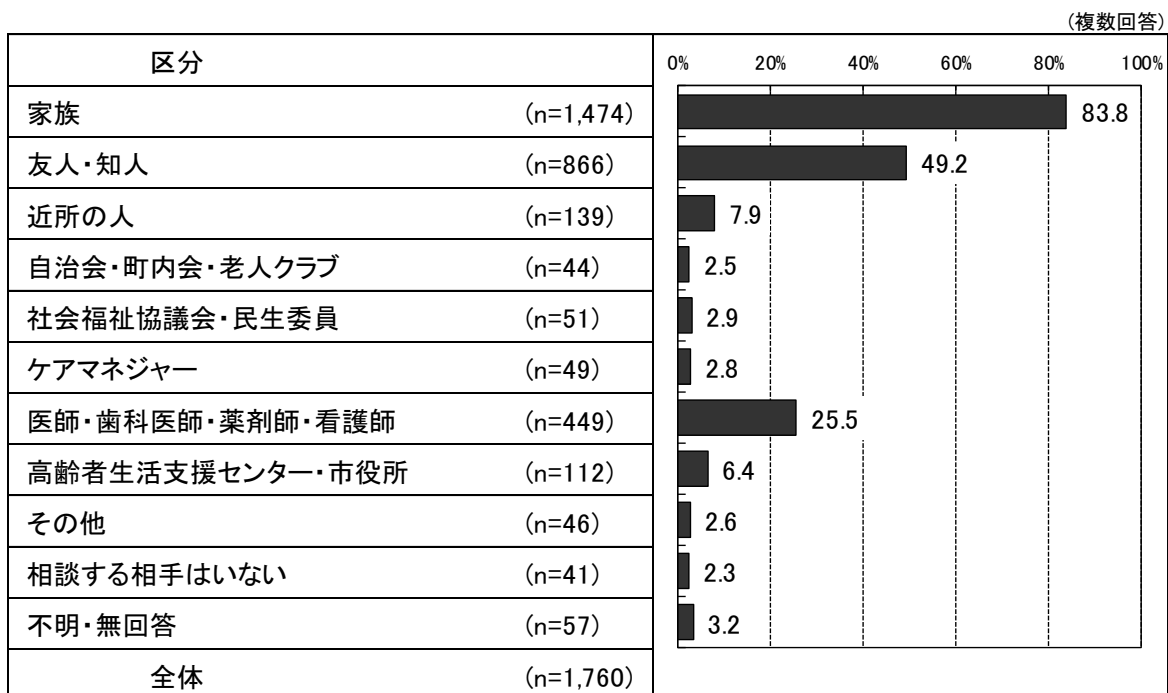
「配偶者」が 61.2%で最も多く、次いで「別居の子ども」が 31.3%、「同居の子ども」が 21.0%となっています。

(4) 反対に、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）



「配偶者」が62.5%で最も多く、次いで「別居の子ども」が28.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が23.8%となっています。

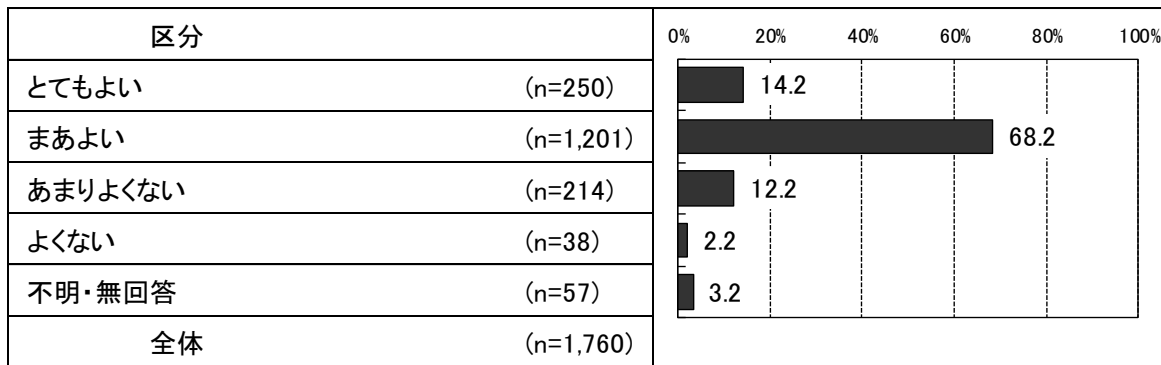
(5) 何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）



「家族」が83.8%で最も多く、次いで「友人・知人」が49.2%、「医師・歯科医師・薬剤師・看護師」が25.5%となっています。

問7 健康について

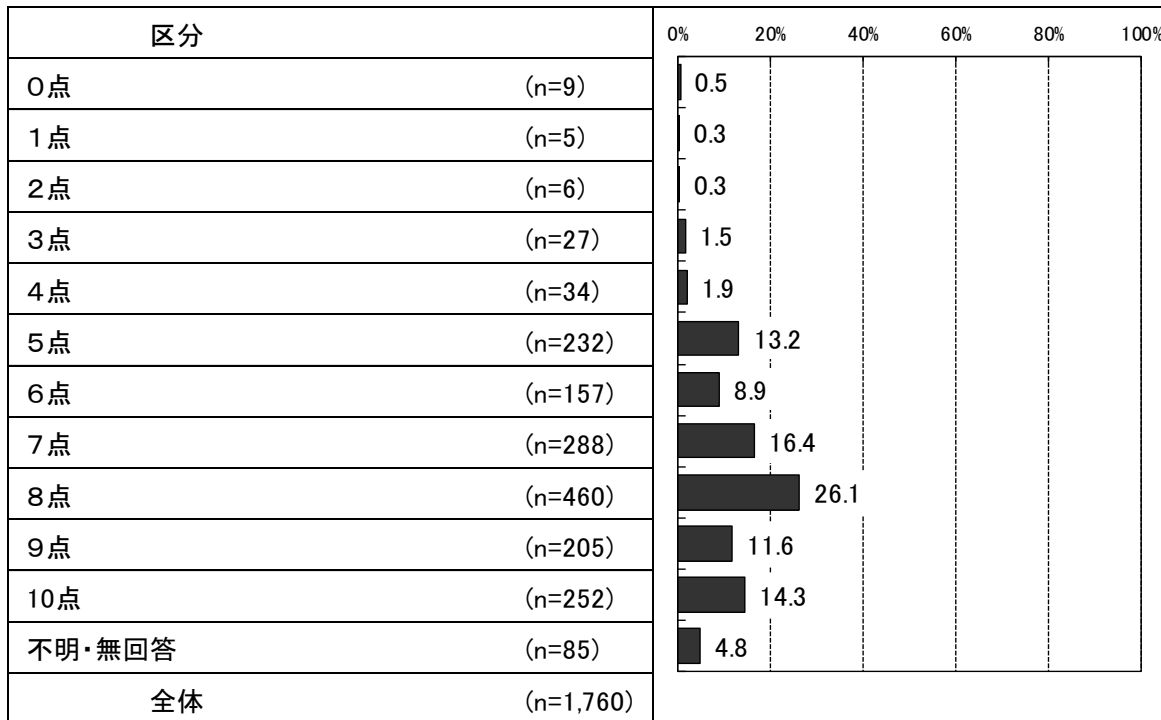
(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか



「まあよい」が68.2%で最も多く、次いで「とてもよい」が14.2%、「あまりよくない」が12.2%となっています。

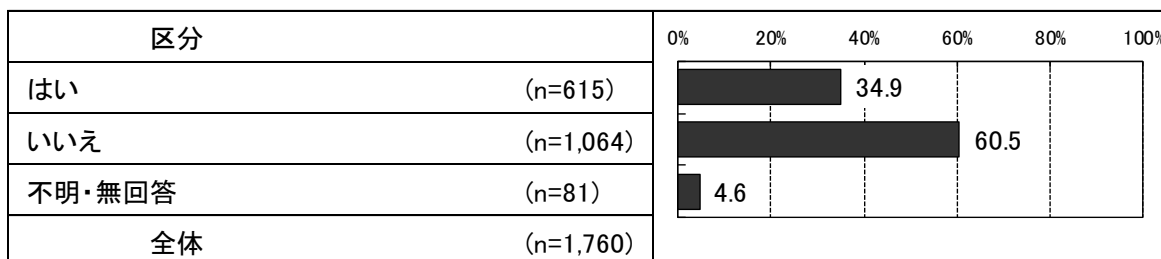
(2) あなたは、現在どの程度幸せですか

（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）



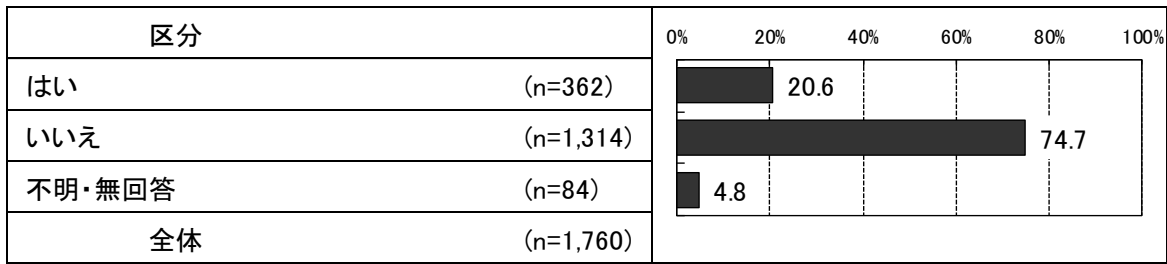
「8点」が26.1%で最も多く、次いで「7点」が16.4%、「10点」が14.3%となっています。平均は8.4点となっています。

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか



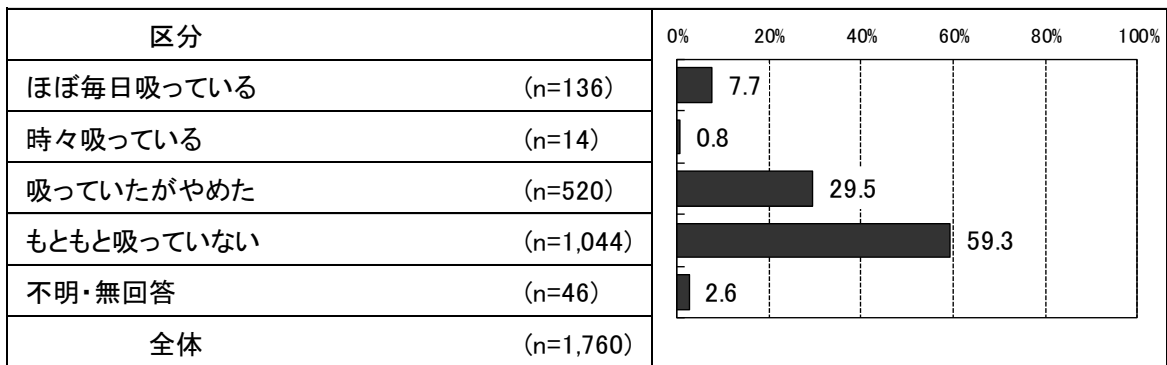
「いいえ」が60.5%、「はい」が34.9%となっています。

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか



「いいえ」が74.7%、「はい」が20.6%となっています。

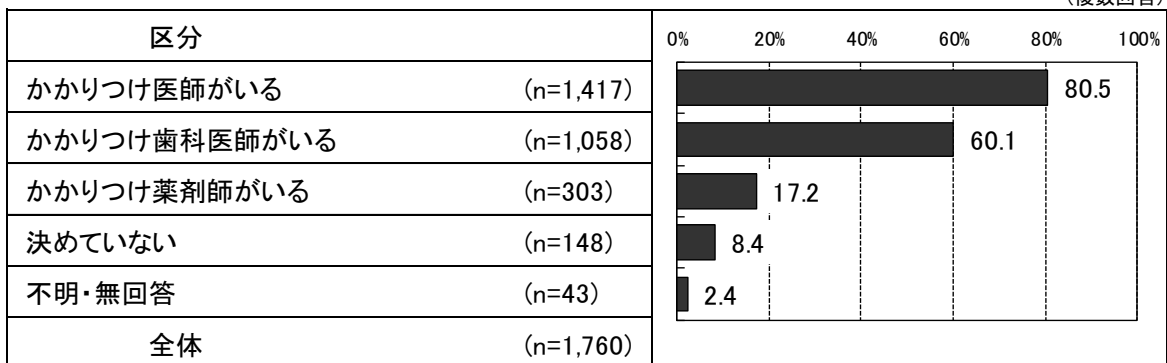
(5) タバコは吸っていますか



「もともと吸っていない」が59.3%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が29.5%、「ほぼ毎日吸っている」が7.7%となっています。

(6) あなたは、かかりつけ医師・歯科医師・薬剤師を決めていますか（いくつでも）

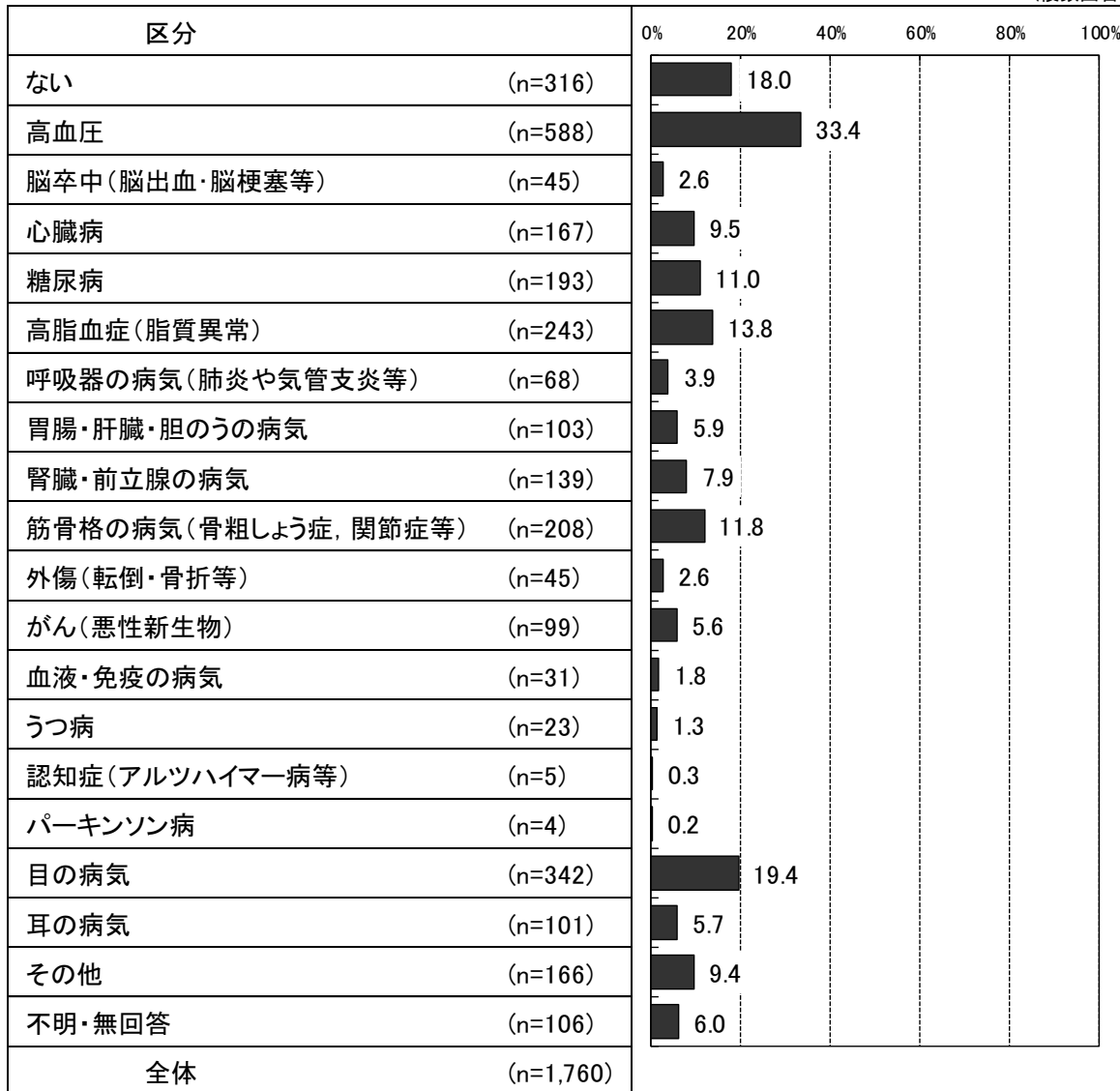
(複数回答)



「かかりつけ医師がいる」が80.5%で最も多く、次いで「かかりつけ歯科医師がいる」が60.1%、「かかりつけ薬剤師がいる」が17.2%となっています。

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）

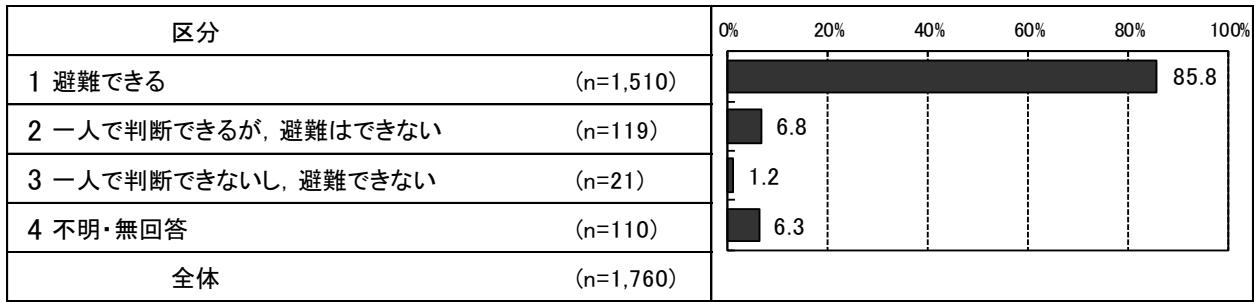
(複数回答)



「高血圧」が33.4%で最も多く、次いで「目の病気」が19.4%、「ない」が18.0%となっています。

問8 災害時や緊急時の対応などについて

(1) あなたは、災害時（台風や地震など）や火災などの緊急時に、一人で避難することができますか

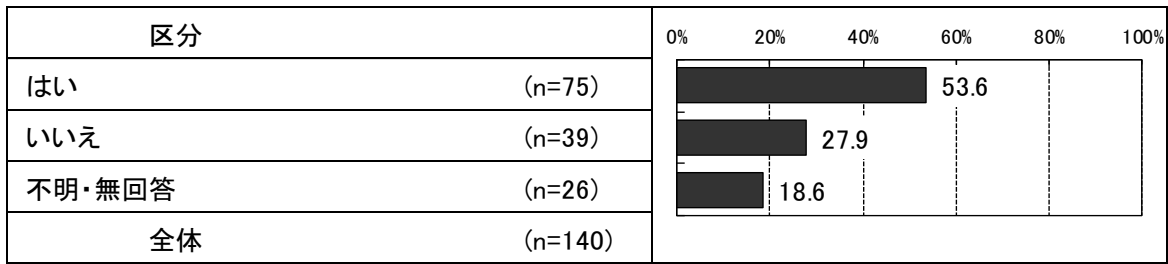


「避難できる」が85.8%で最も多く、次いで「一人で判断できるが、避難はできない」が6.8%、「一人で判断できないし、避難できない」が1.2%となっています。

(1) - 1 （緊急時に一人で避難ができない方）【(1)で「2」または「3」と回答した方】
避難できない理由は何ですか

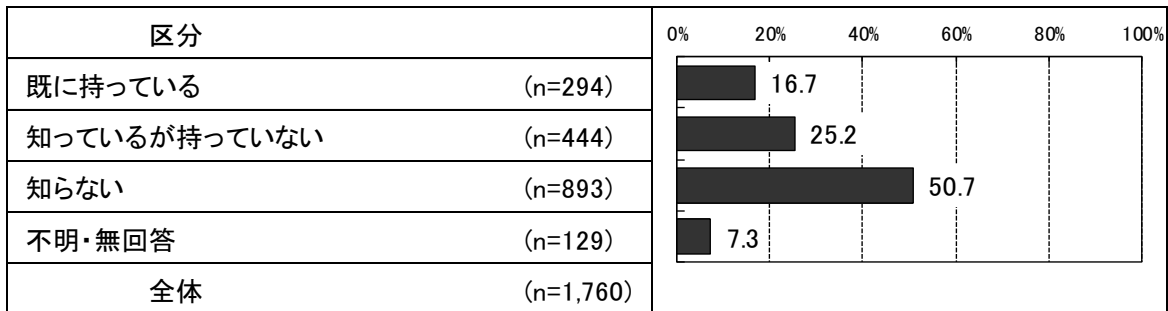
	主な回答
体力・身体的な理由	<ul style="list-style-type: none"> ● 素早く歩けない ● 歩行不自由 ● 迅速にひとりで動けない ● 杖がないと歩けない
配偶者の看病・介護	<ul style="list-style-type: none"> ● 配偶者の病気（パーキンソンで車椅子の生活をしているため） ● 夫の足が不自由なので、自分自身は動けても放って避難するのは無理 ● 要介護5の寝たきりの家族がいる ● 夫が全盲のため放っておけない
住居・住まいに起因する理由	<ul style="list-style-type: none"> ● マンションで非常ベルが鳴っていても聞こえないので緊急時そのものがわからないと思う
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 判断出来ない ● 一人で身体をすばやく動かせない ● 坂道が歩けない

(1) - 2 （緊急時に一人で避難ができない方）【(1)で「2」または「3」と回答した方】
 災害時や火災など緊急時に避難する際、手助けを頼める人（同居の方を含む）はいますか



「はい」が53.6%、「いいえ」が27.9%となっています。

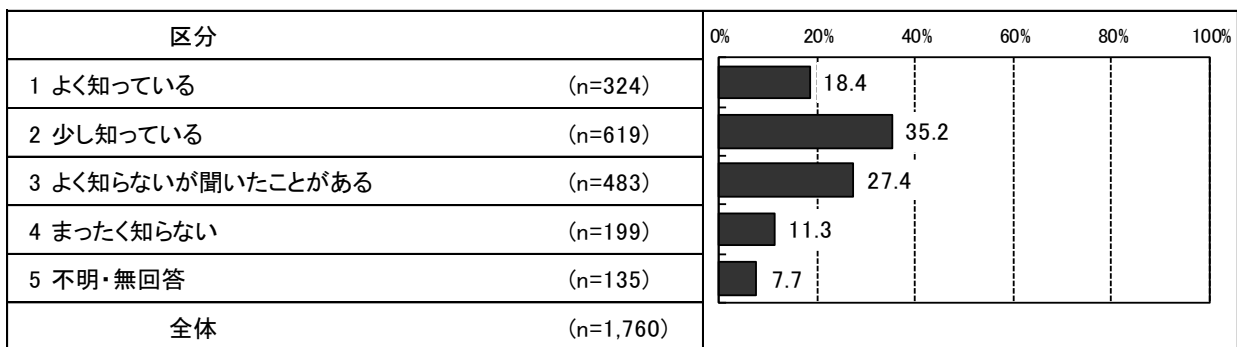
(2) 万が一の災害や急病に備え、医療情報を記入した用紙を筒状の容器に入れ、ご家庭にある冷蔵庫に収納する救急医療情報キットを知っていますか



「知らない」が50.7%で最も多く、次いで「知っているが持っていない」が25.2%、「既に持っている」が16.7%となっています。

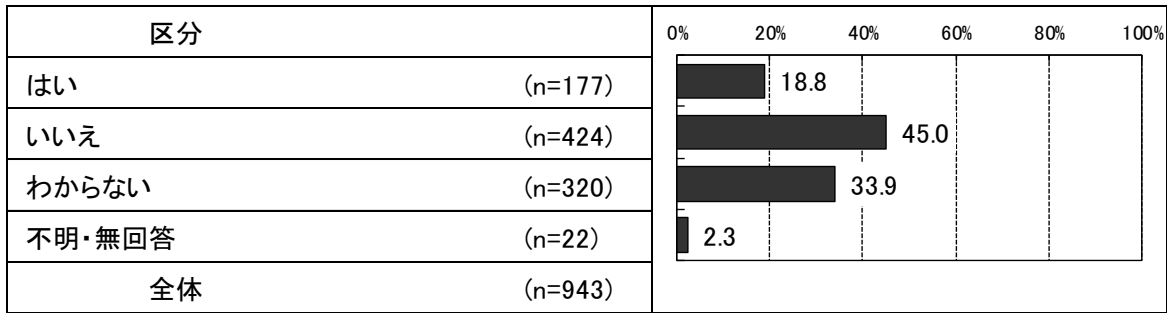
問9 権利擁護の取り組みについて

(1) あなたは成年後見制度を知っていますか



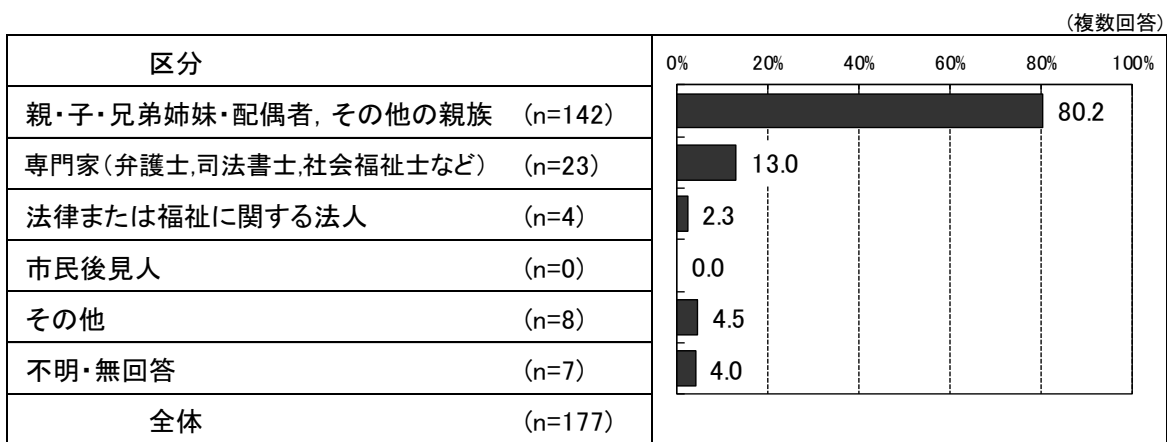
「少し知っている」が35.2%で最も多く、次いで「よく知らないが聞いたことがある」が27.4%、「よく知っている」が18.4%となっています。

(1) - 1 (成年後見制度を知っている方)【(1)で「1」または「2」と回答した方】
 今後、あなたは成年後見制度を利用したいですか



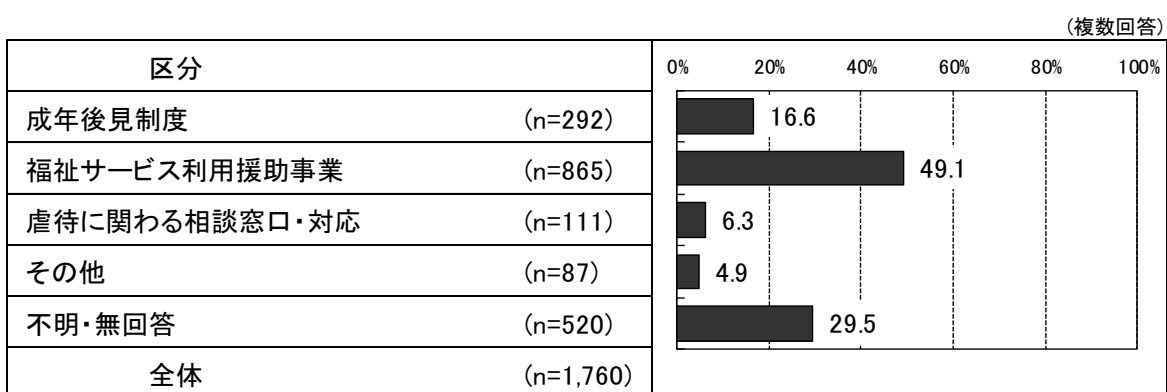
「いいえ」が45.0%で最も多く、次いで「わからない」が33.9%、「はい」が18.8%となっています。

(1) - 2 (成年後見制度を利用したい方)【(1) - 1で「はい」と回答した方】
 後見人は誰になってもらいたいですか



「親・子・兄弟姉妹・配偶者, その他の親族」が80.2%で最も多く、次いで「専門家(弁護士, 司法書士, 社会福祉士など)」が13.0%、「その他」が4.5%となっています。

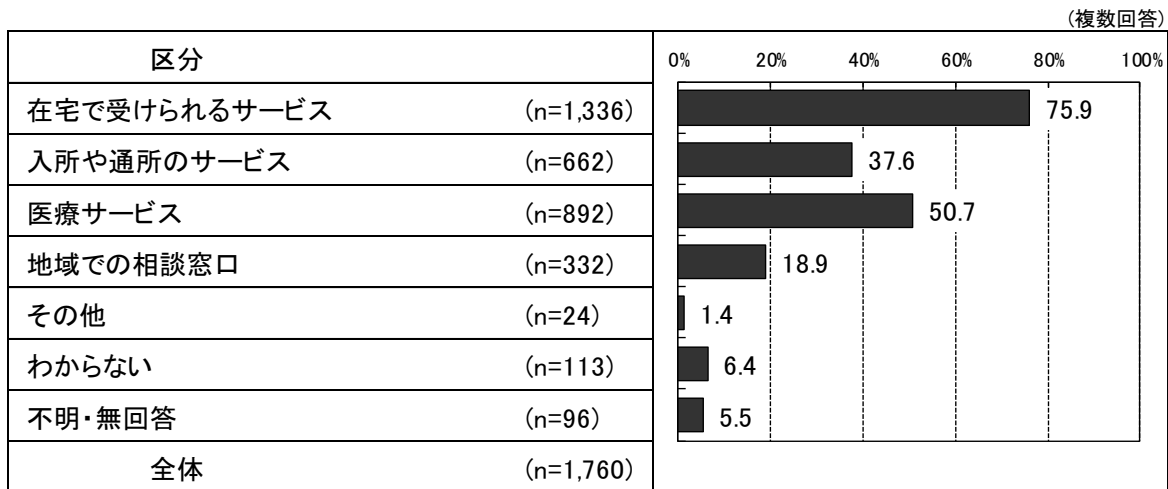
(2) あなたは、虐待をはじめ、高齢者の権利擁護について、どのようなことを知りたいですか



「福祉サービス利用援助事業」が49.1%で最も多く、次いで「成年後見制度」が16.6%、「虐待に関わる相談窓口・対応」が6.3%となっています。

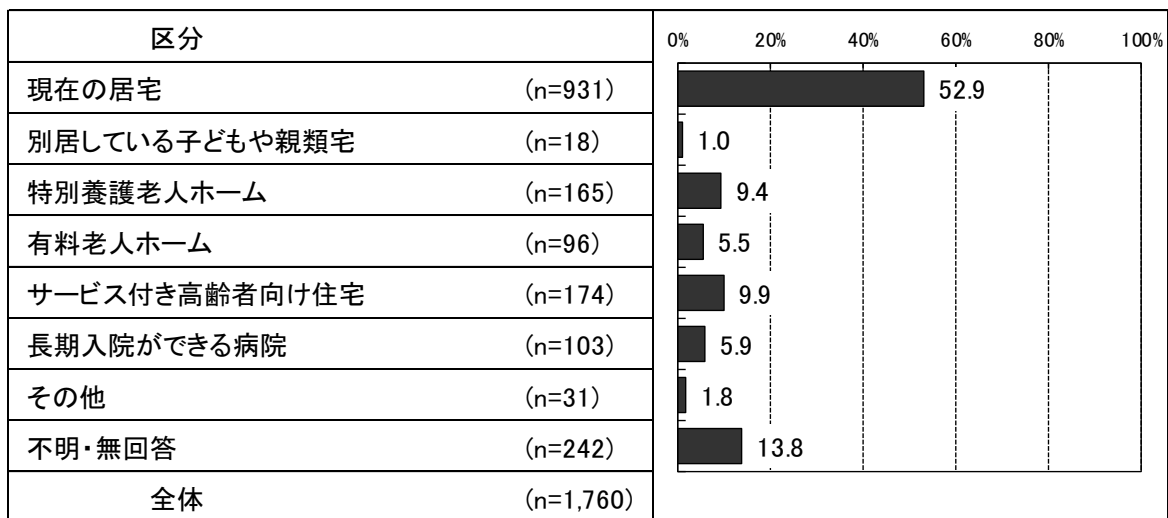
問 10 あなたの今後のサービスの利用について

(1) 自分の身の回りのことができなくなったときに、どのようなサービスがあれば在宅生活を続けていくことができますか（いくつでも）



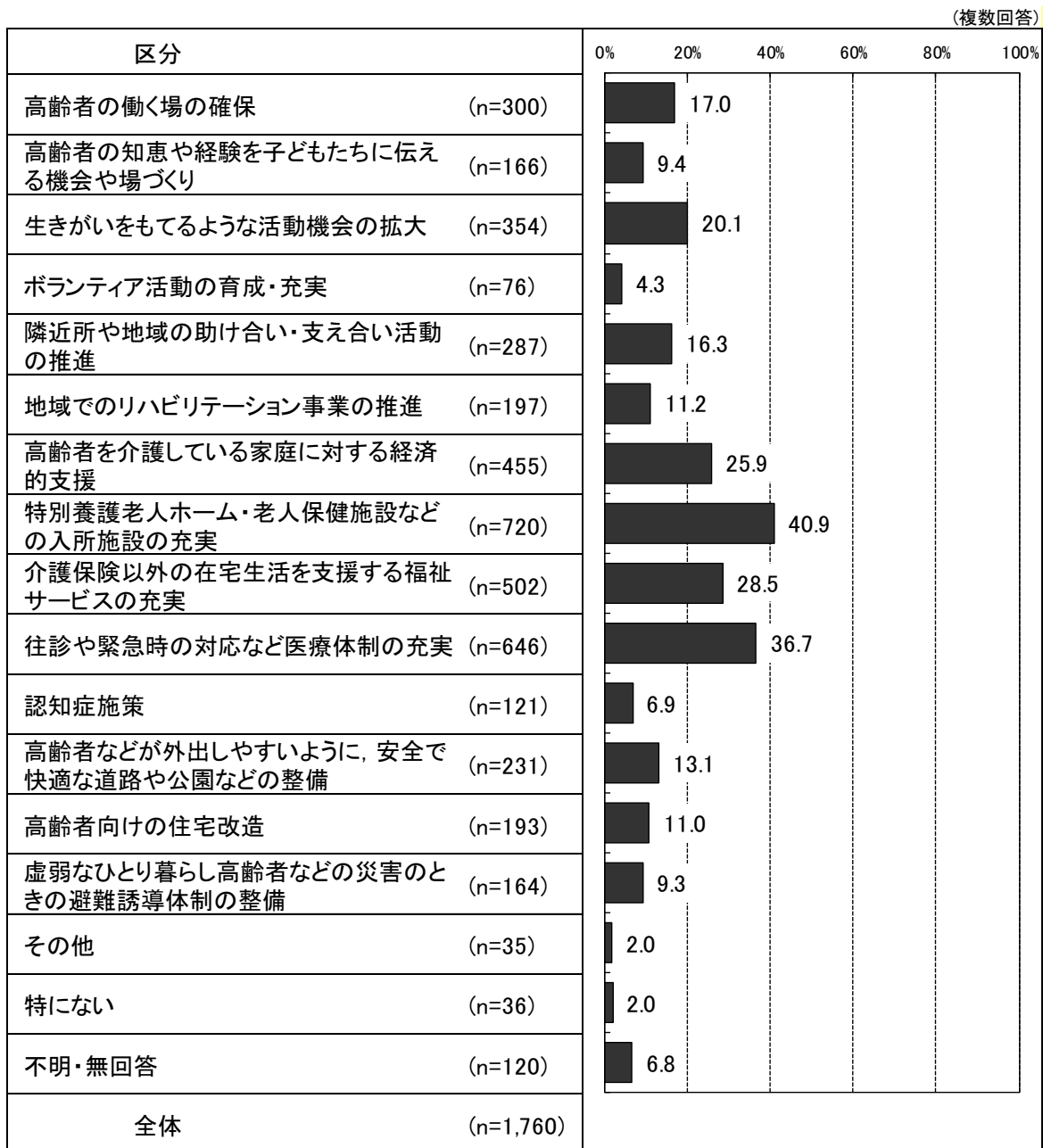
「在宅で受けられるサービス」が75.9%で最も多く、次いで「医療サービス」が50.7%、「入所や通所のサービス」が37.6%となっています。

(2) あなたは将来の住まいとして、どのような場所で介護を受けたいとお考えですか（最も近いものを1つ）



「現在の居宅」が52.9%で最も多く、次いで「サービス付き高齢者向け住宅」が9.9%、「特別養護老人ホーム」が9.4%となっています。

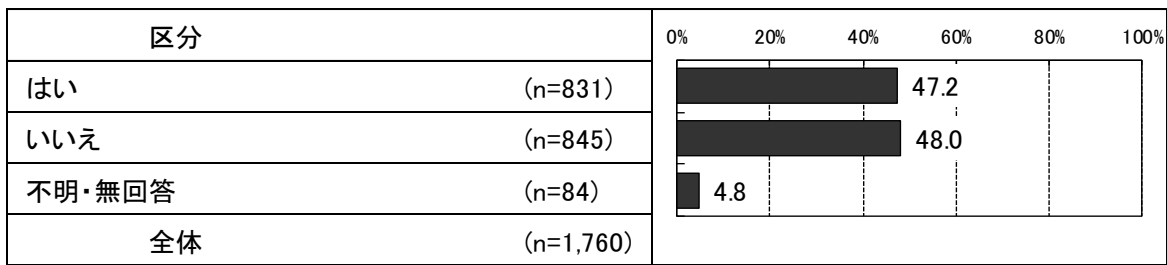
(3) 高齢社会への対応として、市が力を入れるべきことは何ですか（主なもの3つまで）



「特別養護老人ホーム・老人保健施設などの入所施設の充実」が 40.9%で最も多く、次いで「往診や緊急時の対応など医療体制の充実」が 36.7%、「介護保険以外の在宅生活を支援する福祉サービスの充実」が 28.5%となっています。

問 11 介護の経験について

(1) あなたはどなたかの介護をしたことがありますか（現在、介護している場合も含む）

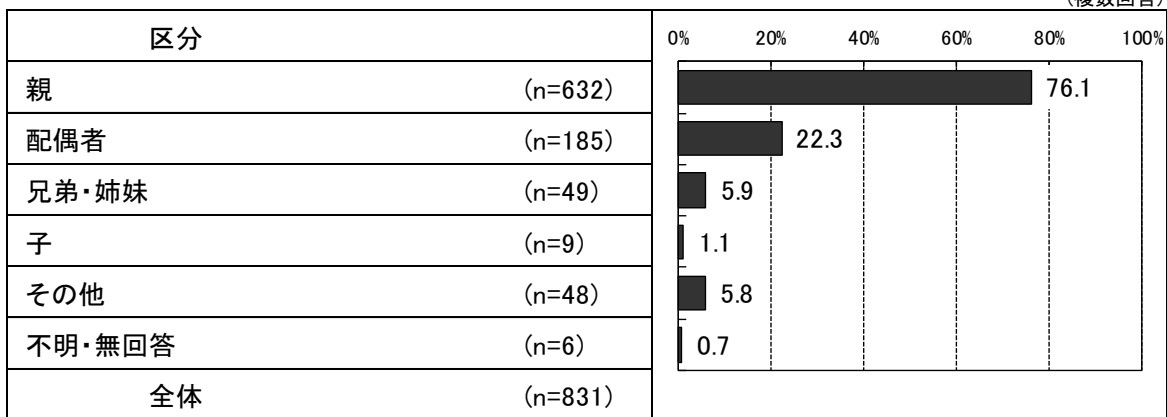


「いいえ」が48.0%、「はい」が47.2%となっています。

(2) （(1)で「はい」とお答えいただいた方

誰の介護をしていましたか（現在、介護している場合も含む）

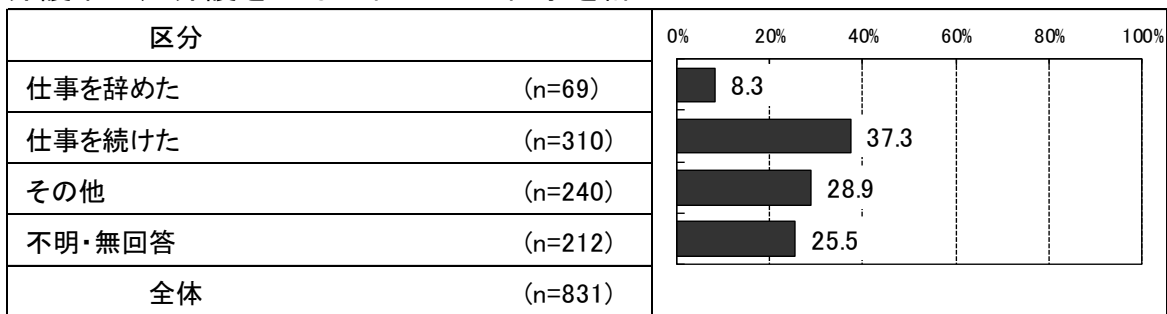
(複数回答)



「親」が76.1%で最も多く、次いで「配偶者」が22.3%、「兄弟・姉妹」が5.9%となっています。

(3) （(1)で「はい」とお答えいただいた方

介護中に、介護を主な理由として仕事を辞めましたか

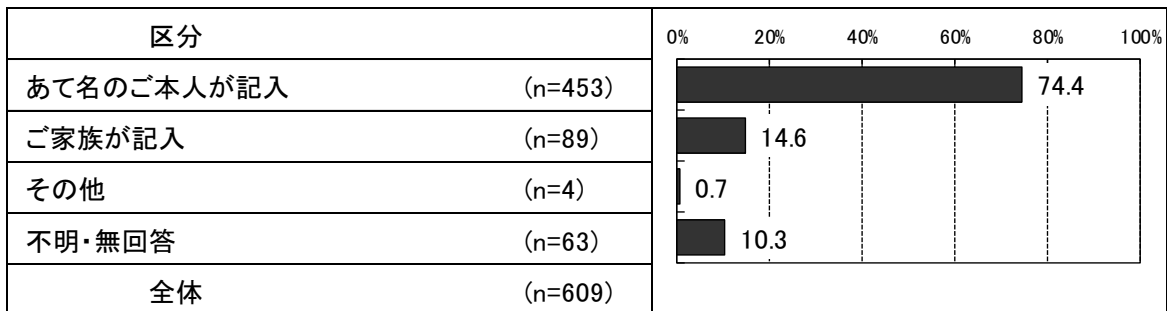


「仕事を続けた」が37.3%で最も多く、次いで「その他」が28.9%、「仕事を辞めた」が8.3%となっています。

2 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（要支援認定者）

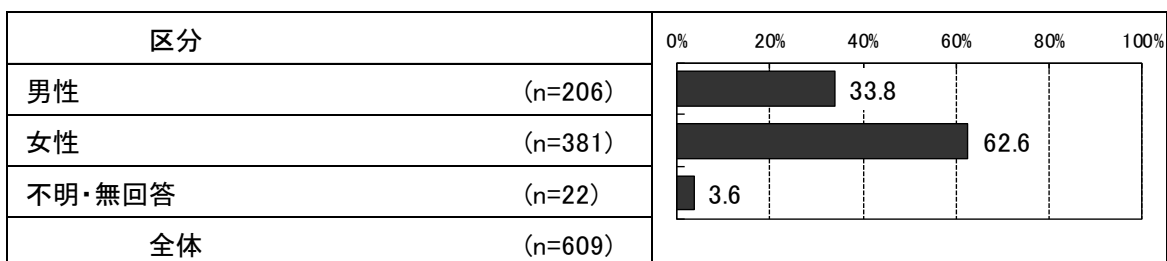
基礎情報について

(1) 記入者



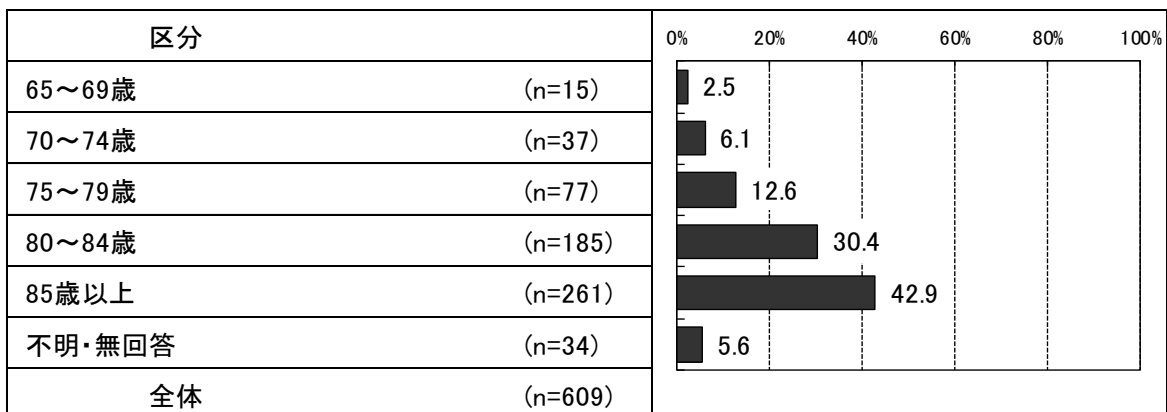
「あて名のご本人が記入」が74.4%で最も多く、次いで「ご家族が記入」が14.6%、「その他」が0.7%となっています。

(2) ご本人の性別



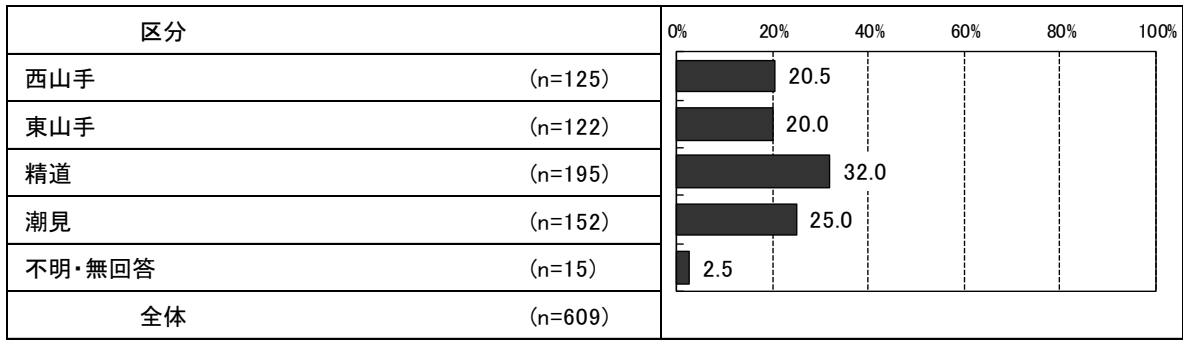
「女性」が62.6%、「男性」が33.8%となっています。

(3) ご本人の年齢



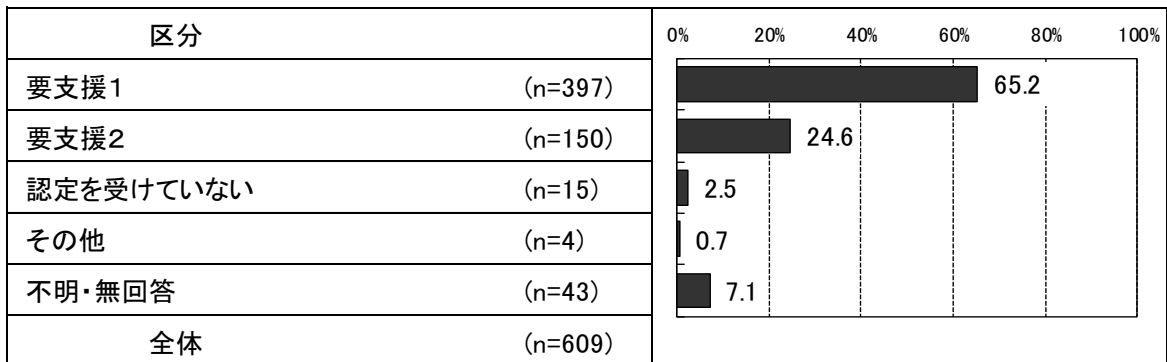
「85歳以上」が42.9%で最も多く、次いで「80～84歳」が30.4%、「75～79歳」が12.6%となっています。平均は83.4歳となっています。

(4) 住んでいる所



「精道」が32.0%で最も多く、次いで「潮見」が25.0%、「西山手」が20.5%となっています。

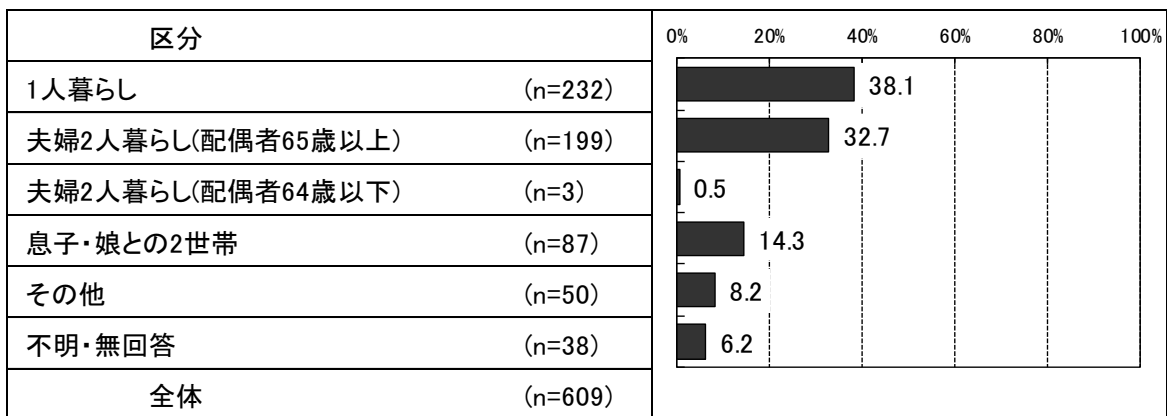
(5) 要介護認定状況



「要支援1」が65.2%で最も多く、次いで「要支援2」が24.6%、「認定を受けていない」が2.5%となっています。

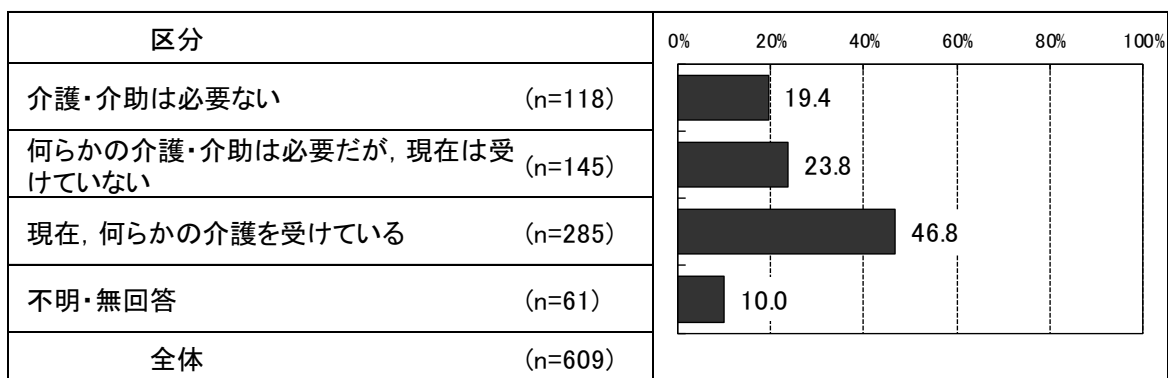
問1 あなた（あて名のご本人）のご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください



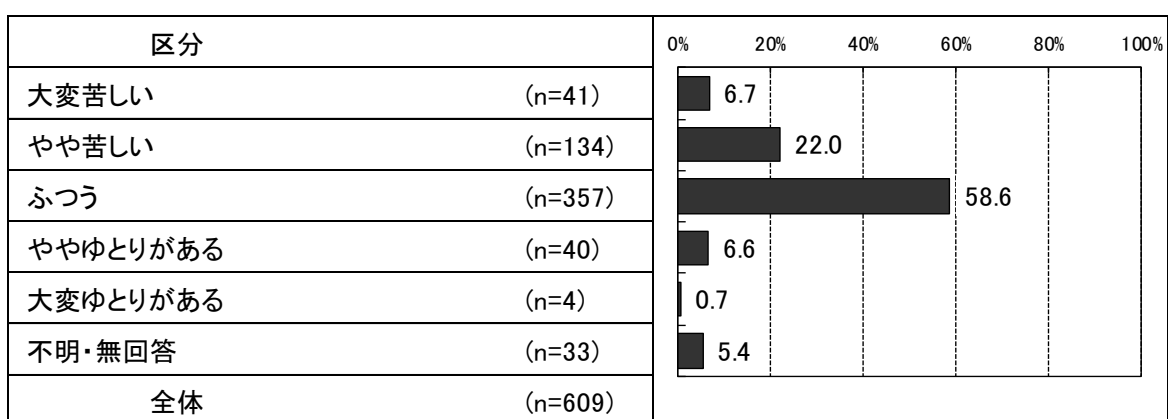
「1人暮らし」が38.1%で最も多く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が32.7%、「息子・娘との2世帯」が14.3%となっています。

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか



「現在、何らかの介護を受けている」が 46.8%で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 23.8%、「介護・介助は必要ない」が 19.4%となっています。

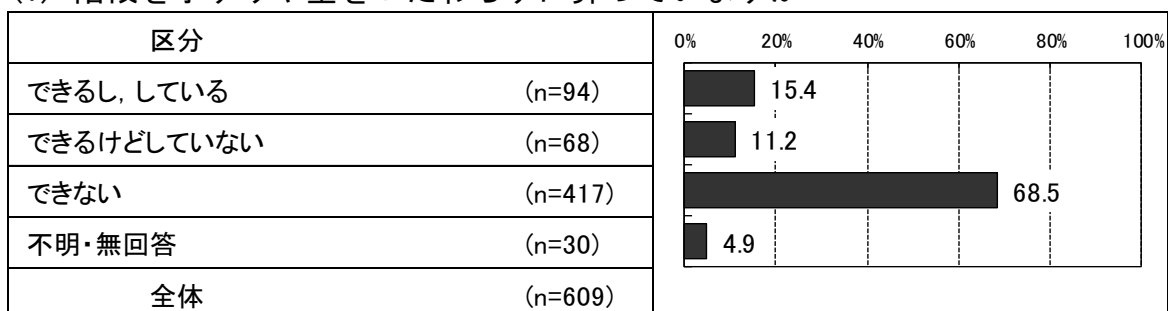
(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか



「ふつう」が 58.6%で最も多く、次いで「やや苦しい」が 22.0%、「大変苦しい」が 6.7%となっています。

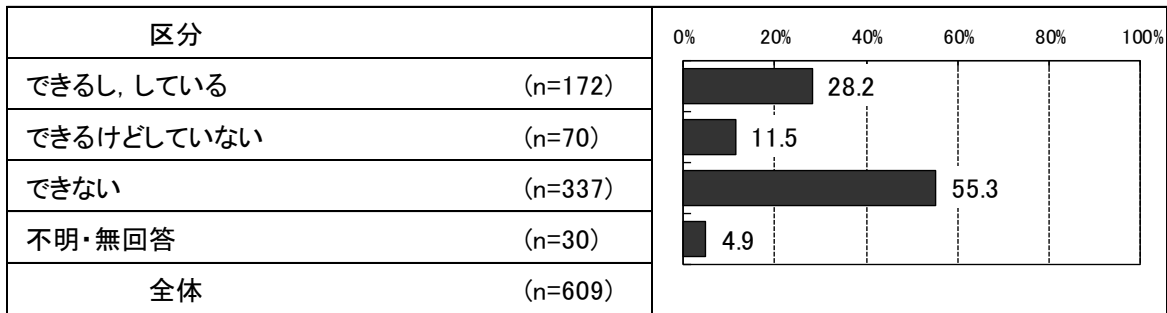
問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか



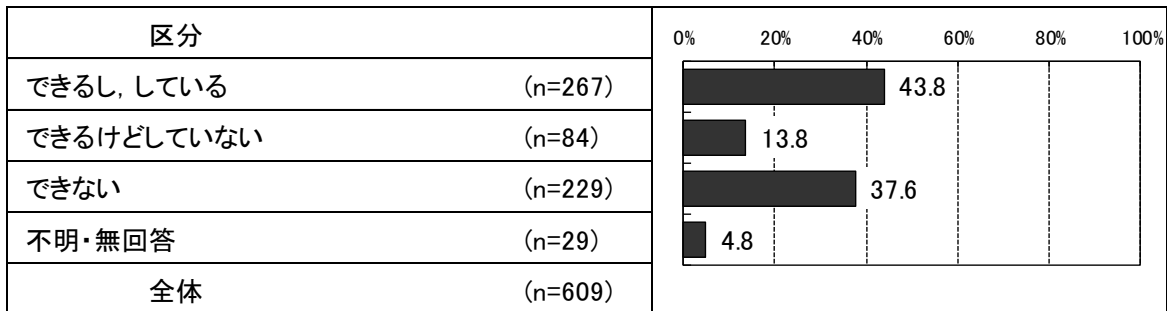
「できない」が 68.5%で最も多く、次いで「できるし、している」が 15.4%、「できるけどしていない」が 11.2%となっています。

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか



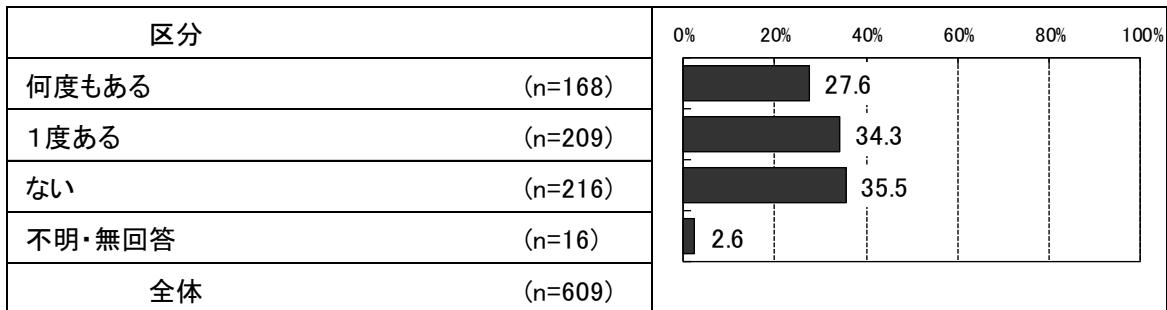
「できない」が55.3%で最も多く、次いで「できるし、している」が28.2%、「できるけどしていない」が11.5%となっています。

(3) 15分位続けて歩いていますか



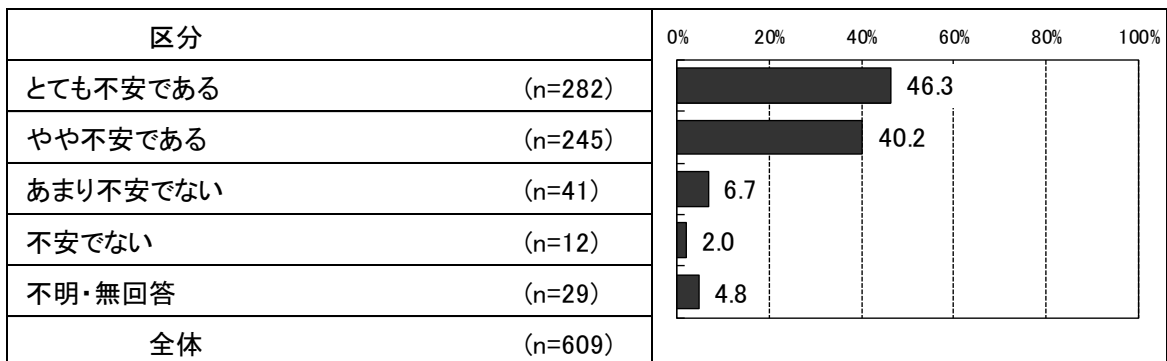
「できるし、している」が43.8%で最も多く、次いで「できない」が37.6%、「できるけどしていない」が13.8%となっています。

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか



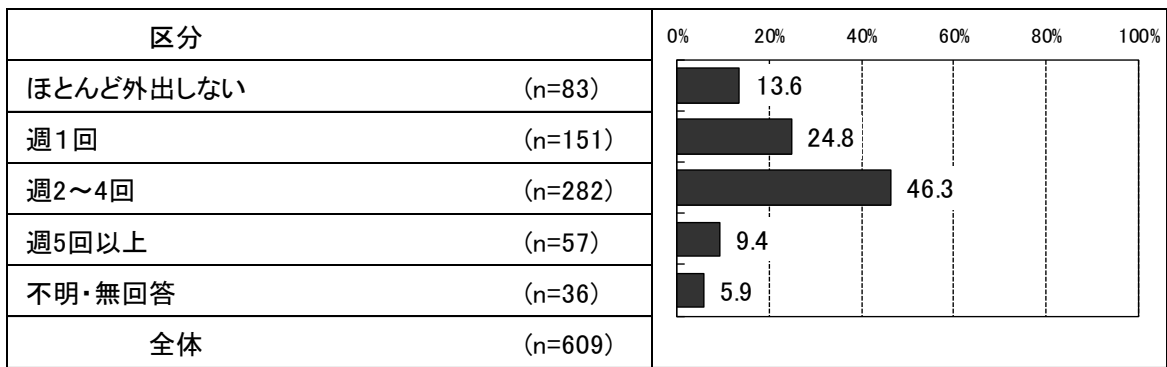
「ない」が35.5%で最も多く、次いで「1度ある」が34.3%、「何度もある」が27.6%となっています。

(5) 転倒に対する不安は大きいですか



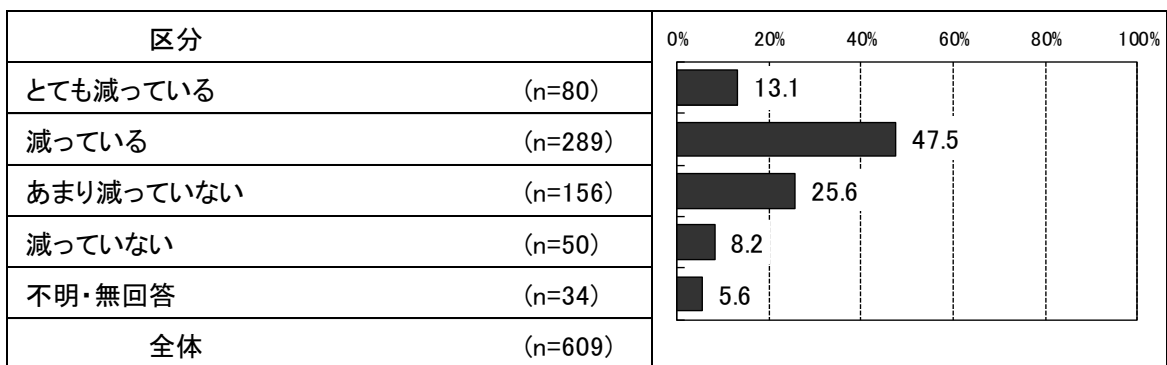
「とても不安である」が46.3%で最も多く、次いで「やや不安である」が40.2%、「あまり不安でない」が6.7%となっています。

(6) 週に1回以上は外出していますか



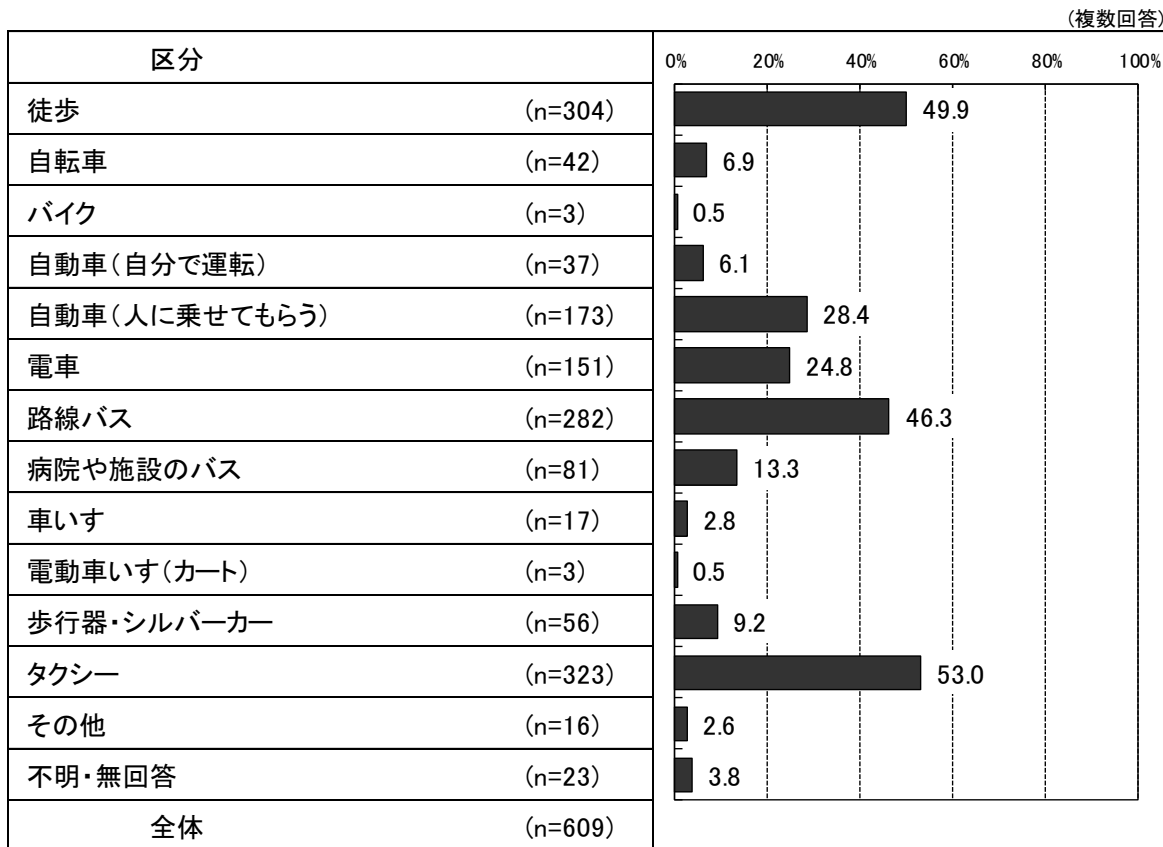
「週2~4回」が46.3%で最も多く、次いで「週1回」が24.8%、「ほとんど外出しない」が13.6%となっています。

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか



「減っている」が47.5%で最も多く、次いで「あまり減っていない」が25.6%、「とても減っている」が13.1%となっています。

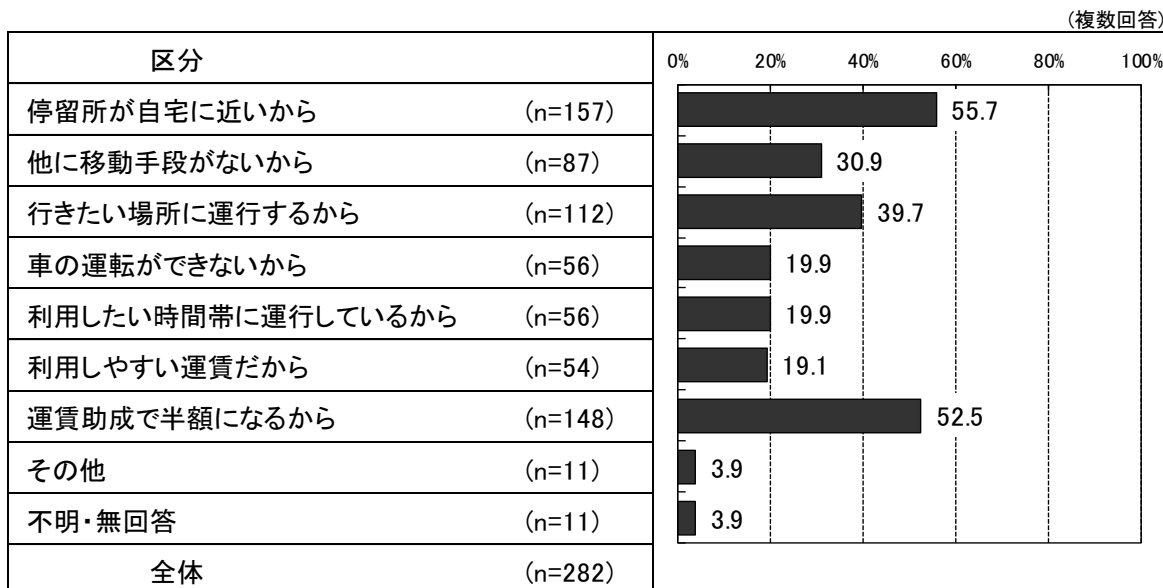
(8) 外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）



「タクシー」が 53.0%で最も多く、次いで「徒歩」が 49.9%、「路線バス」が 46.3%となっています。

(9) ((8)で「7. 路線バス」とお答えいただいた方)

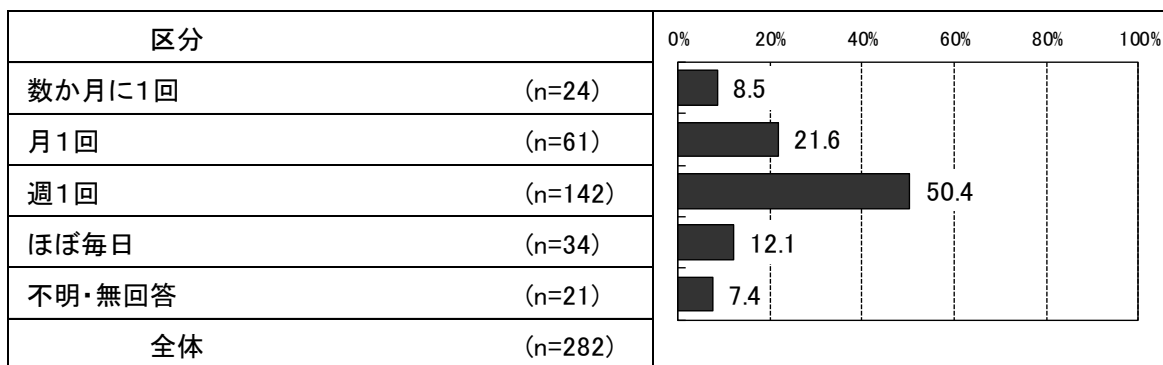
あなたが路線バスを利用する主な理由は何ですか（いくつでも）



「停留所が自宅に近いから」が 55.7%で最も多く、次いで「運賃助成で半額になるから」が 52.5%、「行きたい場所に運行するから」が 39.7%となっています。

(10) ((8) で「7. 路線バス」とお答えいただいた方)

あなたの路線バスの利用回数は、どのくらいですか

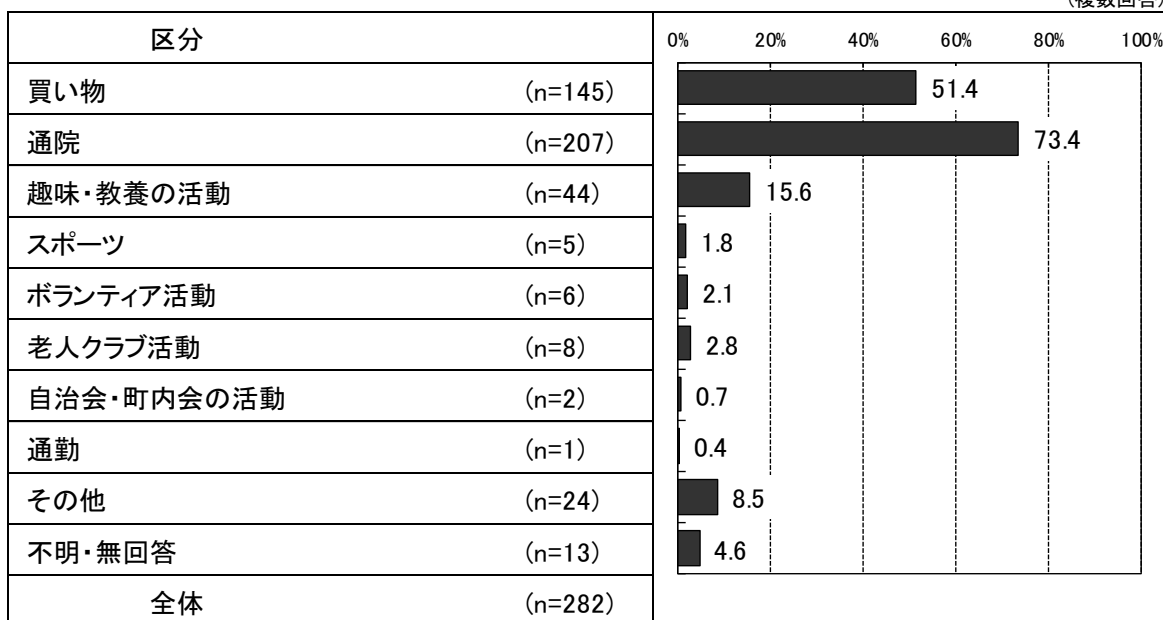


「週1回」が50.4%で最も多く、次いで「月1回」が21.6%、「ほぼ毎日」が12.1%となっています。

(11) ((8) で「7. 路線バス」とお答えいただいた方)

あなたが路線バスを利用する主な目的は何ですか（いくつでも）

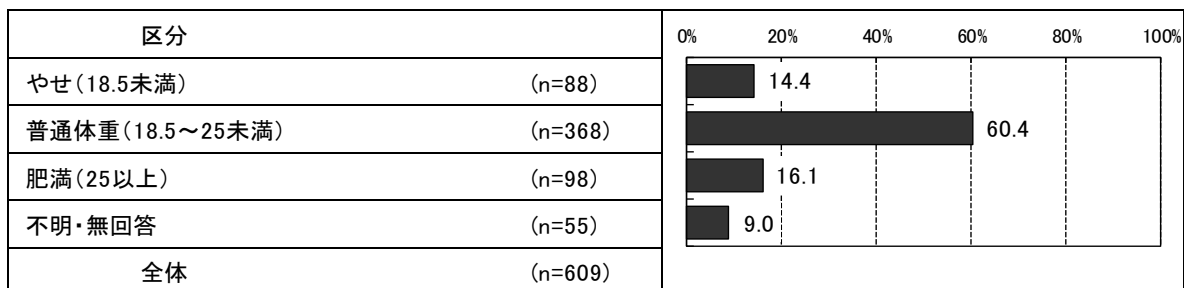
(複数回答)



「通院」が73.4%で最も多く、次いで「買い物」が51.4%、「趣味・教養の活動」が15.6%となっています。

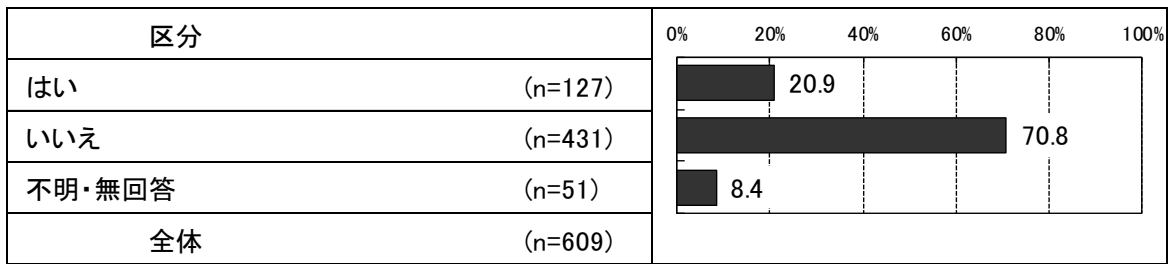
問3 食べることについて

(1) 身長・体重（BMI判定）



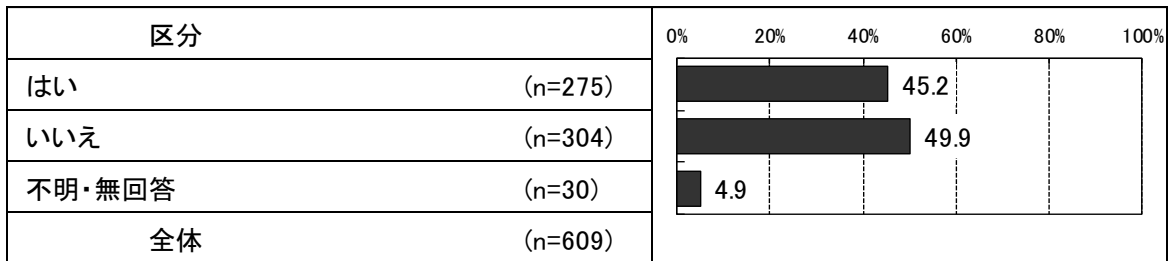
「普通体重(18.5~25未満)」が60.4%で最も多く、次いで「肥満(25以上)」が16.1%、「やせ(18.5未満)」が14.4%となっています。平均は21.97となっています。

(2) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか



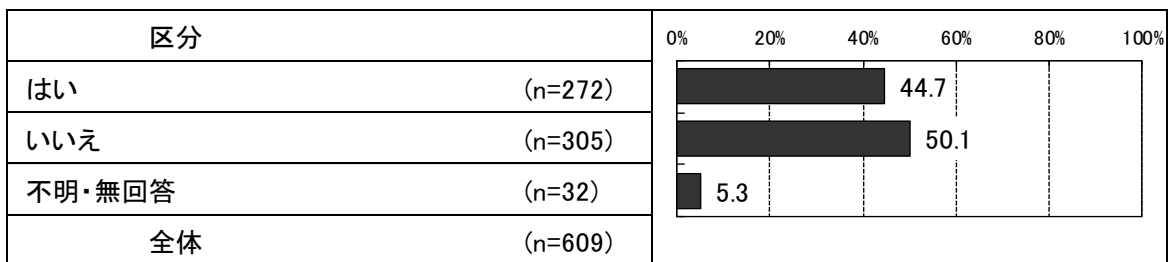
「いいえ」が70.8%、「はい」が20.9%となっています。

(3) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか



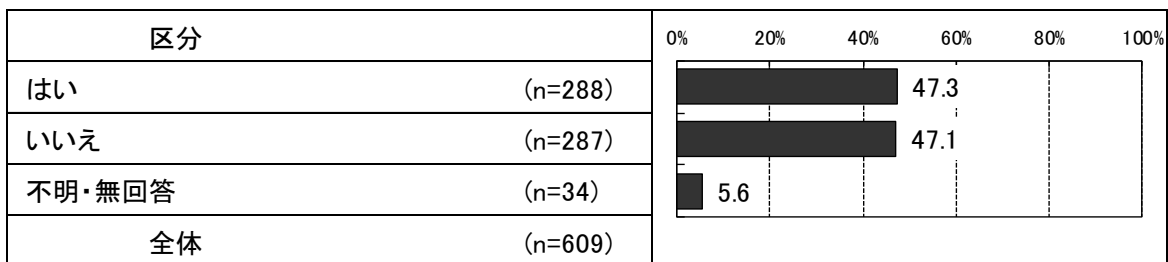
「いいえ」が49.9%、「はい」が45.2%となっています。

(4) お茶や汁物等でむせることがありますか



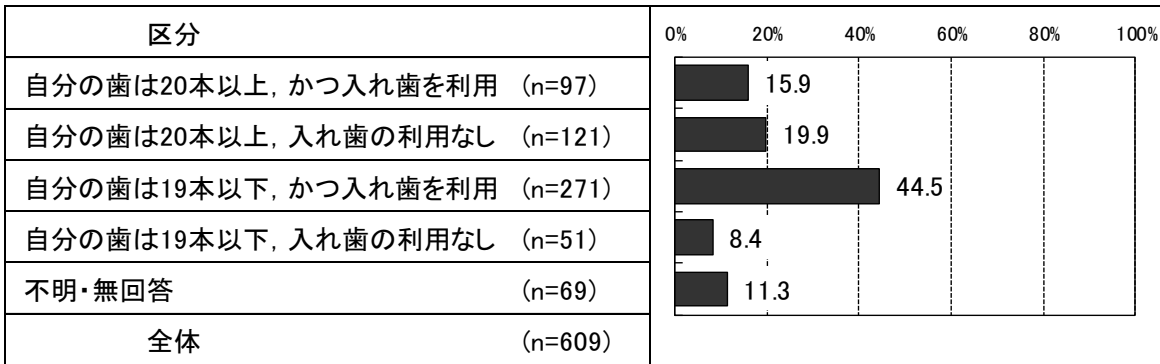
「いいえ」が50.1%、「はい」が44.7%となっています。

(5) 口の渇きが気になりますか



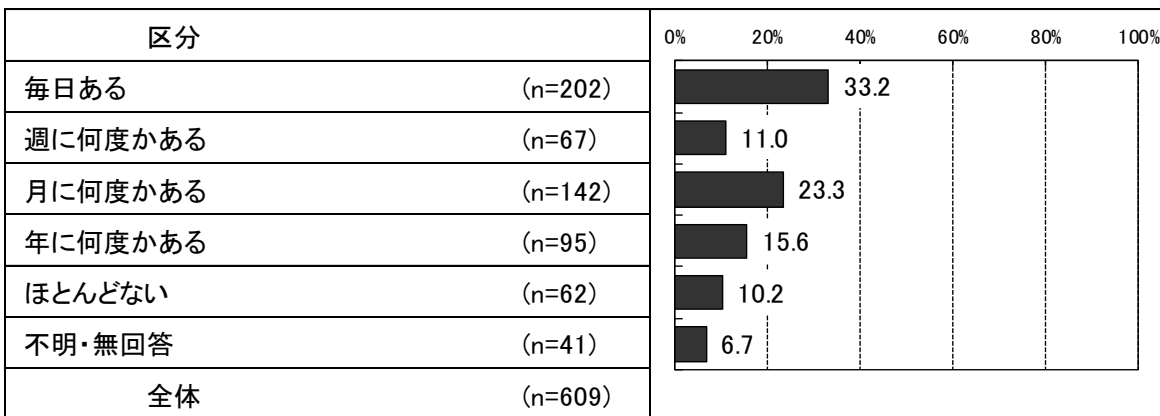
「はい」が47.3%、「いいえ」が47.1%となっています。

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください
 (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です)



「自分の歯は 19 本以下, かつ入れ歯を利用」が 44.5%で最も多く, 次いで「自分の歯は 20 本以上, 入れ歯の利用なし」が 19.9%, 「自分の歯は 20 本以上, かつ入れ歯を利用」が 15.9%となっています。

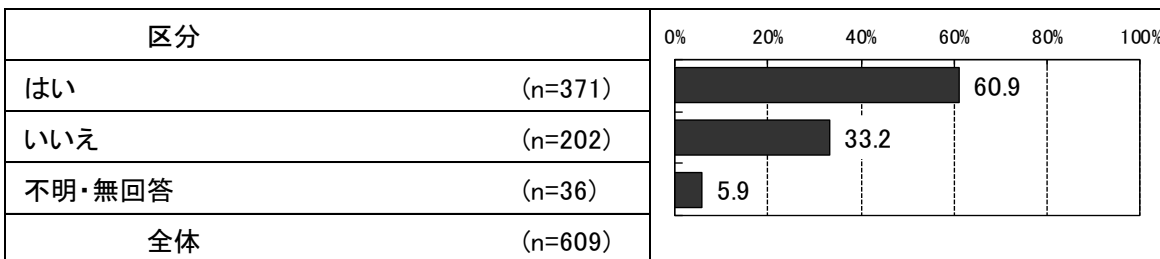
(7) どなたかと食事をとにもする機会がありますか



「毎日ある」が 33.2%で最も多く, 次いで「月に何度かある」が 23.3%, 「年に何度かある」が 15.6%となっています。

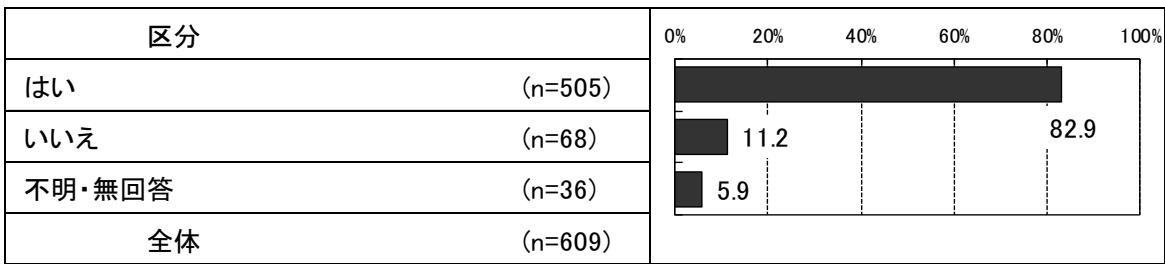
問 4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか



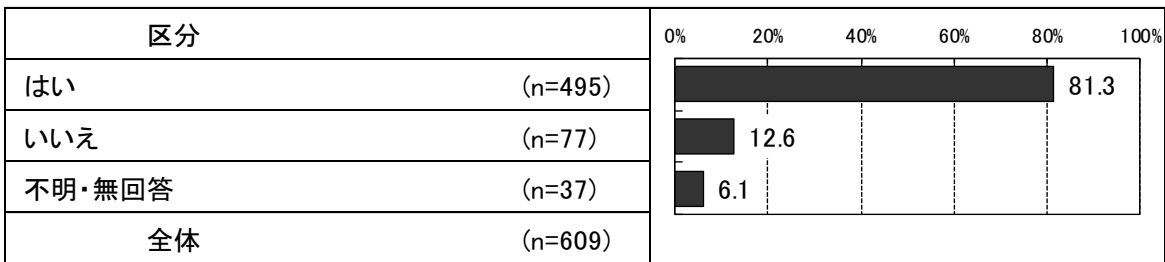
「はい」が 60.9%, 「いいえ」が 33.2%となっています。

(2) 認知症は“加齢に伴う物忘れ”とは違うことを知っていますか



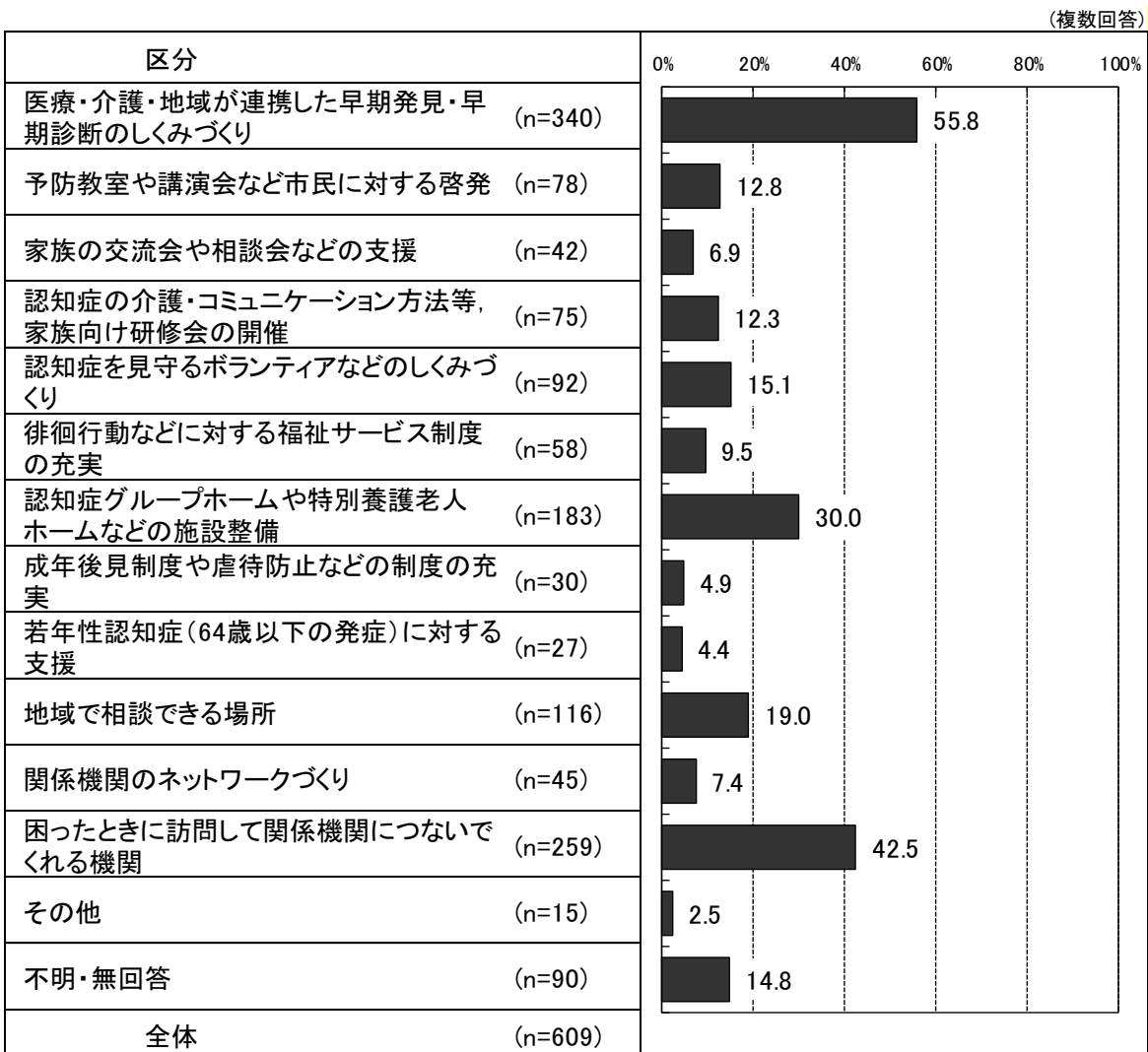
「はい」が82.9%、「いいえ」が11.2%となっています。

(3) 認知症は、早期に発見し早期に治療を開始すると、症状の進行が緩やかになると言われていることを知っていますか



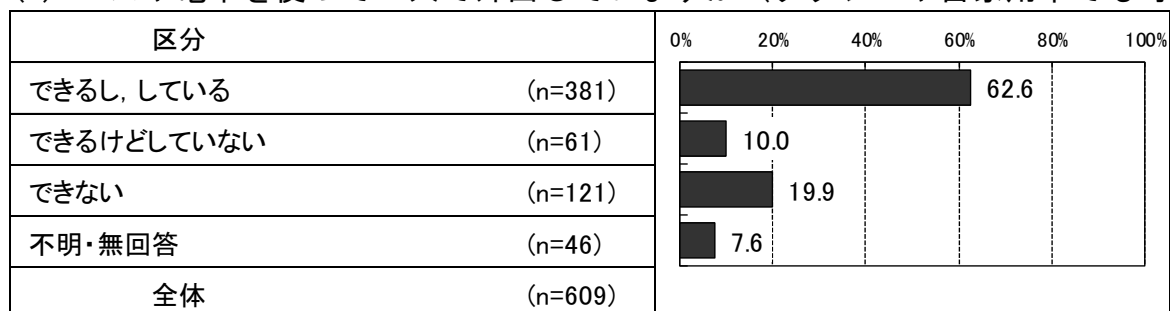
「はい」が81.3%、「いいえ」が12.6%となっています。

(4) 今後、認知症施策を進めていくうえで、市が力を入れるべきことは何ですか
(主なものを3つまで)



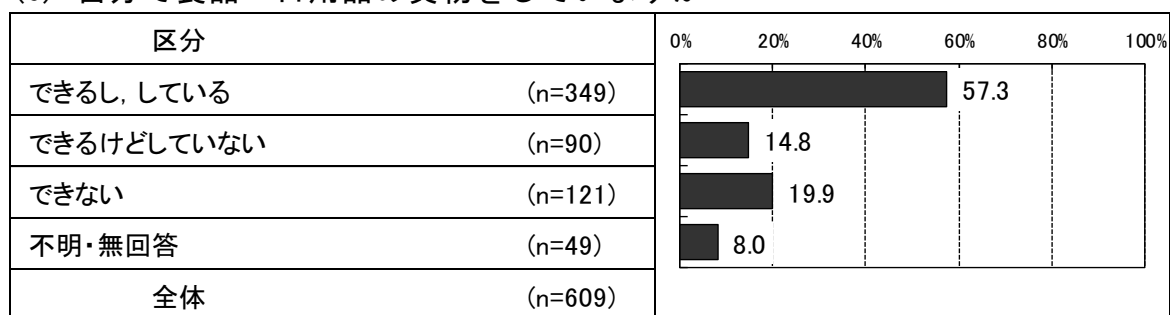
「医療・介護・地域が連携した早期発見・早期診断のしくみづくり」が 55.8%で最も多く、次いで「困ったときに訪問して関係機関につないでくれる機関」が 42.5%、「認知症グループホームや特別養護老人ホームなどの施設整備」が 30.0%となっています。

(5) バスや電車を使って1人で外出していますか（タクシーや自家用車でも可）



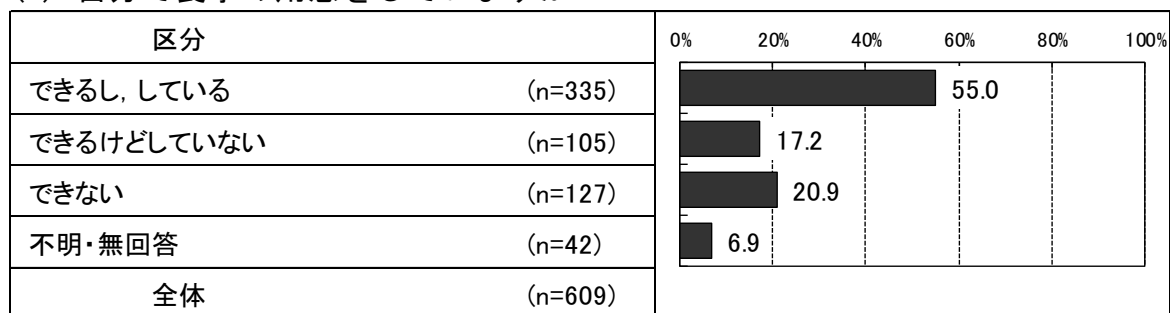
「できるし、している」が 62.6%で最も多く、次いで「できない」が 19.9%、「できるけどしていない」が 10.0%となっています。

(6) 自分で食品・日用品の買物をしていますか



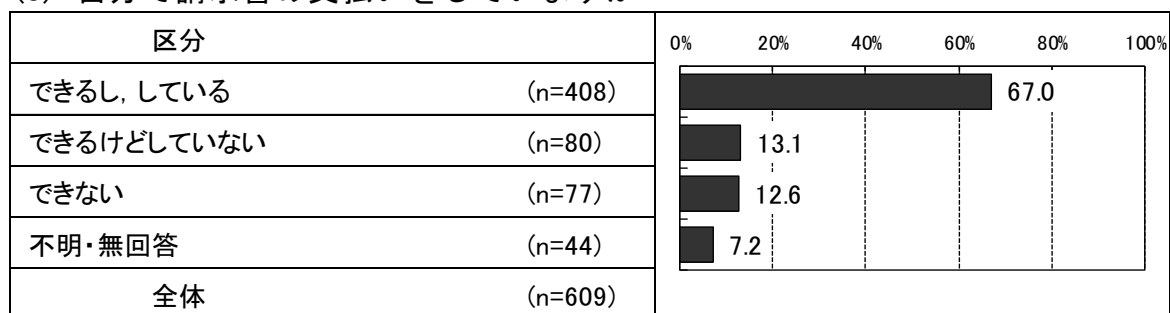
「できるし、している」が 57.3%で最も多く、次いで「できない」が 19.9%、「できるけどしていない」が 14.8%となっています。

(7) 自分で食事の用意をしていますか



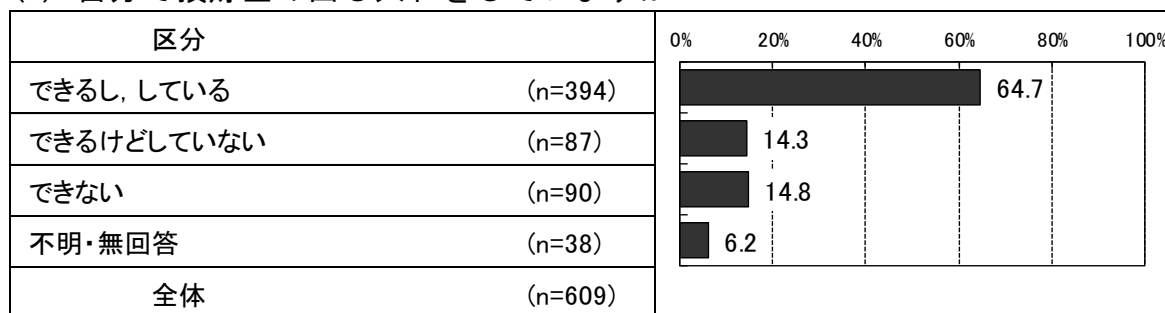
「できるし、している」が 55.0%で最も多く、次いで「できない」が 20.9%、「できるけどしていない」が 17.2%となっています。

(8) 自分で請求書の支払いをしていますか



「できるし、している」が67.0%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が13.1%、「できない」が12.6%となっています。

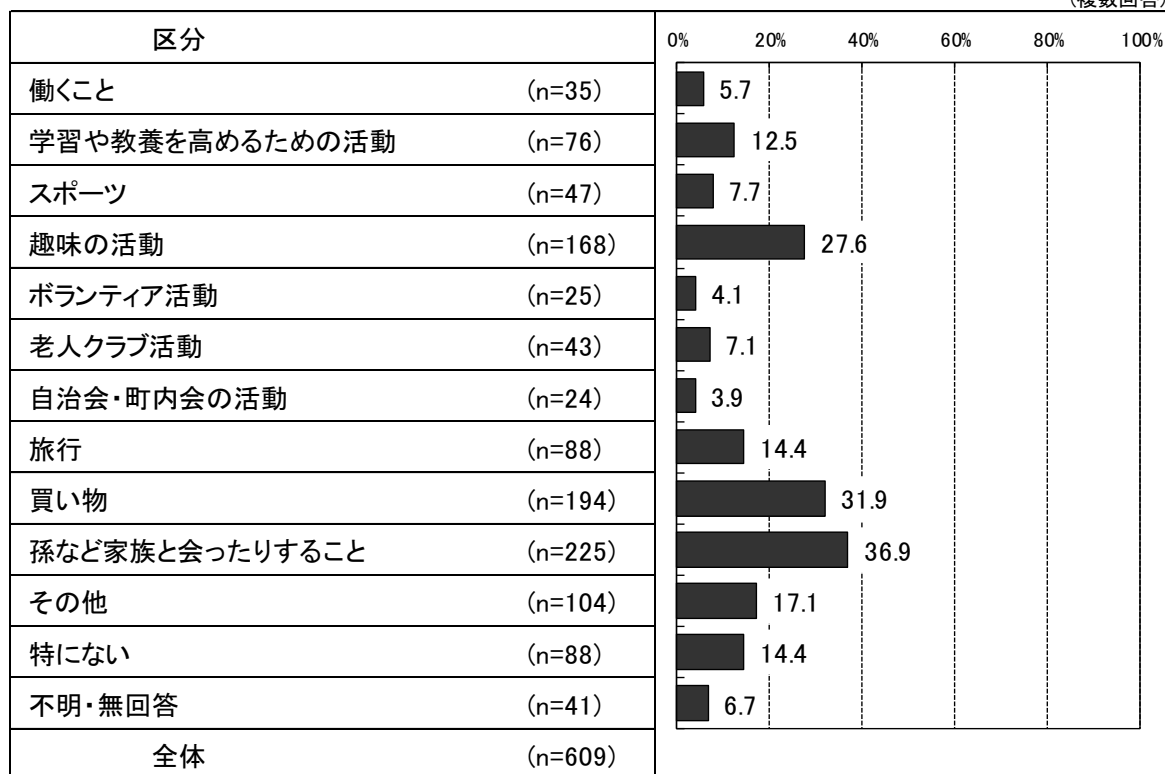
(9) 自分で預貯金の出し入れをしていますか



「できるし、している」が64.7%で最も多く、次いで「できない」が14.8%、「できるけどしていない」が14.3%となっています。

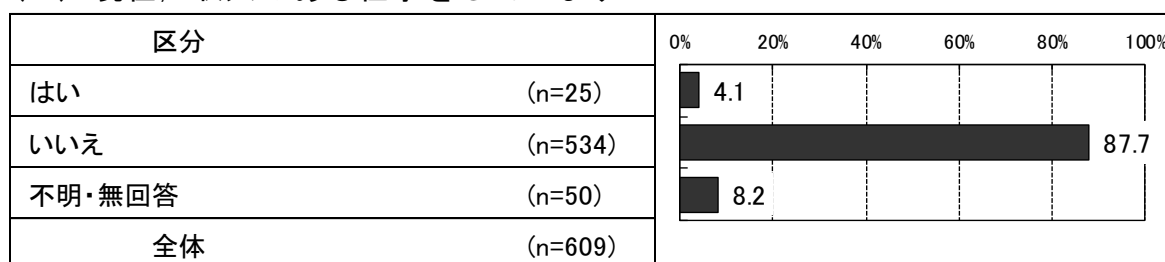
(10) あなたの日常生活の中での楽しみは何ですか（いくつでも）

(複数回答)



「孫など家族と会ったりすること」が36.9%で最も多く、次いで「買い物」が31.9%、「趣味の活動」が27.6%となっています。

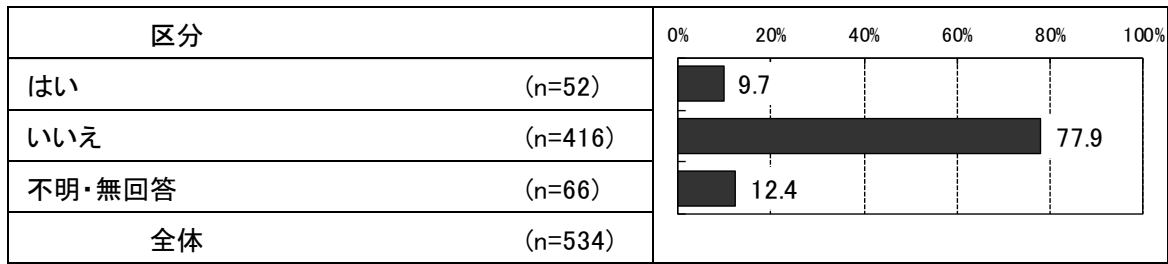
(11) 現在、収入のある仕事をしていますか



「いいえ」が87.7%、「はい」が4.1%となっています。

(11) - 1 (仕事をしていない方)【(11)で「いいえ」と回答した方】

今後、収入のある仕事をしたいですか

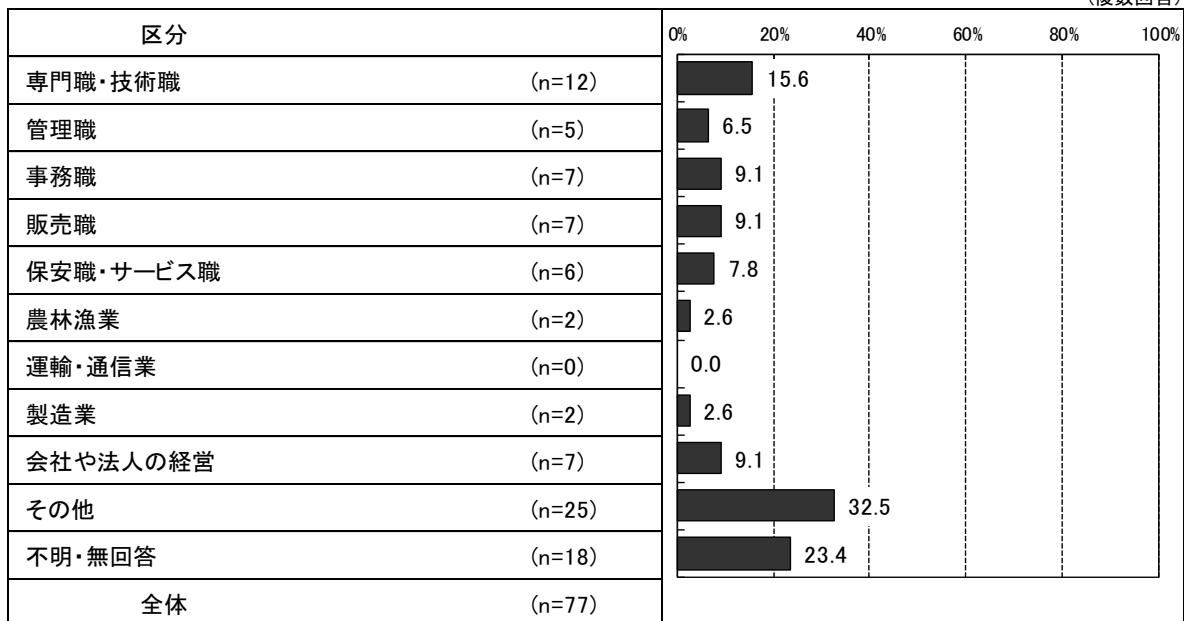


「いいえ」が77.9%、「はい」が9.7%となっています。

(11) - 2 現在の職業又は希望する職業は何ですか（いくつでも）

※ (11) 及び (11) - 1 で「はい」と回答した方が回答

(複数回答)

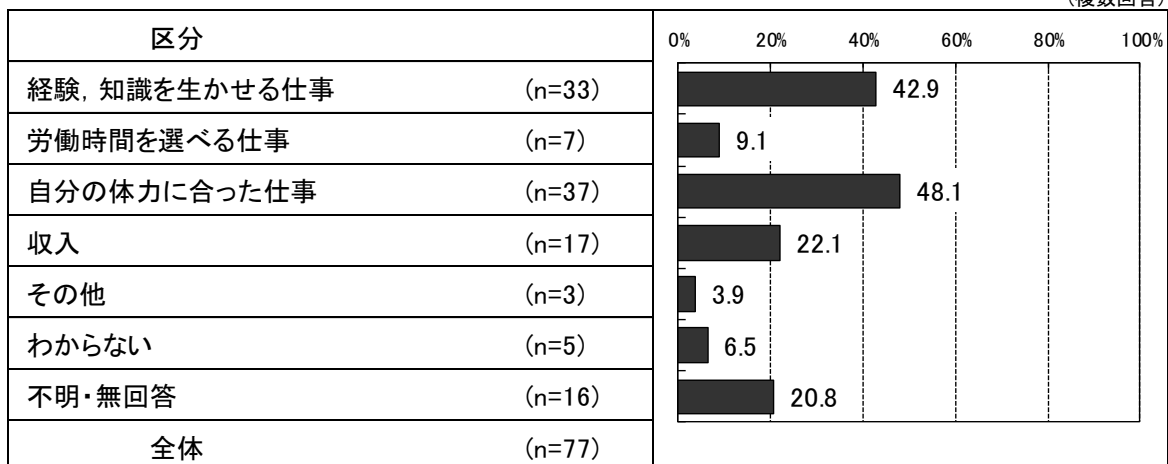


「その他」が32.5%で最も多く、次いで「専門職・技術職」が15.6%、「事務職」と「販売職」と「会社や法人の経営」が、ともに9.1%となっています。

(11) - 3 働き方で重視する条件はどれですか（いくつでも）

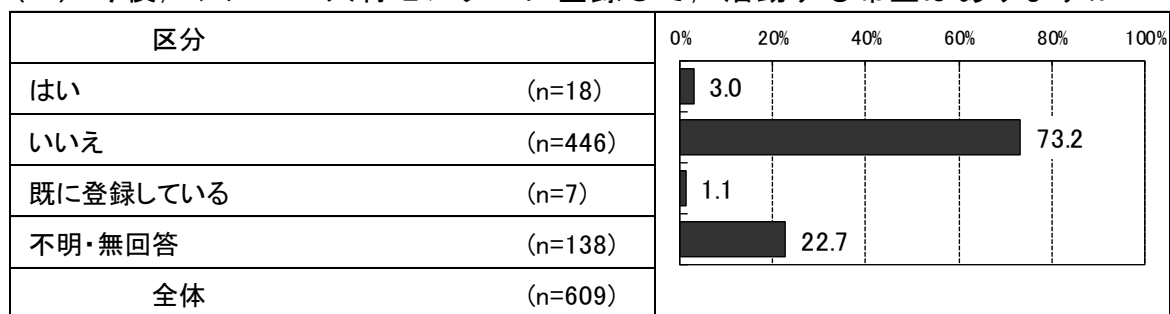
※ (11) 及び (11) - 1 で「はい」と回答した方が回答

(複数回答)



「自分の体力に合った仕事」が48.1%で最も多く、次いで「経験、知識を生かせる仕事」が42.9%、「収入」が22.1%となっています。

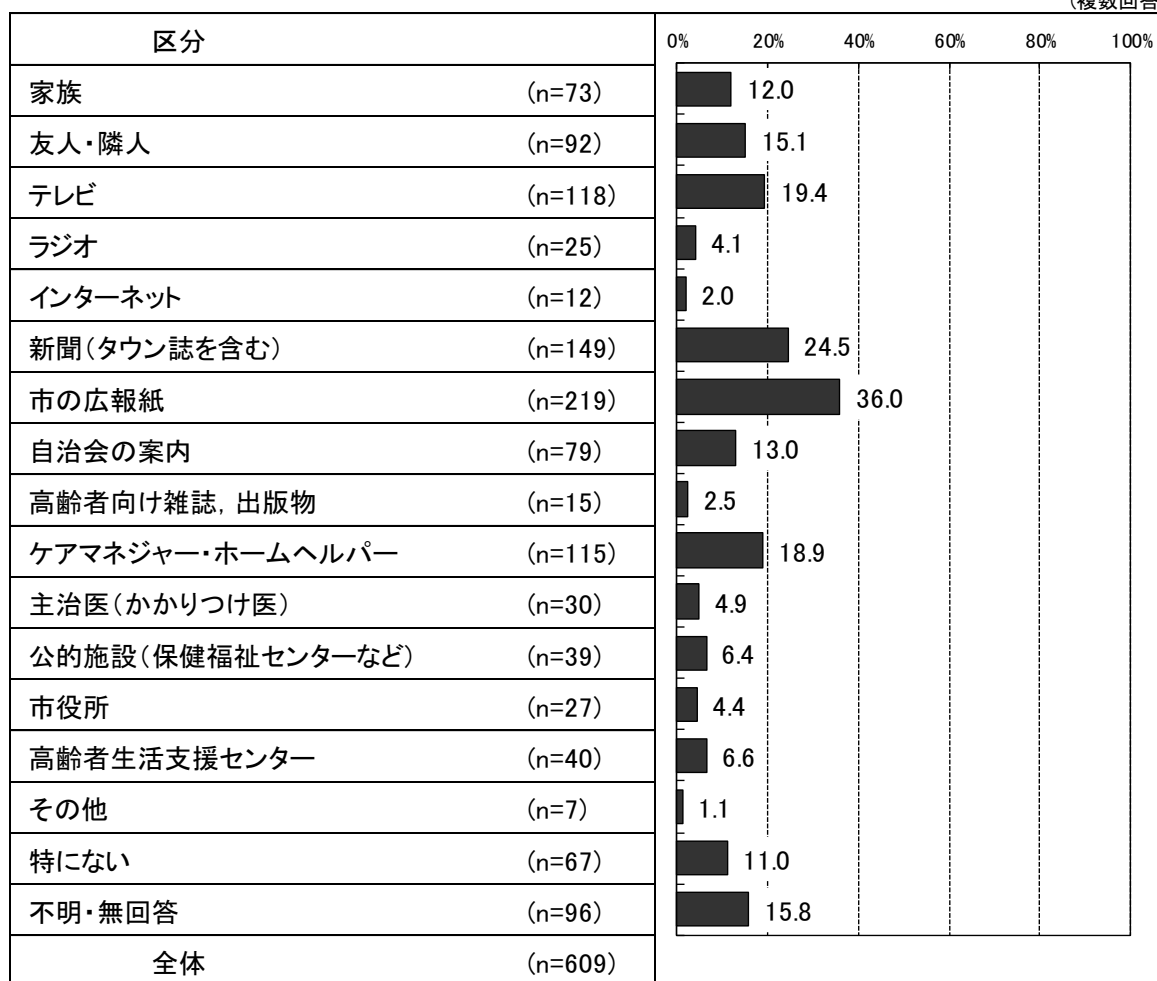
(12) 今後、シルバー人材センターに登録して、活動する希望はありますか



「いいえ」が73.2%で最も多く、次いで「はい」が3.0%、「既に登録している」が1.1%となっています。

(13) 高齢者向けに様々な催し物やサービスの提供が行われていますが、あなたはどのような情報を主にどこから得ていますか（いくつでも）

(複数回答)

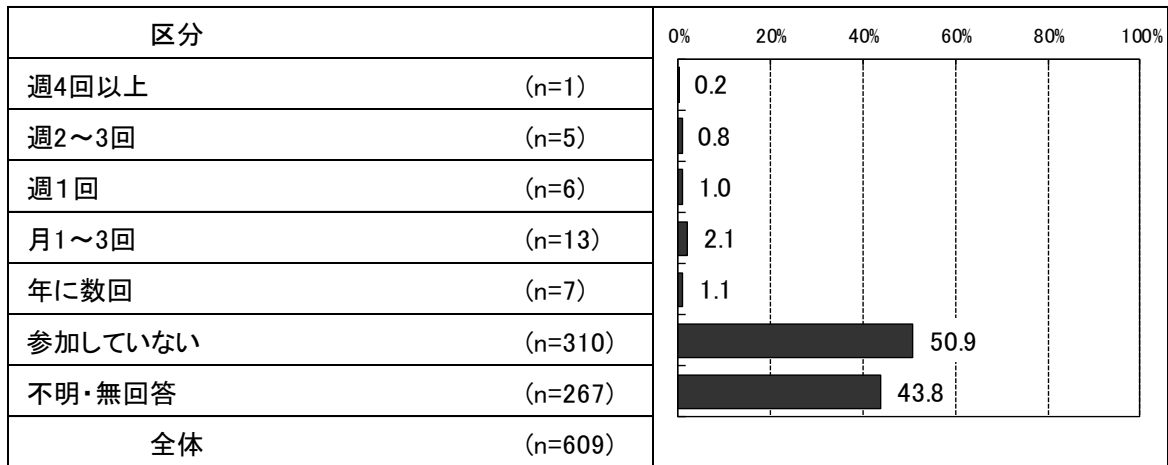


「市の広報紙」が36.0%で最も多く、次いで「新聞(タウン誌を含む)」が24.5%、「テレビ」が19.4%となっています。

問5 地域での活動について

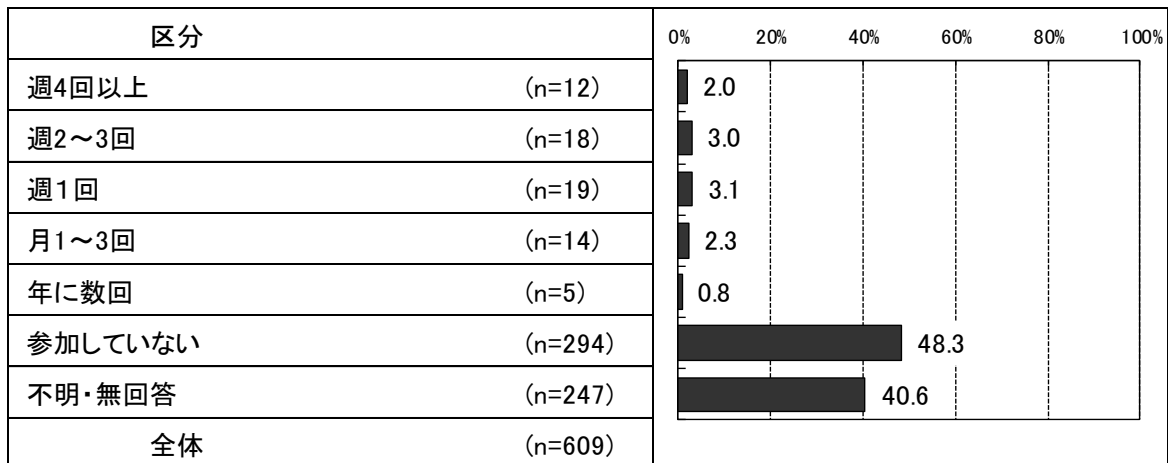
(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

① ボランティアのグループ



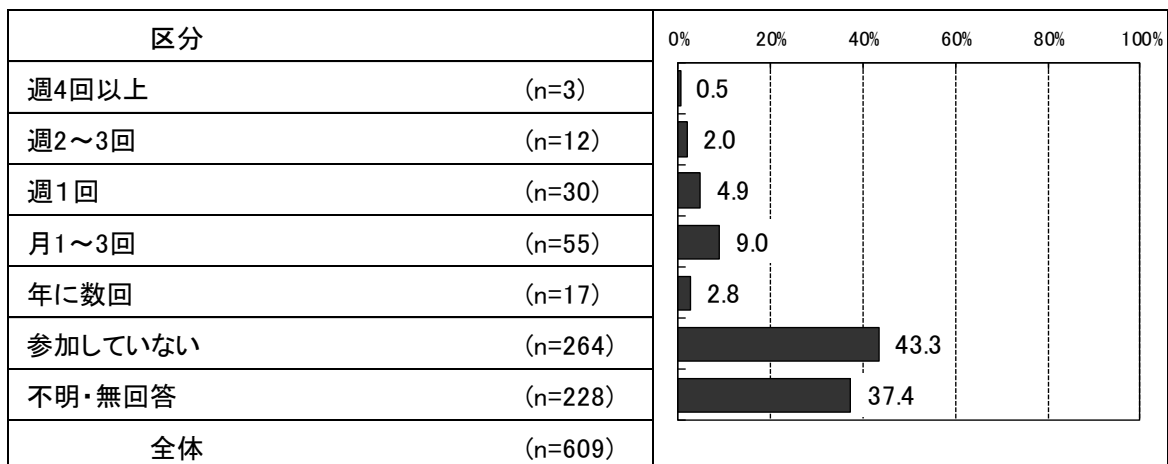
「参加していない」が50.9%で最も多く、次いで「月1~3回」が2.1%、「年に数回」が1.1%となっています。

② スポーツ関係のグループやクラブ



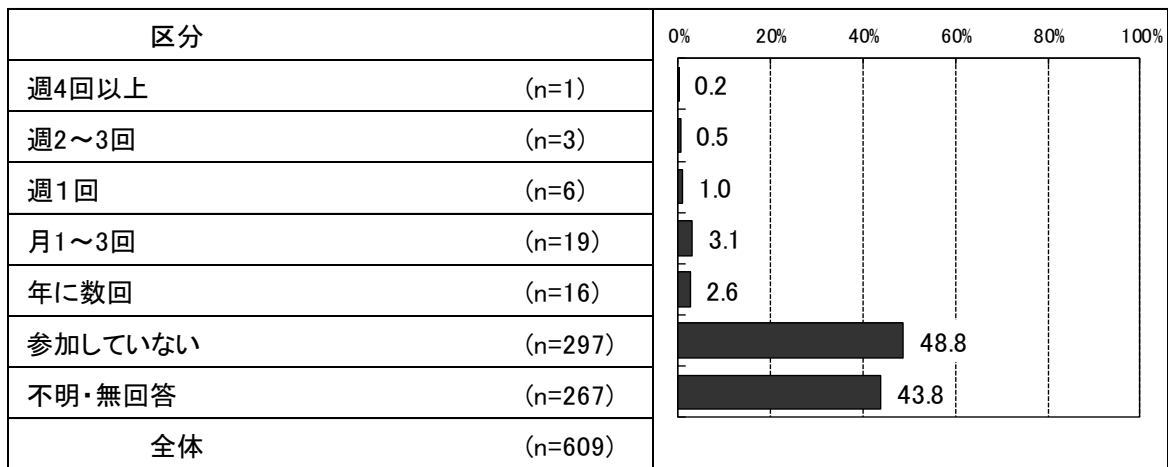
「参加していない」が48.3%で最も多く、次いで「週1回」が3.1%、「週2~3回」が3.0%となっています。

③ 趣味関係のグループ



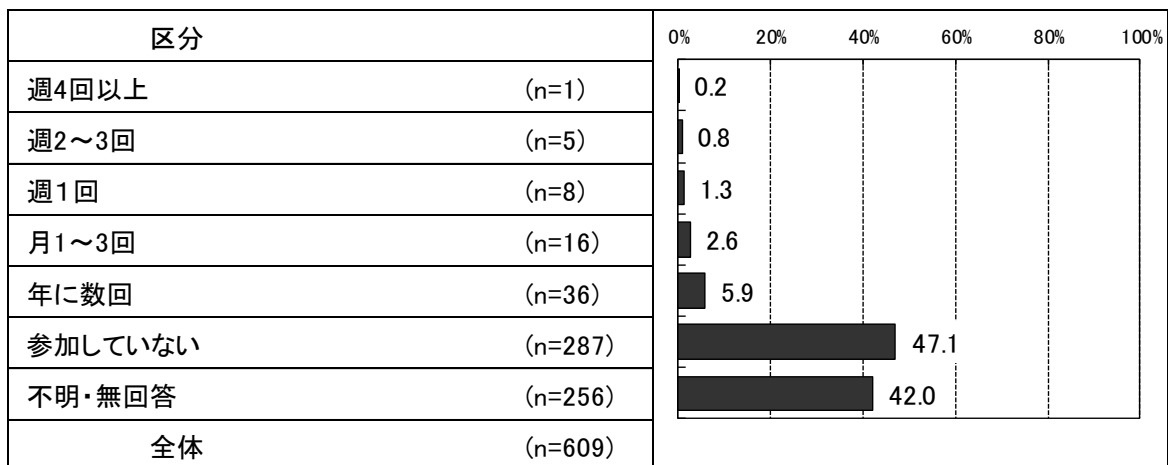
「参加していない」が43.3%で最も多く、次いで「月1～3回」が9.0%、「週1回」が4.9%となっています。

④学習・教養サークル



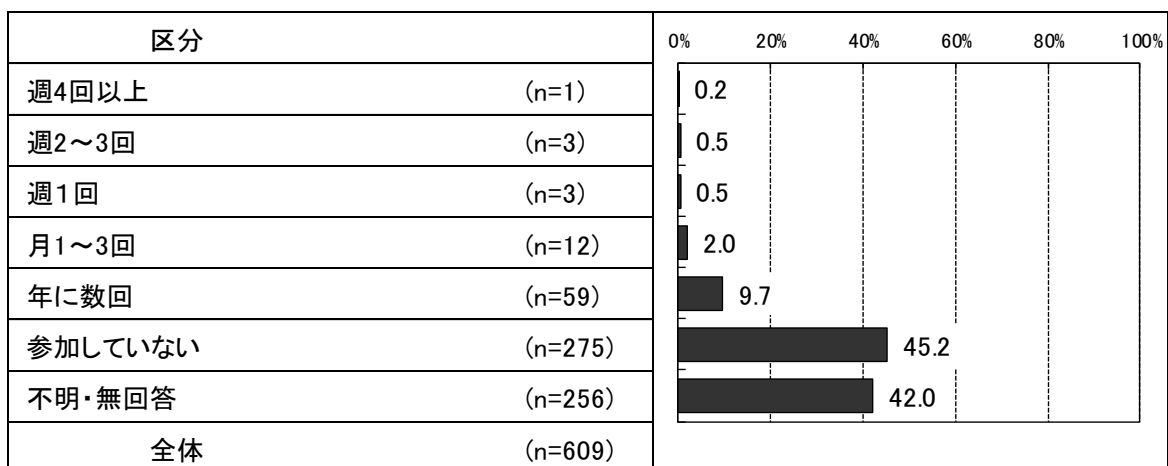
「参加していない」が48.8%で最も多く、次いで「月1～3回」が3.1%、「年に数回」が2.6%となっています。

⑤老人クラブ



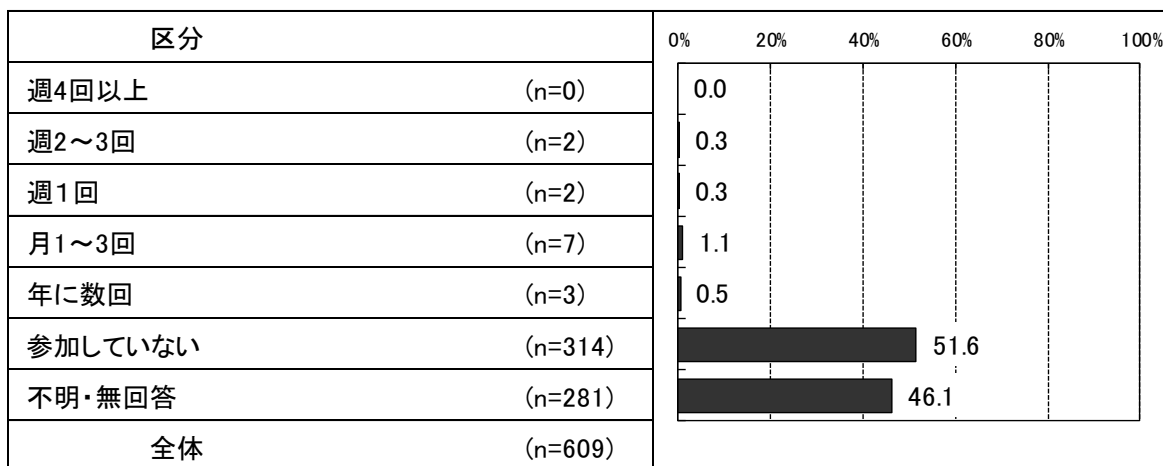
「参加していない」が47.1%で最も多く、次いで「年に数回」が5.9%、「月1～3回」が2.6%となっています。

⑥町内会・自治会



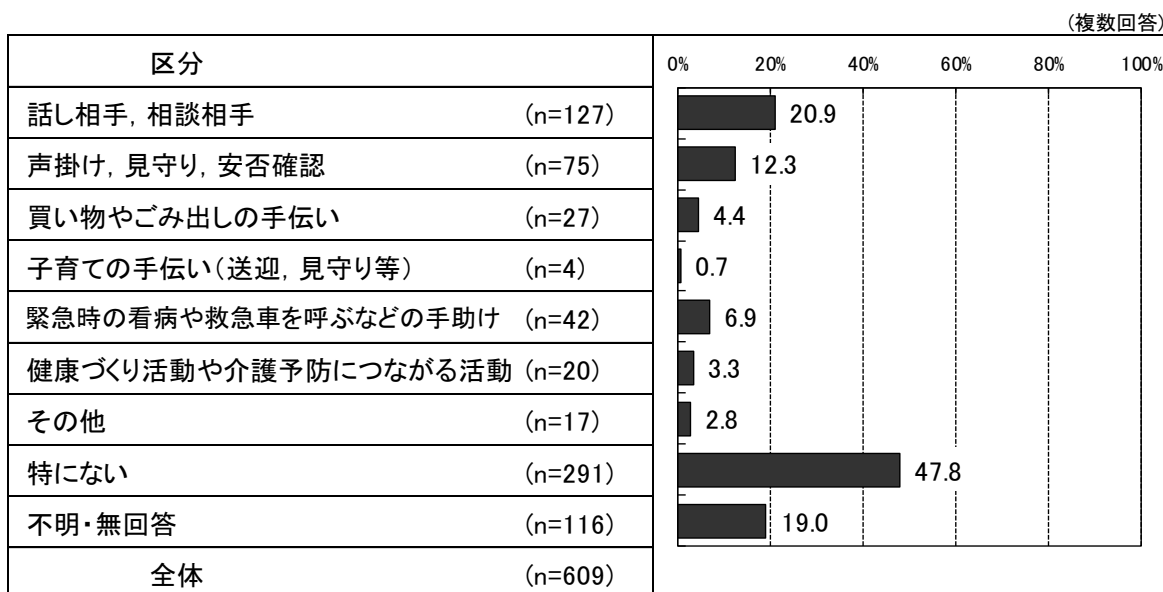
「参加していない」が45.2%で最も多く、次いで「年に数回」が9.7%、「月1～3回」が2.0%となっています。

⑦収入のある仕事



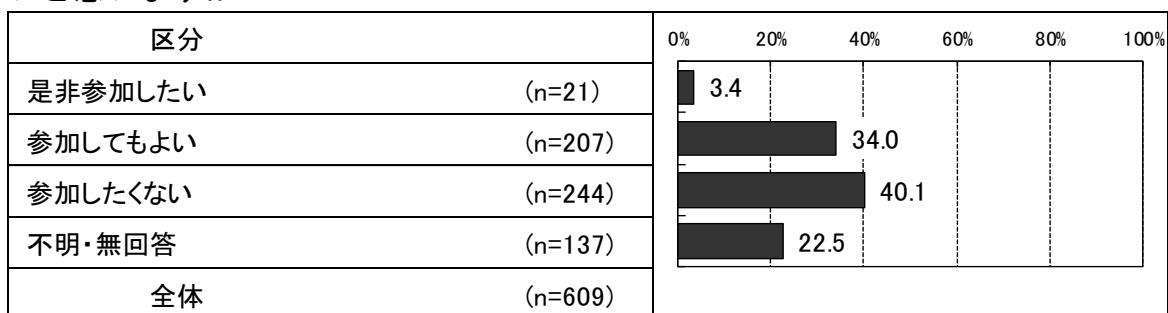
「参加していない」が51.6%で最も多く、次いで「月1～3回」が1.1%、「年に数回」が0.5%となっています。

(2) 地域の人にあなたができることは何ですか（いくつでも）



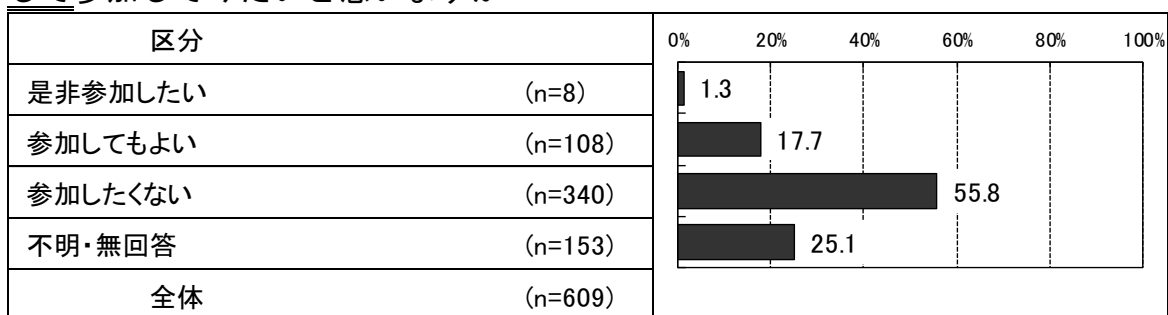
「特にない」が47.8%で最も多く、次いで「話し相手, 相談相手」が20.9%、「声掛け, 見守り, 安否確認」が12.3%となっています。

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか



「参加したくない」が40.1%で最も多く、次いで「参加してもよい」が34.0%、「是非参加したい」が3.4%となっています。

(4) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

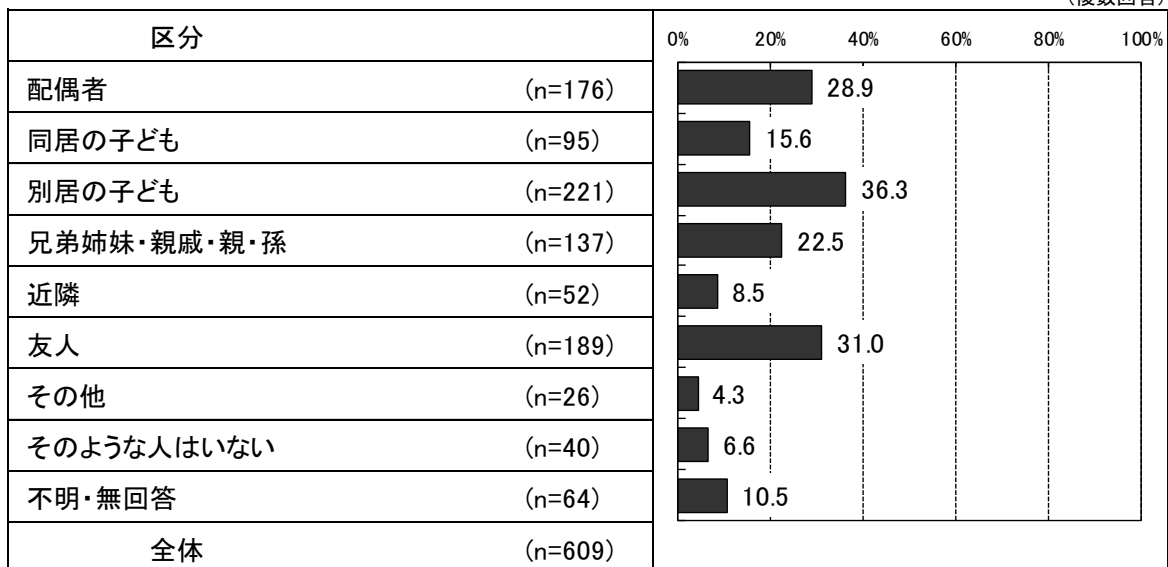


「参加したくない」が55.8%で最も多く、次いで「参加してもよい」が17.7%、「是非参加したい」が1.3%となっています。

問6 たすけあいについて

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

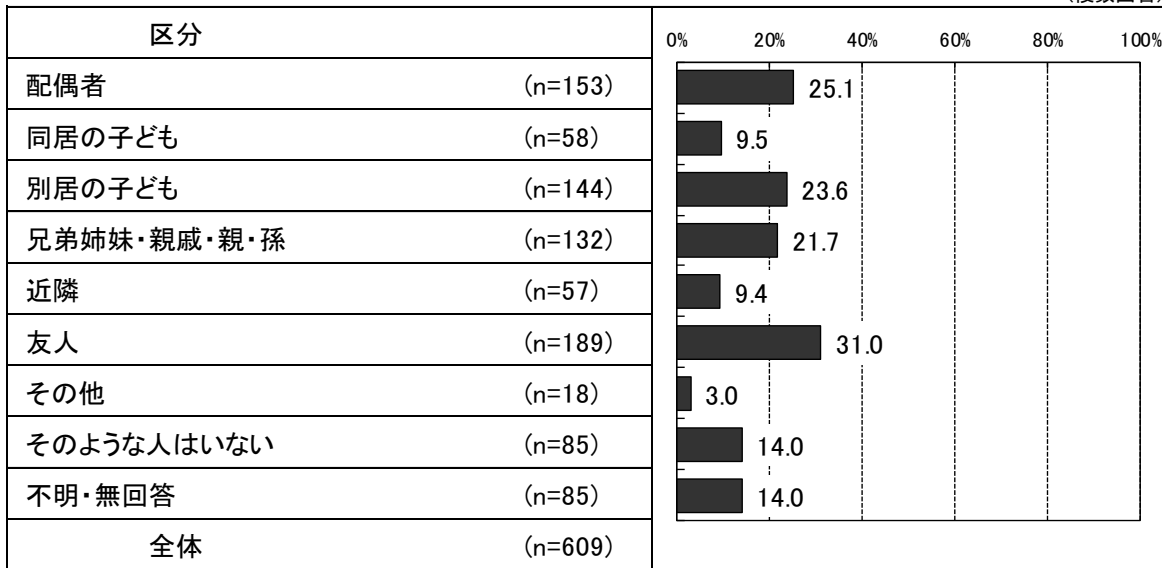
(複数回答)



「別居の子ども」が36.3%で最も多く、次いで「友人」が31.0%、「配偶者」が28.9%となっています。

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

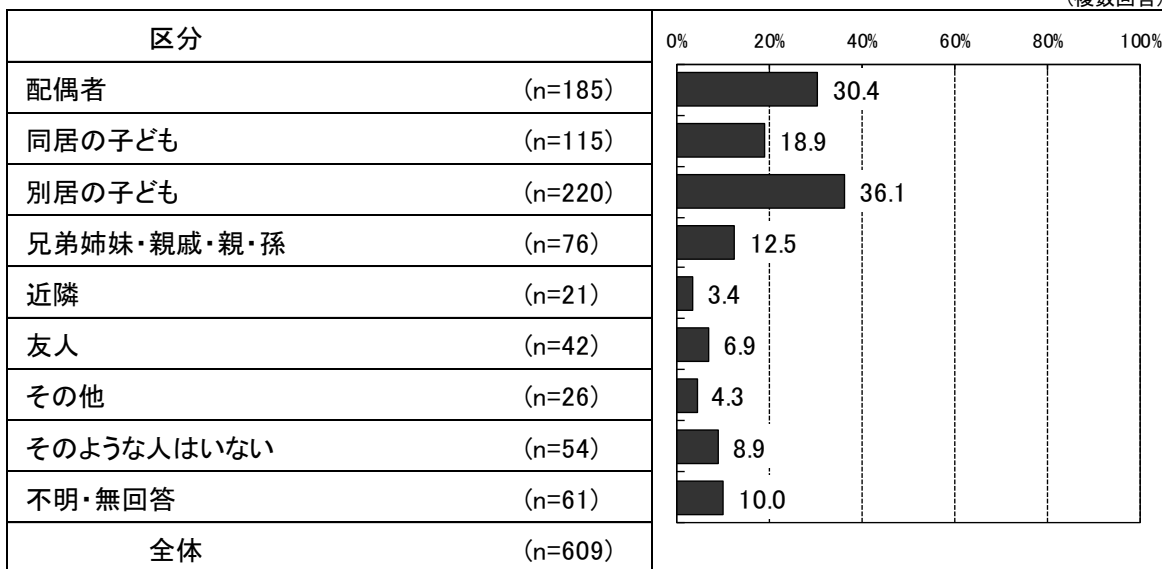
(複数回答)



「友人」が 31.0%で最も多く、次いで「配偶者」が 25.1%、「別居の子ども」が 23.6%となっています。

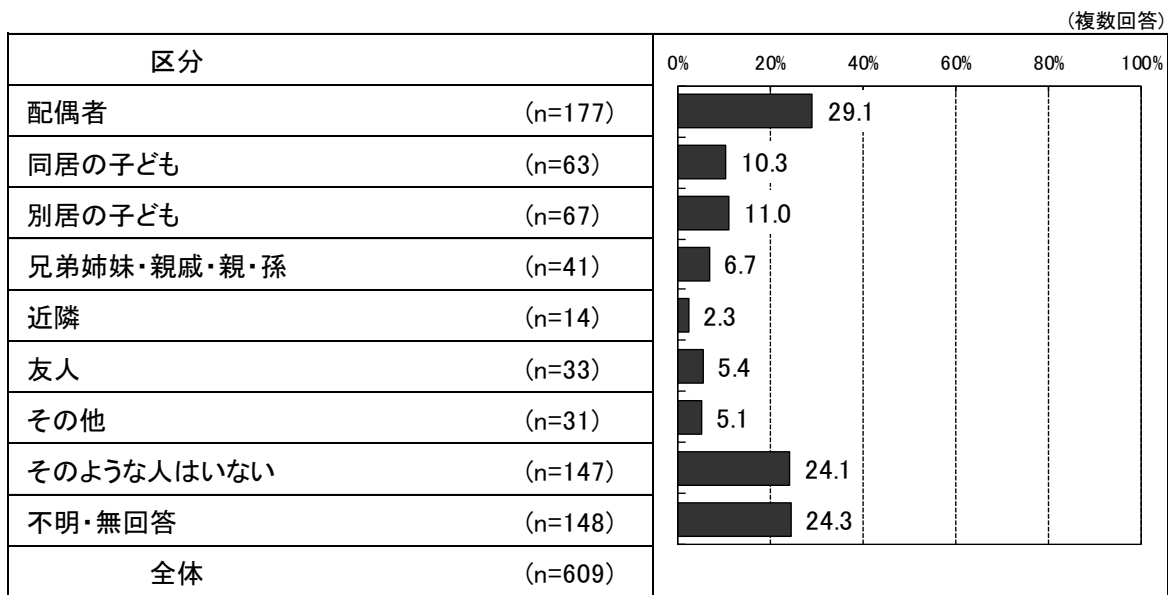
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

(複数回答)



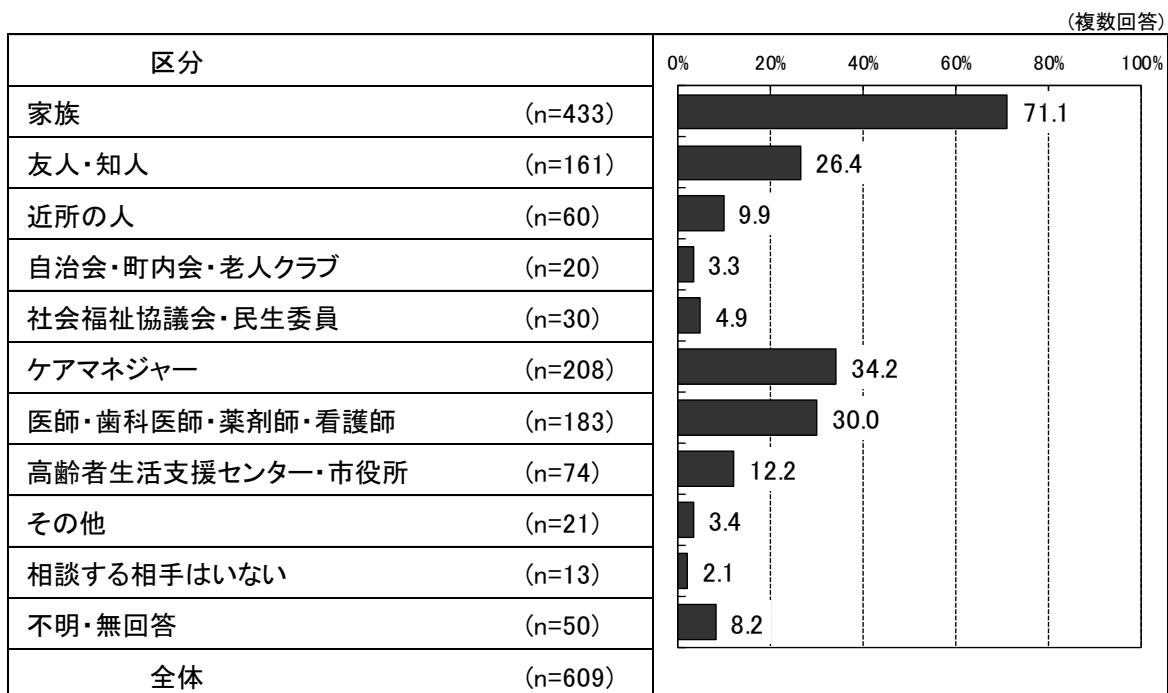
「別居の子ども」が 36.1%で最も多く、次いで「配偶者」が 30.4%、「同居の子ども」が 18.9%となっています。

(4) 反対に、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）



「配偶者」が 29.1%で最も多く、次いで「そのような人はいない」が 24.1%、「別居の子ども」が 11.0%となっています。

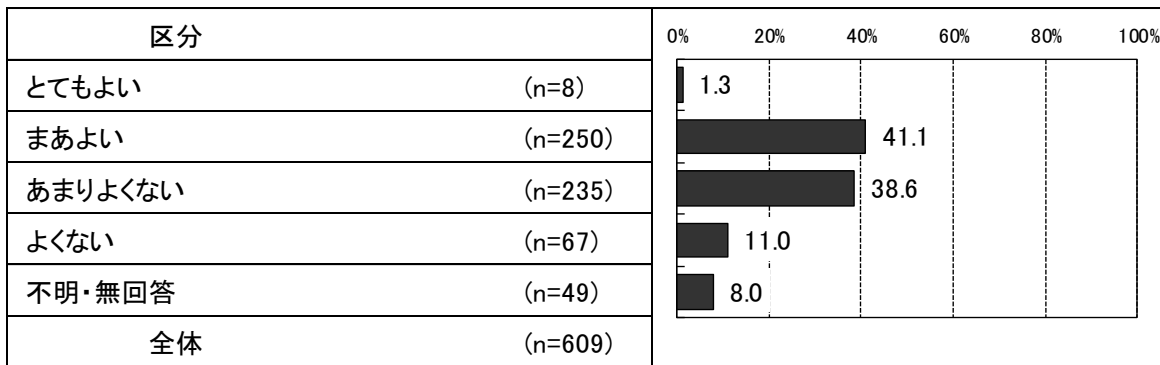
(5) 何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）



「家族」が 71.1%で最も多く、次いで「ケアマネジャー」が 34.2%、「医師・歯科医師・薬剤師・看護師」が 30.0%となっています。

問7 健康について

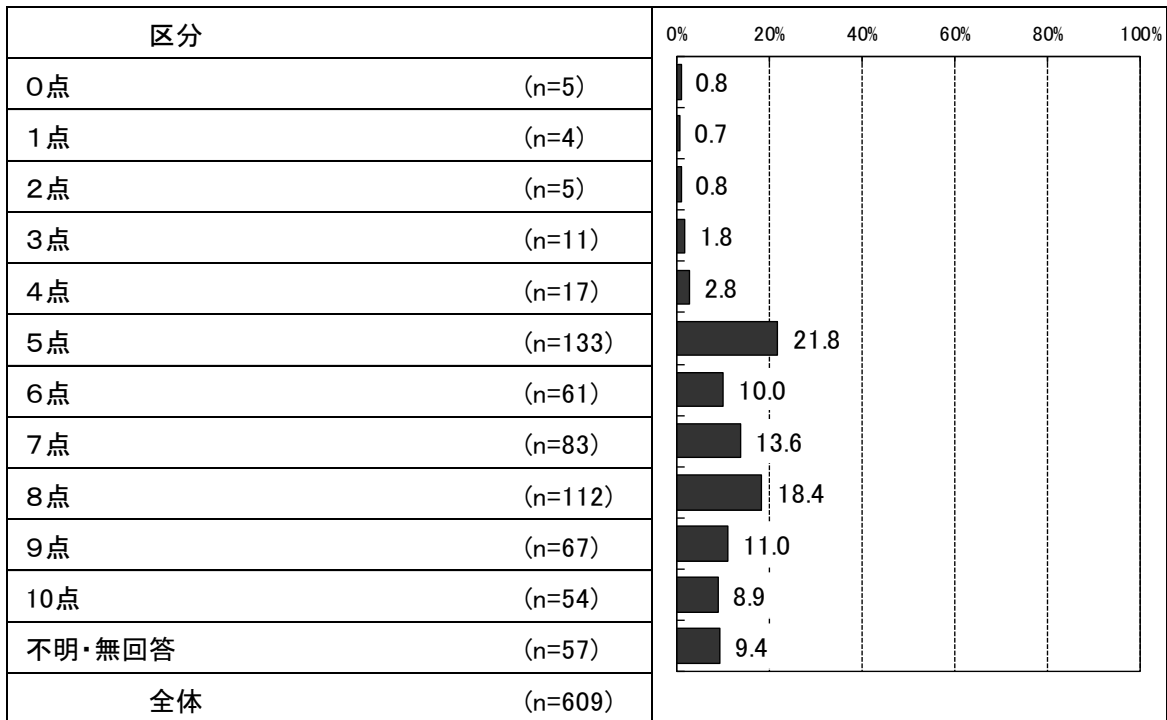
(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか



「まあよい」が41.1%で最も多く、次いで「あまりよくない」が38.6%、「よくない」が11.0%となっています。

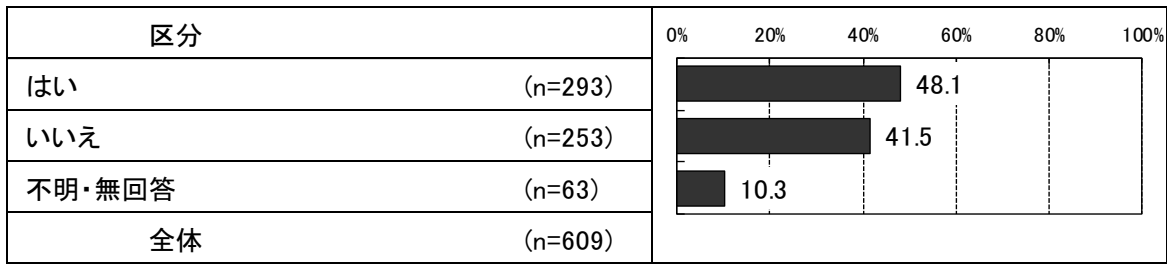
(2) あなたは、現在どの程度幸せですか

（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）



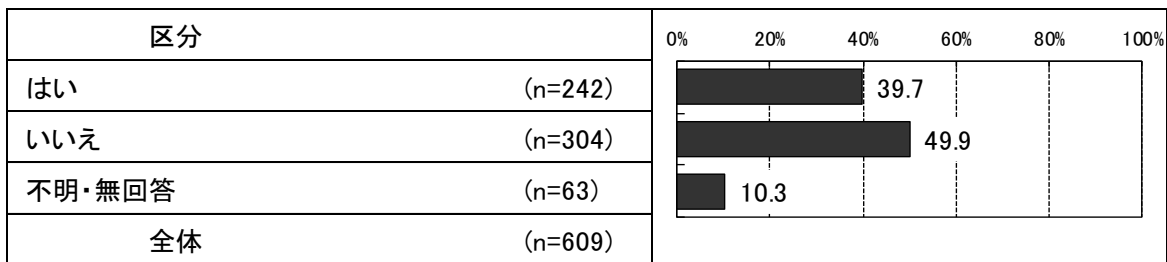
「5点」が21.8%で最も多く、次いで「8点」が18.4%、「7点」が13.6%となっています。平均は6.8点となっています。

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか



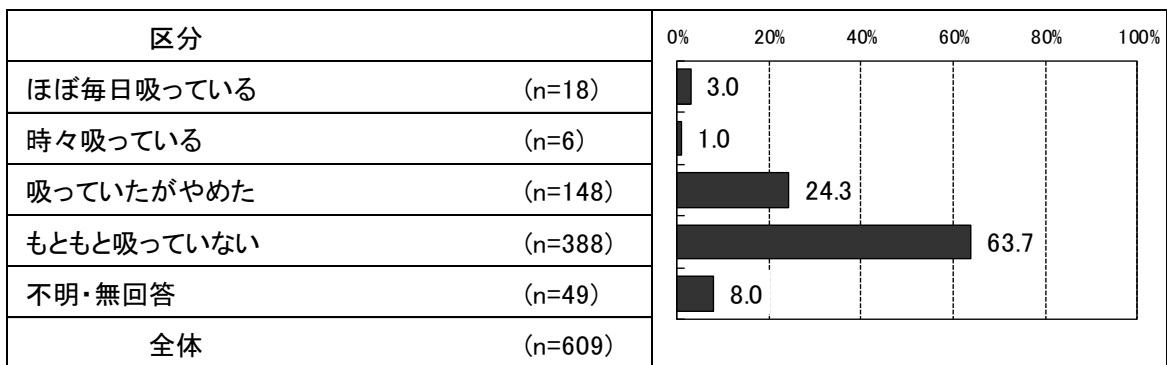
「はい」が48.1%、「いいえ」が41.5%となっています。

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか



「いいえ」が49.9%、「はい」が39.7%となっています。

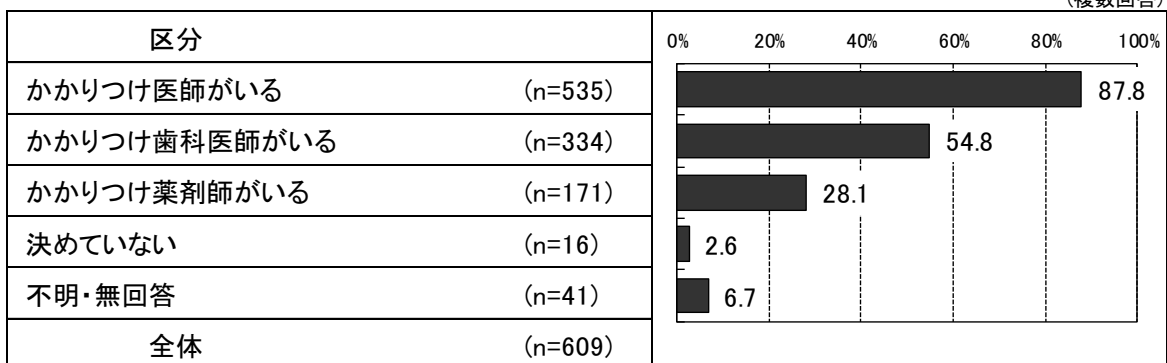
(5) タバコは吸っていますか



「もともと吸っていない」が63.7%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が24.3%、「ほぼ毎日吸っている」が3.0%となっています。

(6) あなたは、かかりつけ医師・歯科医師・薬剤師を決めていますか（いくつでも）

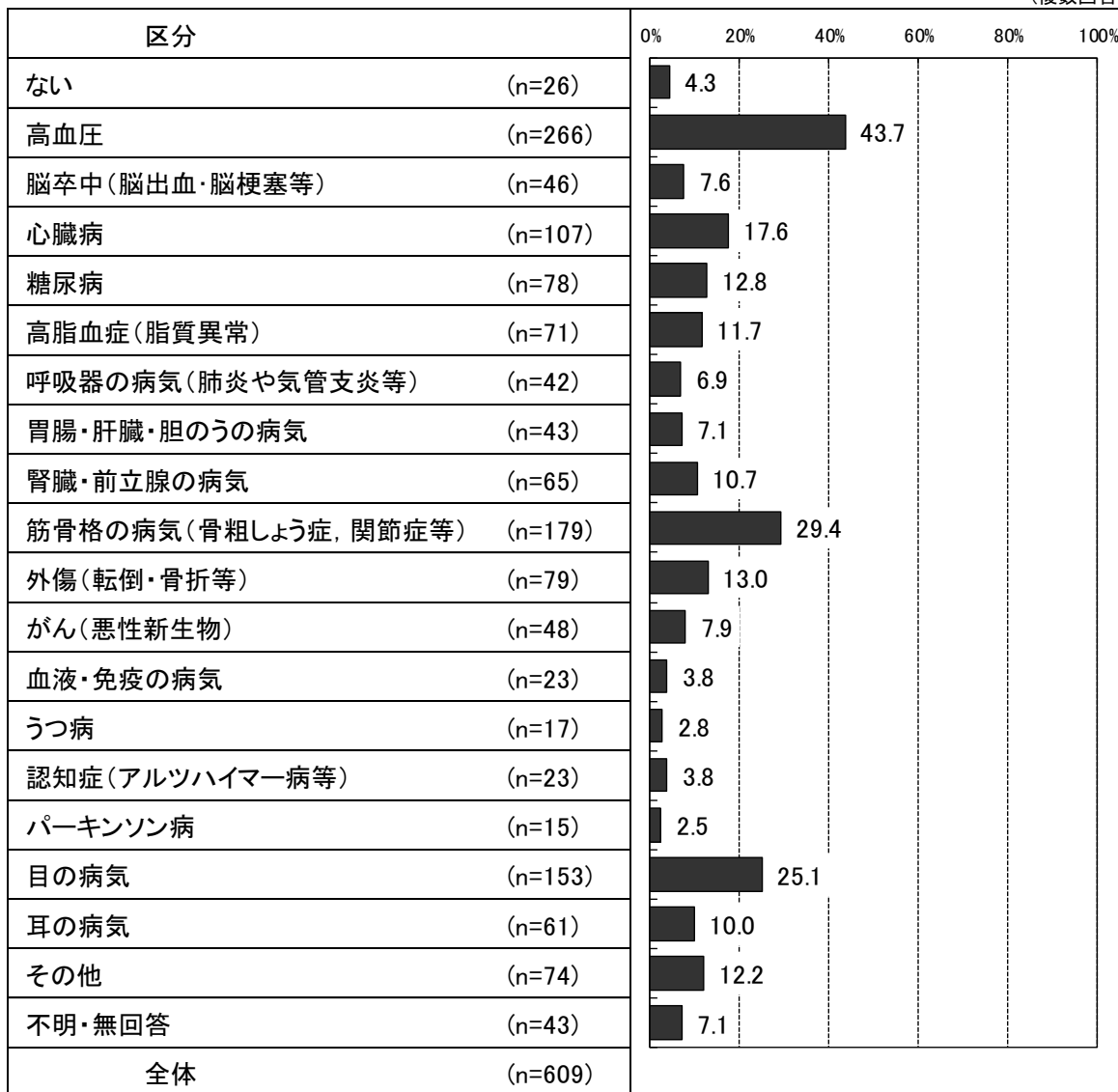
(複数回答)



「かかりつけ医師がいる」が87.8%で最も多く、次いで「かかりつけ歯科医師がいる」が54.8%、「かかりつけ薬剤師がいる」が28.1%となっています。

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）

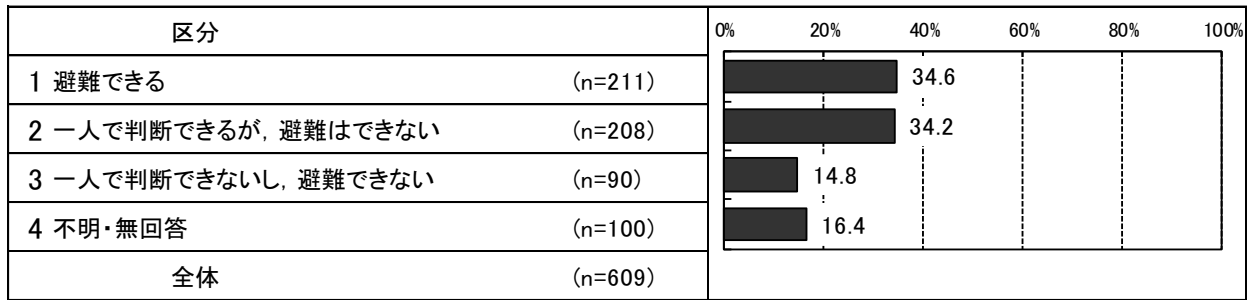
(複数回答)



「高血圧」が 43.7%で最も多く、次いで「筋骨格の病気（骨粗しょう症，関節症等）」が 29.4%、「目の病気」が 25.1%となっています。

問8 災害時や緊急時の対応などについて

(1) あなたは、災害時（台風や地震など）や火災などの緊急時に、一人で避難することができますか

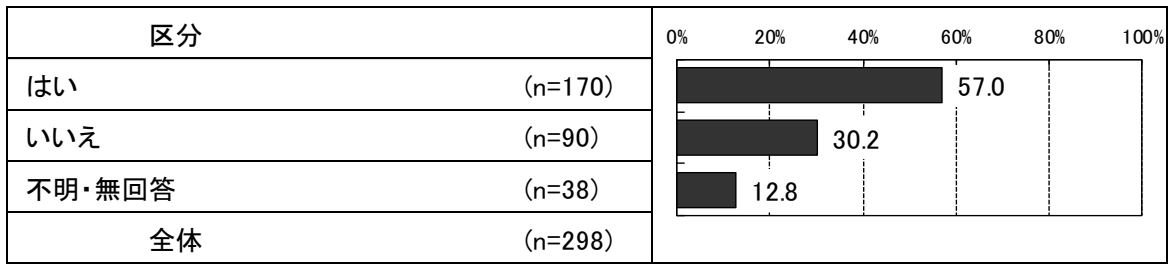


「避難できる」が 34.6%で最も多く、次いで「一人で判断できるが、避難はできない」が 34.2%、「一人で判断できないし、避難できない」が 14.8%となっています。

(1) - 1 (緊急時に一人で避難ができない方)【(1)で「2」または「3」と回答した方】
避難できない理由は何ですか

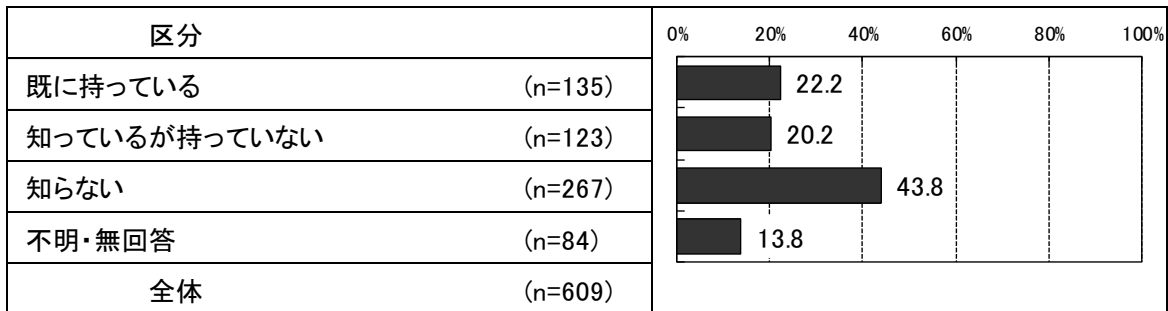
	主な回答
体力・身体的な理由	<ul style="list-style-type: none"> ● 足腰がよくない ● 聴覚障害2級でインターホンが辛うじて聞きとれる程度なので長女からの情報(FAX)が頼り ● 膝関節症、腰痛で10分以上歩けない ● 目が不自由
配偶者の看病・介護	<ul style="list-style-type: none"> ● 妻の足が不自由のため ● 夫が全盲のため放っておけない
住居・住まいに起因する理由	<ul style="list-style-type: none"> ● マンション3階(エレベーターなし)に住んでおり、階段を降りる時は手すりとステッキを使用しているため、一人で避難することができない
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● その時の心理状態による ● 一人で判断が出来ない時の方が多い

(1) - 2 (緊急時に一人で避難ができない方)【(1)で「2」または「3」と回答した方】
 災害時や火災など緊急時に避難する際、手助けを頼める人(同居の方を含む)はいますか



「はい」が57.0%、「いいえ」が30.2%となっています。

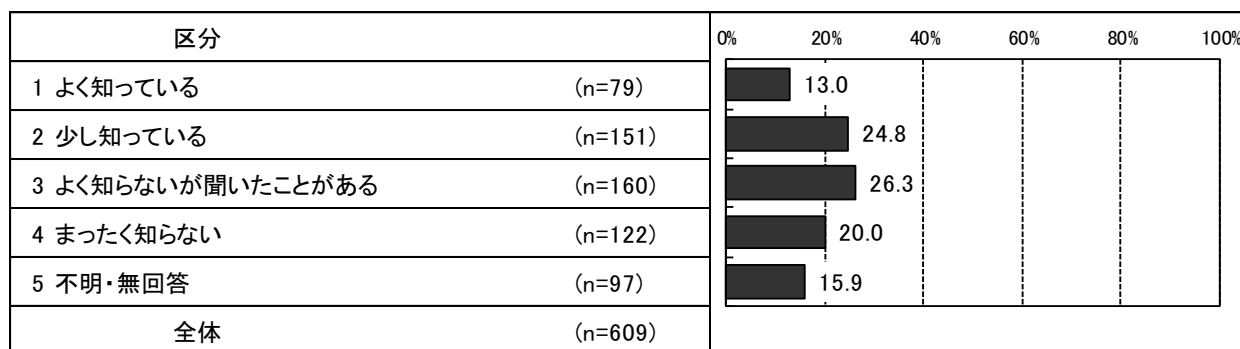
(2) 万が一の災害や急病に備え、医療情報を記入した用紙を筒状の容器に入れ、ご家庭にある冷蔵庫に収納する救急医療情報キットを知っていますか



「知らない」が43.8%で最も多く、次いで「既に持っている」が22.2%、「知っているが持っていない」が20.2%となっています。

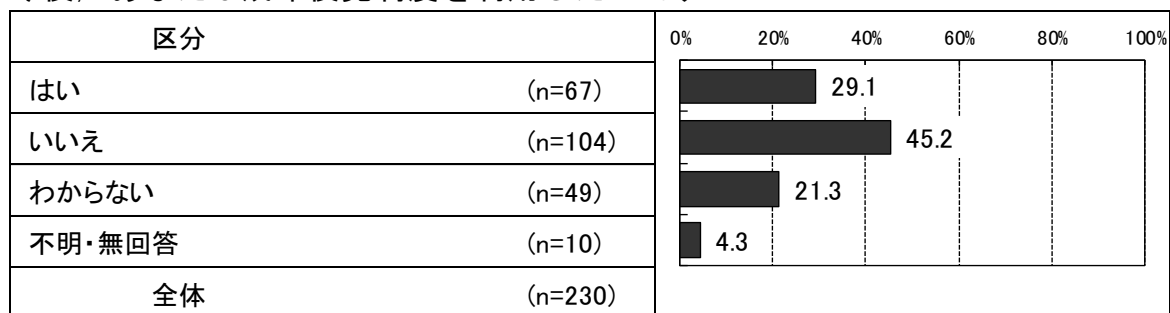
問9 権利擁護の取り組みについて

(1) あなたは成年後見制度を知っていますか



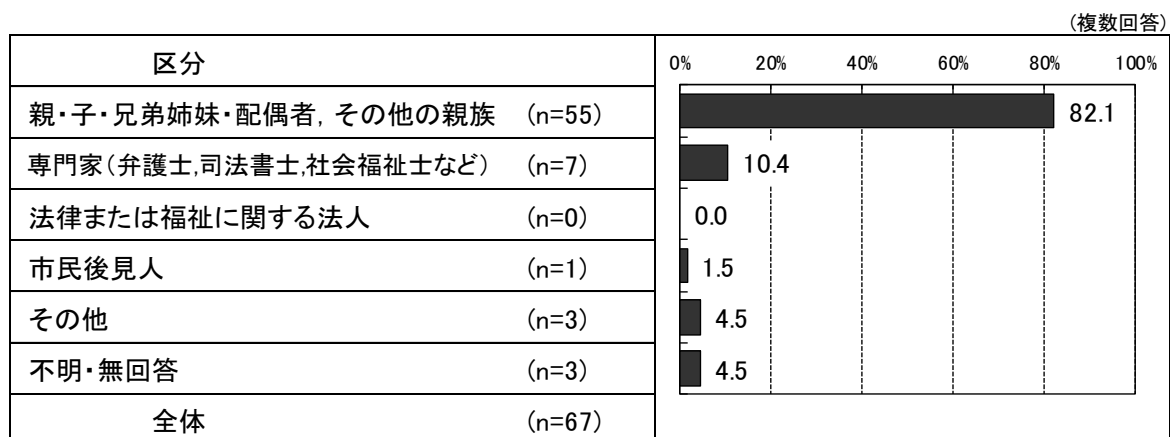
「よく知らないが聞いたことがある」が26.3%で最も多く、次いで「少し知っている」が24.8%、「まったく知らない」が20.0%となっています。

(1) - 1 (成年後見制度を知っている方) 【(1)で「1」または「2」と回答した方】 今後、あなたは成年後見制度を利用したいですか



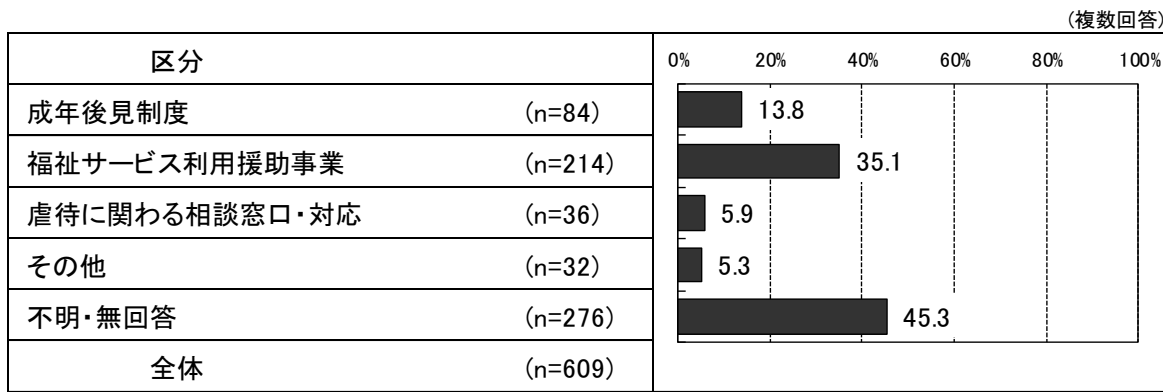
「いいえ」が45.2%で最も多く、次いで「はい」が29.1%、「わからない」が21.3%となっています。

(1) - 2 (成年後見制度を利用したい方) 【(1) - 1で「はい」と回答した方】 後見人は誰になってもらいたいですか



「親・子・兄弟姉妹・配偶者、その他の親族」が82.1%で最も多く、次いで「専門家（弁護士，司法書士，社会福祉士など）」が10.4%、「その他」が4.5%となっています。

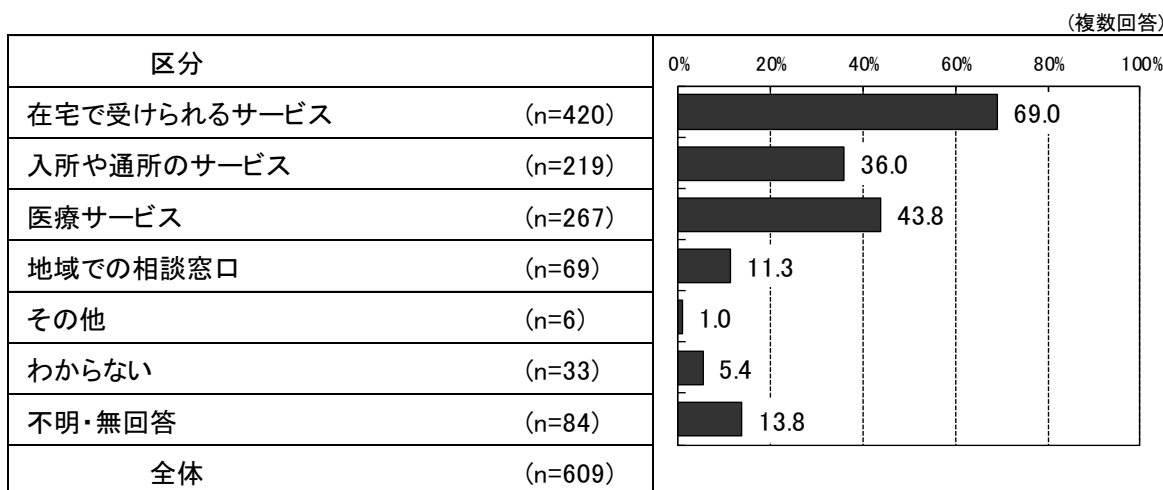
(2) あなたは、虐待をはじめ、高齢者の権利擁護について、どのようなことを知りたいですか



「福祉サービス利用援助事業」が35.1%で最も多く、次いで「成年後見制度」が13.8%、「虐待に関わる相談窓口・対応」が5.9%となっています。

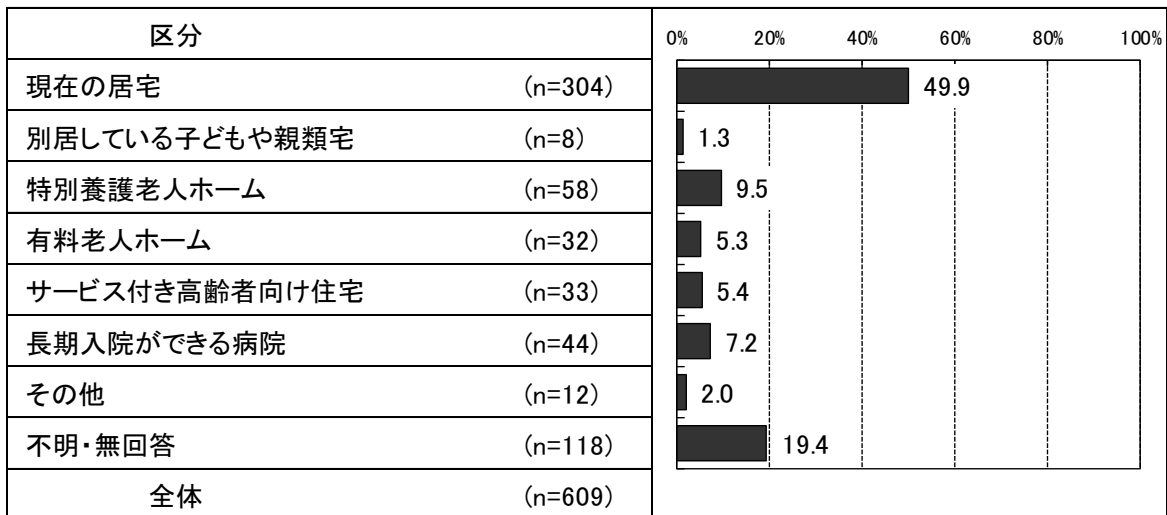
問 10 あなたの今後のサービスの利用について

(1) 自分の身の回りのことができなくなったときに、どのようなサービスがあれば在宅生活を続けていくことができますか（いくつでも）



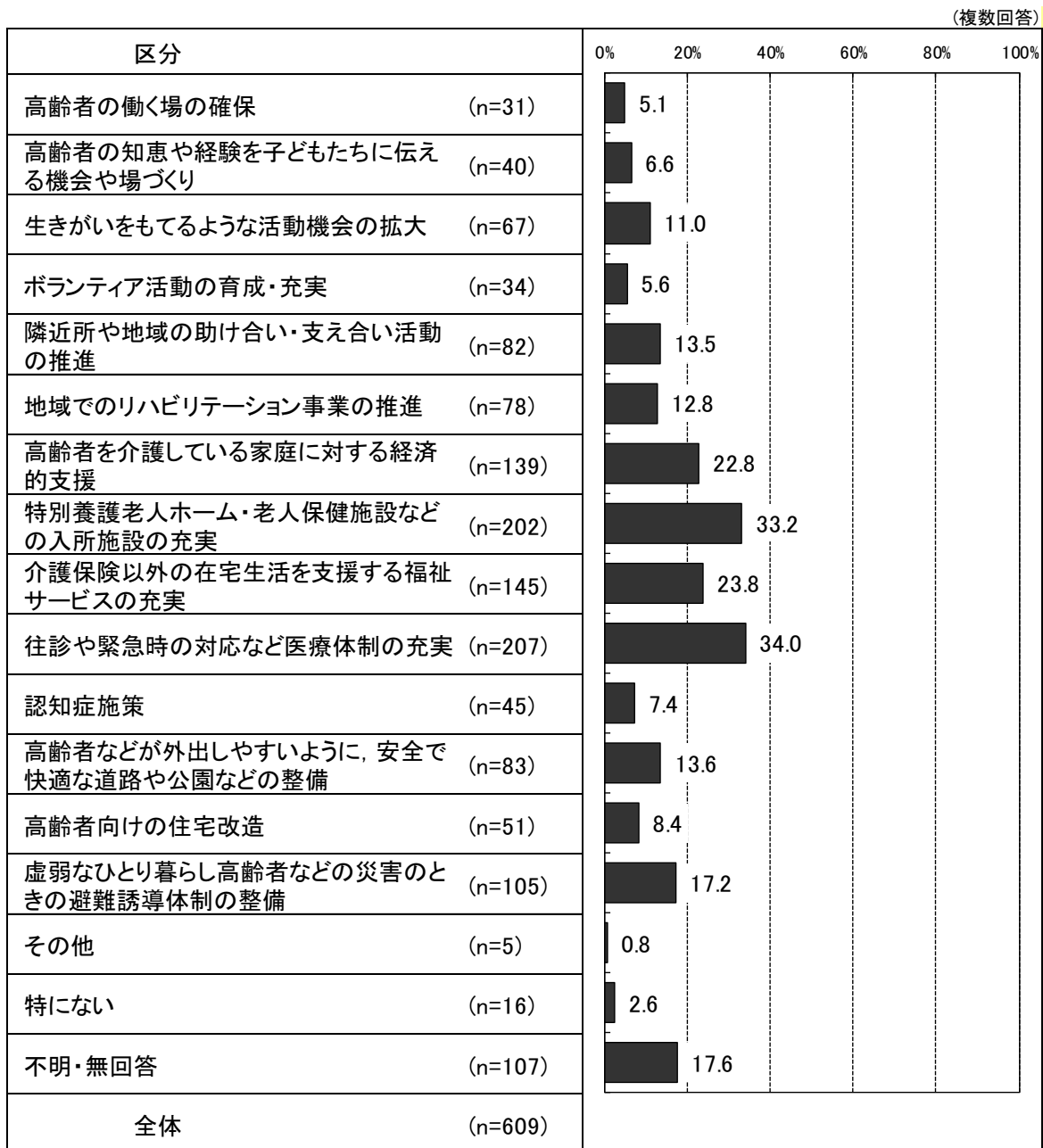
「在宅で受けられるサービス」が69.0%で最も多く、次いで「医療サービス」が43.8%、「入所や通所のサービス」が36.0%となっています。

(2) あなたは将来の住まいとして、どのような場所で介護を受けたいとお考えですか
（最も近いものを1つ）



「現在の居宅」が49.9%で最も多く、次いで「特別養護老人ホーム」が9.5%、「長期入院ができる病院」が7.2%となっています。

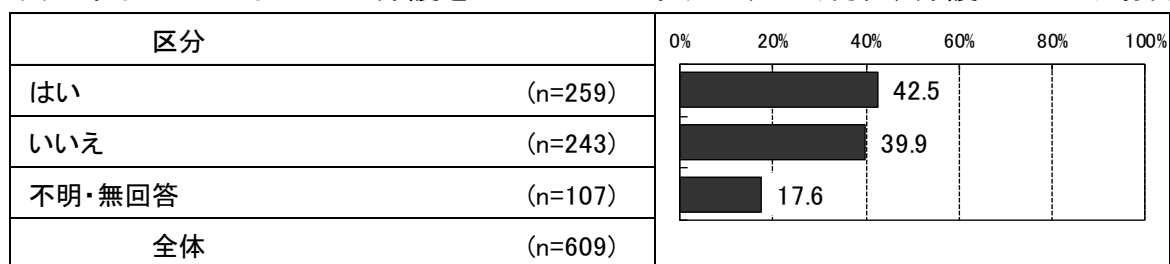
(3) 高齢社会への対応として、市が力を入れるべきことは何ですか(主なもの3つまで)



「往診や緊急時の対応など医療体制の充実」が 34.0%で最も多く、次いで「特別養護老人ホーム・老人保健施設などの入所施設の充実」が 33.2%、「介護保険以外の在宅生活を支援する福祉サービスの充実」が 23.8%となっています。

問 11 介護の経験について

(1) あなたはどなたかの介護をしたことがありますか（現在、介護している場合も含む）

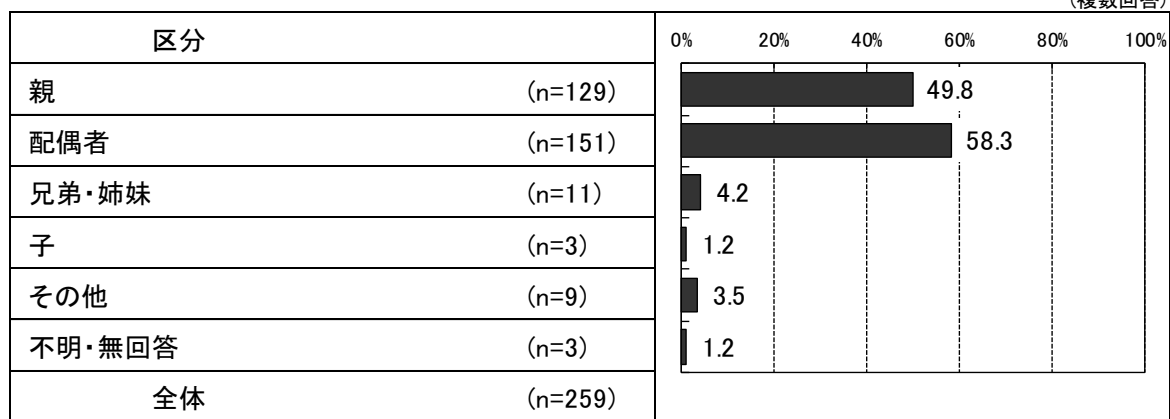


「はい」が42.5%、「いいえ」が39.9%となっています。

(2) （(1)で「はい」とお答えいただいた方

誰の介護をしていましたか（現在、介護している場合も含む）

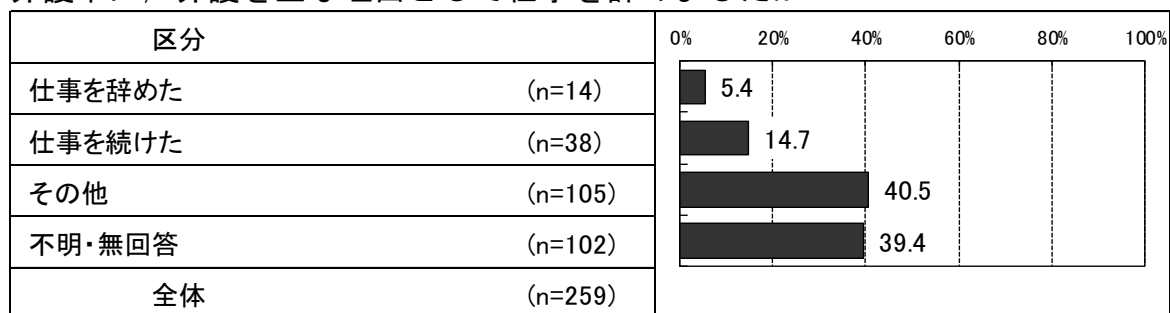
(複数回答)



「配偶者」が58.3%で最も多く、次いで「親」が49.8%、「兄弟・姉妹」が4.2%となっています。

(3) （(1)で「はい」とお答えいただいた方

介護中に、介護を主な理由として仕事を辞めましたか



「その他」が40.5%で最も多く、次いで「仕事を続けた」が14.7%、「仕事を辞めた」が5.4%となっています。

3 在宅介護実態調査

要介護認定データ（※厚生労働省の自動集計分析ソフトにより認定情報と調査結果を突合して集計）

※「要介護認定データ」におけるサービス利用の集計に用いた用語の定義は以下の通りです。

■ サービス利用の集計に用いた用語の定義

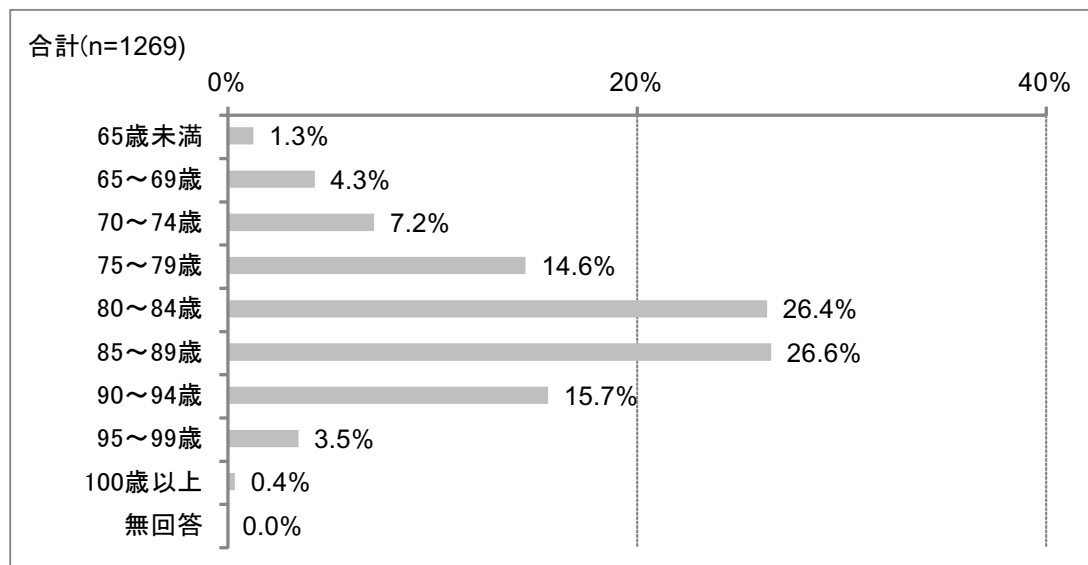
用語		定義
未利用		「住宅改修」,「福祉用具貸与・購入」のみを利用している方については,未利用として集計しています。
訪問系		(介護予防)訪問介護,(介護予防)訪問入浴介護,(介護予防)訪問看護,(介護予防)訪問リハビリテーション,(介護予防)居宅療養管理指導,夜間対応型訪問介護を「訪問系」として集計しています。
通所系		(介護予防)通所介護,(介護予防)通所リハビリテーション,(介護予防)認知症対応型通所介護を「通所系」として集計しています。
短期系		(介護予防)短期入所生活介護,(介護予防)短期入所療養介護を「短期系」として集計しています。
その他	小規模多機能	(介護予防)小規模多機能型居宅介護を「小規模多機能」として集計しています。
	看護小規模	看護小規模多機能型居宅介護を「看護多機能」として集計しています。
	定期巡回	定期巡回・随時対応型訪問介護看護を「定期巡回」として集計しています。

■ サービス利用の組み合わせの集計に用いた用語の定義

用語	定義
未利用	上表に同じ
訪問系のみ	上表の「訪問系」もしくは「定期巡回」のみの利用を集計しています。
訪問系を含む組み合わせ	上表の「訪問系(もしくは定期巡回)」+「通所系」,「訪問系(もしくは定期巡回)」+「短期系」,「訪問系(もしくは定期巡回)」+「通所系」+「短期系」,「小規模多機能」,「看護多機能」の利用を集計しています。
通所系・短期系	上表の「通所系」,「短期系」,「通所系」+「短期系」の利用を集計しています。

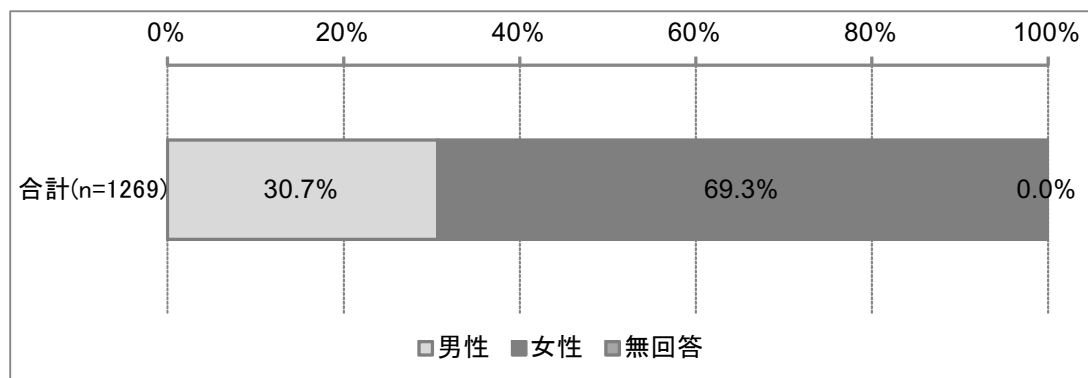
※在宅介護実態調査の有効回答は1,281件ですが、要介護認定データと調査の回答を突合できたのは1,269件であるため、「要介護認定データ」では有効回答は1,269となります。

(1) 年齢



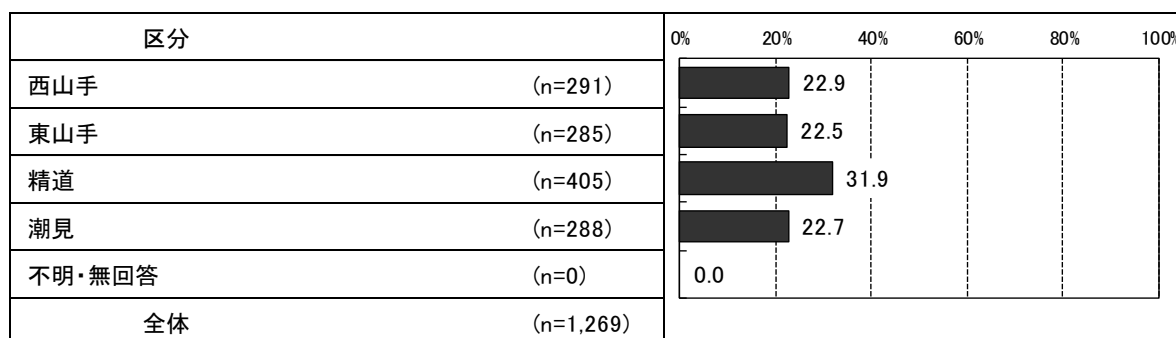
「85～89歳」が26.6%で最も多く、次いで「80～84歳」が26.4%、「90～94歳」が15.7%となっています。

(2) 性別



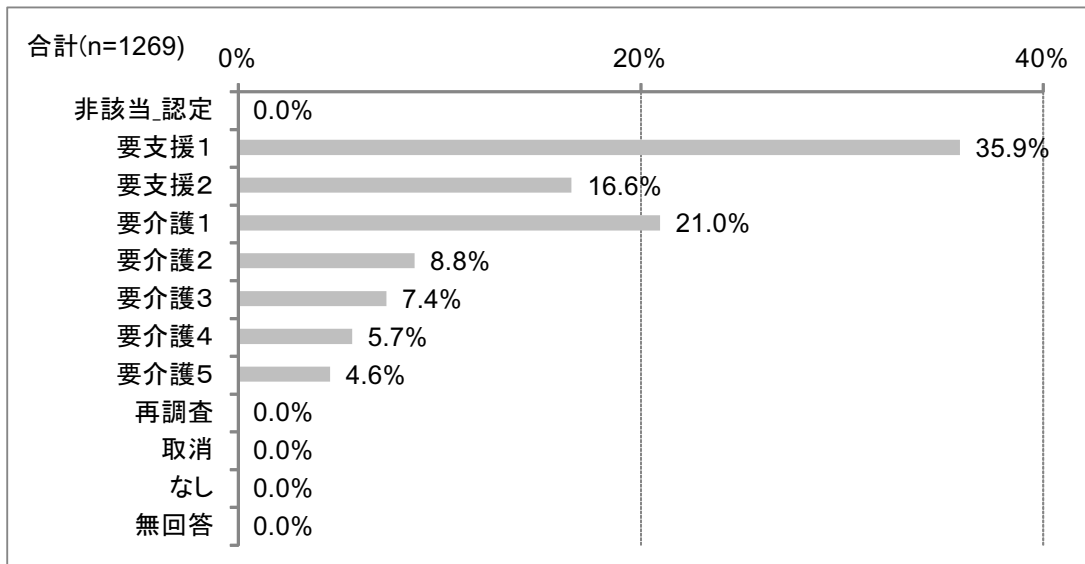
「男性」が30.7%、「女性」が69.3%となっています。

(3) 住んでいる所



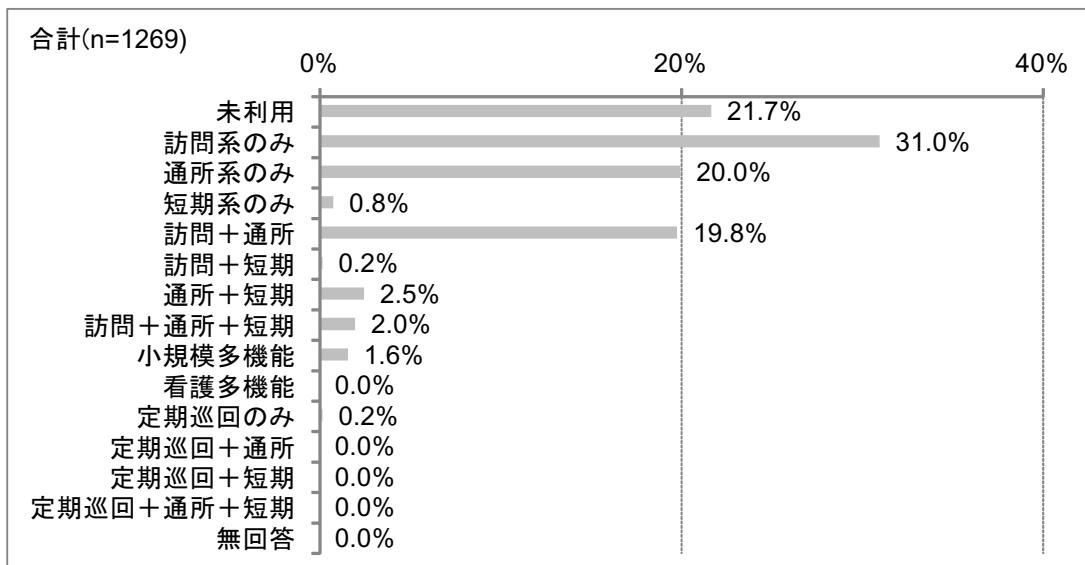
「精道」が31.9%で最も多く、次いで「西山手」が22.9%、「潮見」が22.7%となっています。

(4) 二次判定結果（要介護度）



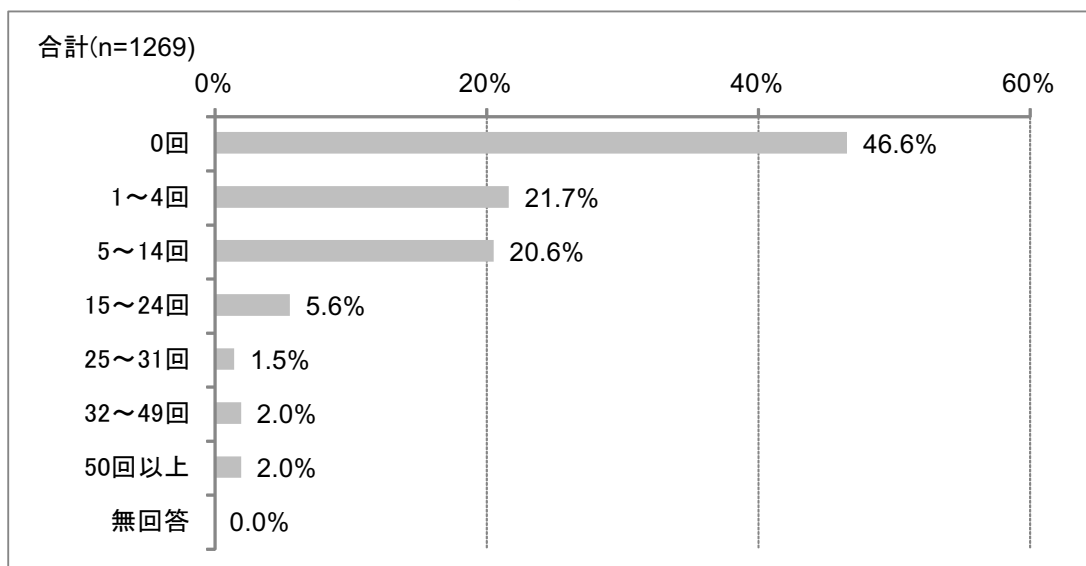
「要支援1」が35.9%で最も多く、次いで「要介護1」が21.0%、「要支援2」が16.6%となっています。

(5) サービス利用の組み合わせ



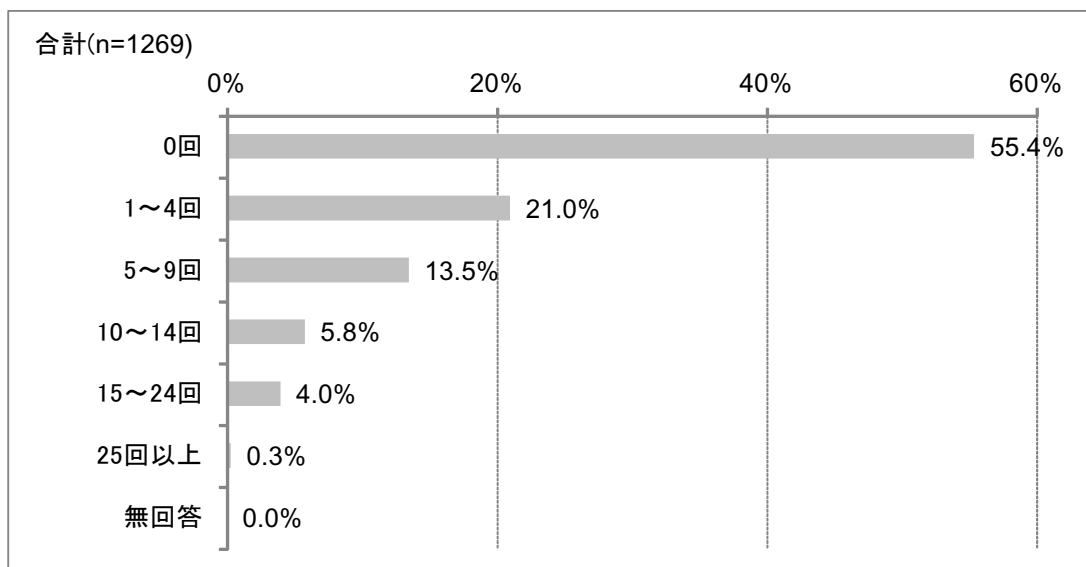
「訪問系のみ」が31.0%で最も多く、次いで「未利用」が21.7%、「通所系のみ」が20.0%となっています。

(6) 訪問系サービスの合計利用回数



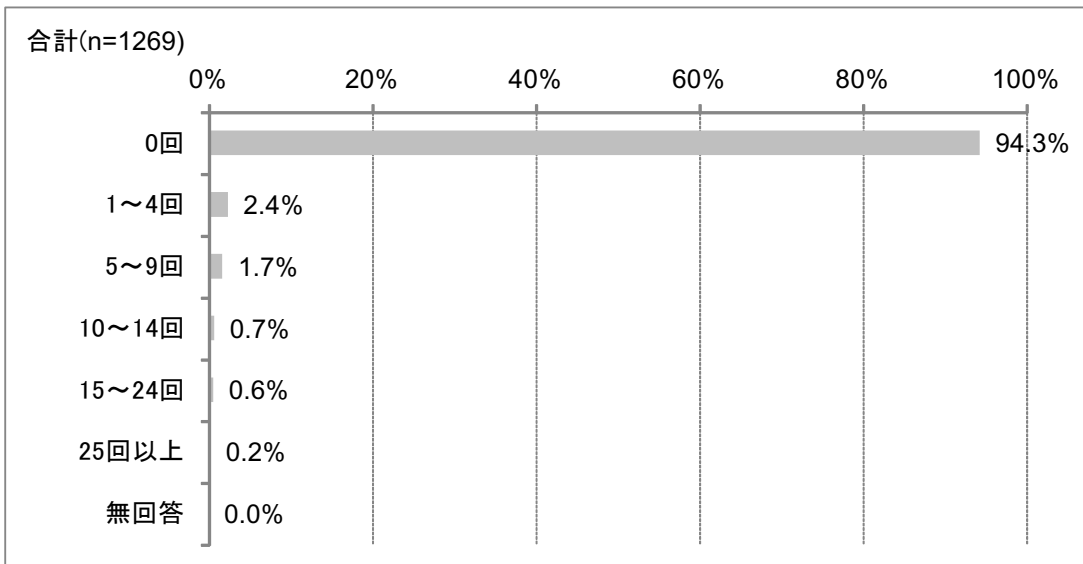
「0回」が46.6%で最も多く、次いで「1~4回」が21.7%、「5~14回」が20.6%となっています。

(7) 通所系サービスの合計利用回数



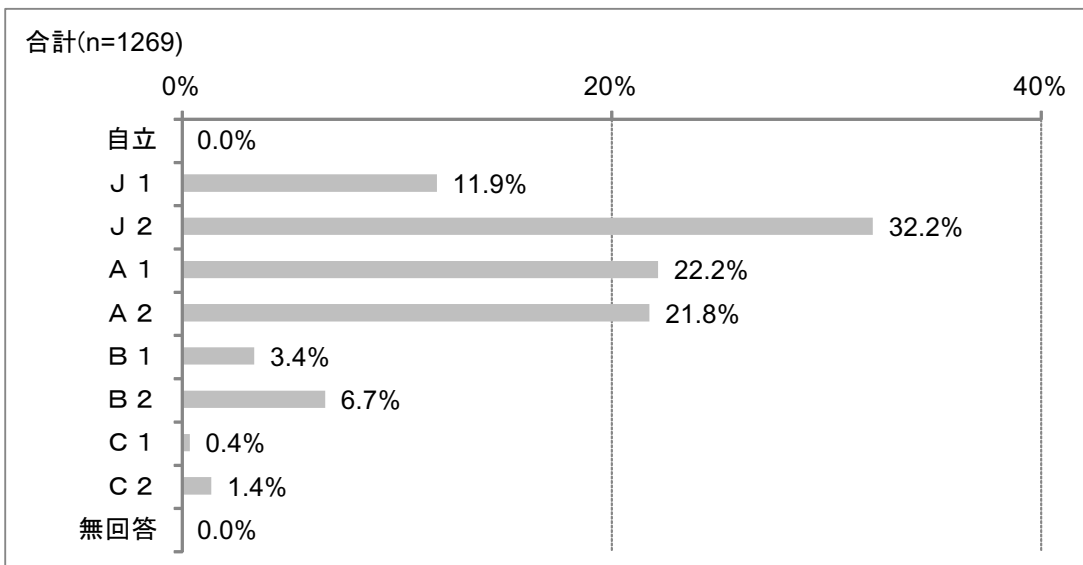
「0回」が55.4%で最も多く、次いで「1~4回」が21.0%、「5~9回」が13.5%となっています。

(8) 短期系サービスの合計利用回数



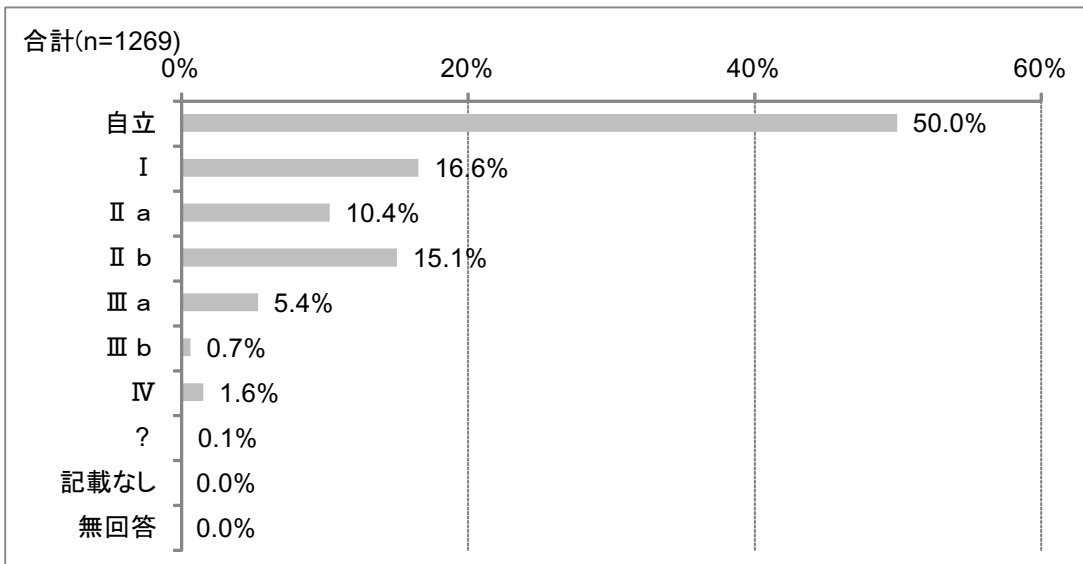
「0回」が94.3%で最も多く、次いで「1~4回」が2.4%、「5~9回」が1.7%となっています。

(9) 障害高齢者の日常生活自立度



「J2」が32.2%で最も多く、次いで「A1」が22.2%、「A2」が21.8%となっています。

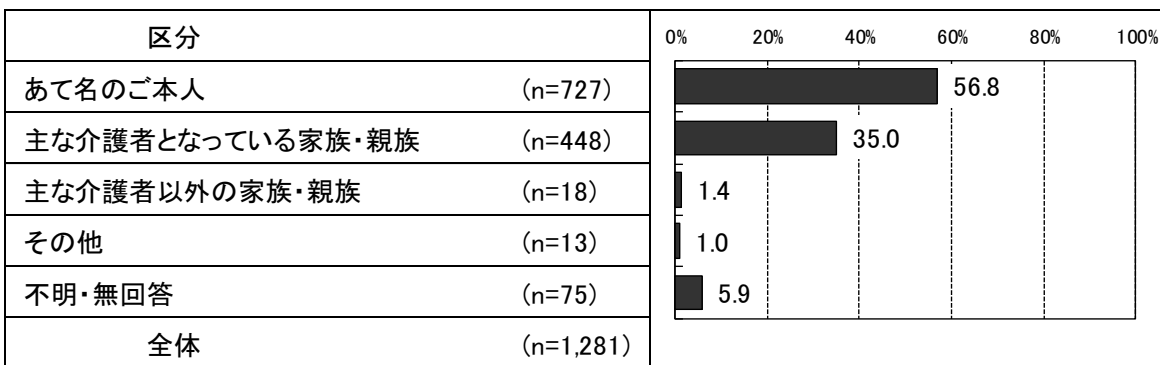
(10) 認知症高齢者の日常生活自立度



「自立」が50.0%で最も多く、次いで「I」が16.6%、「II B」が15.1%となっています。

A票 あて名のご本人について、お伺いします

記入者



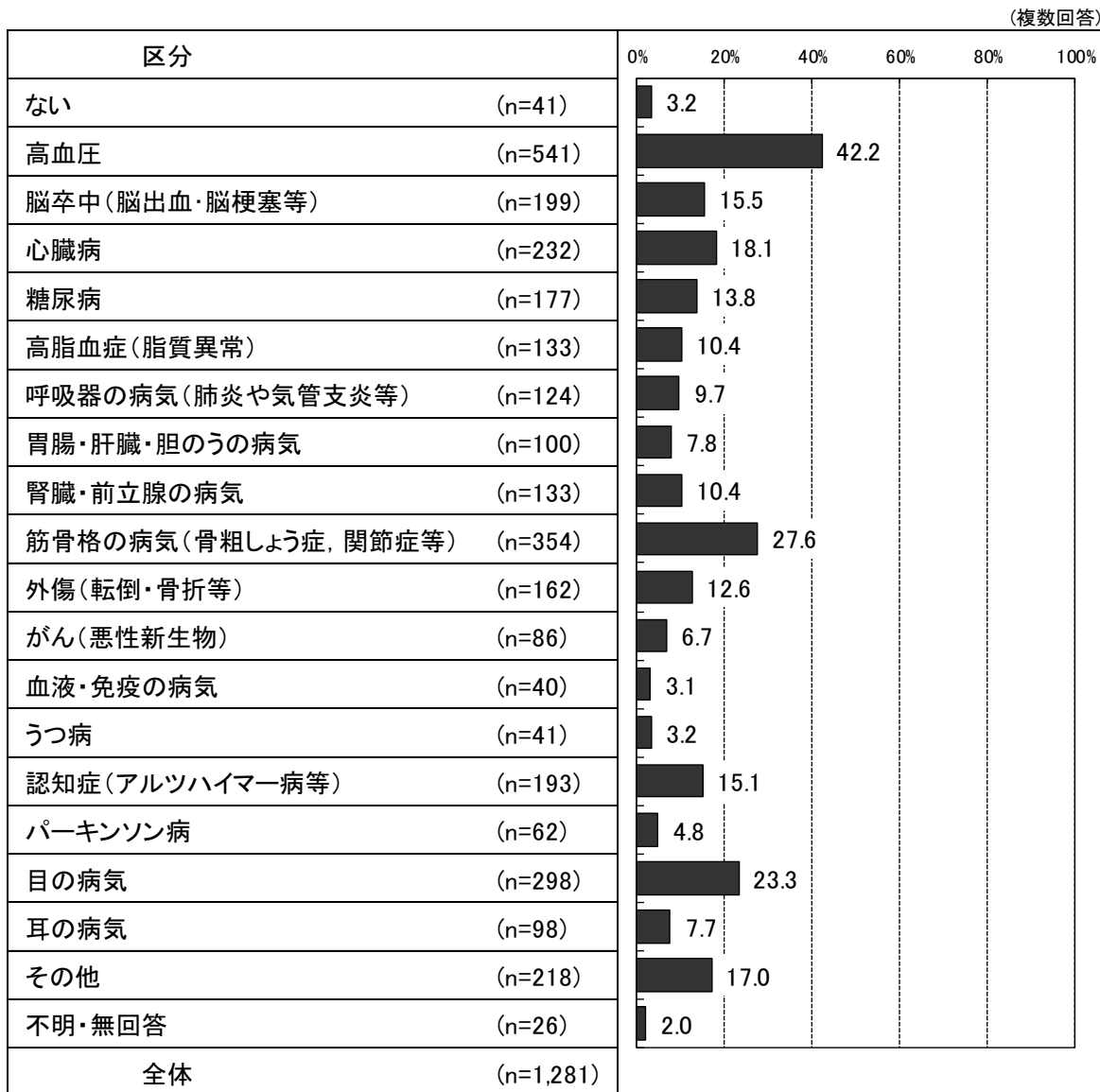
「あて名のご本人」が56.8%で最も多く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」が35.0%、「主な介護者以外の家族・親族」が1.4%となっています。

問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）



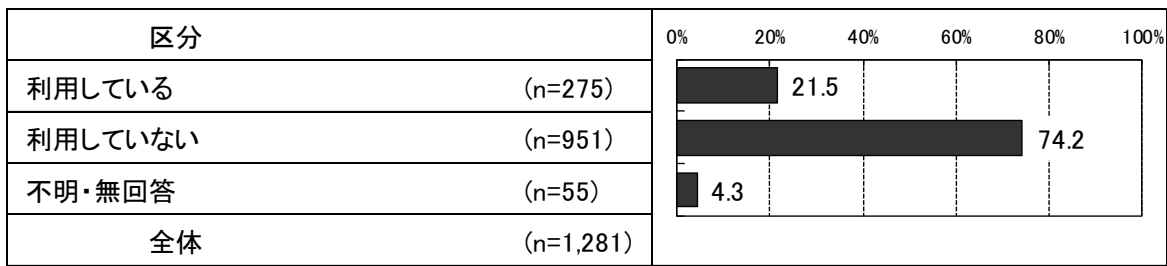
「単身世帯」が33.8%で最も多く、次いで「夫婦のみ世帯」が30.9%、「その他」が30.1%となっています。

問2 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（複数選択可）



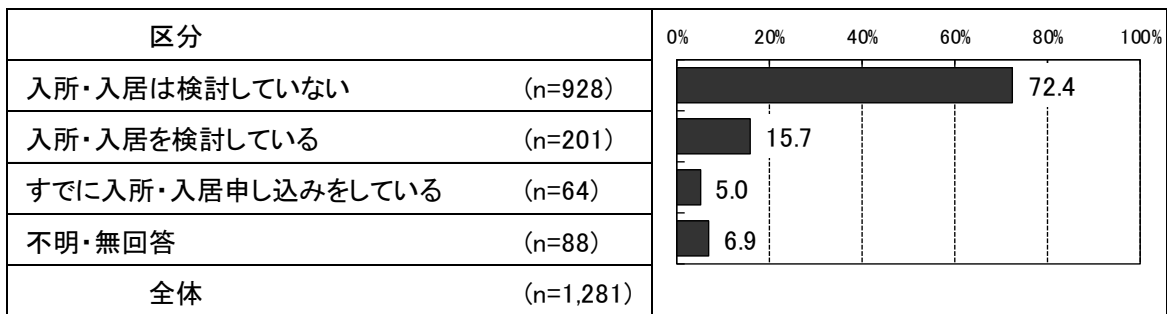
「高血圧」が42.2%で最も多く、次いで「筋骨格の病気(骨粗しょう症, 関節症等)」が27.6%, 「目の病気」が23.3%となっています。

問3 ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）



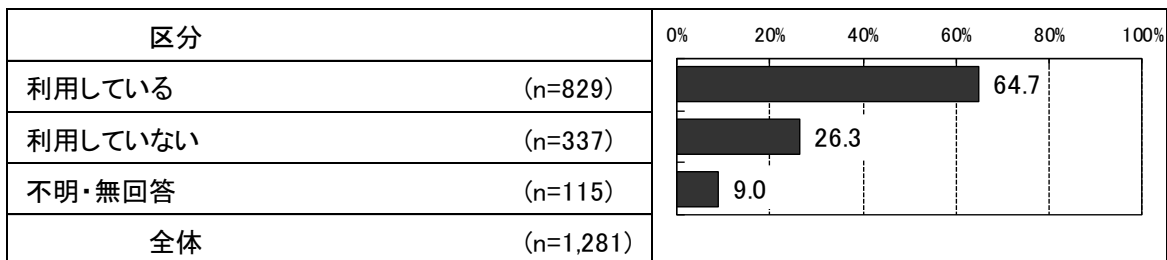
「利用していない」が74.2%、「利用している」が21.5%となっています。

問4 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください



「入所・入居は検討していない」が72.4%で最も多く、次いで「入所・入居を検討している」が15.7%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が5.0%となっています。

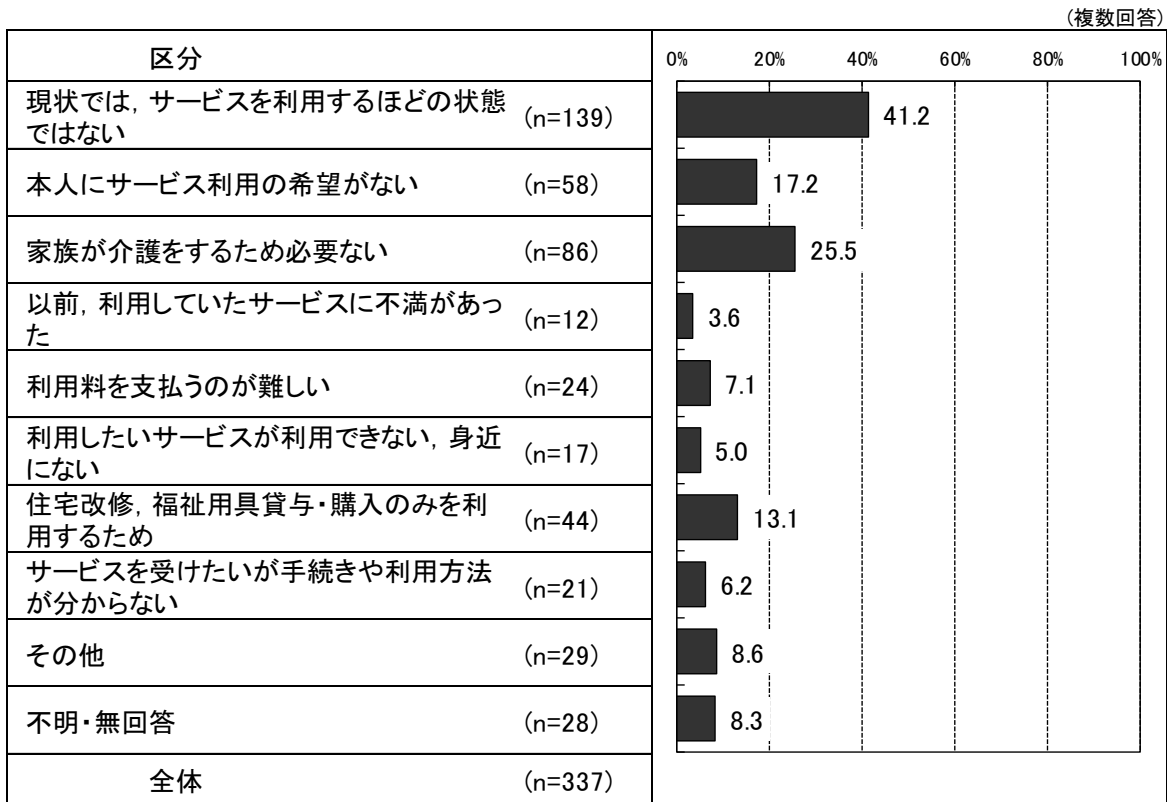
問5 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか（1つを選択）



「利用している」が64.7%、「利用していない」が26.3%となっています。

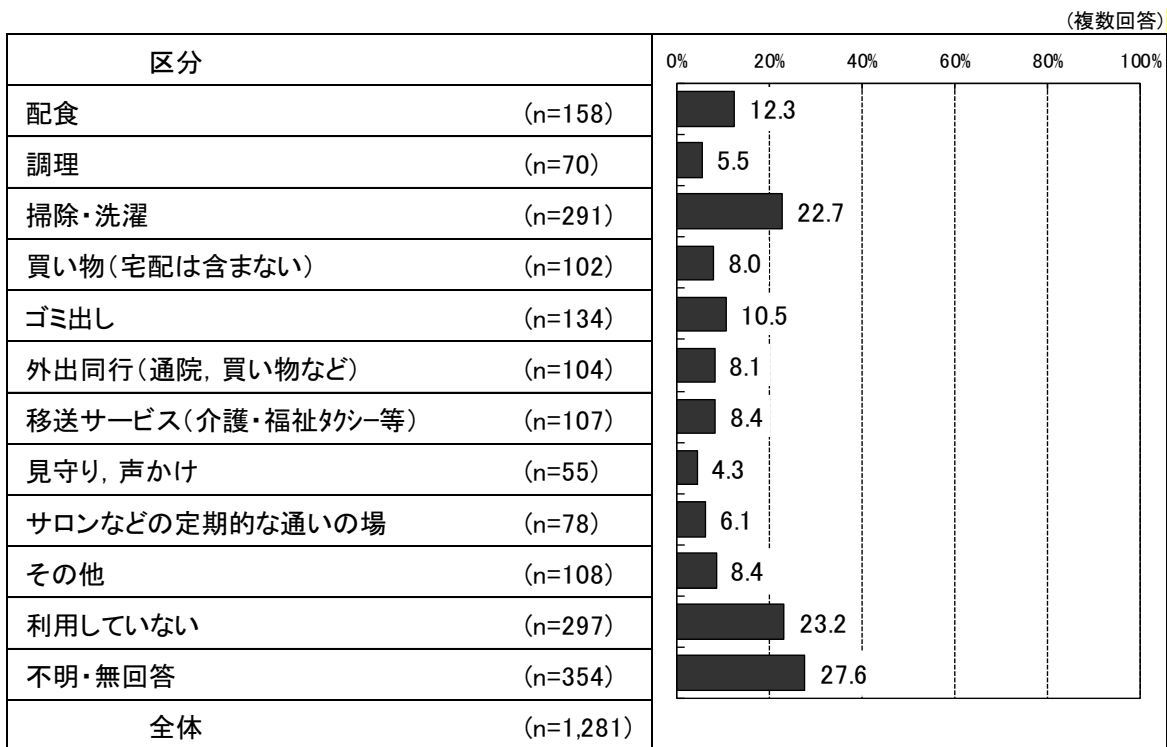
問6 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

※問5で「利用していない」と回答した方が回答



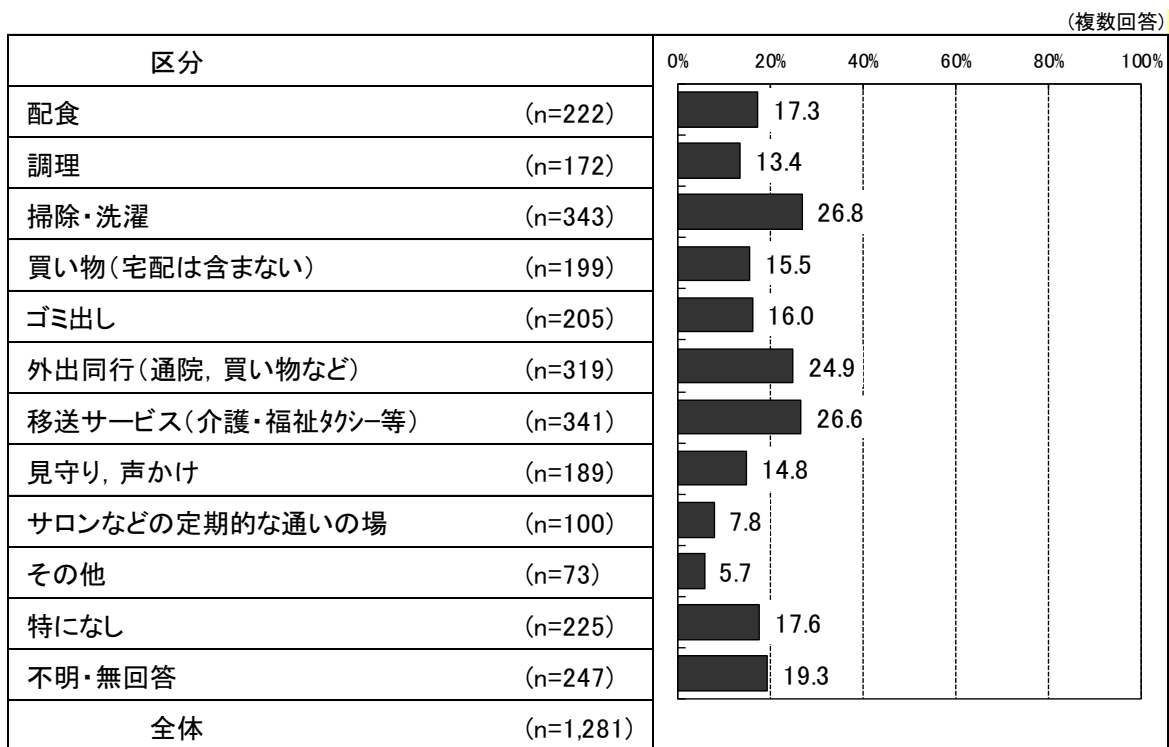
「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 41.2%で最も多く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が 25.5%、「本人にサービス利用の希望がない」が 17.2%となっています。

問7 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）



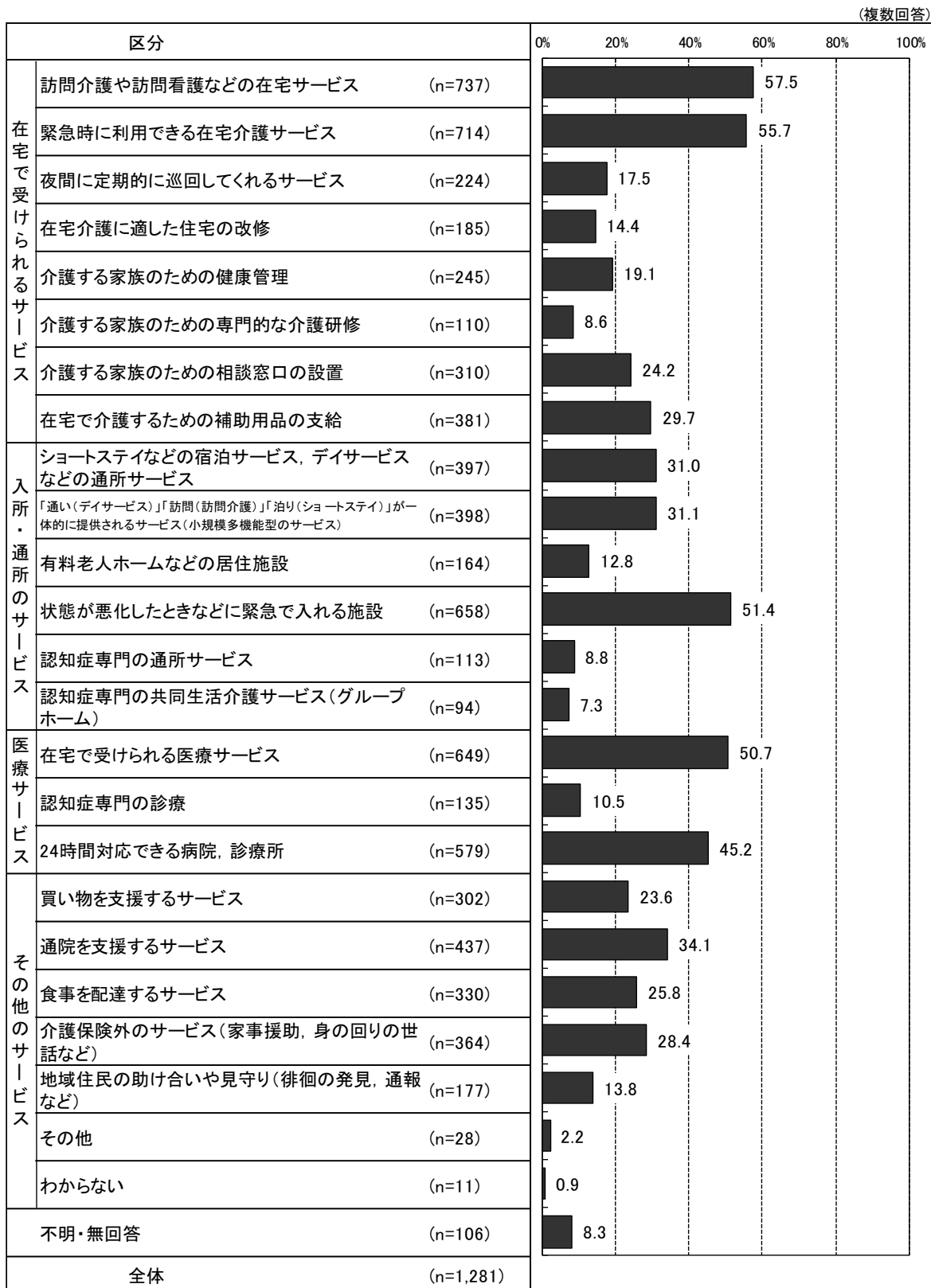
「利用していない」が 23.2%で最も多く、次いで「掃除・洗濯」が 22.7%、「配食」が 12.3%となっています。

問8 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）



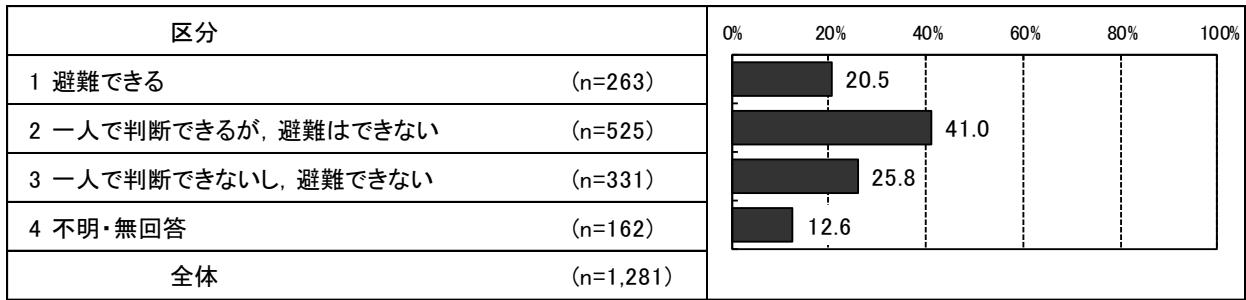
「掃除・洗濯」が26.8%で最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が26.6%、「外出同行（通院，買い物など）」が24.9%となっています。

問9 自分の身の回りのことができなくなったときに、どのようなサービスがあれば在宅生活を続けていくことができますか（複数選択可）



「訪問介護や訪問看護などの在宅サービス」が 57.5%で最も多く、次いで「緊急時に利用できる在宅介護サービス」が 55.7%、「状態が悪化したときなどに緊急で入れる施設」が 51.4%となっています。

問 10 ご本人は、災害時（台風や地震など）や火災などの緊急時に、一人で避難することができますか

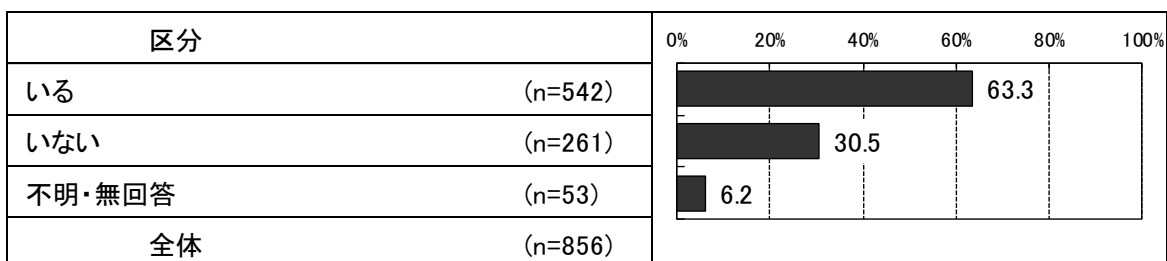


「一人で判断できるが、避難はできない」が 41.0%で最も多く、次いで「一人で判断できないし、避難できない」が 25.8%、「避難できる」が 20.5%となっています。

問 10 - 1 （緊急時に一人で避難ができない方）【問 10 で「2」または「3」と回答した方】
避難できない理由は何ですか。

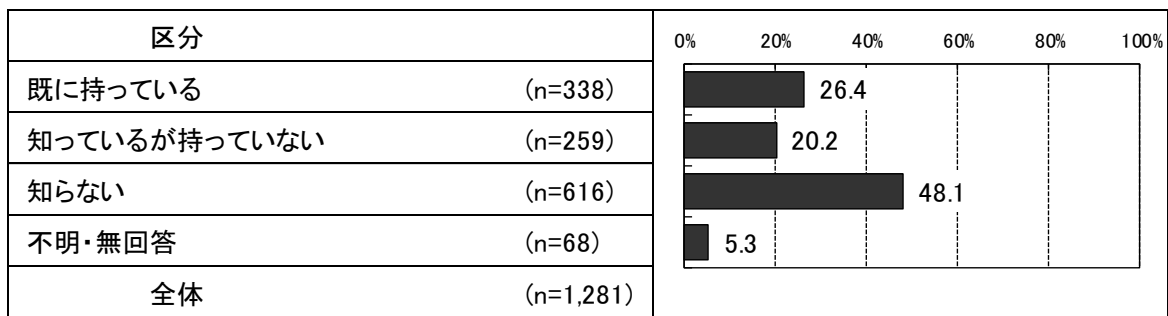
	主な回答
体力・身体的な理由	<ul style="list-style-type: none"> ● 歩行困難 ● リウマチで足が動かない ● 目が見えないので、外出できない ● 腰関節が痛いため歩きにくい
配偶者の看病・介護	<ul style="list-style-type: none"> ● 認知症・寝たきり ● 配偶者が全盲のため放っておけない ● 夫婦共に足が悪いので歩けない
住居・住まいに起因する理由	<ul style="list-style-type: none"> ● 避難先が遠い ● 急いで階段を下りられない、歩けない ● 歩くのが遅く家の玄関に段差があるので、一人では難しい
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● いつ緊急時か本人が分からない

問 10 - 2 （緊急時に一人で避難ができない方）【問 10 で「2」または「3」と回答した方】
災害時や火災など緊急時に避難する際、手助けを頼める人（同居の方を含む）はいますか



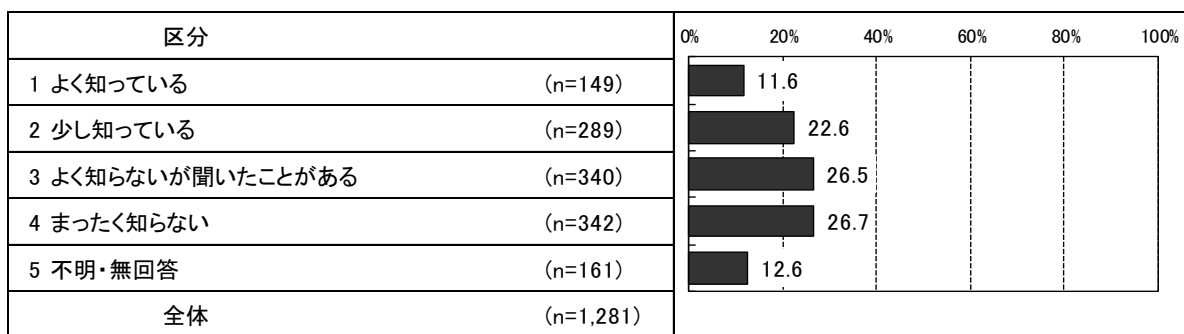
「いる」が 63.3%、「いない」が 30.5%となっています。

問 11 万が一の災害や急病に備え、医療情報を記入した用紙を筒状の容器に入れ、ご家庭にある冷蔵庫に収納する救急医療情報キットを知っていますか



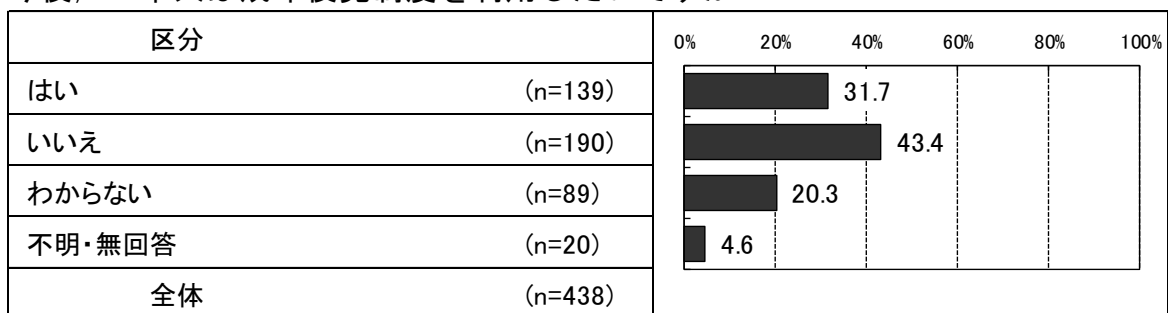
「知らない」が 48.1%で最も多く、次いで「既に持っている」が 26.4%、「知っているが持っていない」が 20.2%となっています。

問 12 ご本人は成年後見制度を知っていますか



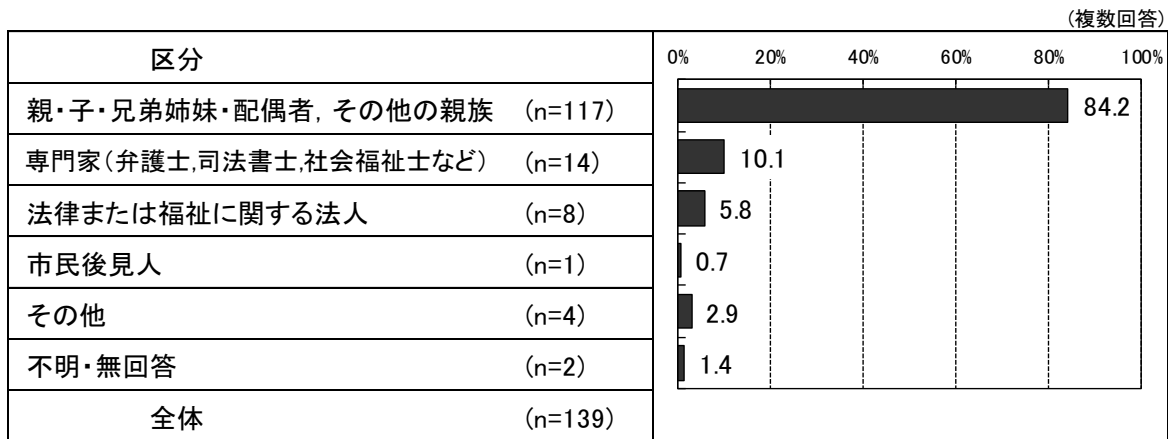
「まったく知らない」が 26.7%で最も多く、次いで「よく知らないが聞いたことがある」が 26.5%、「少し知っている」が 22.6%となっています。

問 12 - 1 (成年後見制度を知っている方)【問 12 で「1」または「2」と回答した方】
今後、ご本人は成年後見制度を利用したいですか



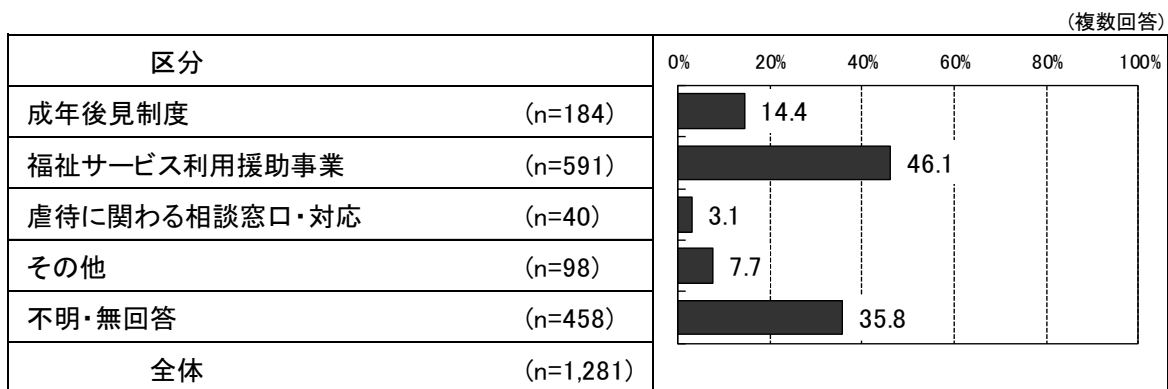
「いいえ」が 43.4%で最も多く、次いで「はい」が 31.7%、「わからない」が 20.3%となっています。

問 12 - 2 (成年後見制度を利用したい方)【問 12-1 で「はい」と回答した方】
後見人は誰になってもらいたいですか



「親・子・兄弟姉妹・配偶者, その他の親族」が 84.2%で最も多く, 次いで「専門家(弁護士, 司法書士, 社会福祉士など)」が 10.1%, 「法律または福祉に関する法人」が 5.8%となっています。

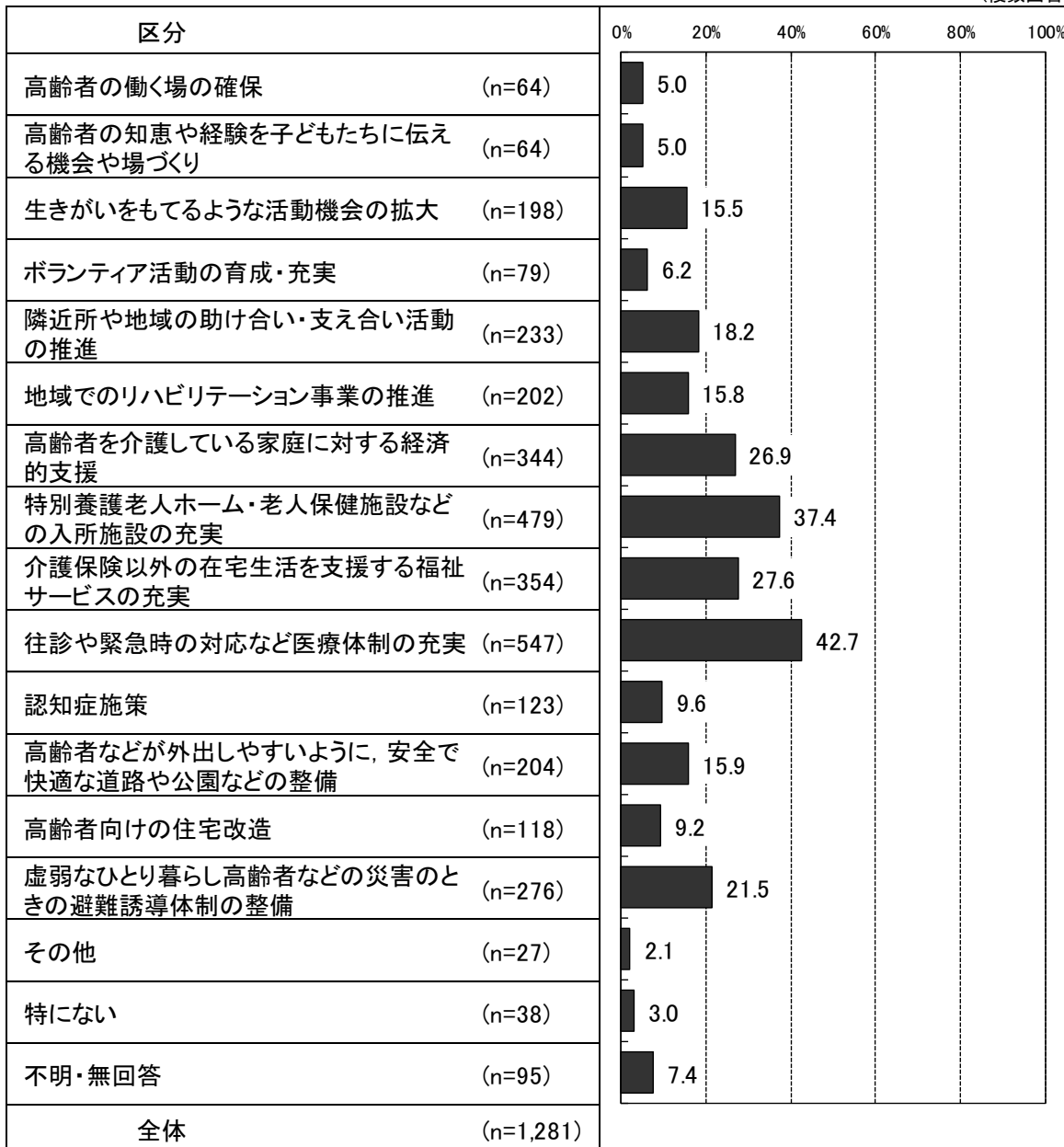
問 13 ご本人は, 虐待をはじめ, 高齢者の権利擁護について, どのようなことを知りたいですか



「福祉サービス利用援助事業」が 46.1%で最も多く, 次いで「成年後見制度」が 14.4%, 「その他」が 7.7%となっています。

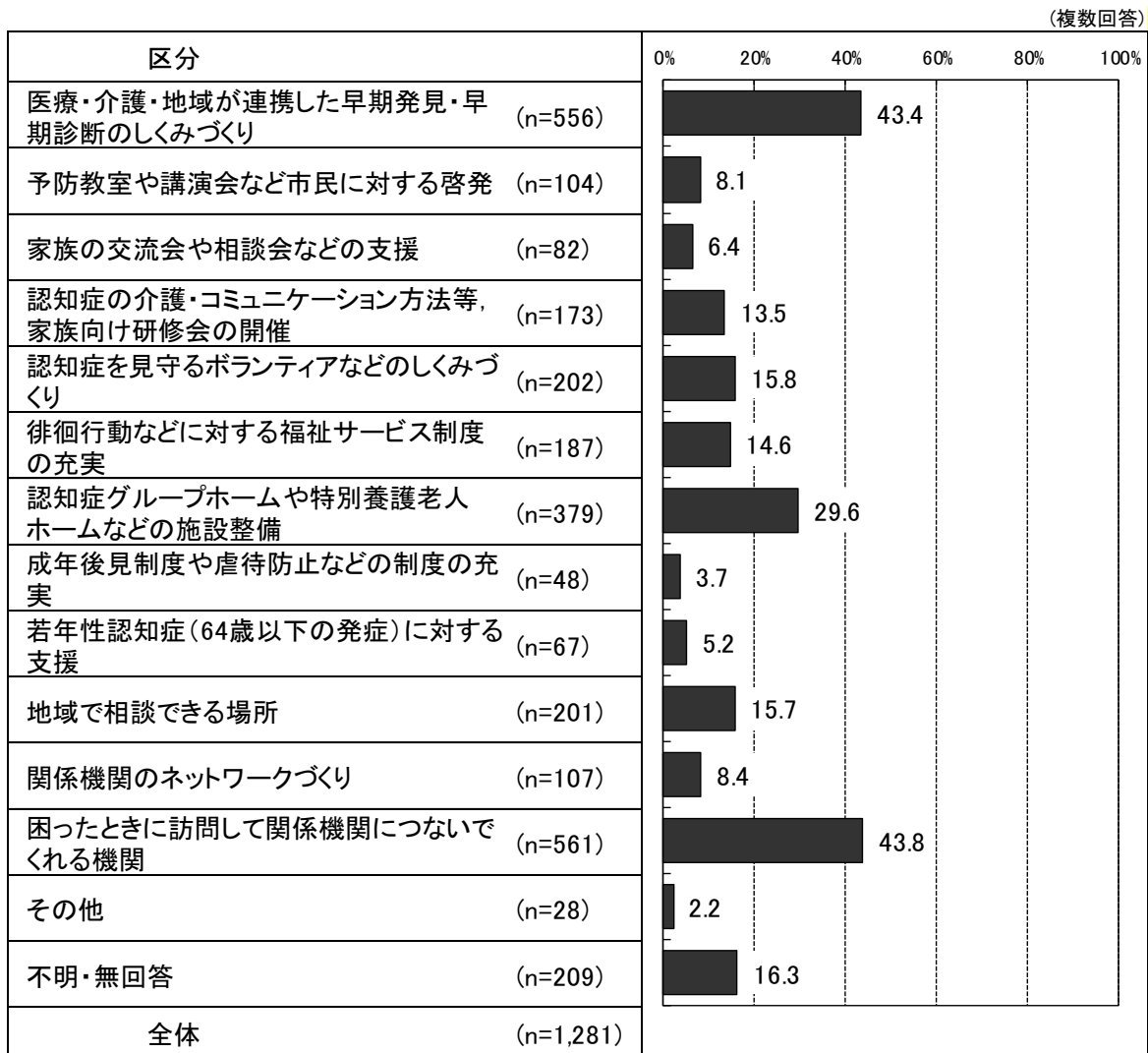
問 14 高齢社会への対応として、市が力を入れるべきことは何ですか（主なもの3つまで）

(複数回答)



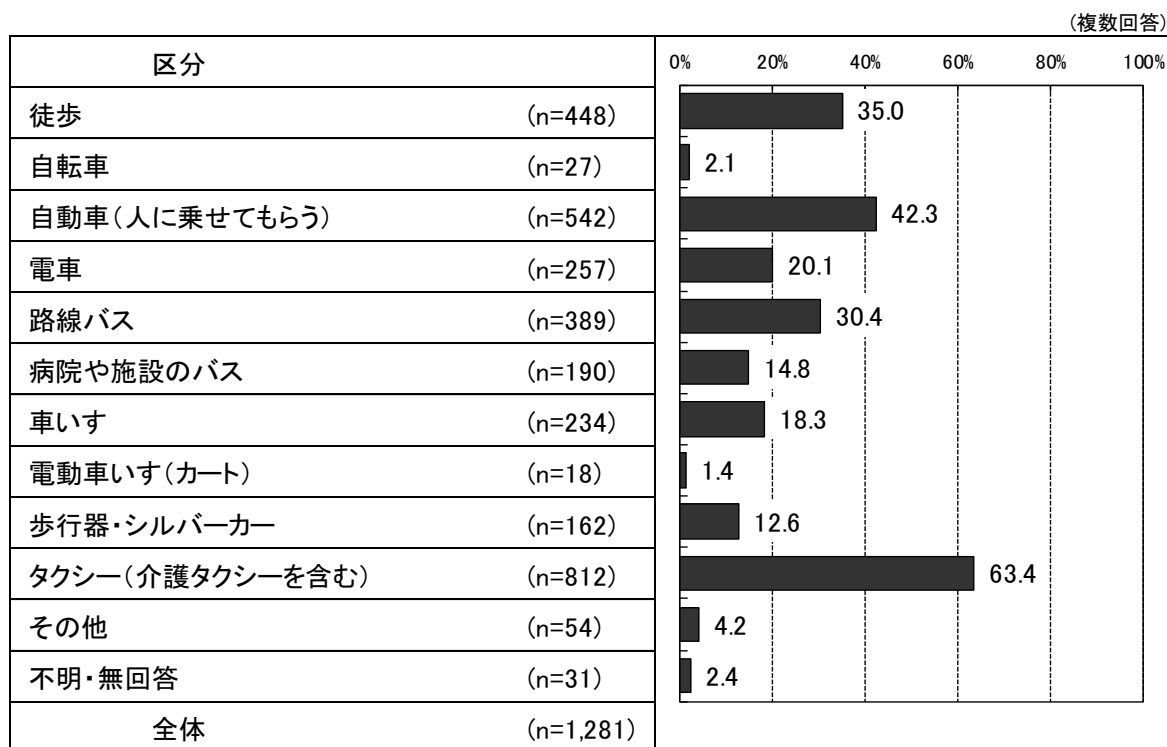
「往診や緊急時の対応など医療体制の充実」が 42.7%で最も多く、次いで「特別養護老人ホーム・老人保健施設などの入所施設の充実」が 37.4%、「介護保険以外の在宅生活を支援する福祉サービスの充実」が 27.6%となっています。

問 15 今後、認知症施策を進めていくうえで、市が力を入れるべきことは何ですか（主なもの3つまで）



「困ったときに訪問して関係機関につないでくれる機関」が 43.8%で最も多く、次いで「医療・介護・地域が連携した早期発見・早期診断のしくみづくり」が 43.4%、「認知症グループホームや特別養護老人ホームなどの施設整備」が 29.6%となっています。

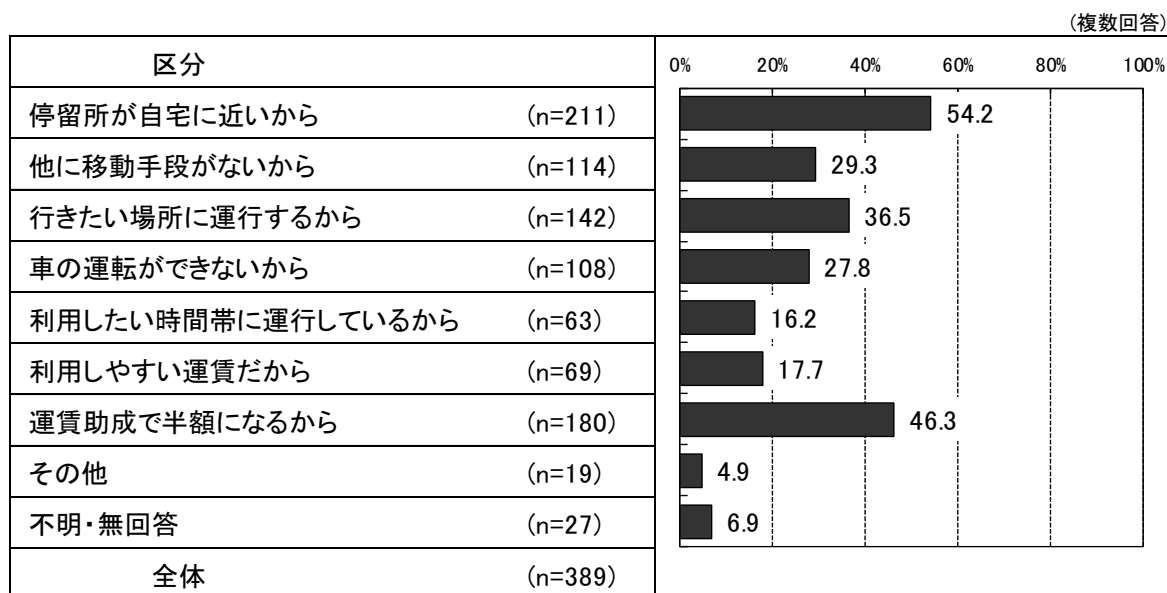
問 16 外出する際の移動手段は何ですか（複数選択可）



「タクシー（介護タクシーを含む）」が 63.4%で最も多く、次いで「自動車（人に乗せてもらう）」が 42.3%、「徒歩」が 35.0%となっています。

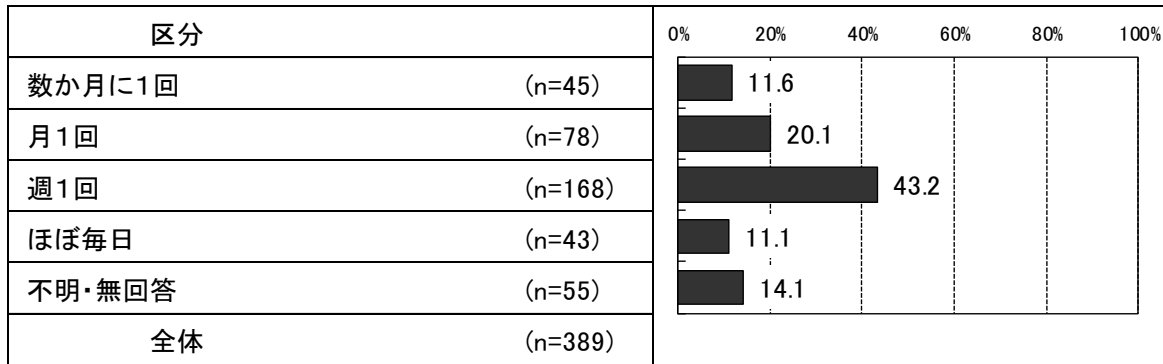
問 17 (問 16 で「5. 路線バス」と回答した方)

ご本人が路線バスを利用する主な理由は何ですか（複数選択可）



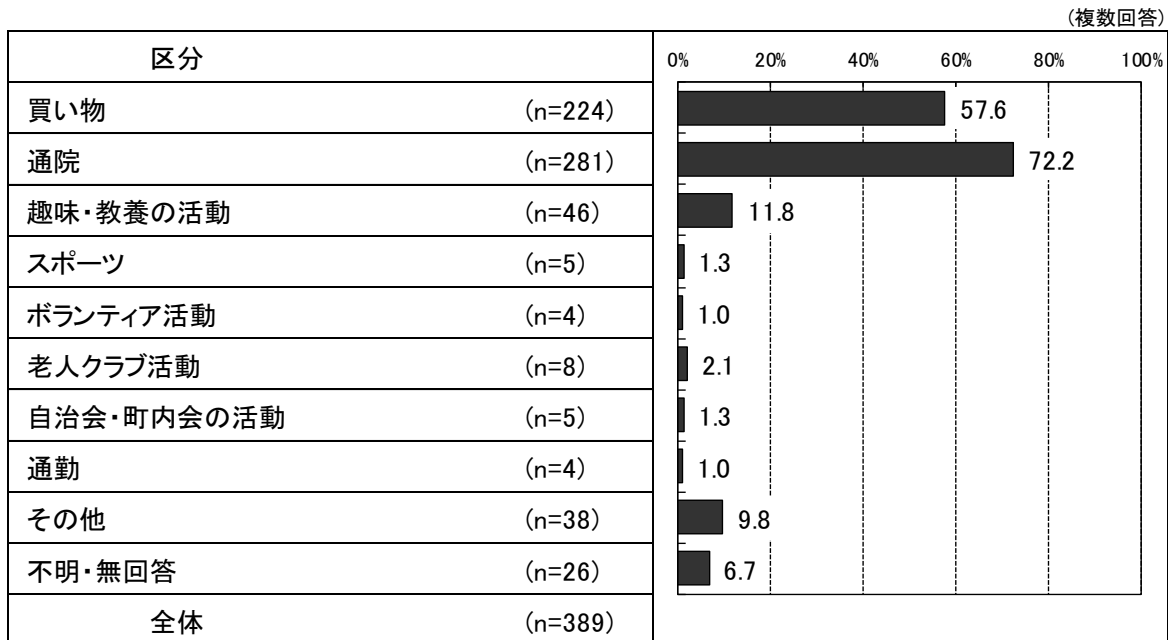
「停留所が自宅に近いから」が 54.2%で最も多く、次いで「運賃助成で半額になるから」が 46.3%、「行きたい場所に運行するから」が 36.5%となっています。

問 18 (問 16 で「5. 路線バス」と回答した方)
 ご本人の路線バスの利用回数は、どのくらいですか



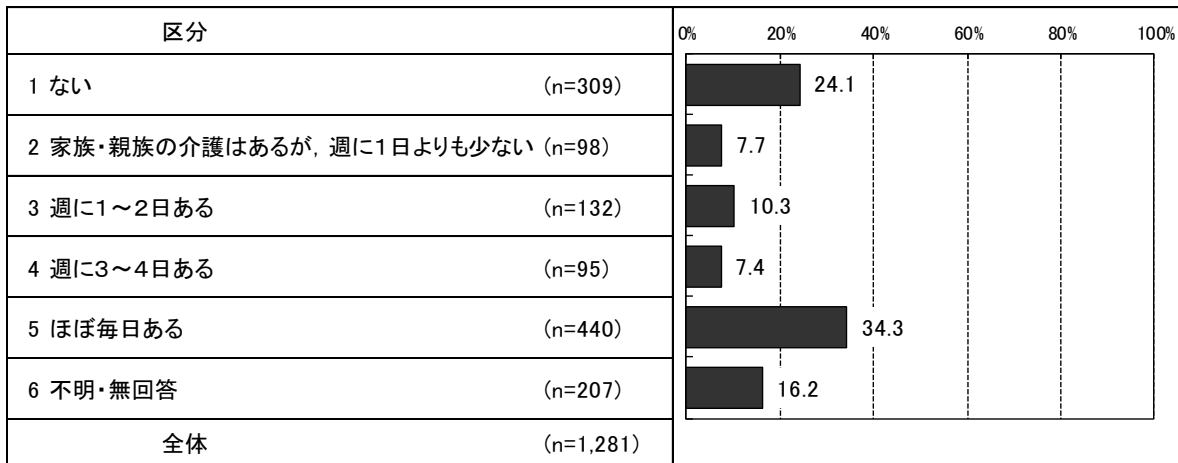
「週1回」が43.2%で最も多く、次いで「月1回」が20.1%、「数か月に1回」が11.6%となっています。

問 19 (問 16 で「5. 路線バス」と回答した方)
 ご本人が路線バスを利用する主な目的は何ですか (複数選択可)



「通院」が72.2%で最も多く、次いで「買い物」が57.6%、「趣味・教養の活動」が11.8%となっています。

問 20 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか
 (同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (1つを選択)

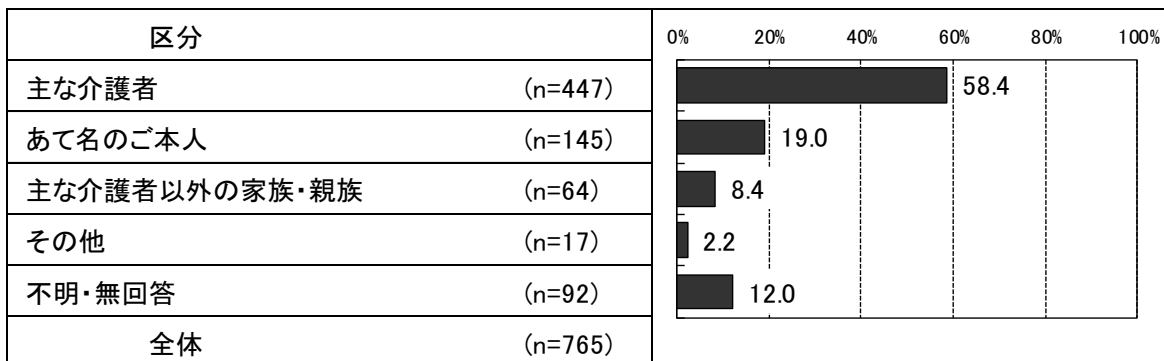


「ほぼ毎日ある」が 34.3%で最も多く、次いで「ない」が 24.1%、「週に1～2日ある」が 10.3%となっています。

B票 主な介護者の方について、お伺いします

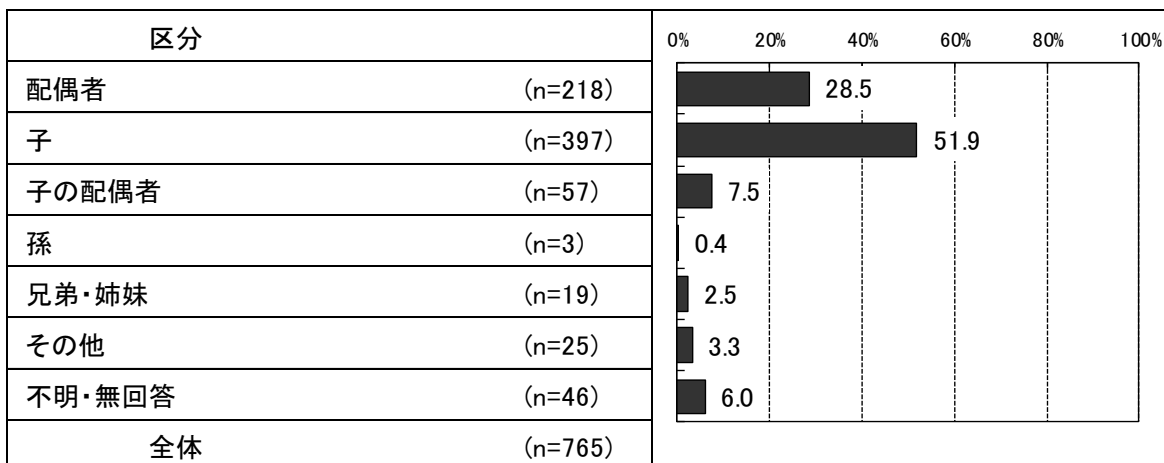
※B票は、A票問20で「2～5」を回答した方(765人)を対象にしています。

記入者



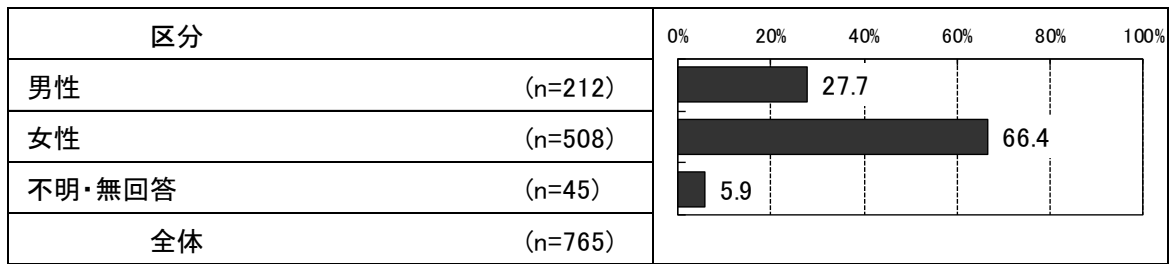
「主な介護者」が 58.4%で最も多く、次いで「あて名のご本人」が 19.0%、「主な介護者以外の家族・親族」が 8.4%となっています。

問 1 主な介護者の方は、どなたですか (1つを選択)



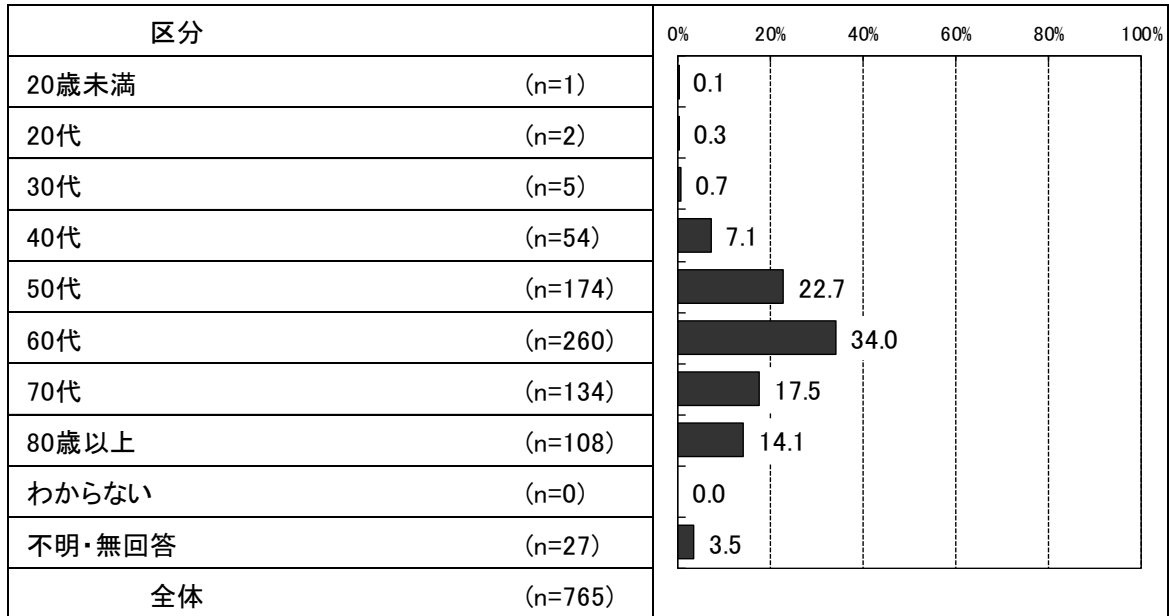
「子」が 51.9%で最も多く、次いで「配偶者」が 28.5%、「子の配偶者」が 7.5%となっています。

問2 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）



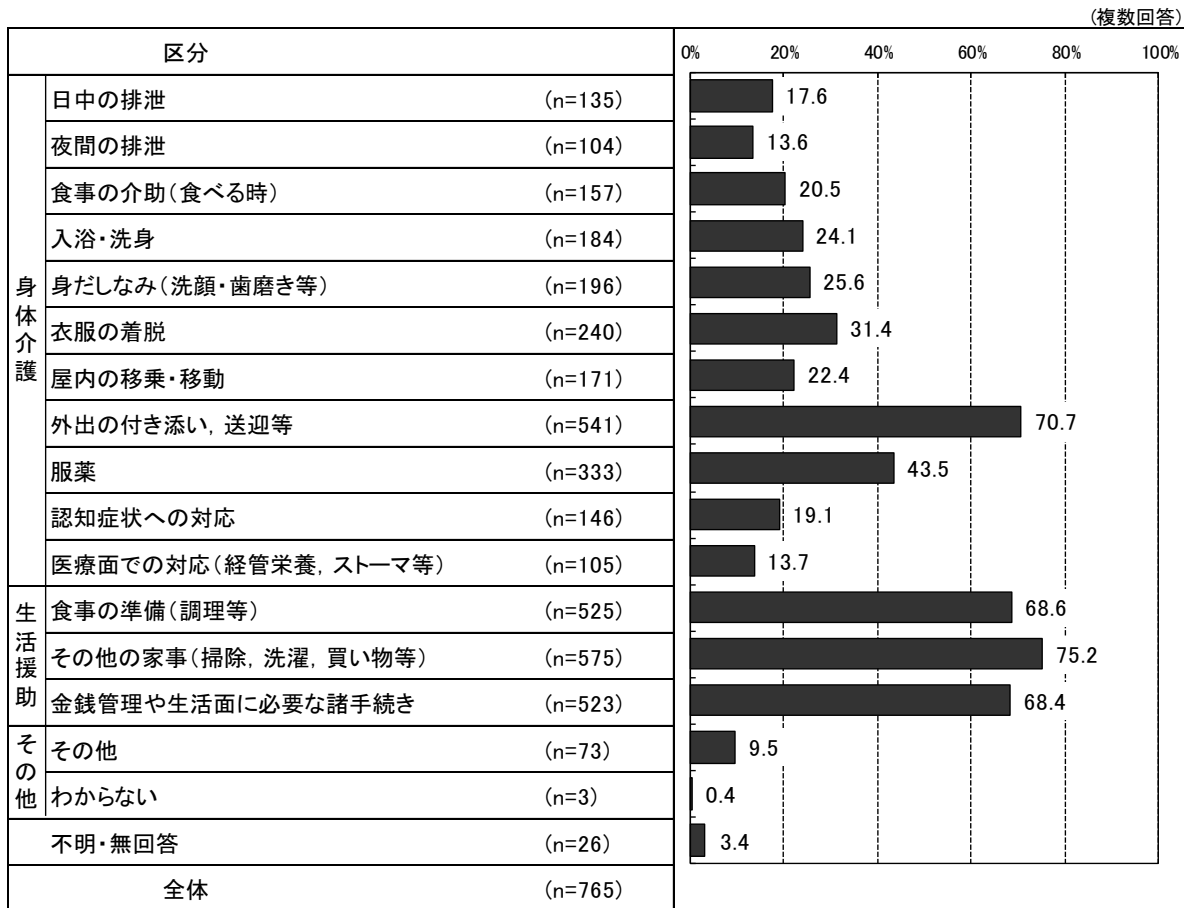
「女性」が 66.4%、「男性」が 27.7%となっています。

問3 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）



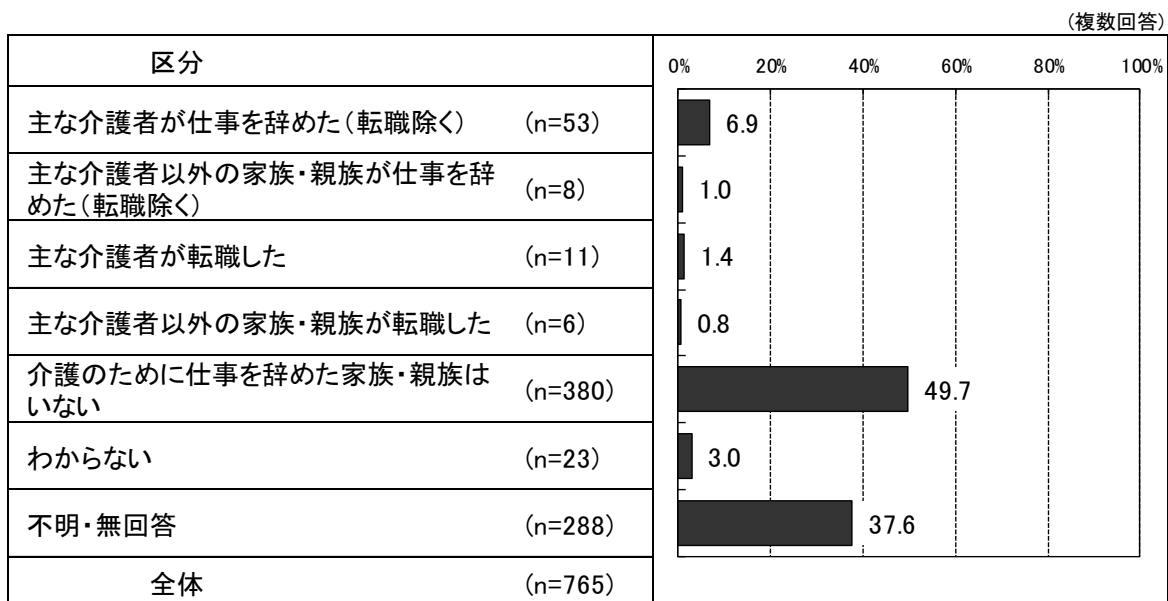
「60代」が 34.0%で最も多く、次いで「50代」が 22.7%、「70代」が 17.5%となっています。

問4 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください(複数選択可)



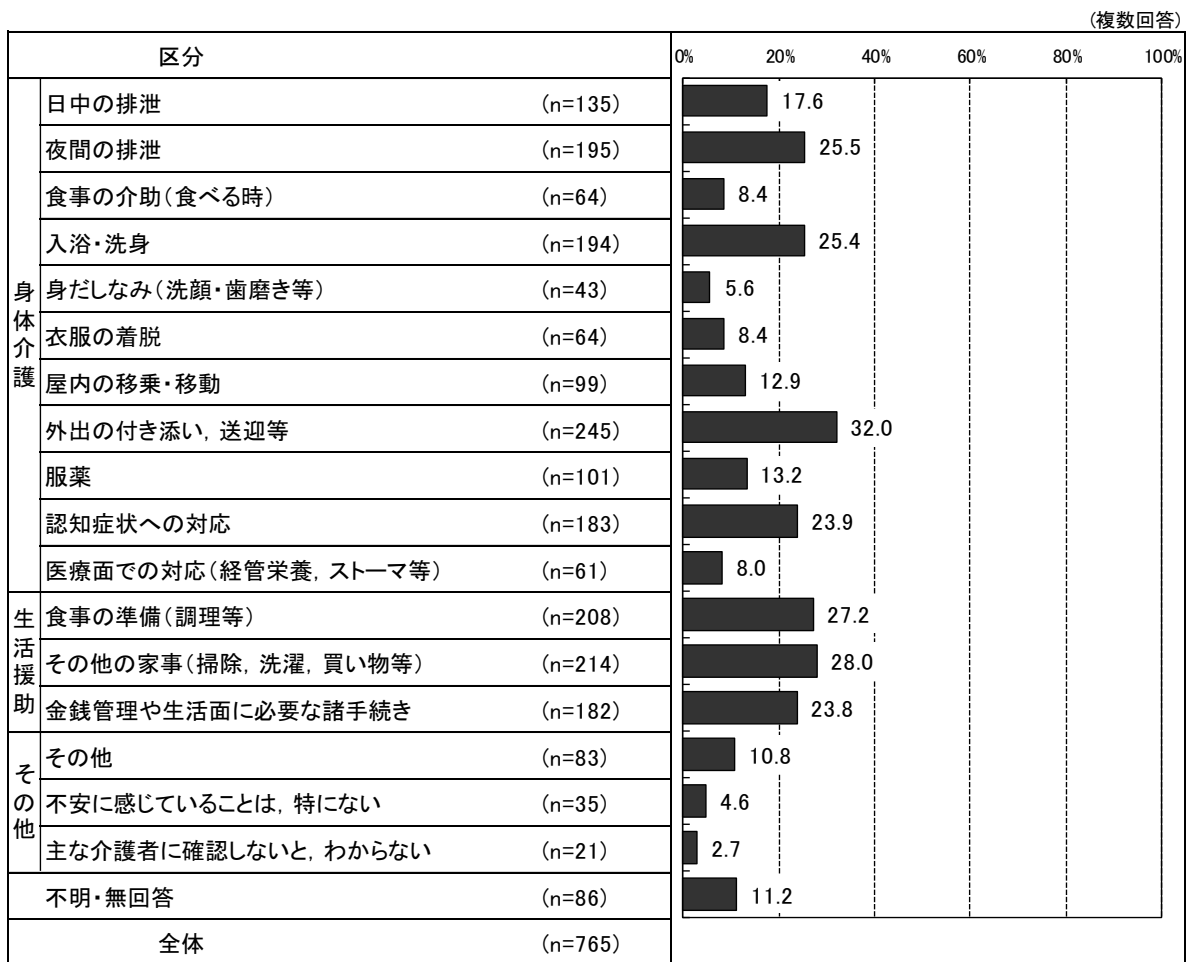
「その他の家事(掃除, 洗濯, 買い物等)」が 75.2%で最も多く、次いで「外出の付き添い, 送迎等」が 70.7%, 「食事の準備(調理等)」が 68.6%となっています。

問5 ご家族やご親族の中で、あて名のご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)



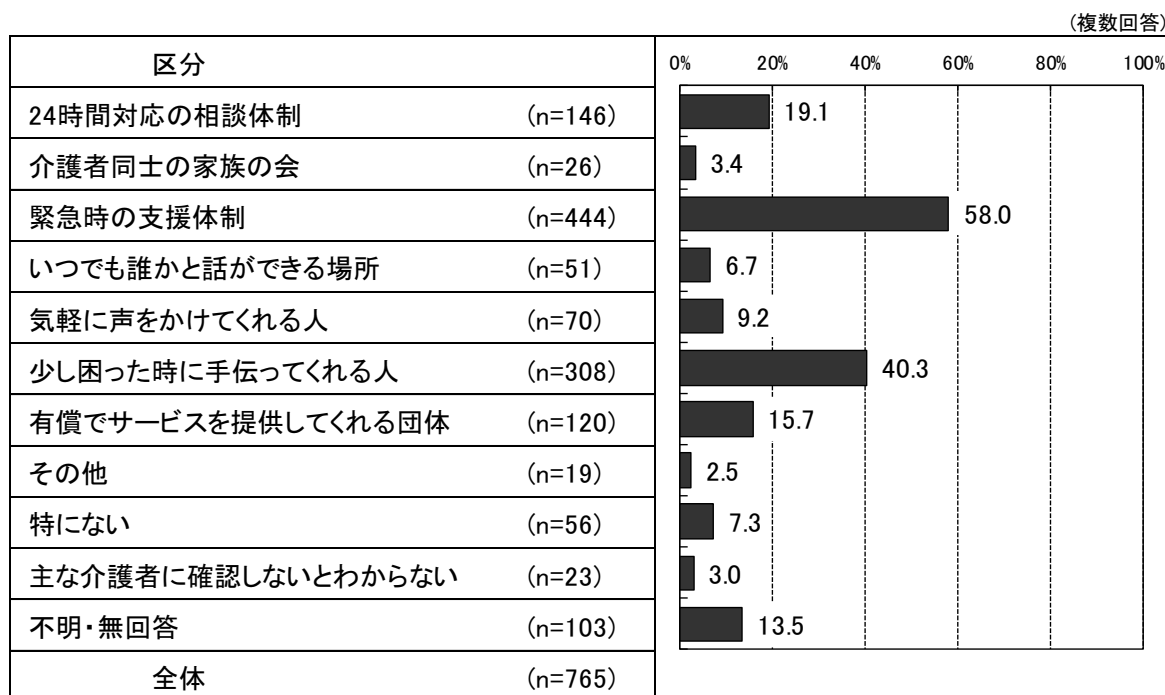
「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 49.7%で最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が 6.9%, 「わからない」が 3.0%となっています。

問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）
（3つまで選択可）



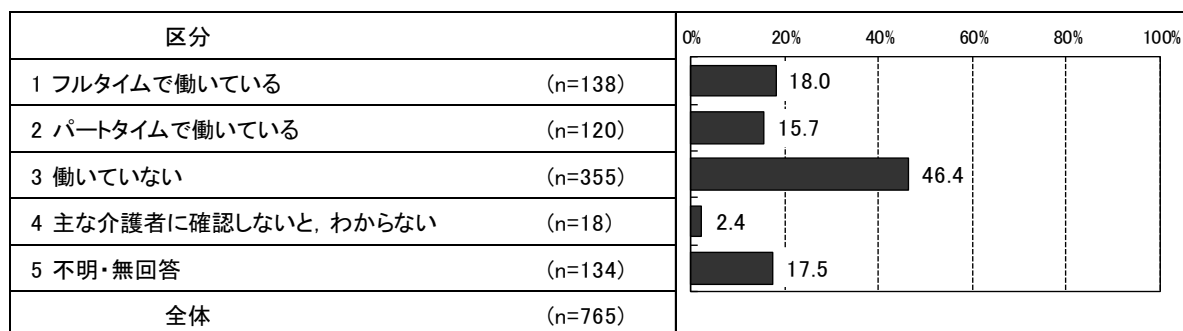
「外出の付き添い, 送迎等」が 32.0%で最も多く、次いで「その他の家事(掃除, 洗濯, 買い物等)」が 28.0%, 「食事の準備(調理等)」が 27.2%となっています。

問7 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が必要と感じる地域での支援について、ご回答ください(複数選択可)



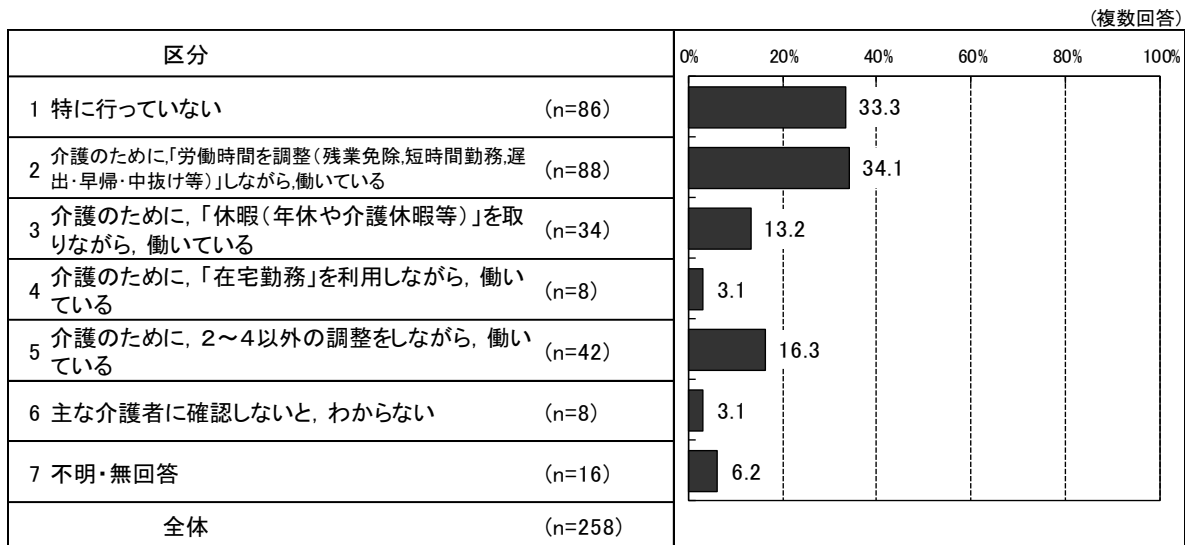
「緊急時の支援体制」が58.0%で最も多く、次いで「少し困った時に手伝ってくれる人」が40.3%、「24時間対応の相談体制」が19.1%となっています。

問8 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)



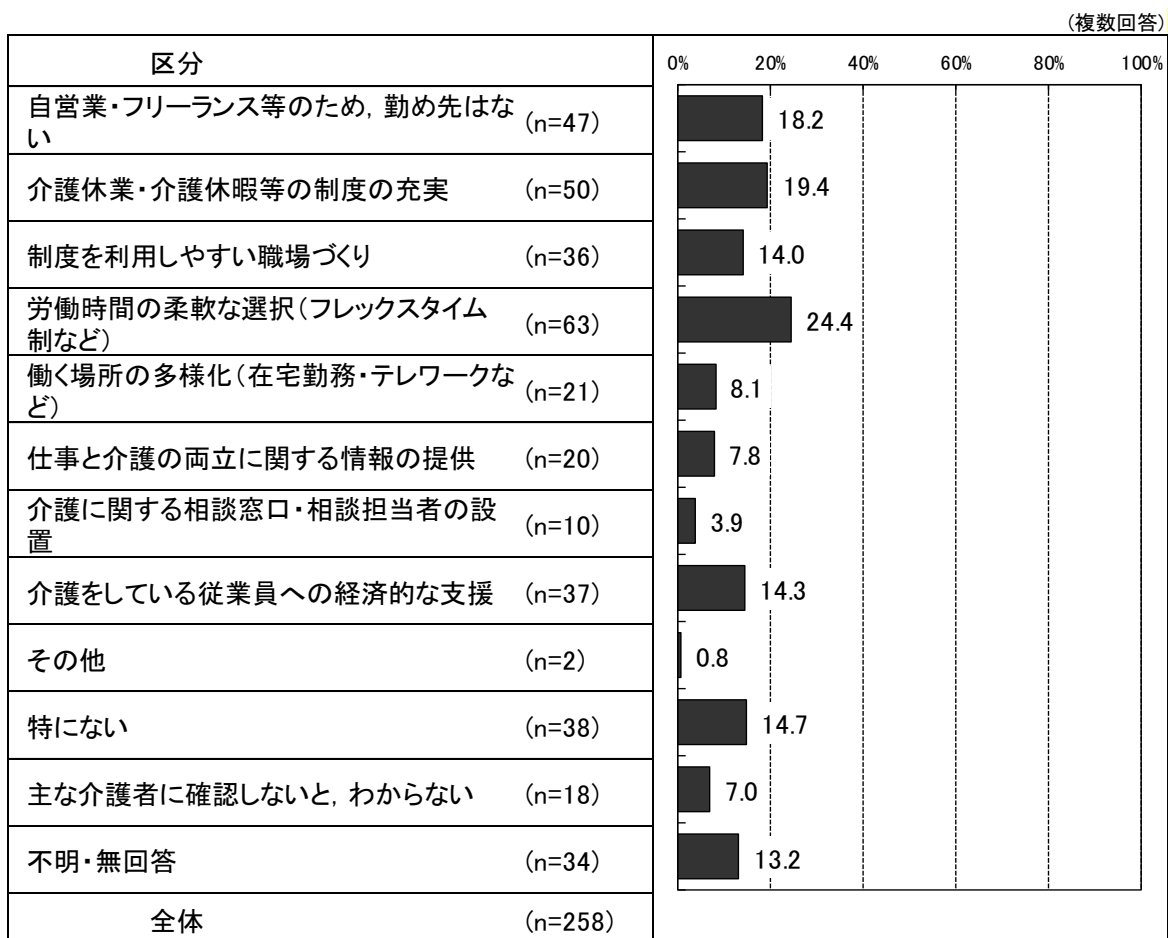
「働いていない」が46.4%で最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が18.0%、「パートタイムで働いている」が15.7%となっています。

問9 (問8で「1.」「2.」と回答した方) 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか (複数選択可)



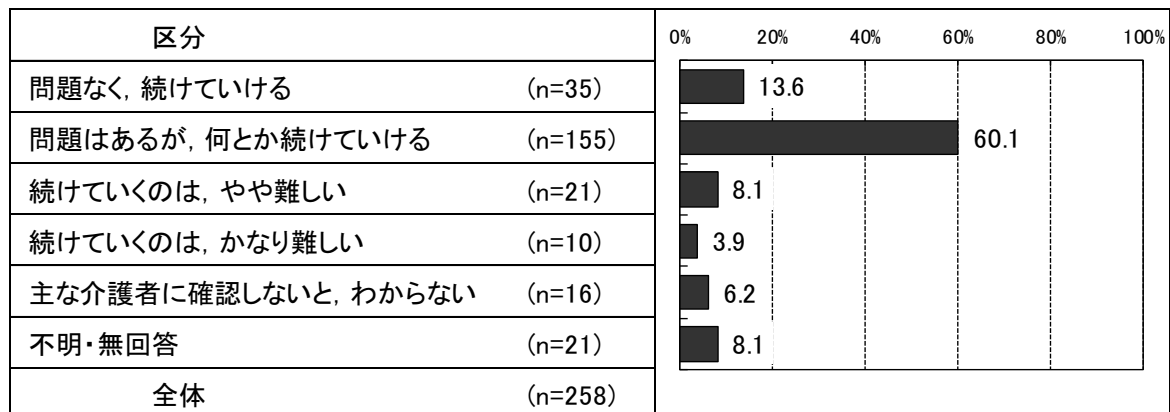
「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」が34.1%で最も多く、次いで「特に行っていない」が33.3%、「介護のために、2~4以外の調整をしながら、働いている」が16.3%となっています。

問10 (問8で「1.」「2.」と回答した方) 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか (3つまで選択可)



「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が24.4%で最も多く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が19.4%、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が18.2%となっています。

問 11 (問 8 で「1.」「2.」と回答した方) 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか (1つを選択)



「問題はあるが、何とか続けていける」が 60.1%で最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が 13.6%、「続けていくのは、やや難しい」が 8.1%となっています。

IV 資料編（調査票）

第8次芦屋すこやか長寿プラン21策定に向けたアンケート調査

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

皆様には、日頃より市政の推進について温かいご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本市におきましては、介護を必要とする人が住みなれた家庭や地域で安心して過ごすことができるように、介護サービスの質の向上と円滑な事業運営に取り組んでいます。

本市では3年を1期とする事業計画を策定し、そこで、必要なサービス基盤の整備計画を作成しています。平成29年度で現行の計画期間が終了します。次期の3年間（平成30年度～32年度）のための「第8次芦屋すこやか長寿プラン21」の策定に向けて、その基礎資料とするためアンケート調査を実施することになりました。

この調査は、皆様の介護サービスの質の向上に向け、生活の実態や介護保険に対する考え・意向などを把握するためのものであり、調査結果は、これからの高齢者福祉事業及び介護保険事業の充実に活用します。

大変お忙しい中、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

平成29年2月

芦屋市

※あて名のご本人が何らかの事情により回答できない場合には、その理由について下記よりあてはまるものを選び、番号に○をつけてください。

1. 病院などに入院中
2. 介護保険施設などに入所中
3. 市外転出
4. 死亡
5. その他（ ）



これらのいずれかに該当する場合は、3頁以下の質問にお答えいただく必要はありません。

お手数をおかけいたしますが、同封の返信用封筒でこの調査票をご返送ください。

お手数ですが、調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、2月28日までにご返送ください。

問合せ先 芦屋市福祉部 高齢介護課 電話 38-2044

記入に際してのお願い

1. この調査の対象者は、65歳以上で、要介護1～5の認定を受けていない方の中から、無作為に抽出した方です。
2. ご回答にあたっては、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、ご一緒に回答されてもかまいません。
3. 答えたくないことやわからないことは、無理に答えていただく必要はありません。
4. 平成29年2月1日現在の状況を記入してください。

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、本市による介護保険事業計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、本市で適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時および効果評価時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する本市外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

(5) 転倒に対する不安は大きいですか 1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない
(6) 週に1回以上は外出していますか 1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか 1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない
(8) 外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも） 1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 自動車（自分で運転） 5. 自動車（人に乗せてもらう） 6. 電車 7. 路線バス 8. 病院や施設のバス 9. 車いす 10. 電動車いす（カート） 11. 歩行器・シルバーカー 12. タクシー 13. その他（ ）
(9) <u>（8）で「7. 路線バス」とお答えいただいた方</u> あなたが路線バスを利用する 主な理由は何ですか（いくつでも） 1. 停留所が自宅に近いから 2. 他に移動手段がないから 3. 行きたい場所に運行するから 4. 車の運転ができないから 5. 利用したい時間帯に運行しているから 6. 利用しやすい運賃だから 7. 運賃助成で半額になるから 8. その他（ ）
(10) <u>（8）で「7. 路線バス」とお答えいただいた方</u> あなたの路線バスの利用回数は、 どのくらいですか 1. 数か月に1回 2. 月1回 3. 週1回 4. ほぼ毎日
(11) <u>（8）で「7. 路線バス」とお答えいただいた方</u> あなたが路線バスを利用する 主な目的は何ですか（いくつでも） 1. 買い物 2. 通院 3. 趣味・教養の活動 4. スポーツ 5. ボランティア活動 6. 老人クラブ活動 7. 自治会・町内会の活動 8. 通勤 9. その他（ ）

問3 食べることについて	
(1) 身長・体重	身長 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> cm 体重 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> kg
(2) 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい 2. いいえ
(3) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ
(4) お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい 2. いいえ
(5) 口の渇きが気になりますか	1. はい 2. いいえ
(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)	1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

(7) どなたかと食事をとにもする機会がありますか

1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある
4. 年に何度かある 5. ほとんどない

問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか

1. はい 2. いいえ

(2) 認知症は“加齢に伴う物忘れ”とは違うことを知っていますか

1. はい 2. いいえ

(3) 認知症は、早期に発見し早期に治療を開始すると、症状の進行が緩やかになると言われていることを知っていますか

1. はい 2. いいえ

(4) 今後、認知症施策を進めていくうえで、市が力を入れるべきことは何ですか（主なもの3つまで）

1. 医療・介護・地域が連携した早期発見・早期診断のしくみづくり
2. 予防教室や講演会など市民に対する啓発
3. 家族の交流会や相談会などの支援
4. 認知症の介護・コミュニケーション方法等、家族向け研修会の開催
5. 認知症を見守るボランティアなどのしくみづくり
6. 徘徊行動などに対する福祉サービス制度の充実
7. 認知症グループホームや特別養護老人ホームなどの施設整備
8. 成年後見制度や虐待防止などの制度の充実
9. 若年性認知症（64歳以下の発症）に対する支援
10. 地域で相談できる場所
11. 関係機関のネットワークづくり
12. 困ったときに訪問して関係機関につないでくれる機関
13. その他（ ）

(5) バスや電車を使って1人で外出していますか（タクシーや自家用車でも可）

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(6) 自分で食品・日用品の買物をしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(7) 自分で食事の用意をしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(8) 自分で請求書の支払いをしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(9) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(10) あなたの日常生活の中での楽しみは何ですか（いくつでも）

1. 働くこと 2. 学習や教養を高めるための活動
3. スポーツ 4. 趣味の活動
5. ボランティア活動 6. 老人クラブ活動
7. 自治会・町内会の活動 8. 旅行
9. 買い物 10. 孫など家族と会ったりすること
11. その他（ ） 12. 特にない

(11) 現在、収入のある仕事をしてしていますか 1. はい ⇒(11) - 2へ 2. いいえ	
(11) - 1 (<u>仕事をしていない方</u>) 今後、収入のある仕事をしたいですか 1. はい 2. いいえ ⇒(12)へ	
(11) - 2 現在の職業又は希望する職業は何ですか (いくつでも) 1. 専門職・技術職 2. 管理職 3. 事務職 4. 販売職 5. 保安職・サービス職 6. 農林漁業 7. 運輸・通信業 8. 製造業 9. 会社や法人の経営 10. その他 ()	
(11) - 3 働き方で重視する条件はどれですか (いくつでも) 1. 経験、知識を生かせる仕事 2. 労働時間を選べる仕事 3. 自分の体力に合った仕事 4. 収入 5. その他 () 6. わからない	
(12) 今後、シルバー人材センターに登録して、活動する希望はありますか 1. はい 2. いいえ 3. 既に登録している	
(13) 高齢者向けに様々な催し物やサービスの提供が行われていますが、あなたはどのような情報を主にどこから得ていますか (いくつでも) 1. 家族 2. 友人・隣人 3. テレビ 4. ラジオ 5. インターネット 6. 新聞 (タウン誌を含む) 7. 市の広報紙 8. 自治会の案内 9. 高齢者向け雑誌、出版物 10. ケアマネジャー・ホームヘルパー 11. 主治医 (かかりつけ医) 12. 公的施設 (保健福祉センターなど) 13. 市役所 14. 高齢者生活支援センター 15. その他 () 16. 特になし	

問5 地域での活動について						
(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか ※①-⑦それぞれに回答してください						
	週4回 以上	週2 ~3回	週1回	月1 ~3回	年に 数回	参加して いない
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループ やクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑥町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑦収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域の人にあなたができることは何ですか（いくつでも）		
1. 話し相手，相談相手	2. 声掛け，見守り，安否確認	
3. 買い物やごみ出しの手伝い	4. 子育ての手伝い（送迎，見守り等）	
5. 緊急時の看病や救急車を呼ぶなどの手助け		
6. 健康づくり活動や介護予防につながる活動		
7. その他（ ）		
8. 特にない		
(3) 地域住民の有志によって，健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って，いきいきした地域づくりを進めるとしたら，あなたはその活動に <u>参加者として</u> 参加してみたいと思いますか		
1. 是非参加したい	2. 参加してもよい	3. 参加したくない
(4) 地域住民の有志によって，健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って，いきいきした地域づくりを進めるとしたら，あなたはその活動に <u>企画・運営（お世話役）として</u> 参加してみたいと思いますか		
1. 是非参加したい	2. 参加してもよい	3. 参加したくない

問6 たすけあいについて		
あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします		
(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他（ ）	8. そのような人はいない	
(2) 反対に，あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他（ ）	8. そのような人はいない	
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに，看病や世話をしてくれる人（いくつでも）		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他（ ）	8. そのような人はいない	
(4) 反対に，看病や世話をしてあげる人（いくつでも）		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他（ ）	8. そのような人はいない	
(5) 何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）		
1. 家族	2. 友人・知人	
3. 近所の人	4. 自治会・町内会・老人クラブ	
5. 社会福祉協議会・民生委員	6. ケアマネジャー	
7. 医師・歯科医師・薬剤師・看護師	8. 高齢者生活支援センター・市役所	
9. その他（ ）	10. 相談する相手はいない	

問8 災害時や緊急時の対応などについて		
(1) あなたは、災害時（台風や地震など）や火災などの緊急時に、一人で避難することができますか		
1. 避難できる ⇒ (2)へ		
2. 一人で判断できるが、避難はできない	} ⇒ (1) - 1へ	
3. 一人で判断できないし、避難できない		
(1) - 1 (緊急時に一人で避難ができない方) 避難できない理由は何ですか 自由記述 ()		
(1) - 2 (緊急時に一人で避難ができない方) 災害時や火災など緊急時に避難する際、手助けを頼める人（同居の方を含む）はいますか		
1. はい	2. いいえ	
(2) 万が一の災害や急病に備え、医療情報を記入した用紙を筒状の容器に入れ、ご家庭にある冷蔵庫に収納する救急医療情報キットを知っていますか		
1. 既に持っている	2. 知っているが持っていない	3. 知らない
問9 権利擁護の取り組みについて		
(1) あなたは成年後見制度を知っていますか		
1. よく知っている ⇒ (1) - 1へ	2. 少し知っている ⇒ (1) - 1へ	
3. よく知らないが聞いたことがある ⇒ (2)へ	4. まったく知らない ⇒ (2)へ	
【成年後見制度】 認知症高齢者など、判断能力の不十分な方を法律面や生活面で支援（さまざまな契約の支援や財産管理の支援など）する制度で、制度に関する相談窓口は高齢者生活支援センターなど。		
(1) - 1 (成年後見制度を知っている方) 今後、あなたは成年後見制度を利用したいですか		
1. はい ⇒ (1) - 2へ		
2. いいえ	} ⇒ (2)へ	
3. わからない		
(1) - 2 (成年後見制度を利用したい方) 後見人は誰になってもらいたいですか		
1. 親・子・兄弟姉妹・配偶者、その他の親族		
2. 専門家（弁護士、司法書士、社会福祉士など）		
3. 法律または福祉に関する法人		
4. 市民後見人		
5. その他 ()		
(2) あなたは、虐待をはじめ、高齢者の権利擁護について、どのようなことを知りた いですか		
1. 成年後見制度		
2. 福祉サービス利用援助事業		
3. 虐待に関わる相談窓口・対応		
4. その他 ()		

問 10 あなたの今後のサービスの利用について

(1) 自分の身の回りのことができなくなったときに、どのようなサービスがあれば在宅生活を続けていくことができると思いますか（いくつでも）

- | | |
|--------------------------------|---------------|
| 1. 在宅で受けられるサービス | 2. 入所や通所のサービス |
| 3. 医療サービス | 4. 地域での相談窓口 |
| 5. その他（ ） | 6. わからない |

(2) あなたは将来の住まいとして、どのような場所で介護を受けたいとお考えですか（最も近いものを1つ）

- | | | |
|--------------------------------|------------------|---------------|
| 1. 現在の居宅 | 2. 別居している子どもや親類宅 | 3. 特別養護老人ホーム |
| 4. 有料老人ホーム | 5. サービス付き高齢者向け住宅 | 6. 長期入院ができる病院 |
| 7. その他（ ） | | |

(3) 高齢社会への対応として、市が力を入れるべきことは何ですか（主なもの3つまで）

1. 高齢者の働く場の確保
2. 高齢者の知恵や経験を子どもたちに伝える機会や場づくり
3. 生きがいをもてるような活動機会の拡大
4. ボランティア活動の育成・充実
5. 隣近所や地域の助け合い・支え合い活動の推進
6. 地域でのリハビリテーション事業の推進
7. 高齢者を介護している家庭に対する経済的支援
8. 特別養護老人ホーム・老人保健施設などの入所施設の充実
9. 介護保険以外の在宅生活を支援する福祉サービスの充実
10. 往診や緊急時の対応など医療体制の充実
11. 認知症施策
12. 高齢者などが外出しやすいように、安全で快適な道路や公園などの整備
13. 高齢者向けの住宅改造
14. 虚弱なひとり暮らし高齢者などの災害のときの避難誘導體制の整備
15. その他（ ）
16. 特にない

問 11 介護の経験について

(1) あなたはどなたかの介護をしたことがありますか（現在、介護している場合も含む）

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1. はい ⇒ (2)へ | 2. いいえ ⇒ 以上で調査は終了です。 |
|--------------|----------------------|

(2) (「はい」とお答えいただいた方) 誰の介護をしていましたか（現在、介護している場合も含む）

- | | | |
|------|--------------------------------|----------|
| 1. 親 | 2. 配偶者 | 3. 兄弟・姉妹 |
| 4. 子 | 5. その他（ ） | |

(3) 介護中に、介護を主な理由として仕事を辞めましたか

- | | | |
|-----------|-----------|--------------------------------|
| 1. 仕事を辞めた | 2. 仕事を続けた | 3. その他（ ） |
|-----------|-----------|--------------------------------|

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました

あて名ラベル

第8次芦屋すこやか長寿プラン21策定に向けたアンケート調査

【在宅介護実態調査】

皆様には、日頃より市政の推進について温かいご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本市におきましては、介護を必要とする人が住みなれた家庭や地域で安心して過ごすことができるように、介護サービスの質の向上と円滑な事業運営に取り組んでいます。

本市では3年を1期とする事業計画を策定し、そこで、必要なサービス基盤の整備計画を作成しています。平成29年度で現行の計画期間が終了します。次期の3年間（平成30年度～32年度）のための「第8次芦屋すこやか長寿プラン21」の策定に向けて、その基礎資料とするためアンケート調査を実施することになりました。

この調査は、皆様の介護サービスの質の向上に向け、生活の実態や介護保険に対する考え・意向などを把握するためのものであり、調査結果は、これからの高齢者福祉事業及び介護保険事業の充実に活用します。

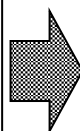
大変お忙しい中、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

平成29年2月

芦屋市

※あて名のご本人が何らかの事情により回答できない場合には、その理由について下記よりあてはまるものを選び、番号に○をつけてください。

1. 病院などに入院中
2. 介護保険施設などに入所中
3. 市外転出
4. 死亡
5. その他（ ）



これらのいずれかに該当する場合は、3頁以下の質問にお答えいただく必要はありません。

お手数をおかけいたしますが、同封の返信用封筒でこの調査票をご返送ください。

お手数ですが、調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、2月28日までにご返送ください。

問合せ先 芦屋市福祉部 高齢介護課 電話 38-2044

記入に際してのお願い

1. この調査の対象者は、在宅で生活をしている要支援・要介護認定を受けている方のうち、更新申請・区分変更申請に伴う認定調査を受けた方の中から無作為に抽出した方です。
2. ご回答にあたっては、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、一緒に回答されてもかまいません。
3. 答えたくないことやわからないことは、無理に答えていただく必要はありません。
4. 平成29年2月1日現在の状況を記入してください。

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、本市による介護保険事業計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、本市で適切に管理いたします。
- ご回答いただいた内容は、認定調査に係る要介護認定データ（認定調査、介護認定審査会のデータ）とともに、本市における介護保険事業計画策定に向けた基礎資料とすることを目的に使用させていただきます。ご本人の許可なく、目的以外の使用はいたしません。
- ご回答いただいた内容は、厚生労働省から配布された自動集計分析ソフトを用いて集計分析します。国に情報提供する場合、氏名や住所等の個人を特定できないように処理し、いかなる場合においても個人を特定するような情報が公表されることはありません。

問5 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか(1つを選択)

1. 利用している ⇒ 問7へ

2. 利用していない ⇒ 問6へ

問6 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(複数選択可)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他 ()

問7 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください(複数選択可)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 |
| 3. 掃除・洗濯 | 4. 買い物(宅配は含まない) |
| 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院, 買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉ｸｯｰ等) | 8. 見守り, 声かけ |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場 | 10. その他 () |
| 11. 利用していない | |

問8 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(複数選択可)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 |
| 3. 掃除・洗濯 | 4. 買い物(宅配は含まない) |
| 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院, 買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉ｸｯｰ等) | 8. 見守り, 声かけ |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場 | 10. その他 () |
| 11. 特になし | |

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問9 自分の身の回りのことができなくなったときに、どのようなサービスがあれば在宅生活を続けていくことができますか（複数選択可）

【在宅で受けられるサービス】

1. 訪問介護や訪問看護などの在宅サービス
2. 緊急時に利用できる在宅介護サービス
3. 夜間に定期的に巡回してくれるサービス
4. 在宅介護に適した住宅の改修
5. 介護する家族のための健康管理
6. 介護する家族のための専門的な介護研修
7. 介護する家族のための相談窓口の設置
8. 在宅で介護するための補助用品の支給

【入所や通所のサービス】

9. ショートステイなどの宿泊サービス，デイサービスなどの通所サービス
10. 「通い（デイサービス）」「訪問（訪問介護）」「泊り（ショートステイ）」が一体的に提供されるサービス（小規模多機能型のサービス）
11. 有料老人ホームなどの居住施設
12. 状態が悪化したときなどに緊急で入れる施設
13. 認知症専門の通所サービス
14. 認知症専門の共同生活介護サービス（グループホーム）

【医療サービス】

15. 在宅で受けられる医療サービス
16. 認知症専門の診療
17. 24時間対応できる病院，診療所

【その他のサービス】

18. 買い物を支援するサービス
19. 通院を支援するサービス
20. 食事を配達するサービス
21. 介護保険外のサービス（家事援助，身の回りの世話など）
22. 地域住民の助け合いや見守り（徘徊の発見，通報など）
23. その他（ ）
24. わからない

問10 ご本人は、災害時（台風や地震など）や火災などの緊急時に、一人で避難することができますか

1. 避難できる ⇒ 問11へ
2. 一人で判断できるが、避難はできない
3. 一人で判断できないし、避難できない } ⇒ 問10-1へ

問10-1（緊急時に一人で避難ができない方）避難できない理由は何ですか。

自由記述

()

問10-2（緊急時に一人で避難ができない方）災害時や火災など緊急時に避難する際、手助けを頼める人（同居の方を含む）はいますか

1. いる
2. いない

問 11 万が一の災害や急病に備え、医療情報を記入した用紙を筒状の容器に入れ、ご家庭にある冷蔵庫に収納する救急医療情報キットを知っていますか

1. 既に持っている 2. 知っているが持っていない 3. 知らない

問 12 ご本人は成年後見制度を知っていますか

1. よく知っている ⇒ 問12-1へ 2. 少し知っている ⇒ 問12-1へ
3. よく知らないが聞いたことがある ⇒ 問13へ 4. まったく知らない ⇒ 問13へ

【成年後見制度】

認知症高齢者など、判断能力の不十分な方を法律面や生活面で支援（さまざまな契約の支援や財産管理の支援など）する制度で、制度に関する相談窓口は高齢者生活支援センターなど。

問 12 - 1 （成年後見制度を知っている方） 今後、ご本人は成年後見制度を利用したいですか

1. はい ⇒ 問 12 - 2 へ
2. いいえ } ⇒ 問 13 へ
3. わからない }

問 12 - 2 （成年後見制度を利用したい方） 後見人は誰になってもらいたいですか

1. 親・子・兄弟姉妹・配偶者、その他の親族
2. 専門家（弁護士、司法書士、社会福祉士など）
3. 法律または福祉に関する法人
4. 市民後見人
5. その他（ ）

問 13 ご本人は、虐待をはじめ、高齢者の権利擁護について、どのようなことを知りたいですか

1. 成年後見制度 2. 福祉サービス利用援助事業
3. 虐待に関わる相談窓口・対応 4. その他（ ）

問 14 高齢社会への対応として、市が力を入れるべきことは何ですか（主なもの3つまで）

1. 高齢者の働く場の確保
2. 高齢者の知恵や経験を子どもたちに伝える機会や場づくり
3. 生きがいをもてるような活動機会の拡大
4. ボランティア活動の育成・充実
5. 隣近所や地域の助け合い・支え合い活動の推進
6. 地域でのリハビリテーション事業の推進
7. 高齢者を介護している家庭に対する経済的支援
8. 特別養護老人ホーム・老人保健施設などの入所施設の充実
9. 介護保険以外の在宅生活を支援する福祉サービスの充実
10. 往診や緊急時の対応など医療体制の充実
11. 認知症施策
12. 高齢者などが外出しやすいように、安全で快適な道路や公園などの整備
13. 高齢者向けの住宅改造
14. 虚弱なひとり暮らし高齢者などの災害のときの避難誘導體制の整備
15. その他（ ）
16. 特にない

問 15 今後、認知症施策を進めていくうえで、市が力を入れるべきことは何ですか（主なもの3つまで）

1. 医療・介護・地域が連携した早期発見・早期診断のしくみづくり
2. 予防教室や講演会など市民に対する啓発
3. 家族の交流会や相談会などの支援
4. 認知症の介護・コミュニケーション方法等、家族向け研修会の開催
5. 認知症を見守るボランティアなどのしくみづくり
6. 徘徊行動などに対する福祉サービス制度の充実
7. 認知症グループホームや特別養護老人ホームなどの施設整備
8. 成年後見制度や虐待防止などの制度の充実
9. 若年性認知症（64歳以下の発症）に対する支援
10. 地域で相談できる場所
11. 関係機関のネットワークづくり
12. 困ったときに訪問して関係機関につないでくれる機関
13. その他（ ）

問 16 外出する際の移動手段は何ですか（複数選択可）

1. 徒歩
2. 自転車
3. 自動車（人に乗せてもらう）
4. 電車
5. 路線バス
6. 病院や施設のバス
7. 車いす
8. 電動車いす（カート）
9. 歩行器・シルバーカー
10. タクシー（介護タクシーを含む）
11. その他（ ）

問 17 (問 16 で「5. 路線バス」と回答した方) ご本人が路線バスを利用する主な理由は何ですか (複数選択可)

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1. 停留所が自宅に近いから | 2. 他に移動手段がないから |
| 3. 行きたい場所に運行するから | 4. 車の運転ができないから |
| 5. 利用したい時間帯に運行しているから | 6. 利用しやすい運賃だから |
| 7. 運賃助成で半額になるから | 8. その他 () |

問 18 (問 16 で「5. 路線バス」と回答した方) ご本人の路線バスの利用回数は、どのくらいですか

- | | |
|-----------|---------|
| 1. 数か月に1回 | 2. 月1回 |
| 3. 週1回 | 4. ほぼ毎日 |

問 19 (問 16 で「5. 路線バス」と回答した方) ご本人が路線バスを利用する主な目的は何ですか (複数選択可)

- | | | |
|---------------|-------------|-------------|
| 1. 買い物 | 2. 通院 | 3. 趣味・教養の活動 |
| 4. スポーツ | 5. ボランティア活動 | 6. 老人クラブ活動 |
| 7. 自治会・町内会の活動 | 8. 通勤 | 9. その他 () |

問 20 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか
(同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (1つを選択)

- | | |
|----------------------------|--------------------------|
| 1. ない ⇒ 調査は終了です。 | |
| 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない | } ⇒ P. 9 のB票へ
進んでください |
| 3. 週に1～2日ある | |
| 4. 週に3～4日ある | |
| 5. ほぼ毎日ある | |

- A票の問20(P.8)で「2.」～「5.」を選択された場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いします。
- 「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、あて名のご本人様(調査対象者様)にご回答・ご記入をお願いします。

B票 主な介護者の方について、お伺いします

質問の該当する答えの番号に○をつけてください。

記入者	1. 主な介護者 2. あて名のご本人 3. 主な介護者以外の家族・親族 4. その他()
-----	---

問1 主な介護者の方は、どなたですか(1つを選択)

1. 配偶者	2. 子	3. 子の配偶者
4. 孫	5. 兄弟・姉妹	6. その他()

問2 主な介護者の方の性別について、ご回答ください(1つを選択)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問3 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

1. 20歳未満	2. 20代	3. 30代
4. 40代	5. 50代	6. 60代
7. 70代	8. 80歳以上	9. わからない

問4 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください(複数選択可)

〔身体介護〕

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い, 送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養, ストーマ 等) | |

〔生活援助〕

- | |
|---------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) |
| 13. その他の家事(掃除, 洗濯, 買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き |

〔その他〕

- | |
|------------|
| 15. その他() |
| 16. わからない |

問5 ご家族やご親族の中で、あて名のご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

〔身体介護〕

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助（食べる時） | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）

〔生活援助〕

12. 食事の準備（調理等）
13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き

〔その他〕

15. その他（）
16. 不安に感じていることは、特にない
17. 主な介護者に確認しないと、わからない

問7 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が必要と感じる地域での支援について、ご回答ください（複数選択可）

1. 24時間対応の相談体制
2. 介護者同士の家族の会
3. 緊急時の支援体制
4. いつでも誰かと話ができる場所
5. 気軽に声をかけてくれる人
6. 少し困った時に手伝ってくれる人
7. 有償でサービスを提供してくれる団体
8. その他（）
9. 特にない
10. 主な介護者に確認しないとわからない

問8 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

- | | | |
|-----------------------|---|-----------|
| 1. フルタイムで働いている | } | ⇒問9～問11へ |
| 2. パートタイムで働いている | | |
| 3. 働いていない | } | ⇒調査は終了です。 |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない | | |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問9（問8で「1.」「2.」と回答した方）主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問10（問8で「1.」「2.」と回答した方）主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他
10. 特にない
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

問11（問8で「1.」「2.」と回答した方）主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました

芦屋すこやか長寿プラン21見直し のためのアンケート調査報告書

平成29年3月

○発行／芦屋市

〒659-8501 兵庫県芦屋市精道町7-6

TEL 0797-38-2044 FAX 0797-38-2060

ホームページ <http://www.city.ashiya.lg.jp/>

○編集／芦屋市福祉部 高齢介護課
